

環境監視調査結果  
(環境の状況の把握)

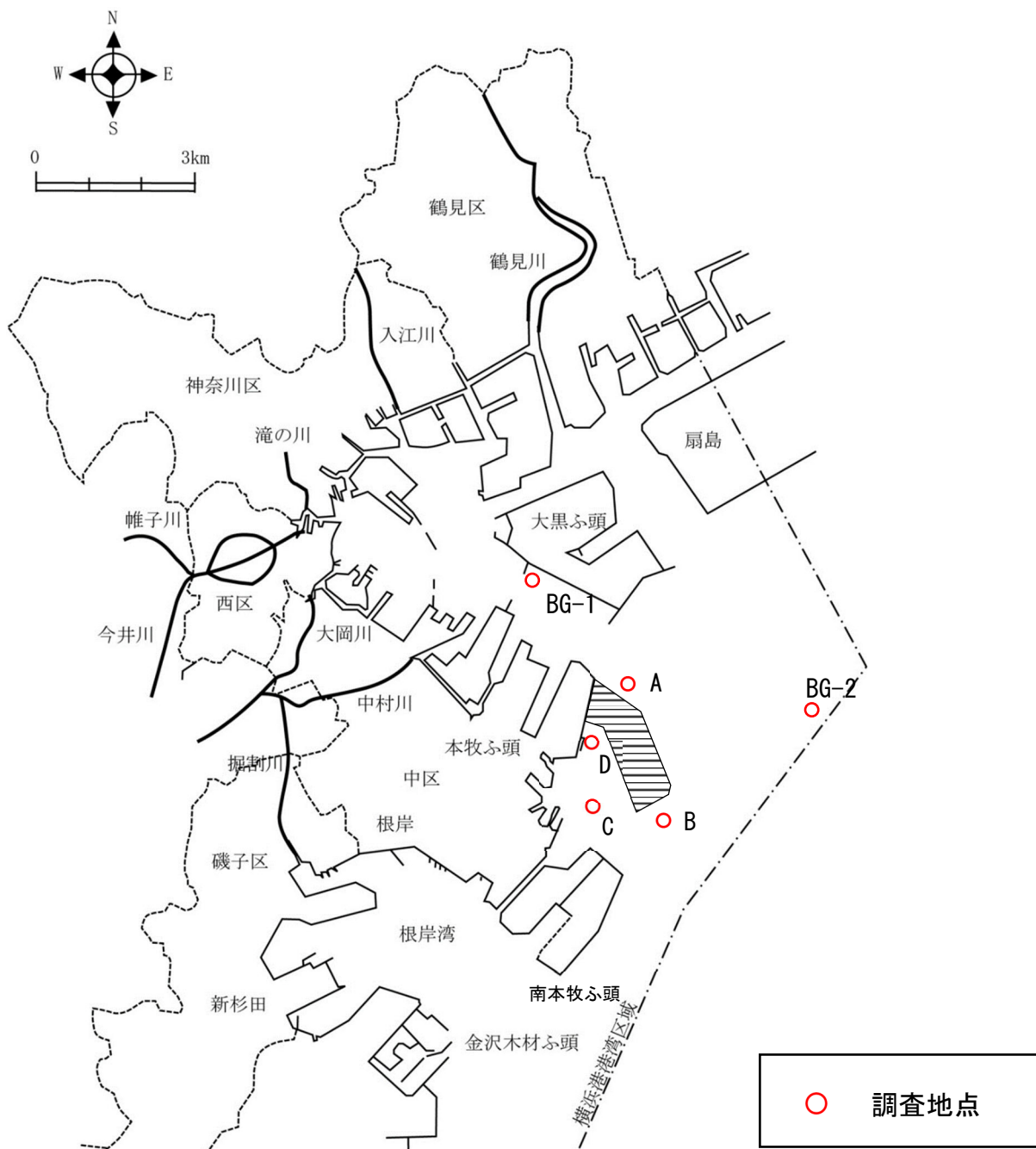
令和7年度

国土交通省関東地方整備局  
横浜市

## 2 環境の状況の把握

### 2-1 調査地点

水質、底質、動物（動物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物）、植物（植物プランクトン）

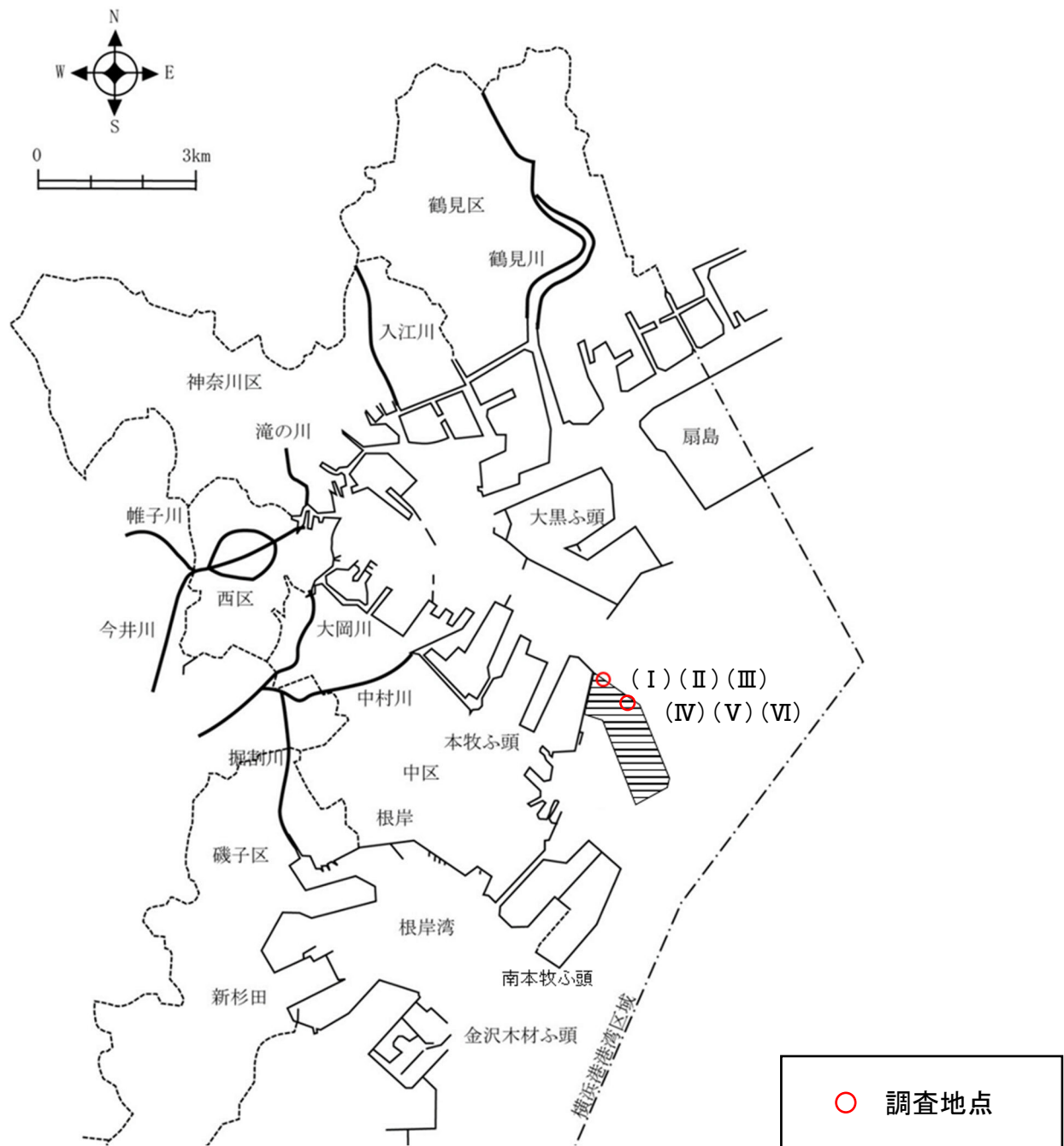


地点名	緯度	経度
地点 A	35° 26′ 32″	139° 41′ 74″
地点 B	35° 25′ 02″	139° 42′ 07″
地点 C	35° 25′ 21″	139° 41′ 22″
地点 D	35° 25′ 70″	139° 41′ 39″
地点 BG-1	35° 27′ 36″	139° 40′ 58″
地点 BG-2	35° 26′ 03″	139° 43′ 75″

※地点 BG-1、BG-2 については、任意で鉛直測定のみ実施した

図 2-1-1 調査位置図

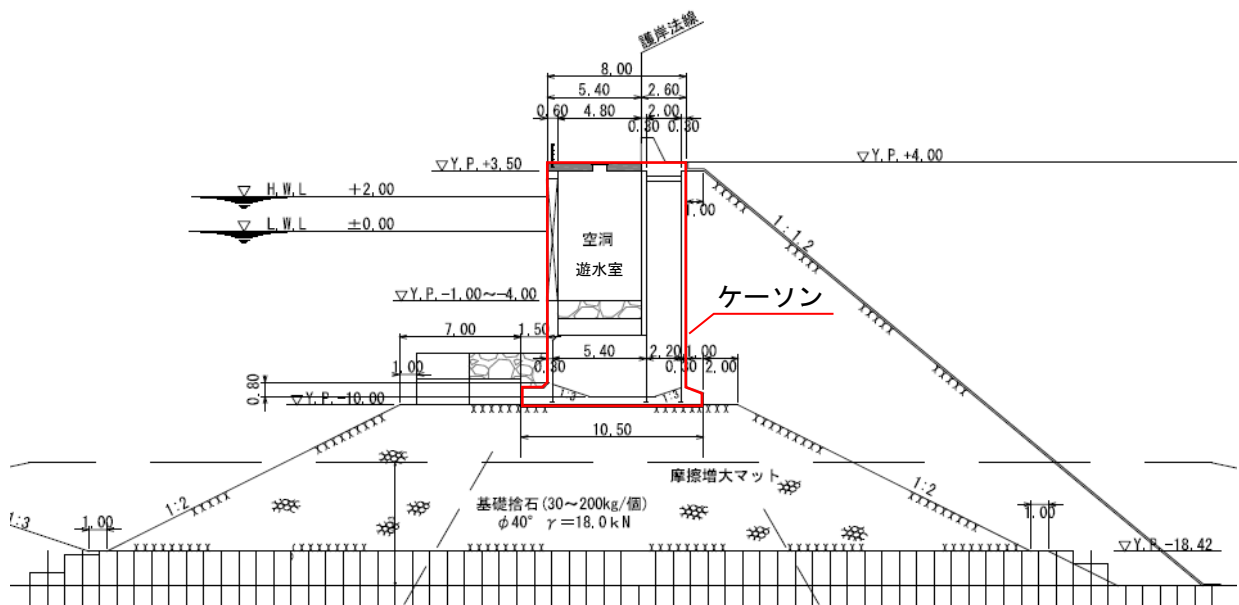
付着生物



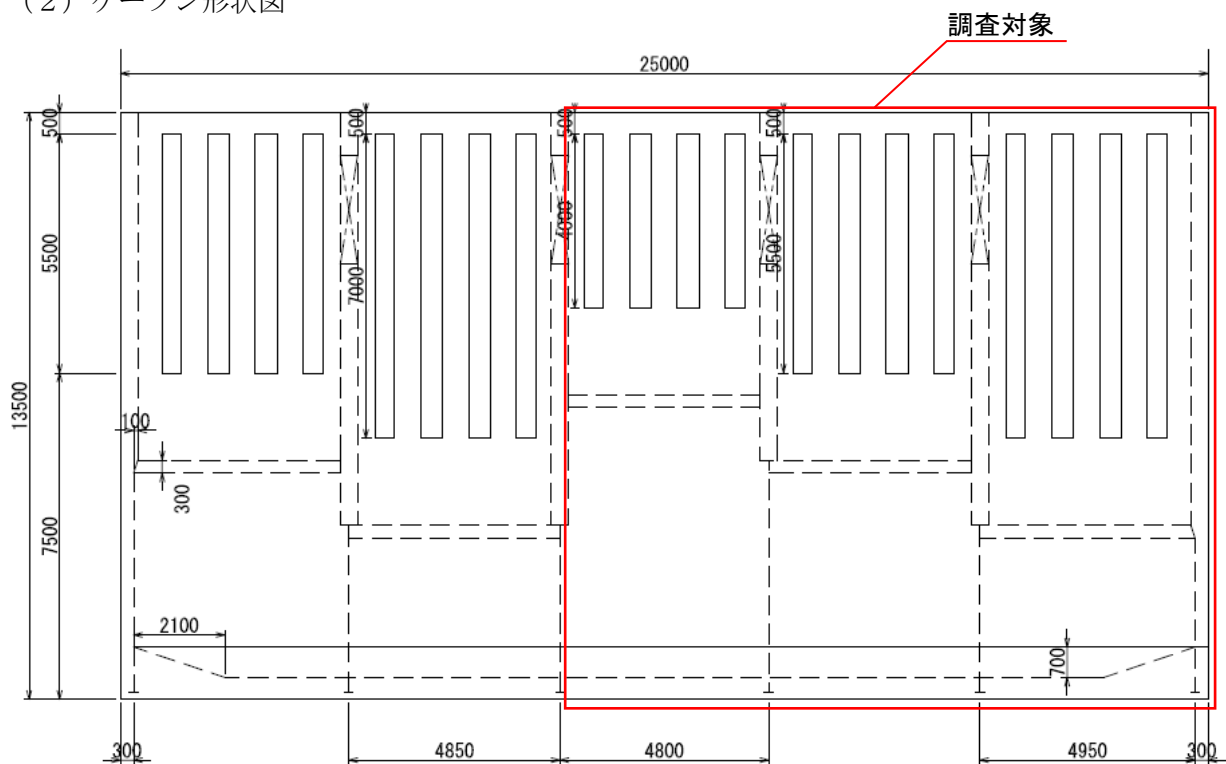
地点名	緯度 (参考)	経度 (参考)
地点(I) (II) (III)	35° 26' 20"	139° 41' 29"
地点(IV) (V) (VI)	35° 26' 05"	139° 41' 48"

※付着生物調査位置詳細

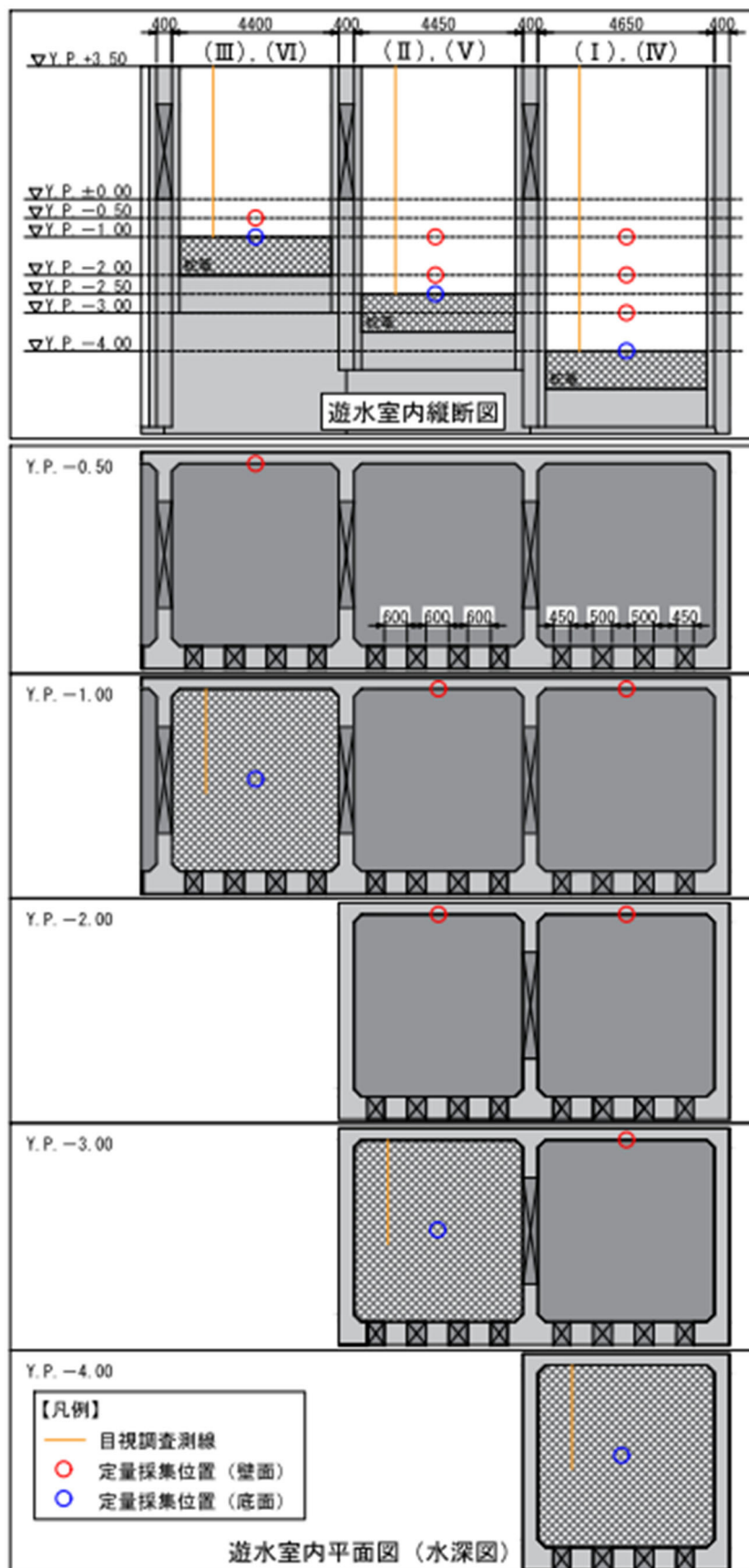
(1) 新設護岸断面図



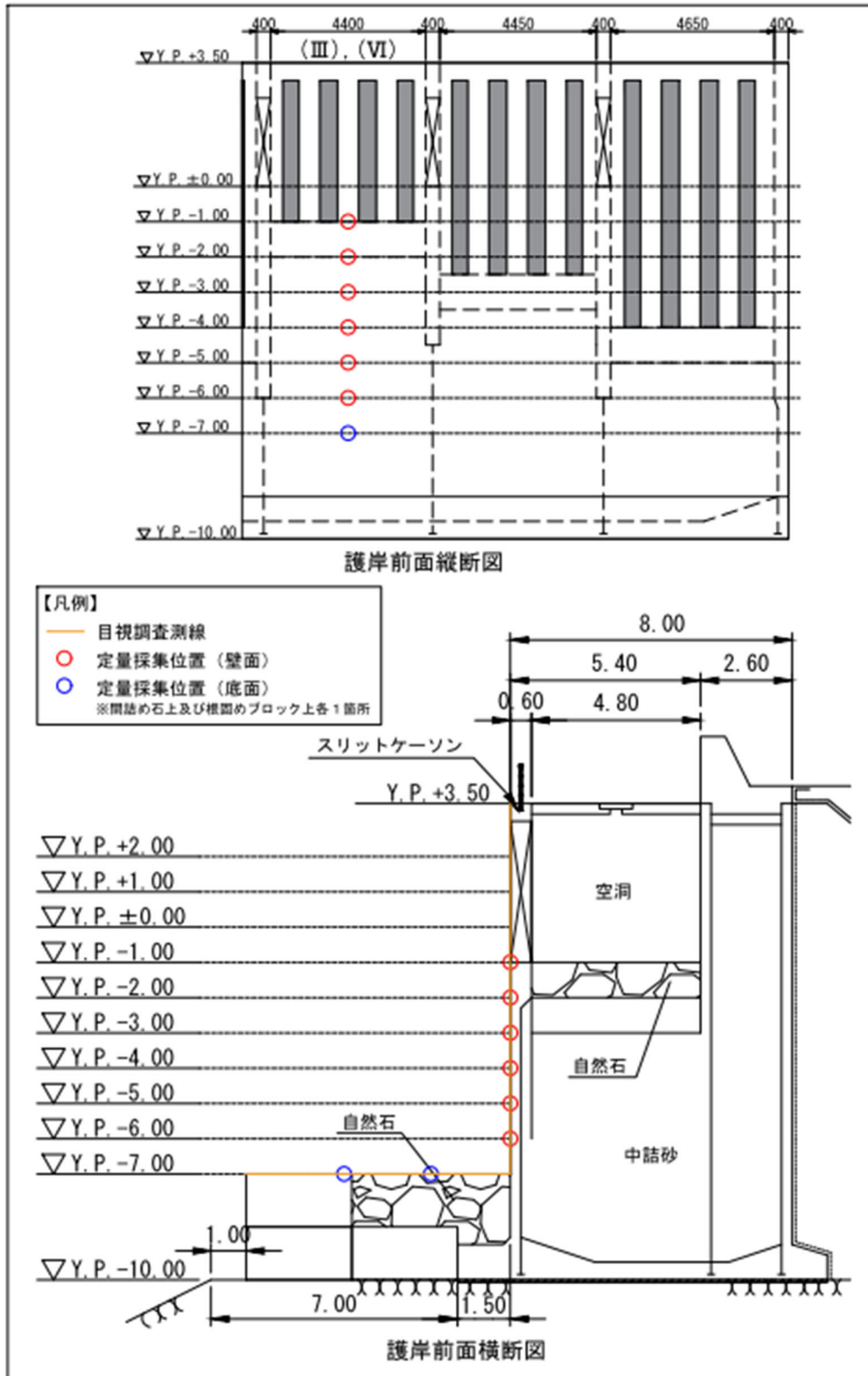
(2) ケーソン形状図



(3) 調査実施個所位置図 (遊水室内)



(4) 調査実施箇所位置図 (護岸前面)



## 2-2 調査日

春季調査：令和 7年 5月 7, 9, 12, 13, 14日

夏季調査：令和 7年 8月 6, 7, 8, 18, 19日

秋季調査：令和 7年 11月 5, 6, 7, 10, 11日

冬季調査：令和 8年 2月 4, 5, 6, 9, 10日

## 2-3 調査内容・調査方法

表 2-3-1 調査内容

調査項目		調査方法	
環境 の 状 況 の 把 握	水質	生活環境項目・健康項目 その他 採水及び分析(表層:表層下0.5m・下層:海底上1.0m) 鉛直測定(表層から下層まで1m毎) ※健康項目及びn-ヘキサン抽出物質は表層のみとする。	
	底質	粒度組成・含水率 強熱減量・硫化物 化学的酸素要求量 採泥及び分析	
	動物	動物プランクトン	定量ネットによる採取 種の同定 個体数の計数(単位:個体/m <sup>3</sup> )
		魚卵・稚仔魚	定量ネットによる採取 種の同定 個体数の計数(単位:粒/1曳網)
		底生生物	採泥器による採取 種の同定 個体数の計数(単位:個体/0.15m <sup>2</sup> ) 湿重量の計測(単位:g/0.15m <sup>2</sup> )
		付着生物(動物)	目視調査 種類・被度 定量採集 種の同定 個体数の計数(単位:個体/0.15m <sup>2</sup> ) 湿重量の計測(単位:g/0.15m <sup>2</sup> )
		魚類	目視調査 護岸周辺に出現した魚類を記録
	植物	植物プランクトン	採水器による採取 細胞数の計数(単位:細胞/L)
		付着生物(植物)	目視調査 種類・被度 定量採集 種の同定 個体数の計数(単位:個体/0.15m <sup>2</sup> ) 湿重量の計測(単位:g/0.15m <sup>2</sup> )

### (i) 水質

水質は、バンドーン型採水器及び北原式採水器を使用し、表層(海面下 0.5 m)及び下層(海底上 1.0 m)の試料を採取し、必要な前処理等を現地にて施し、保冷容器に保管のうえ、速やかに分析室に搬入した。

調査項目、定量下限値及び分析方法を表 2-3-2、調査模式図を図 2-3-1 に示した。

### (ii) 底質

底質は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器(22 × 22 cm : 採泥面積 0.05 m<sup>2</sup>)を使用し、表層泥を採取し、必要な前処理等を現地にて施し、保冷容器に保管のうえ、速やかに分析室に搬入した。また、当日の調査地点の状況を把握するため、泥温・泥臭・泥色等の観察 データを記録した。底質の調査項目、定量下限値及び分析方法を表 2-3-3 に示し、調査模式図を図 2-3-2 に示した。

### (iii) 生物

#### ① 動物プランクトン

動物プランクトンは、北原式定量ネットを使用し、海底上 1.0 m から水面までの試料を採取し、ホルマリン溶液にて固定し、分析室に搬入した。分析は、種の同定及び個体数の計数を行う。単位は (個体/m<sup>3</sup>)である。調査模式図を図 2-3-1 に示した。

#### ② 魚卵・稚仔魚

丸稚ネット(口径 : 1.3 m)を調査船の船尾より約 30 m のロープで繋ぎ、船速 2 ノットで約 5 分間(約 300 m)曳網し、試料採取を行った。曳網方向は、調査当日の潮流、風向き等を考慮して決定した。

採取試料は、ホルマリン溶液にて固定し分析室に搬入した。調査模式図を図 2-3-3 に示した。

#### ③ 底生生物

底生生物は、表層泥を 3 回採取し、1mm 目の篩をかけ、篩上に残ったものを試料とし、ホルマリン溶液にて固定し、分析室に搬入した。調査模式図を図 2-3-2 に示した。

#### ④ 付着生物 (動物)

付着生物 (動物) は、新設護岸の鉛直面及び水平面(護岸内部)の目視調査及び定量採集を行った。目視調査は、方形枠(50cm×50cm)を使用したベルトトランセクト法により、地点(Ⅲ)の護岸前面上部から護岸下部(根固めブロック上部)までの範囲と、地点(Ⅰ)、(Ⅱ)及び(Ⅲ)の遊水室内の壁面上部から底面までの付着生物の種類と、その被度を記録した。定量採集は、方形枠(50cm×50cm)を使用し、平均海面付近の試料を坪刈りし、ホルマリン溶液にて固定して、種の同定、個体数の計測及び湿重量の計測を行った。調査模式図を図 2-3-4 に示した。

#### ⑤ 魚類

魚類は、新設護岸の遊水室内部や周辺に出現した魚類を記録した。

### (iv) 植物

## ① 植物プランクトン

植物プランクトンは、バンドーン型採水器を使用し、表層(海面下 0.5 m)及び下層(海底上 1.0 m)の試料を採取し、ホルマリン溶液にて固定し、分析室に搬入した。分析は、種の同定及び細胞数の計測を行う。単位は、(細胞/L)である。調査模式図を図 2-3-1 に示した。

## ② 付着生物(植物)

付着生物(植物)は、新設護岸の鉛直面及び水平面(護岸内部)の目視調査及び定量採集を行った。目視調査は、方形枠(50cm×50cm)を使用したベルトトランセクト法により、地点(Ⅲ)の護岸前面上部から護岸下部(根固めブロック上部)までの範囲と、地点(Ⅰ)、(Ⅱ)及び(Ⅲ)の遊水室内の壁面上部から底面までの付着生物の種類と、その被度を記録した。定量採集は、方形枠(50cm×50cm)を使用し、平均海面付近の試料を坪刈りし、ホルマリン溶液にて固定して、種の同定、個体数の計測及び湿重量の計測を行った。調査模式図を図 2-3-4 に示した。

表 2-3-2 調査項目、定量下限値及び分析方法(水質調査)

調査項目	単位	定量下限値	分析方法		
生活環境項目	水素イオン濃度	pH	—	JIS K 0102-1 12	
	化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	0.5	JIS K 0102-1 17.2(滴定法)	
	溶存酸素量(DO)	mg/L	0.5	JIS K 0102-1 21.2(滴定法)	
	大腸菌数	CFU/100mL	1	JIS K 0102-5 5.6.2(特定酵素培地 MF 法)	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	0.5	JIS K 0102-1 22.5(捕集濃縮・抽出法)	
	全窒素	mg/L	0.05	JIS K 0102-2 17.4(吸光光度分析法)	
	全リン	mg/L	0.005	JIS K 0102-2 18.4.1(ペルキソ二硫酸カルウム分解法)	
	全亜鉛	mg/L	0.001	JIS K 0102-3 12.5(ICP-MS 法)	
	ノニルフェノール	mg/L	0.00006	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 9(GC/MS 法)	
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	0.0001	JIS K 0102-4 6.2.5(LC/MS/MS 法)	
健康項目	カドミウム	mg/L	0.0003	JIS K 0102-3 14.5(ICP-MS 法)	
	全シアン	mg/L	0.1	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 1(流れ分析法)	
	鉛	mg/L	0.005	JIS K 0102-3 13.5(ICP/MS 法)	
	六価クロム	mg/L	0.005	JIS K 0102-3 24.3.1(吸光光度分析法)	
	砒素	mg/L	0.001	JIS K 0102-3 20.3(水素化物発生 AA 法)	
	総水銀	mg/L	0.0005	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 2(還元気化 AA 法)	
	アルキル水銀	mg/L	0.0005	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 3(GC 法)	
	P C B	mg/L	0.0005	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 4(GC 法)	
	ジクロロメタン	mg/L	0.002	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	四塩化炭素	mg/L	0.0002	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.01	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	トリクロロエチレン	mg/L	0.001	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.001	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	チウラム	mg/L	0.0006	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 5(HPLC 法)	
	シマジン	mg/L	0.0003	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6.第 1(GC/MS 法)	
	チオベンカルブ	mg/L	0.002	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6.第 1(GC/MS 法)	
	ベンゼン	mg/L	0.001	JIS K 0125 5.2.2(トラップ型 HS・GC-MS 法)	
	セレン	mg/L	0.001	JIS K 0102-3 26.2(水素化合物発生 AA 法)	
	硝酸性窒素	mg/L	0.05	JIS K 0102-2 14.3 及び 15.7(流れ分析法)	
	亜硝酸性窒素	mg/L	0.05	JIS K 0102-2 14.3(流れ分析法)	
	ふっ素	mg/L	0.08	JIS K 0102-2 5.2.2 及び 5.3(吸光光度分析法)	
	ほう素	mg/L	0.1	JIS K 0102-3 5.5(ICP 法)	
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.005	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 7 第 3(HS・GC/MS 法)	
	その他	クロロフィル a	μg/L	0.5	海洋観測指針(1990)9.6.2
		塩分	—	0.5	海洋観測指針(1999)5.3
鉛直測定(水温・塩分・pH・DO・濁度・光量子・クロロフィル a)		—	—	多項目水質計(1.0 m 間隔)	

※1 水質は、表層：海面下 0.5 m、下層：海底上 1.0 m とする。

※2 健康項目、n-ヘキサン抽出物質は表層のみとする。

※3 鉛直測定は、任意で実施した。

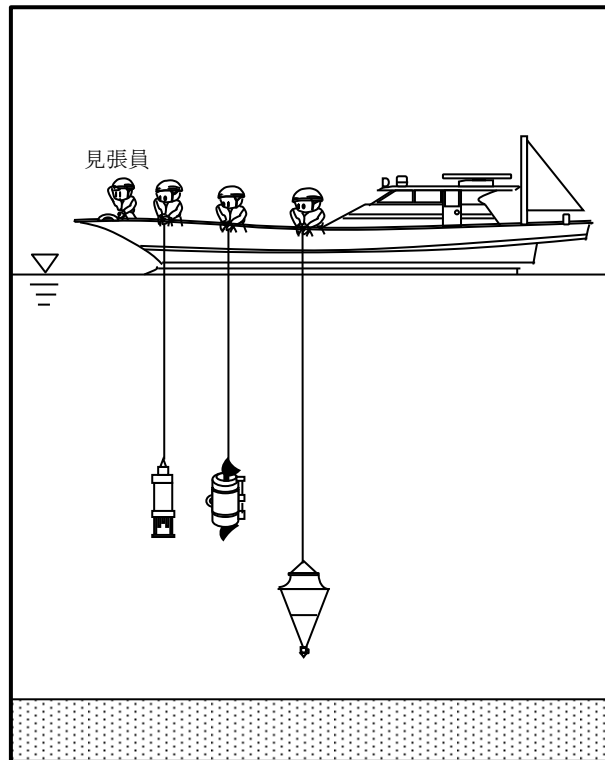


図 2-3-1 調査模式図(水質、植物プランクトン及び動物プランクトン)

表 2-3-3 調査項目、定量下限値及び分析方法(底質調査)

調査項目		単位	定量下限値	分析方法
一般項目	粒度組成	—	—	JIS A 1204
	含水率	%	0.1	昭和 48 年環告第 14 号第 1.1 備考に準ずる(重量法)
	強熱減量	%	0.1	底質調査方法 II. 4. 2
	全硫化物	mg/g	0.01	底質調査方法 II. 4. 6(滴定法)
	過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(CODsed)	mg/g	0.5	底質調査方法 II. 4. 7(滴定法)
	全窒素	mg/g	0.05	底質調査方法 II-4. 8. 1. 2(吸光光度法)
	全リン	mg/g	0.05	底質調査方法 II-4. 9. 1. b(吸光光度法)

※ 底質調査方法とは、平成24年8月環水大発第120725002号をいう。

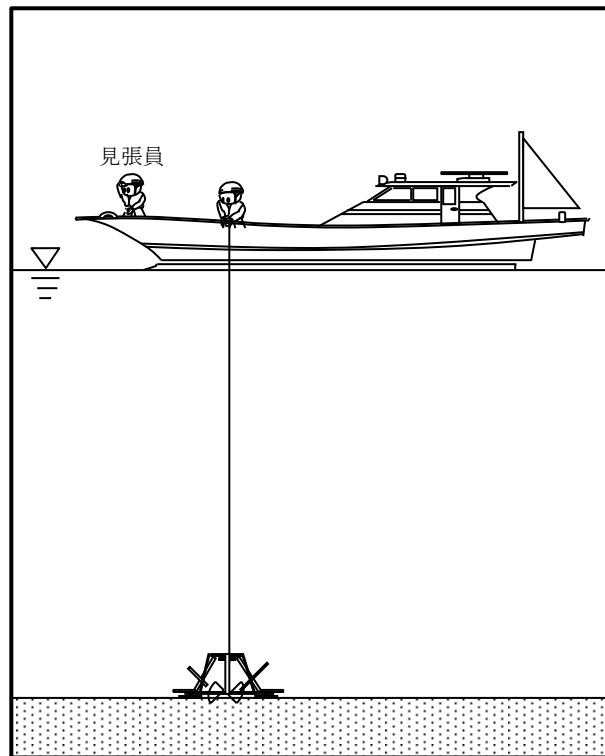


図 2-3-2 調査模式図(底質及び底生生物)

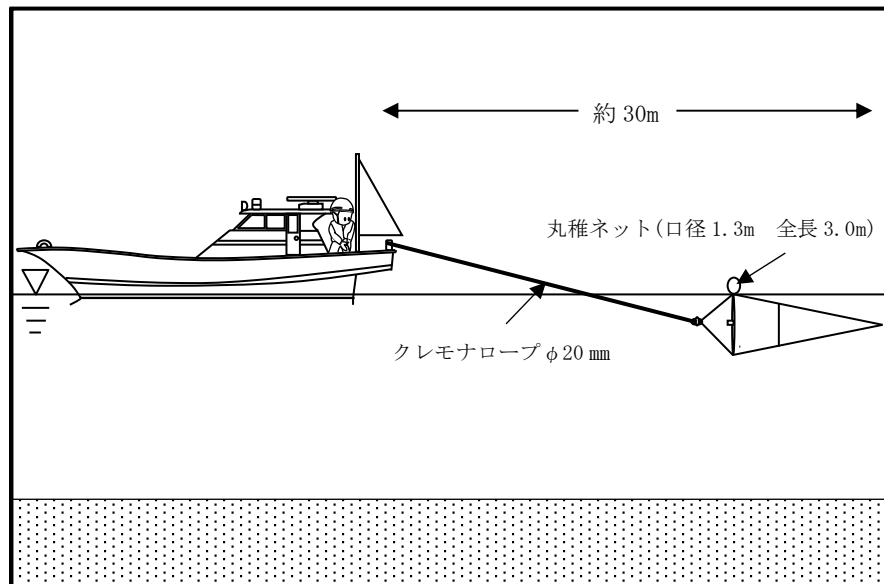


図 2-3-3 調査模式図(魚卵・稚仔魚)

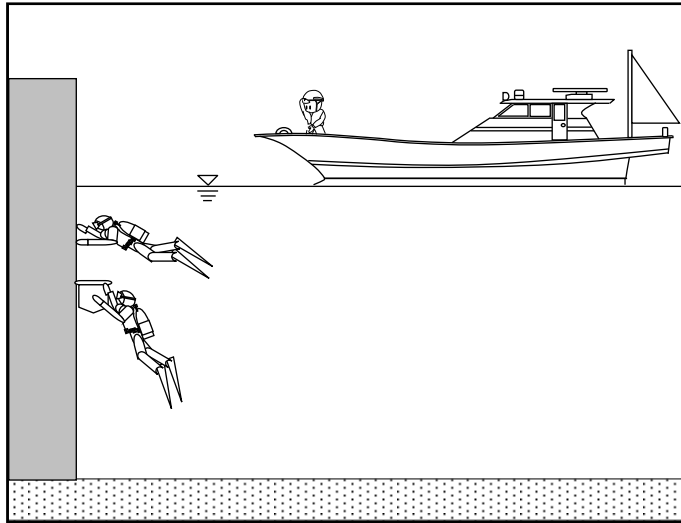


図 2-3-4 調査模式図(付着生物 (動物、植物) )

## 2-4 調査結果

水質調査結果を 2-4-1 に示し、底質調査結果、海生生物調査及び環境監視調査結果をそれぞれ 2-4-2、2-4-3 及び 2-4-4 に示す。

### 2-4-1 水質調査結果

#### (1) 現地観測結果

##### ① 春季調査(令和7年5月14日)

春季の水質、動物・植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果を表 4-1-1 に示す。

色相は、全調査地点で緑褐色であり、全調査地点周辺では赤潮がみられた。

透明度は、1.4 m～1.6 m であった。

水温は、表層が 18.4 °C～19.0 °C、下層は全てが 15.5 °C であり、表層では地点 D が比較的lowかった。

表 4-1-1 水質・動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果(春季)

測定項目		調査地点				
		地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	
採取時刻	—	10 : 33	09 : 02	08 : 30	08 : 02	
気象	天候	—	晴	晴	晴	晴
	気温	°C	21.2	20.4	20.1	19.9
	風向	—	南東	南東	南東	南東
	風速	m/s	1.3	1.0	1.8	1.1
色相	—	緑褐色	緑褐色	緑褐色	緑褐色	
透明度	m	1.5	1.4	1.6	1.5	
水深	m	20.3	34.5	22.7	22.8	
水温	表層	°C	19.0	18.8	19.0	18.4
	下層	°C	15.5	15.5	15.5	15.5

② 夏季調査(令和7年8月6日)

夏季の水質、動物・植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果を表4-1-2に示す。

色相は、全地点で緑褐色であり、全調査地点周辺では赤潮がみられなかった。

透明度は、2.6 m～2.7 mであった。

水温は、表層が26.6℃～27.0℃、下層が19.1℃～22.4℃であり、表層では地点Bが、下層では地点Dが比較的高かった。

表4-1-2 水質・動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果(夏季)

測定項目		調査地点	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
採 取 時 刻		—	11 : 15	10 : 05	09 : 37	09 : 05
気 象	天 候	—	晴	晴	晴	晴
	気 温	℃	30.9	30.8	30.4	30.0
	風 向	—	南東	南東	南東	南東
	風 速	m/s	2.0	1.8	1.8	3.2
色 相		—	緑褐色	緑褐色	緑褐色	緑褐色
透 明 度		m	2.7	2.6	2.6	2.6
水 深		m	19.7	34.5	23.6	19.7
水 温	表 層	℃	26.9	27.0	26.8	26.6
	下 層	℃	22.1	19.1	19.2	22.4

③ 秋季調査(令和7年11月5日)

秋季の水質、動物・植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果を表4-1-3に示す。

色相は、全地点が暗緑色であり、全調査地点周辺では赤潮はみられなかった。

透明度は5.2 m~6.0 mであった。

水温は、表層が18.0℃~18.7℃、下層が16.4℃~18.3℃であり、両層とも地点Aが比較的高かった。

表4-1-3 水質・動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果(秋季)

測定項目		調査地点	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
採取時刻		—	10 : 13	09 : 08	08 : 37	08 : 10
気象	天候	—	曇	曇	曇	曇
	気温	℃	14.0	13.6	13.1	13.4
	風向	—	北	北	北	北
	風速	m/s	2.9	2.9	2.5	1.9
色相	—	暗緑色	暗緑色	暗緑色	暗緑色	
透明度	m	5.2	5.6	5.7	6.0	
水深	m	19.6	34.4	22.8	22.8	
水温	表層	℃	18.7	18.0	18.1	18.2
	下層	℃	18.3	16.4	17.0	17.4

④ 冬季調査(令和8年2月4日)

冬季の水質、動物・植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果を表4-1-4に示す。

色相は、全地点で暗緑色であり、調査地点周辺では赤潮はみられなかった。

透明度は4.0 m～4.9 mであった。

水温は、表層が10.5℃～11.0℃、下層が10.6℃～11.8℃であり、両層とも地点間で大きな差はみられなかった。

表4-1-4 水質・動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚調査時における現地観測結果(冬季)

測定項目		調査地点	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
採取時刻		—	10:34	09:14	08:44	08:09
気象	天候	—	晴	晴	晴	晴
	気温	℃	6.1	5.5	5.7	5.5
	風向	—	南東	北	北	北
	風速	m/s	1.3	2.2	1.9	2.5
色相	—	暗緑色	暗緑色	暗緑色	暗緑色	
透明度	m	4.0	4.2	4.9	4.5	
水深	m	20.0	34.7	20.3	21.7	
水温	表層	℃	11.0	10.5	10.5	10.6
	下層	℃	11.1	11.8	10.6	10.8

## (2) 生活環境項目結果

生活環境項目の分析結果と環境基準を表 4-1-5-1～表 4-1-5-4 に示す。

### ① 水素イオン濃度

春季は、表層が 8.7 pH～8.9 pH の範囲で、下層は全て 8.0 pH であった。

夏季は、表層が全て 8.3 pH で、下層は 7.9 pH～8.0 pH の範囲であった。

秋季は、表層及び下層が全て 8.0 pH であった。

冬季は、表層が全て 8.2 pH、下層は 8.1 pH～8.2 pH の範囲であった。

春季の全地点の表層の値は、8.7 pH～8.9 pH と基準値(環境基準：海域 B 類型 7.8 pH 以上 8.3 pH 以下)を満足できなかったが、それ以外は基準値を満足した。

基準値を満足できなかったのは、調査当日に全調査地点周辺で赤潮の発生が確認されており、この影響によるものと考えられる。

調査結果は、本調査海域の一般的な水質状況(令和 5 年度神奈川県 公共用水域及び地下水の水質測定結果(本牧沖)上層：水素イオン濃度 8.0 pH～8.7 pH、全層：水素イオン濃度 7.9 pH～8.7 pH)と同程度であった。

### ② 化学的酸素要求量(COD<sub>Mn</sub>)

春季は、表層が 4.4 mg/L～6.7 mg/L、下層が 0.7 mg/L～1.6 mg/L の範囲であった。

夏季は、表層が 2.7 mg/L～3.6 mg/L、下層が 1.5 mg/L～2.1 mg/L の範囲であった。

秋季は、表層が 1.3 mg/L～1.6 mg/L、下層が 0.8 mg/L～1.5 mg/L の範囲であった。

冬季は、表層が 1.9 mg/L～3.3 mg/L、下層が 1.2 mg/L～1.8 mg/L の範囲であった。

春季の全地点の表層、夏季の地点 A、地点 C 及び地点 D の表層、並びに、冬季の地点 C の表層の値は、3.2 mg/L～6.7 mg/L と、基準値(環境基準：海域 B 類型 3 mg/L 以下)を満足できなかったが、それ以外は基準値を満足した。

春季に基準値を満足できなかったのは、調査当日に全調査地点周辺で赤潮の発生が確認されており、この影響によるものと考えられる。夏季に基準値を満足できなかったのは、水温が高いため植物プランクトンが増殖し有機汚濁が進行したものと推測される。また、冬季に基準値を満足できなかった原因は判明しなかった。

しかし、調査結果は、本調査海域の一般的な水質状況(令和 5 年度神奈川県 公共用水域及び地下水の水質測定結果(本牧沖)上層：COD<sub>Mn</sub> 1.3 mg/L～5.5 mg/L、平均値 3.1 mg/L 全層：COD<sub>Mn</sub> 0.9 mg/L～5.5 mg/L、平均値 2.2 mg/L)と同程度であった。

### ③ 溶存酸素量(DO)

春季は、表層が 14.6 mg/L～16.3 mg/L、下層が 5.0 mg/L～5.7 mg/L の範囲であった。

夏季は、表層が 8.4 mg/L～9.0 mg/L、下層が 3.0 mg/L～4.0 mg/L の範囲であった。

秋季は、表層が 7.2 mg/L～7.7 mg/L、下層が 5.8 mg/L～7.2 mg/L の範囲であった。

冬季は、表層が 10.3 mg/L～10.6 mg/L、下層が 9.3 mg/L～10.3 mg/L の範囲であった。

夏季の全地点の下層の値は、3.0 mg/L～4.0 mg/L と、基準値(環境基準：海域 B 類型 5 mg/L 以上)を満足できなかったが、それ以外は基準値を満足した。

横浜市環境科学研究所報 第 32 号(2008)「横浜市沿岸域における貧酸素化状況調査」に

よると、7月及び8月の本牧沖の底層は貧酸素化状態を示しているところあり、この状況が続いているためと考えられる。

調査結果は、本調査海域の一般的な水質状況(令和5年度神奈川県 公共用水域及び地下水の水質測定結果(本牧沖)上層：DO 6.3 mg/L～10 mg/L、平均値 8.8 mg/L 全層：DO 2.7 mg/L～10 mg/L、平均値 7.4 mg/L)と同程度であった。

#### ④ 大腸菌数

春季は、表層が 15 CFU/100mL～62 CFU/100mL、下層が 3 CFU/100mL～10 CFU/100mL の範囲であった。

夏季は、表層が 1 CFU/100mL 未満～2 CFU/100mL、下層が 1 CFU/100mL 未満～5 CFU/100mL であった。

秋季は、表層が 3 CFU/100mL～53 CFU/100mL、下層が 1 CFU/100mL 未満～4 CFU/100mL であった。

冬季は、表層及び下層が全て 1 CFU/100mL 未満であった。

調査結果は、本調査海域の一般的な水質状況(令和5年度神奈川県 公共用水域及び地下水の水質測定結果(本牧沖)上層：大腸菌数 1 CFU/100mL 未満～440 CFU/100mL、平均値 60 CFU/100mL)の範囲内であった。

#### ⑤ n-ヘキサン抽出物質

n-ヘキサン抽出物質は、年間を通して全地点で不検出であった。

調査結果は、基準値(環境基準：海域B類型 検出されないこと)を満足していた。

#### ⑥ 全窒素

春季は、表層が 0.73 mg/L～0.96 mg/L、下層が 0.31 mg/L～0.37 mg/L の範囲であった。

夏季は、表層が 0.30 mg/L～0.53 mg/L、下層が 0.36 mg/L～0.39 mg/L の範囲であった。

秋季は、表層が 0.56 mg/L～0.65 mg/L、下層が 0.32 mg/L～0.52 mg/L の範囲であった。

冬季は、表層が 0.53 mg/L～0.66 mg/L、下層が 0.34 mg/L～0.49 mg/L の範囲であった。

調査結果は、基準値(環境基準：海域IV類型 1 mg/L 以下)を満足していた。

#### ⑦ 全リン

春季は、表層が 0.081 mg/L～0.10 mg/L、下層が 0.038 mg/L～0.047 mg/L の範囲であった。

夏季は、表層が 0.053 mg/L～0.060 mg/L、下層が 0.069 mg/L～0.079 mg/L の範囲であった。

秋季は、表層が 0.070 mg/L～0.083 mg/L、下層が 0.048 mg/L～0.066 mg/L の範囲であった。

冬季は、表層が 0.032 mg/L～0.045 mg/L、下層が 0.027 mg/L～0.032 mg/L の範囲であった。

春季の地点 A 及び地点 D の表層の値は、0.099 mg/L 及び 0.10 mg/L と基準値(環境基準：海域IV類型 0.09 mg/L 以下)を満足できなかったが、それ以外は基準値を満足した。

基準を満足できなかったのは、調査当日に調査地点周辺で赤潮の発生が確認されており、この影響によるものと考えられる。

調査結果は、本調査海域の一般的な水質状況(令和5年度神奈川県 公共用水域及び地下水の水質測定結果(本牧沖)上層：全磷 0.034 mg/L～0.11 mg/L、平均値 0.061 mg/L)を下回っていた。

#### ⑧ 全亜鉛

春季は、表層が 0.002 mg/L～0.006 mg/L、下層が 0.002 mg/L～0.008 mg/L の範囲であった。

夏季は、表層が 0.006 mg/L～0.017 mg/L、下層が 0.002 mg/L～0.005 mg/L の範囲であった。

秋季は、表層が 0.003 mg/L～0.013 mg/L、下層が 0.002 mg/L～0.005 mg/L の範囲であった。

冬季は、表層が 0.002 mg/L～0.006 mg/L、下層が全て 0.002 mg/L であった。

調査結果は、基準値(環境基準：海域生物 A 類型 0.02 mg/L 以下)を満足していた。

#### ⑨ ノニルフェノール

ノニルフェノールは、年間を通して全地点で定量下限値未満であった。

調査結果は、基準値(環境基準：生物 A 類型 0.001 mg/L 以下)を満足していた。

#### ⑩ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

春季は、表層が 0.0001 mg/L～0.0005 mg/L の範囲で、下層は全て 0.0001 mg/L であった。

夏季は、表層が 0.0006 mg/L～0.0041 mg/L の範囲で、下層が 0.0003 mg/L～0.0033 mg/L の範囲であった。

秋季は、表層が 0.0005 mg/L～0.0014 mg/L の範囲で、下層が 0.0005 mg/L～0.0013 mg/L の範囲であった。

冬季は、表層が 0.0001 mg/L～0.0003 mg/L の範囲で、下層が 0.0001 mg/L～0.0002 mg/L の範囲であった。

調査結果は、基準値(環境基準：海域生物 A 類型 0.01 mg/L 以下)を満足していた。

#### ⑪ クロロフィル a

春季は、表層が 103.2  $\mu$ g/L～154.6  $\mu$ g/L、下層が 1.3  $\mu$ g/L～4.4  $\mu$ g/L の範囲であった。

夏季は、表層が 22.6  $\mu$ g/L～27.5  $\mu$ g/L、下層が 1.3  $\mu$ g/L～6.6  $\mu$ g/L の範囲であった。

秋季は、表層が 1.6  $\mu$ g/L～2.2  $\mu$ g/L、下層が 0.7  $\mu$ g/L～1.7  $\mu$ g/L の範囲であった。

冬季は、表層が 6.5  $\mu$ g/L～9.5  $\mu$ g/L、下層が 3.1  $\mu$ g/L～9.8  $\mu$ g/L の範囲であった。

調査結果は、本調査海域の一般的な水質状況(令和5年度神奈川県 公共用水域及び地下水の水質測定結果(本牧沖)：クロロフィル a 2  $\mu$ g/L～46  $\mu$ g/L、平均値 18  $\mu$ g/L)と同

程度であった。

⑫ 塩分

春季は、表層が 27.6～28.5、下層が 33.9～34.5 の範囲であった。

夏季は、表層が 30.6～30.9、下層が 32.0～33.9 の範囲であった。

秋季は、表層が 31.8～32.3、下層が 32.6～34.1 の範囲であった。

冬季は、表層が 32.2～33.0、下層が 33.0～33.7 の範囲であった。

年間を通して、両層とも、地点間で大きな差はみられなかった。

表 4-1-5-1(1) 水質分析結果(生活環境項目)(春季)

計 量 項 目	単位	地点 A		地点 B		環境基準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.9 (21 °C)	8.0 (21 °C)	8.9 (20°C)	8.0 (21 °C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	6.7	1.3	6.0	0.7	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	15.8	5.0	16.3	5.7	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	62	7	15	7	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.96	0.37	0.73	0.31	1 以下
全リン	mg/L	0.099	0.047	0.089	0.041	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.005	0.002	0.002	0.002	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	126.0	3.0	154.6	1.3	—
塩分 *	—	27.8	33.9	27.6	34.5	—

表 4-1-5-1(2) 水質分析結果(生活環境項目)(春季)

計 量 項 目	単位	地点 C		地点 D		環境基準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.7 (21 °C)	8.0 (21 °C)	8.8 (21 °C)	8.0 (21°C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	4.4	1.2	6.7	1.6	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	14.6	5.5	15.0	5.6	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	17	10	16	3	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.74	0.32	0.85	0.37	1 以下
全リン	mg/L	0.081	0.038	0.10	0.042	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.006	0.003	0.004	0.008	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0001	0.0001	0.0005	0.0001	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	103.2	4.4	130.3	2.8	—
塩分 *	—	28.5	33.9	28.1	34.1	—

※ \*は計量法第 107 条登録対象外項目を示す。  
 ※ 水素イオン濃度の( )は、測定時の液温を示す。  
 ※ 赤字は、基準値不適合を示す。

表 4-1-5-2(1) 水質分析結果(生活環境項目)(夏季)

計 量 項 目	単位	地点 A		地点 B		環境基準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.3 (28 °C)	8.0 (28 °C)	8.3 (28 °C)	7.9 (28 °C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	3.2	2.1	2.7	1.5	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	9.0	3.0	8.4	3.5	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	1 未満	5	1 未満	1 未満	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.30	0.36	0.32	0.37	1 以下
全リン	mg/L	0.053	0.073	0.060	0.069	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.006	0.002	0.006	0.004	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0008	0.0004	0.0006	0.0003	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	27.1	6.6	22.6	1.3	—
塩分 *	—	30.6	32.0	30.8	33.9	—

表 4-1-5-2(2) 水質分析結果(生活環境項目)(夏季)

計 量 項 目	単位	地点 C		地点 D		環境基準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.3 (27 °C)	8.0 (27 °C)	8.3 (27 °C)	8.0 (27 °C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	3.5	1.9	3.6	2.0	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	8.8	4.0	8.8	3.1	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	1 未満	1	2	2	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.53	0.37	0.46	0.39	1 以下
全リン	mg/L	0.059	0.075	0.058	0.079	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.010	0.002	0.017	0.005	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0007	0.0003	0.0041	0.0033	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	25.0	5.0	27.5	4.3	—
塩分 *	—	30.8	33.8	30.9	32.0	—

※ \*は計量法第 107 条登録対象外項目を示す。  
 ※ 水素イオン濃度の( )は、測定時の液温を示す。  
 ※ 赤字は、基準値不適合を示す。

表 4-1-5-3(1) 水質分析結果(生活環境項目)(秋季)

計 量 項 目	単位	地点 A		地点 B		環 境 基 準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.0 (21 °C)	8.0 (21 °C)	8.0 (21 °C)	8.0 (21 °C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	1.3	1.3	1.6	0.8	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	7.2	7.2	7.7	6.2	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	53	2	40	2	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.65	0.52	0.59	0.32	1 以下
全リン	mg/L	0.083	0.066	0.074	0.048	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.005	0.005	0.003	0.002	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0006	0.0005	0.0005	0.0006	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	1.6	1.7	2.2	0.7	—
塩分 *	—	31.8	32.6	32.0	34.1	—

表 4-1-5-3(2) 水質分析結果(生活環境項目)(秋季)

計 量 項 目	単位	地点 C		地点 D		環 境 基 準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.0 (21 °C)	8.0 (21 °C)	8.0 (21 °C)	8.0 (22 °C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	1.6	1.1	1.6	1.5	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	7.6	5.8	7.6	6.1	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	13	1 未満	3	4	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.56	0.47	0.61	0.51	1 以下
全リン	mg/L	0.070	0.058	0.070	0.061	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.003	0.003	0.013	0.005	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.0006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0010	0.0007	0.0014	0.0013	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	1.9	1.5	1.9	1.4	—
塩分 *	—	32.3	33.5	32.3	33.3	—

※ \*は計量法第107条登録対象外項目を示す。  
 ※ 水素イオン濃度の( )は、測定時の液温を示す。

表 4-1-5-4(1) 水質分析結果(生活環境項目)(冬季)

計 量 項 目	単位	地点 A		地点 B		環 境 基 準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.2 (21 °C)	8.2 (21 °C)	8.2 (21 °C)	8.1 (21 °C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	2.2	1.6	2.0	1.2	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	10.6	9.6	10.4	9.3	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.66	0.43	0.53	0.34	1 以下
全リン	mg/L	0.045	0.031	0.032	0.027	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.004	0.002	0.002	0.002	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0003	0.0002	0.0002	0.0001	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	6.5	4.7	9.1	3.1	—
塩分 *	—	32.2	33.3	32.8	33.7	—

表 4-1-5-4(2) 水質分析結果(生活環境項目)(冬季)

計 量 項 目	単位	地点 C		地点 D		環 境 基 準
		表層	下層	表層	下層	
水素イオン濃度	pH	8.2 (21 °C)	8.2 (21 °C)	8.2 (20 °C)	8.2 (21 °C)	7.8~8.3
化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	3.3	1.8	1.9	1.7	3 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	10.3	10.3	10.3	10.2	5 以上
大腸菌数 *	CFU/100mL	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	不検出(0.5 未満)	—	不検出(0.5 未満)	—	検出されないこと
全窒素	mg/L	0.59	0.49	0.53	0.49	1 以下
全リン	mg/L	0.039	0.031	0.038	0.032	0.09 以下
全亜鉛	mg/L	0.006	0.002	0.003	0.002	0.02 以下
ノニルフェノール	mg/L	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.00006 未満	0.001 以下
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	mg/L	0.0001	0.0002	0.0003	0.0002	0.01 以下
クロロフィル a	μg/L	6.7	9.8	9.5	7.7	—
塩分 *	—	33.0	33.1	32.9	33.0	—

※ \*は計量法第107条登録対象外項目を示す。  
 ※ 水素イオン濃度の( )は、測定時の液温を示す。  
 ※ 赤字は、基準値不適合を示す。

### (3) 健康項目結果

健康項目の分析結果を表 4-1-6-1～表 4-1-6-4 に示す。

4 地点における 28 健康項目の分析結果は、硝酸性窒素が 0.05 mg/L 未満～0.50 mg/L の範囲、亜硝酸性窒素が 0.05 mg/L 未満～0.06 mg/L の範囲、ふっ素が 1.0 mg/L～1.1 mg/L の範囲、ほう素は 4.0 mg/L～4.9 mg/L の範囲であったが、それ以外は不検出もしくは定量下限値未満であった。

調査結果は、全て基準値(環境基準、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素：10 mg/L、海域ではふっ素及びほう素の環境基準は適用されない。)を満足していた。

表 4-1-6-1 水質分析結果(健康項目)(春季)

計量項目	単位	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	環境基準
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
全シアン	mg/L	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	検出されないこと
鉛	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
六価クロム	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下
砒素	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
総水銀	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.005 以下
アルキル水銀	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
P C B	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
チウラム	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
シマジン	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
セレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
硝酸性窒素	mg/L	0.12	0.05 未満	0.08	0.05 未満	10 以下
亜硝酸性窒素	mg/L	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	
ふっ素	mg/L	1.0	1.0	1.0	1.0	—
ほう素	mg/L	4.9	4.0	4.7	4.7	—
1,4-ジチサン	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下

※ 人の健康の保護に関する項目は、表層試料で分析を実施した。

表 4-1-6-2 水質分析結果(健康項目)(夏季)

計 量 項 目	単 位	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	環 境 基 準
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
全シアン	mg/L	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	検出されないこと
鉛	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
六価クロム	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下
砒素	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
総水銀	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.005 以下
アルキル水銀	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
P C B	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
チウラム	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
シマジン	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
セレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
硝酸性窒素	mg/L	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	10 以下
亜硝酸性窒素	mg/L	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	
ふっ素	mg/L	1.0	1.0	1.1	1.1	—
ほう素	mg/L	4.6	4.6	4.8	4.8	—
1,4-ジチサン	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下

※ 人の健康の保護に関する項目は、表層試料で分析を実施した。

表 4-1-6-3 水質分析結果(健康項目)(秋季)

計量項目	単位	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	環境基準
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
全シアン	mg/L	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	検出されないこと
鉛	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
六価クロム	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下
砒素	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
総水銀	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.005 以下
アルキル水銀	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
P C B	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
チウラム	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
シマジン	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
セレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
硝酸性窒素	mg/L	0.43	0.39	0.36	0.35	10 以下
亜硝酸性窒素	mg/L	0.06	0.06	0.06	0.06	
ふっ素	mg/L	1.0	1.0	1.1	1.0	—
ほう素	mg/L	4.5	4.7	4.4	4.7	—
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下

※ 人の健康の保護に関する項目は、表層試料で分析を実施した。

表 4-1-6-4 水質分析結果(健康項目)(冬季)

計量項目	単位	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	環境基準
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
全シアン	mg/L	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	検出されないこと
鉛	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
六価クロム	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下
砒素	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
総水銀	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.005 以下
アルキル水銀	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
P C B	mg/L	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0004 未満	0.004 以下
1,1-ジクロロエレン	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエレン	mg/L	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
トリクロロエレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
テトラクロロエレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
チウラム	mg/L	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
シマジン	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
セレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
硝酸性窒素	mg/L	0.50	0.37	0.32	0.33	10 以下
亜硝酸性窒素	mg/L	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	
ふっ素	mg/L	1.0	1.0	1.1	1.1	—
ほう素	mg/L	4.2	4.3	4.2	4.3	—
1,4-ジチオソルホン	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下

※ 人の健康の保護に関する項目は、表層試料で分析を実施した。

#### (4) 水質調査結果のまとめ

本牧ふ頭沖の地点 A、地点 B、地点 C 及び地点 D で、水素イオン濃度、化学的酸素要求量などの生活環境項目 12 項目、カドミウム、全シアン等の健康項目 28 項目を、4 季にわたって調査した。

調査海域の「水質汚濁に係る環境基準の水質類型」については、水素イオン濃度、化学的酸素要求量(COD<sub>Mn</sub>)、溶存酸素量(DO)及び n-ヘキサン抽出物質(油分等)は「海域 B 類型」、全窒素及び全リンは「海域Ⅳ類型」、全亜鉛、ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)は「海域生物 A 類型」に指定されており、それぞれの類型ごとに生活環境項目の環境基準が定められている。

健康項目は、海域に関係なく一律に環境基準が定められている。海域では、ふっ素及びほう素は適用されない。

生活環境項目については、水素イオン濃度は、春季の全地点の表層の値が、基準値を満足できなかった。

化学的酸素要求量(COD<sub>Mn</sub>)は、春季の全地点の表層、夏季の地点 A、地点 C、地点 D 及び冬季の地点 C の表層の値が、基準値を満足できなかった。

溶存酸素量(DO)は、夏季の全地点の下層の値が、基準値を満足できなかった。

また、全リンは、春季の地点 A 及び地点 D の表層の値が基準値を満足できなかった。

これら以外の調査結果は、基準値を満足していた。

水素イオン濃度及び化学的酸素要求量(COD<sub>Mn</sub>)が基準値を満足できなかったのは、赤潮の発生によるものと考えられる。

全リンが基準値を満足できなかったのは、赤潮の発生及び夏季に水温が高いため、植物プランクトンが増殖し有機汚濁が進行したためと考えられる。

溶存酸素量(DO)が基準値を満足できなかったのは、横浜市環境科学研究所報 第 32 号(2008)「横浜市沿岸域における貧酸素化状況調査」によると、7 月及び 8 月の本牧沖の底層は貧酸素化状態を示しているとあり、これらの状況が続いているためと考えられる。

健康項目については、28 項目のうち、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、ふっ素及びほう素が検出されたが、それ以外の 25 項目は、不検出もしくは定量下限値未満であった。

調査結果は、全て基準値(環境基準、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素：10 mg/L、ふっ素及びほう素は、海域での環境基準は適用されない。)を満足していた。

## 2-4-2 底質調査結果(環境現況調査)

### (1) 現地観測結果

#### ① 春季調査

底質及び底生生物の調査時における現地観測結果を表 4-2-1 に示す。

泥質は、全てが砂混じりシルトであった。

泥色は、全てが暗オリーブ色であった。

泥温は、15.1℃～15.8℃であった。

泥臭は、地点 A が無臭、地点 B 及び地点 C が硫化水素臭で、地点 D が微硫化水素臭であった。

混入物は、地点 A で貝殻がみられたが、その他の地点では見られなかった。

表 4-2-1 底質現地観測結果(春季)

測定項目		調査地点		地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
採取時刻		—		11 : 14	11 : 36	12 : 00	12 : 16
気象	天候	—		晴	晴	晴	晴
	気温	℃		21.3	21.5	22.3	22.4
	風向	—		南東	南東	南東	南東
	風速	m/s		0.6	0.9	1.2	1.4
水深	m			20.3	34.5	22.7	22.8
泥質	—			砂混じりシルト	砂混じりシルト	砂混じりシルト	砂混じりシルト
泥色	—			暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色
泥温	℃			15.8	15.1	15.4	15.4
泥臭	—			無臭	硫化水素臭	硫化水素臭	微硫化水素臭
混入物	—			貝殻	なし	なし	なし

② 夏季調査

底質及び底生生物の調査時における現地観測結果を表 4-2-2 に示す。

泥質は、全地点が砂混じりシルトであった。

泥色は、全てが暗オリーブ色であった。

泥温は、23.0 °C~23.5 °Cであった。

泥臭は、地点 A、地点 C 及び地点 D が無臭で、地点 B が微硫化水素臭であった。

混入物は、全地点でみられなかった。

表 4-2-2 底質現地観測結果(夏季)

測定項目		調査地点		地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
採 取 時 刻		—		12 : 00	12 : 28	12 : 45	13 : 00
気 象	天 候	—		晴	晴	晴	晴
	気 温	°C		30.0	32.3	34.6	34.3
	風 向	—		南	南	南	南
	風 速	m/s		3.2	2.5	2.6	3.3
水 深	m		20.0	34.5	23.9	24.0	
泥 質	—		砂混じりシルト	砂混じりシルト	砂混じりシルト	砂混じりシルト	
泥 色	—		暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色	
泥 温	°C		23.2	23.0	23.5	23.2	
泥 臭	—		無臭	微硫化水素臭	無臭	無臭	
混 入 物	—		なし	なし	なし	なし	

③ 秋季調査

底質及び底生生物の調査時における現地観測結果を表 4-2-3 に示す。

泥質は、全てが砂混じりシルトであった。

泥色は、全てが暗オリーブ色であった。

泥温は、17.6 °C~18.0 °Cであった。

泥臭は、地点 A が無臭で、地点 B が硫化水素臭で、地点 C 及び地点 D が微硫化水素臭であった。

混入物は、全地点でみられなかった。

表 4-2-3 底質現地観測結果(秋季)

測定項目		調査地点		地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
採 取 時 刻		—		10 : 45	11 : 05	11 : 20	11 : 40
気 象	天 候	—		曇	曇	曇	曇
	気 温	°C		14.0	14.3	14.3	14.2
	風 向	—		北	北	北	北
	風 速	m/s		2.5	2.2	1.8	2.0
水 深		m		19.6	34.4	22.8	22.8
泥 質		—		砂混じりシルト	砂混じりシルト	砂混じりシルト	砂混じりシルト
泥 色		—		暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色
泥 温		°C		18.0	17.8	17.9	17.6
泥 臭		—		無臭	硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭
混 入 物		—		なし	なし	なし	なし

④ 冬季調査

底質、底生物及び魚類調査時における現地観測結果を表 4-2-4 に示す。

泥質は、地点 A 及び地点 D が砂混じりシルトで、地点 B 及び地点 C がシルトであった。

泥色は、全てが暗オリーブ色であった。

泥温は、9.7 °C～11.2 °Cであった。

泥臭は、地点 A、地点 C 及び地点 D が無臭で、地点 B が硫化水素臭であった。

混入物は、全地点でみられなかった。

表 4-2-4 底質現地観測結果(冬季)

測定項目		調査地点		地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
採 取 時 刻		—		11 : 06	11 : 30	11 : 46	12 : 06
気 象	天 候	—		晴	晴	晴	晴
	気 温	°C		7.1	7.5	7.6	7.6
	風 向	—		東	南東	東	東
	風 速	m/s		1.6	2.3	3.1	1.8
水 深	m		20.0	34.7	20.3	21.7	
泥 質	—		砂混じりシルト	シルト	シルト	砂混じりシルト	
泥 色	—		暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色	暗オリーブ色	
泥 温	°C		9.7	11.2	10.7	10.8	
泥 臭	—		無臭	硫化水素臭	無臭	無臭	
混 入 物	—		なし	なし	なし	なし	

(2) 底質一般項目結果

一般項目分析結果及び粒度組成の結果を表 4-2-5-1～表 4-2-5-4、図 4-2-1～図 4-2-4 に示す。

① 含水率

春季は、55.0 %～61.5 %の範囲であった。

夏季は、53.8 %～64.2 %の範囲であった。

秋季は、59.3 %～70.2 %の範囲であった。

冬季は、50.6 %～58.5 %の範囲であった。

② 強熱減量

春季は、8.7 %～11.8 %の範囲であった。

夏季は、8.7 %～11.3 %の範囲であった。

秋季は、7.1 %～12.5 %の範囲であった。

冬季は、6.6 %～9.0 %の範囲であった。

③ 全硫化物

春季は、0.17 mg/g～0.71 mg/g の範囲であった。

夏季は、0.44 mg/g～0.87 mg/g の範囲であった。

秋季は、0.37 mg/g～1.0 mg/g の範囲であった。

冬季は、0.36 mg/g～1.0 mg/g の範囲であった。

春季の地点 A 以外は基準値(水産用水基準：0.2 mg/g 以下)を満足できなかった。

④ 過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(COD<sub>sed</sub>)

春季は、20.0 mg/g～23.7 mg/g の範囲であった。

夏季は、12.9 mg/g～21.4 mg/g の範囲であった。

秋季は、20.5 mg/g～29.0 mg/g の範囲であった。

冬季は、8.6 mg/g～15.1 mg/g の範囲であった。

春季の地点 B 及び地点 C、夏季の地点 B 及び秋季の全地点は、基準値(水産用水基準：20 mg/g 以下)を満足できなかったが、それ以外は基準値を満足していた。

⑤ 全窒素

春季は、2.96 mg/g～3.58 mg/g の範囲であった。

夏季は、3.29 mg/g～4.35 mg/g の範囲であった。

秋季は、2.65 mg/g～4.84 mg/g の範囲であった。

冬季は、2.12 mg/g～3.40 mg/g の範囲であった。

⑥ 全リン

春季は、0.71 mg/g～0.84 mg/g の範囲であった。

夏季は、0.74 mg/g～0.92 mg/g の範囲であった。

秋季は、0.75 mg/g～0.98 mg/g の範囲であった。

冬季は、0.51 mg/g～0.63 mg/g の範囲であった。

⑦ 粒度組成

春季は、各調査地点の平均粒度分布は、地点Aは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分23.2%、シルト分58.4%及び粘土分18.4%であり、砂分及び粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Bは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分5.2%、シルト分65.5%及び粘土分29.3%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Cは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分7.1%、シルト分61.0%及び粘土分31.9%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Dは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分11.2%、シルト分65.6%及び粘土分23.2%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。

夏季は、各調査地点の平均粒度分布は、地点Aは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分7.7%、シルト分63.8%及び粘土分28.5%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Bは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分3.4%、シルト分68.8%及び粘土分27.8%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Cは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分3.5%、シルト分66.4%及び粘土分30.1%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Dは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分18.7%、シルト分60.8%及び粘土分20.5%であり、砂分及び粘土分も多いが、シルト分が主であった。

秋季は、各調査地点の平均粒度分布は、地点Aは、石分0.0%、礫分0.1%、砂分16.8%、シルト分47.5%及び粘土分35.6%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Bは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分2.5%、シルト分52.4%及び粘土分45.1%であり、シルト分及び粘土分が主であった。地点Cは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分13.7%、シルト分53.6%及び粘土分32.7%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Dは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分29.9%、シルト分49.4%及び粘土分20.7%であり、砂分及び粘土分も多いが、シルト分が主であった。

冬季は、各調査地点の平均粒度分布は、地点Aは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分14.4%、シルト分50.7%及び粘土分34.9%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Bは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分4.8%、シルト分47.4%及び粘土分47.8%であり、シルト分及び粘土分が主であった。地点Cは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分8.2%、シルト分52.0%及び粘土分39.8%であり、粘土分も多いが、シルト分が主であった。地点Dは、石分0.0%、礫分0.0%、砂分28.6%、シルト分42.8%及び粘土分28.6%であり、砂分及び粘土分も多いが、シルト分が主であった。

⑧ 最大粒径

春季は、地点 A は 2 mm で、地点 B、地点 C 及び地点 D は 0.85 mm であった。

夏季は、地点 A は 2 mm で、地点 B 及び地点 D は 0.85 mm で、地点 C は 0.425 mm であった。

秋季は、地点 A は 4.75 mm で、地点 B は 0.85 mm で、地点 C 及び地点 D は 2 mm であった。

冬季は、地点 A 及び地点 C は 2 mm で、地点 B 及び地点 D は 0.85 mm であった。

⑨ 土粒子の密度

春季は、地点 A が  $2.551 \text{ g/cm}^3$ 、地点 B が  $2.520 \text{ g/cm}^3$ 、地点 C が  $2.525 \text{ g/cm}^3$  及び地点 D が  $2.545 \text{ g/cm}^3$  であった。

夏季は、地点 A が  $2.582 \text{ g/cm}^3$ 、地点 B が  $2.533 \text{ g/cm}^3$ 、地点 C が  $2.537 \text{ g/cm}^3$  及び地点 D が  $2.552 \text{ g/cm}^3$  であった。

秋季は、地点 A が  $2.536 \text{ g/cm}^3$ 、地点 B が  $2.520 \text{ g/cm}^3$ 、地点 C が  $2.555 \text{ g/cm}^3$  及び地点 D が  $2.593 \text{ g/cm}^3$  であった。

冬季は、地点 A が  $2.578 \text{ g/cm}^3$ 、地点 B が  $2.546 \text{ g/cm}^3$ 、地点 C が  $2.572 \text{ g/cm}^3$  及び地点 D が  $2.607 \text{ g/cm}^3$  であった。

年間を通して、 $2.520 \text{ g/cm}^3 \sim 2.607 \text{ g/cm}^3$  と、各地点間に大きな差はみられなかった。

表 4-2-5-1(1) 底質分析結果(春季)

計 量 項 目	単 位	地点A	地点B	地点C	地点D	基準値
含水率 *	%	61.0	60.0	55.0	61.5	—
強熱減量 *	%	8.8	9.9	11.8	8.7	—
全硫化物	mg/g	0.17	0.71	0.45	0.41	0.2 以下
過マンガン酸カリウムによる 酸素消費量(CODsed)	mg/g	20.0	21.7	23.7	20.0	20 以下
全窒素	mg/g	3.28	3.17	2.96	3.58	—
全リン	mg/g	0.84	0.71	0.76	0.82	—

※ \*は、計量法第107条登録対象外項目を示す。  
 ※ 赤字は、基準値不適合を示す。

表 4-2-5-1(2) 粒度組成一覧(春季)

粒度組成				地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
粒 度	石分	(75 mm以上)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
	礫分	(2~75 mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
	砂分	(0.075~2 mm)	%	23.2	5.2	7.1	11.2
	シルト分	(0.005~0.075 mm)	%	58.4	65.5	61.0	65.6
	粘土分	(0.005 mm未満)	%	18.4	29.3	31.9	23.2
	最大粒径		mm	2.00	0.85	0.85	0.85
	土粒子の密度		g/cm <sup>3</sup>	2.551	2.520	2.525	2.545

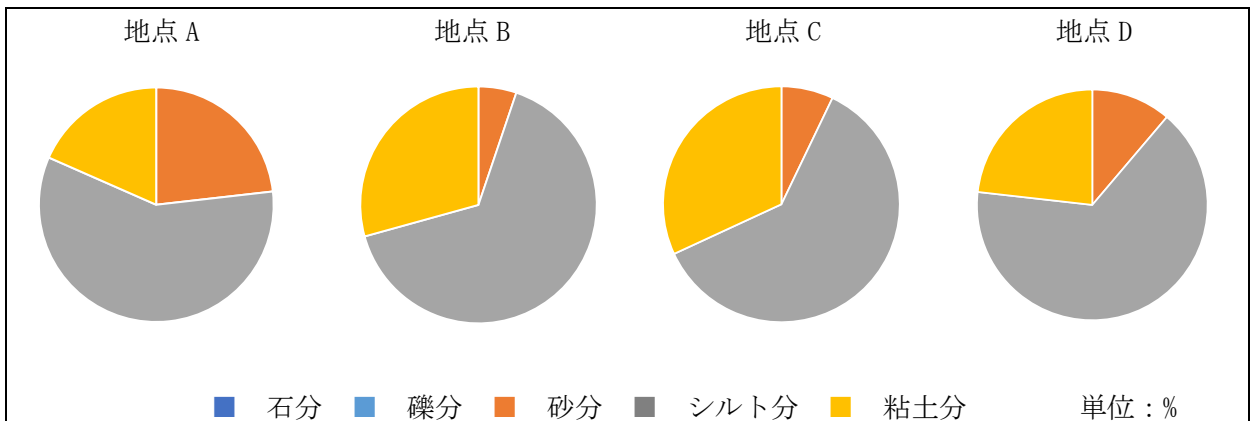


図 4-2-1 粒度組成の比率(春季)

表 4-2-5-2(1) 底質分析結果(夏季)

計 量 項 目	単 位	地点A	地点B	地点C	地点D	基準値
含水率 *	%	53.8	64.2	57.1	59.1	—
強熱減量 *	%	8.7	11.3	9.2	10.2	—
全硫化物	mg/g	0.44	0.80	0.87	0.66	0.2 以下
過マンガン酸カリウムによる 酸素消費量(CODsed)	mg/g	12.9	21.4	17.3	15.0	20 以下
全窒素	mg/g	3.29	4.35	3.66	3.78	—
全リン	mg/g	0.74	0.92	0.75	0.82	—

※ \*は、計量法第107条登録対象外項目を示す。

※ 赤字は、基準値不適合を示す。

表 4-2-5-2(2) 粒度組成一覧(夏季)

粒度組成				地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
粒 度	石分	(75 mm以上)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
	礫分	(2~75 mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
	砂分	(0.075~2 mm)	%	7.7	3.4	3.5	18.7
	シルト分	(0.005~0.075 mm)	%	63.8	68.8	66.4	60.8
	粘土分	(0.005 mm未満)	%	28.5	27.8	30.1	20.5
	最大粒径		mm	2.00	0.85	0.425	0.85
	土粒子の密度		g/cm <sup>3</sup>	2.582	2.533	2.537	2.552

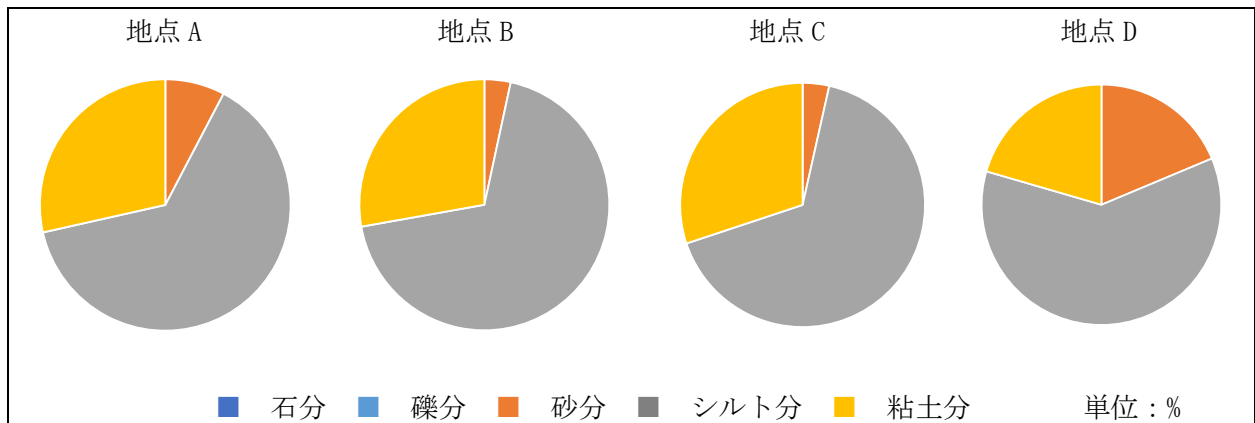


図 4-2-2 粒度組成の比率(夏季)

表 4-2-5-3(1) 底質分析結果(秋季)

計 量 項 目	単 位	地点A	地点B	地点C	地点D	基準値
含水率 *	%	62.2	70.2	68.6	59.3	—
強熱減量 *	%	8.1	12.5	12.0	7.1	—
全硫化物	mg/g	0.44	1.0	0.92	0.37	0.2 以下
過マンガン酸カリウムによる 酸素消費量(CODsed)	mg/g	20.6	29.0	28.6	20.5	20 以下
全窒素	mg/g	3.58	4.84	4.79	2.65	—
全リン	mg/g	0.80	0.98	0.82	0.75	—

※ \*は、計量法第107条登録対象外項目を示す。  
 ※ 赤字は、基準値不適合を示す。

表 4-2-5-3(2) 粒度組成一覽(秋季)

粒度組成				地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
粒 度	石分	(75 mm以上)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
	礫分	(2~75 mm)	%	0.1	0.0	0.0	0.0
	砂分	(0.075~2 mm)	%	16.8	2.5	13.7	29.9
	シルト分	(0.005~0.075 mm)	%	47.5	52.4	53.6	49.4
	粘土分	(0.005 mm未満)	%	35.6	45.1	32.7	20.7
	最大粒径		mm	4.75	0.85	2.00	2.00
	土粒子の密度		g/cm <sup>3</sup>	2.536	2.520	2.555	2.593

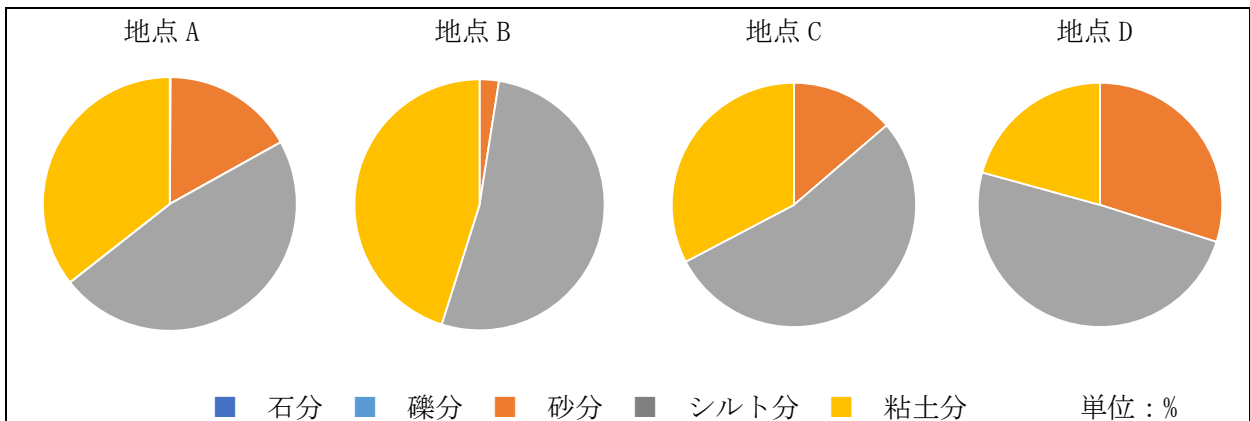


図 4-2-3 粒度組成の比率(秋季)

表 4-2-5-4(1) 底質分析結果(冬季)

計 量 項 目	単 位	地点A	地点B	地点C	地点D	基準値
含水率 *	%	51.2	58.5	52.2	50.6	—
強熱減量 *	%	8.0	9.0	8.0	6.6	—
全硫化物	mg/g	0.58	1.0	0.59	0.36	0.2 以下
過マンガン酸カリウムによる 酸素消費量(CODsed)	mg/g	8.8	15.1	12.4	8.6	20 以下
全窒素	mg/g	2.61	3.40	2.82	2.12	—
全リン	mg/g	0.61	0.61	0.63	0.51	—

※ \*は、計量法第107条登録対象外項目を示す。  
 ※ 赤字は、基準値不適合を示す。

表 4-2-5-4(2) 粒度組成一覽(冬季)

粒度組成			地点 A	地点 B	地点 C	地点 D
石分	(75 mm以上)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
礫分	(2~75 mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
砂分	(0.075~2 mm)	%	14.4	4.8	8.2	28.6
シルト分	(0.005~0.075 mm)	%	50.7	47.4	52.0	42.8
粘土分	(0.005 mm未満)	%	34.9	47.8	39.8	28.6
最大粒径		mm	2.00	0.85	2.00	0.85
土粒子の密度		g/cm <sup>3</sup>	2.578	2.546	2.572	2.607

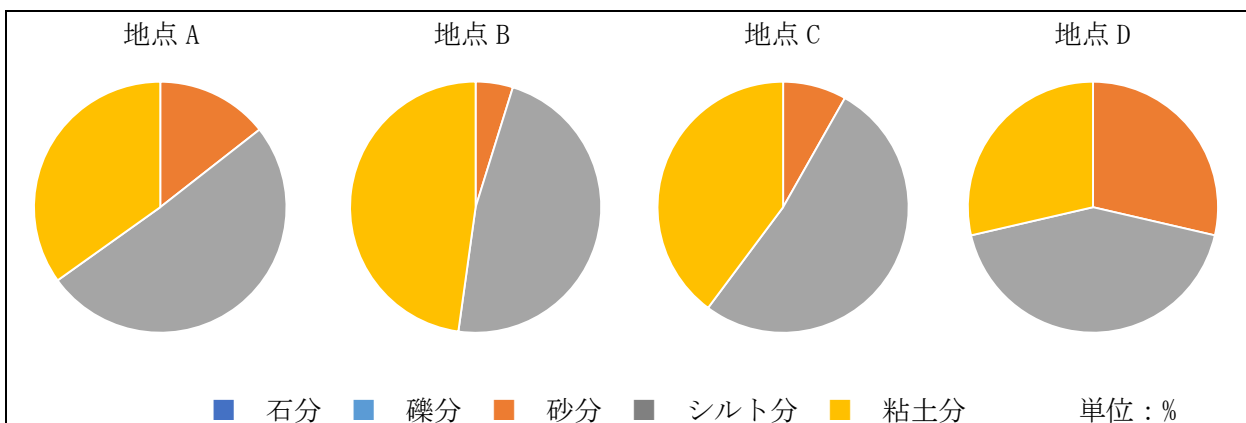


図 4-2-4 粒度組成の比率(冬季)

### (3) 底質調査結果のまとめ

本牧ふ頭沖の地点 A、地点 B、地点 C 及び地点 D で、全硫化物、過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(COD<sub>sed</sub>)など 6 項目及び粒度組成を、4 季にわたって調査した。

底質については、調査項目には環境基本法でいう環境基準が設定されていない。

「水産用水基準」では、調査項目中の全硫化物は 0.2 mg/g 以下、過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(COD<sub>sed</sub>)は 20 mg/g 以下という基準値が設定されている。

#### ① 全硫化物

底質中の全硫化物は、0.17 mg/g～1.0 mg/g であった。春季の地点 A 以外は水産用水基準を満足できなかった。

#### ② 過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(COD<sub>sed</sub>)

底質中の過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(COD<sub>sed</sub>)は、8.6 mg/g～29.0 mg/g の範囲であった。春季、秋季の全地点及び夏季の地点 B は、基準値(水産用水基準：20 mg/g 以下)を満足できなかったが、それ以外は基準値を満足していた。

#### ③ 粒度組成

粒度組成は、春季の砂分の割合は、地点 A 及び地点 D が 23.2 %及び 11.2 %であったが、その他の地点は、5.2 %及び 7.1 %であった。

夏季の砂分の割合は、地点 A 及び地点 D は 7.7 %及び 18.7 %であったが、その他の地点は、3.4 %及び 3.5 %であった。

秋季の砂分の割合は、地点 A 及び地点 D が 16.8 %及び 29.9 %であったが、その他の地点は、2.5 %及び 13.7 %であった。

冬季の砂分の割合は、地点 A 及び地点 D が 14.4 %及び 28.6 %であったが、その他の地点は、4.8 %及び 8.2 %であった。

地点 A 及び地点 D は、砂分の割合が、年間を通して、他の地点と比較して高かった。

2-4-3 海生生物調査結果(環境現況調査)

(1) 底生生物調査結果

現地観測結果については、前項の表 4-2-1～表 4-2-4 に示した。

① 底生生物出現種

底生生物出現種一覧を表 4-3-1 に示す。

表 4-3-1 底生生物出現種一覧

番号	門	綱	目	科	種名	地点	春季	夏季	秋季	冬季	重要種	
											環境省	神奈川県
1	刺胞動物	花虫	海綿	ヤナギウミエウ	Virgulariidae	ヤナギウミエウ科	○	○	○			
2			磯巾着	ムシトネギンチャク	Edwardsiidae	ムシトネギンチャク科				○		
3			花巾着	ハナネギンチャク	Cerianthus sp.	Cerianthus属	○					
4	紐形動物	-	-	-	Nemertinea	紐形動物門		○		○		
5	軟体動物	腹足	新腹足	フトコガイ	Mitrella vabei	ミスシラケガイ				○		
6			異旋	トウガクガイ	Orinella pulchella	ウチケガイ		○				
7			頭楯	キセウカガイ	Philine argentata	キセウカガイ		○				
8				マダラシマガイ	Ringicula doliaris	マダラシマガイ				○		
9		二枚貝		ハカガイ	Raeta pulchellus	チヨハカガイ		○				
10				ニヨウカガイ	Macoma tokvoensis	コイナギ			○			
11				アサギガイ	Theora fragilis	アサギガイ		○	○	○	○	
12	環形動物	ゴカイ	サシバゴカイ	サシバゴカイ	Phyllodoce sp.	Phyllodoce属					○	
13					Eumida sp.	Eumida属				○	○	
14				オトビゴカイ	Ophiodromus angustifrons	オトビゴカイ				○	○	
15					Podarkeopsis brevipalpa	オトビゴカイ		○		○	○	
16				サキゴカイ	Sigambra hanaokai	サキゴカイ		○	○	○	○	
17				ゴカイ	Nectoneanthes latipoda	ウチケゴカイ		○	○	○	○	
18				チロリ	Glycera alba	アハチロリ		○	○	○	○	
19					Glycera nicobarica	チロリ		○	○	○	○	
20					Glycera sp.	Glycera属		○	○	○	○	
21				ニカイチロリ	Glycinde sp.	Glycinde属		○	○	○	○	
22				シロガゴカイ	Nephtys oligobranchia	コノシロガゴカイ		○	○	○	○	
23				イソム	Scoletoma longifolia	イソム		○	○	○	○	
24			スビオ		Paraprionospio coora	スビオ		○	○	○	○	
25					Paraprionospio patiens	スビオ		○	○	○	○	
26					Prionospio aucklandica	スビオ		○	○	○	○	
27					Prionospio pulchra	スビオ		○	○	○	○	
28					Prionospio membranacea	スビオ		○	○	○	○	
29					Scolecopsis sp.	Scolecopsis属				○		
30				スズヒキゴカイ	Chaetozone sp.	Chaetozone属		○				
31			イトゴカイ	イトゴカイ	Notomastus sp.	Notomastus属		○	○	○	○	
32					Mediomastus sp.	Mediomastus属					○	
33			ケヤリ	ケヤリ	Chone sp.	Chone属					○	
34					Euchone sp.	Euchone属					○	
35	節足動物	軟甲	口脚	シヤコ	Oratosquilla oratoria	シヤコ				○		
36			クマ	ホナギクマ	Iphinoe sagamiensis	ホナギクマ					○	
37			端脚	スガムヨコエビ	Ampelisca brevicornis	スガムヨコエビ		○			○	
38				メリタヨコエビ	Melita sp.	メリタヨコエビ属					○	
39				ウチバシヨコエビ	Synchelidium sp.	ウチバシヨコエビ属					○	
40			十脚	エビシヤコ	Cragcon sp.	エビシヤコ属		○				
41				アサギヤコ	Upogebia maior	アサギヤコ						
42				エソウカゴ	Carcinoplax vestita	エソウカゴ		○				
43					Goneplacidae	エソウカゴ科					○	
種類数							23	12	21	28	0	0
合計(種類数)							43				0	0

重要種のカテゴリーは以下の通りである。

1. 環境省レッドリスト2020：環境省(2020)

- ・絶滅危惧ⅠA類(CR+EN)：絶滅の危機に瀕している種
- ・絶滅危惧ⅠA類(CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- ・絶滅危惧ⅠB類(EN)：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・絶滅危惧Ⅱ類(VU)：絶滅の危険が増大している種
- ・準絶滅危惧(NT)：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ・情報不足(DD)：評価するだけの情報が不足している種
- ・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い種

2. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書：神奈川県立生命の星・地球博物館(2006)

- ・絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種
- ・絶滅危惧ⅠA類：ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- ・絶滅危惧ⅠB類：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種
- ・準絶滅危惧：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ・減少種：かつては県内に広く分布していたと考えられる種のうち、生息地あるいは生息個体数が著しく減少している種
- ・希少種：生息地が狭域であるなど生息環境が脆弱な種のうち、現在は個体数をとくに減少させていないが、生息地での環境悪化によっては絶滅が危惧される種
- ・要注意種：前回、減少種あるいは希少種と判定され、かつては広く分布していたのに、生息地または生息個体数が明らかに減少傾向になる種
- ・注目種：生息環境が特殊なものうち、県内における衰退が目立たないが、環境悪化が生じた際には絶滅が危惧される種
- ・情報不足：評価するだけの情報が不足している種
- ・不明種：過去に不確実な記録だけが残されている種
- ・絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い個体群

## ② 定量採集結果

### ア 春季調査

春季調査の定量採集結果を表 4-3-2 に示す。また、優占種の写真を、写-1 に示す。

春季調査において出現した底生生物は、4 地点全体で 23 種類、285 個体/0.15m<sup>2</sup>、102.18 g/0.15m<sup>2</sup> が出現し、このうち種類数および個体数はゴカイ綱が最も多かった。

地点別にみると、種類数は 7~19 種類の範囲にあり、地点 D で多く、地点 B で少なかった。

個体数および湿重量はそれぞれ 16~103 個体/0.15m<sup>2</sup>、3.52~82.22 g/0.15m<sup>2</sup> の範囲であった。個体数は地点 D で多く、地点 B で少なかった。湿重量は地点 A で多く、地点 B で少なかった。

主な出現種は、ゴカイ綱のシノブハネエラスピオであった。

### イ 夏季調査

夏季調査の定量採集結果を表 4-3-3 に示す。また、優占種の写真を、写-2 に示す。

夏季調査において出現した底生生物は、4 地点全体で 12 種類、92 個体/0.15m<sup>2</sup>、4.87 g/0.15m<sup>2</sup> が出現し、このうち種類数および個体数はゴカイ綱が最も多かった。

地点別にみると、種類数は 0~9 種類の範囲にあり、地点 A で多く、地点 C で出現しなかった。

個体数および湿重量はそれぞれ 0~77 個体/0.15m<sup>2</sup>、0~4.76 g/0.15m<sup>2</sup> の範囲であった。個体数及び湿重量は地点 A で最も多く、地点 C で出現しなかった。

主な出現種は、ゴカイ綱のシノブハネエラスピオであった。

### ウ 秋季調査

秋季調査の定量採集結果を表 4-3-4 に示す。また、優占種の写真を、写-3 に示す。

秋季調査において出現した底生生物は、4 地点全体で 21 種類、3,947 個体/0.15m<sup>2</sup>、31.35 g/0.15m<sup>2</sup> が出現し、このうち種類数および個体数はゴカイ綱が最も多かった。

地点別にみると、種類数は 9~13 種類の範囲にあり、地点 A で多く、地点 C で少なかった。

個体数および湿重量はそれぞれ 55~1,434 個体/0.15m<sup>2</sup>、1.59~10.37 g/0.15m<sup>2</sup> の範囲であった。個体数は地点 D で最も多く、地点 B で最も少なかった。湿重量は地点 A で最も多く、地点 B で最も少なかった。

主な出現種は、ゴカイ綱のシノブハネエラスピオであった。

#### エ 冬季調査

冬季調査の定量採集結果を表 4-3-5 に示す。また、優占種の写真を、写-4 に示す。

冬季調査において出現した底生生物は、4 地点全体で 28 種類、1,096 個体/0.15m<sup>2</sup>、25.78 g/0.15m<sup>2</sup> が出現し、このうち種類数及び個体数はカイ綱が最も多かった。

地点別にみると、種類数は 8~21 種類の範囲にあり、地点 D で多く、地点 B で少なかった。

個体数および湿重量はそれぞれ 13~389 個体/0.15m<sup>2</sup>、0.72~9.08 g/0.15m<sup>2</sup> の範囲であった。個体数及び湿重量は地点 D で最も多く、地点 B で最も少なかった。

主な出現種は、ゴカイ綱のシノブハネエラスピオであった。

#### オ 季別調査比較

底生生物は 4 季を通して合計 43 種類が出現した。

季別にみると、合計種類数は 12~28 種類の範囲にあり、冬季で最も多かった。

季別の合計個体数及び合計湿重量は、それぞれ 92~3,947 個体/0.15m<sup>2</sup>、4.87~102.18 g/0.15m<sup>2</sup> の範囲にあり、合計個体数は秋季で多く、夏季に少なく、合計湿重量は春季で多く、夏季に少なかった。

主な出現種はゴカイ綱のシノブハネエラスピオで、全ての調査季において優占していた。

表 4-3-2 底生生物の定量採集結果(春季)

調査方法：スミスマッケンタイ型採泥器(小型、3回採泥)  
単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		14	7	12	19	23
個体数(個体/0.15m <sup>2</sup> )		64	16	102	103	285
湿重量(g/0.15m <sup>2</sup> )		82.22	3.52	9.24	7.20	102.18
主な出現種	【コカイ網】	シノブハネエラスピオ (60.9)	コノハシロカネコカイ (25.0)	シノブハネエラスピオ (77.5)	シノブハネエラスピオ (53.4)	シノブハネエラスピオ (61.8)
			スヘスヘハネエラスピオ (25.0)		ハナオカカキコカイ (11.7)	
			シノブハネエラスピオ (18.8)			
			オウキコカイ (12.5)			

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。

主な出現種



写-1 シノブハネエラスピオ

表 4-3-3 底生生物の定量採集結果(夏季)

調査方法：スミスマッケンタイ型採泥器(小型、3回採泥)  
単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		9	1	0	6	12
個体数(個体/0.15m <sup>2</sup> )		77	5	0	10	92
湿重量(g/0.15m <sup>2</sup> )		4.76	0.02	0	0.09	4.87
主な出現種	【花虫網】				ヤナキウミエラ科 (10.0)	
	【紐形動物門】				紐形動物門 (10.0)	
	【二枚貝網】		シスクカイ (100.0)			
	【コカイ網】	シノブハネエラスピオ (72.7)			シノブハネエラスピオ (40.0)	シノブハネエラスピオ (65.2)
				コノハシロカネコカイ (20.0)		
				ハナオカカキコカイ (10.0)		
				スヘスヘハネエラスピオ (10.0)		

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。

主な出現種



写-2 シノブハネエラスピオ

表 4-3-4 底生生物の定量採集結果(秋季)

調査方法：スミスマッキントッシュ型採泥器(小型、3回採泥)  
単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

地点		A	B	C	D	合計
項目						
種類数		13	12	9	11	21
個体数(個体/0.15m <sup>2</sup> )		1,110	55	1,348	1,434	3,947
湿重量(g/0.15m <sup>2</sup> )		10.37	1.59	9.95	9.44	31.35
主な出現種	【二枚貝綱】		シズクガイ (50.9)			
	【コカイ綱】	シノブハネエラスピオ (95.1)	スヘスヘハネエラスピオ (16.4)	シノブハネエラスピオ (87.8)	シノブハネエラスピオ (93.7)	シノブハネエラスピオ (90.9)

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。

主な出現種



写-3 シノブハネエラスピオ

表 4-3-5 底生生物の定量採集結果(冬季)

調査方法：スミスマッキントッシュ型採泥器(小型、3回採泥)  
単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

地点		A	B	C	D	合計
項目						
種類数		12	8	19	21	28
個体数(個体/0.15m <sup>2</sup> )		344	13	350	389	1,096
湿重量(g/0.15m <sup>2</sup> )		7.58	0.72	8.40	9.08	25.78
主な出現種	【コカイ綱】	シノブハネエラスピオ (86.0)	Euchone属 (23.1) オウキコカイ (15.4) スヘスヘハネエラスピオ (15.4)	シノブハネエラスピオ (74.0) イトエラスピオ (11.1)	シノブハネエラスピオ (82.3)	シノブハネエラスピオ (79.8)
	【二枚貝綱】		シズクガイ (15.4)			

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。



写-4 シノブハネエラスピオ

【参考】 【底生生物調査結果】

底生生物春季調査結果(定量採集)

調査期日：令和7年5月14日  
 調査方法：スミスソンプ付型採泥器(小型、3回採泥)  
 単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点				合計			
						A	B	C	D	個体数	湿重量		
1	刺胞動物	花虫	海綿	ウツクシ科	Virgulariidae	ウツクシ科	1	0.07			1	0.07	
2			花出着	ウツクシ科	Ceriantbus sp.	Ceriantbus属	1	80.28			1	80.28	
3	軟体動物	腹足	巻旋	ウツクシ科	Orinella pulchella	ウツクシ科	1	0.05			1	0.05	
4			頭楯	ウツクシ科	Philine argentata	ウツクシ科			1	0.01	1	0.01	
5		二枚貝	マウスガレイ	ウツクシ科	Raeta pulchellus	ウツクシ科			1	0.02	1	0.02	
6				ウツクシ科	Theora fragilis	ウツクシ科	1	0.00	1	0.02	1	0.04	
7	環形動物	コカイ	ウツクシ科	ウツクシ科	Podarkeopsis brevivalva	ウツクシ科			2	0.01	3	0.02	
8				ウツクシ科	Sigambra hanaokai	ウツクシ科	4	0.01		4	0.02	12	0.07
9				ウツクシ科	Nectonanthos latipoda	ウツクシ科	1	0.53	2	2.78	3	3.04	
10				ウツクシ科	Glyceria alba	ウツクシ科	3	0.09	1	0.18	1	0.11	
11				ウツクシ科	Glyceria nicobarica	ウツクシ科					2	0.09	
12				ウツクシ科	Glyceria sp.	ウツクシ科	2	0.01			1	0.04	
13				ウツクシ科	Glycinde sp.	Glycinde属	1	0.02			5	0.03	
14				ウツクシ科	Nephtys oligobranchia	ウツクシ科	2	0.01	4	0.06	1	0.01	
15				ウツクシ科	Scoletoma longifolia	ウツクシ科	5	0.08					
16				ウツクシ科	Paraprionospio coara	ウツクシ科	1	0.08	4	0.33	5	0.61	
17				ウツクシ科	Paraprionospio patiens	ウツクシ科	39	0.99	3	0.13	79	3.31	
18				ウツクシ科	Prionospio pulchra	ウツクシ科	2	0.00			3	0.00	
19				ウツクシ科	Chaetozone sp.	Chaetozone属					1	0.00	
20				ウツクシ科	Notomastus sp.	Notomastus属					1	0.01	
21	節足動物	軟甲	端脚	ウツクシ科	Ampelisca brevicornis	ウツクシ科					1	0.01	
22			十脚	ウツクシ科	Craeanon sp.	ウツクシ科					1	0.01	
23				ウツクシ科	Carcinoplax vestita	ウツクシ科			1	2.06	1	0.11	
種類数						14	7	12	19	23			
合計(個体数・湿重量)						64	82.22	16	3.52	102	9.24	103	7.20

注:0.00は湿重量が0.01g未満を示す。

底生生物夏季調査結果(定量採集)

調査期日：令和7年8月6日  
 調査方法：スミスソンプ付型採泥器(小型、3回採泥)  
 単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点				合計		
						A	B	C	D	個体数	湿重量	
1	刺胞動物	花虫	海綿	ウツクシ科	Virgulariidae	ウツクシ科				1	0.05	
2	環形動物	-	-	-	Nemertinea	環形動物門				1	0.00	
3	軟体動物	二枚貝	マウスガレイ	ウツクシ科	Macoma tokvoensis	ウツクシ科	1	3.60			1	3.60
4				ウツクシ科	Theora fragilis	ウツクシ科			5	0.02		
5	環形動物	コカイ	ウツクシ科	ウツクシ科	Sigambra hanaokai	ウツクシ科	1	0.00			1	0.00
6				ウツクシ科	Glyceria nicobarica	ウツクシ科	1	0.17			1	0.17
7				ウツクシ科	Nephtys oligobranchia	ウツクシ科	4	0.05			2	0.01
8				ウツクシ科	Scoletoma longifolia	ウツクシ科	7	0.12				7
9				ウツクシ科	Paraprionospio coara	ウツクシ科	2	0.02			1	0.01
10				ウツクシ科	Paraprionospio patiens	ウツクシ科	56	0.44			4	0.02
11				ウツクシ科	Prionospio pulchra	ウツクシ科	1	0.00				1
12				ウツクシ科	Notomastus sp.	Notomastus属	4	0.36				4
種類数						9	0	0	6	12		
合計(個体数・湿重量)						77	4.76	5	0.02	0	10	0.03

注:0.00は湿重量が0.01g未満を示す。

底生生物秋季調査結果(定量採集)

調査期日：令和7年11月5日  
 調査方法：スズマキタ付型採泥器(小型、3回採泥)  
 単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点				合計						
						A	B	C	D	個体数	湿重量					
1	刺胞動物	花虫	海綿	ヤシクシマダラ	Virulariidae	ヤシクシマダラ科	1	0.48			1	0.48				
2	軟体動物	腹足	新腹足	ミトコトイ	Mitrella vabei	ミトコトイ科			1	0.01		1	0.01			
3				頭楯	マダラツツマキ	Kingicula doliaris	マダラツツマキ科		2	0.03		2	0.03			
4		二枚貝	マダラツツマキ	ツツマキ	Theora fragilis	ツツマキ科	1	0.02	28	0.86		29	0.88			
5	環形動物	ゴカイ	ツツマキ	ツツマキ	Eumida sp.	Eumida属					1	0.00	1	0.00		
6				ツツマキ	Obiodromus angustifrons	ツツマキ科	1	0.00		1	0.00	1	0.00	3	0.00	
7				ツツマキ	Podarkeopsis brevipalpa	ツツマキ科	1	0.00		3	0.01	1	0.00	4	0.01	
8				ツツマキ	Sigambra hanaokai	ツツマキ科	19	0.04	1	0.00	12	0.04	48	0.03	80	0.11
9				ツツマキ	Nectonanthus latipoda	ツツマキ科	11	1.12	2	0.33	13	0.68	3	0.32	29	2.45
10				ツツマキ	Glyceria alba	ツツマキ科	11	0.02	1	0.03		3	0.06	5	0.11	
11				ツツマキ	Glyceria bicobarica	ツツマキ科								1	0.02	
12				ツツマキ	Glycinda sp.	Glycinda属		2	0.04	1	0.05			3	0.09	
13			ツツマキ	Scoletoma longifolia	ツツマキ科	7	0.05	1	0.01		15	0.14	23	0.20		
14			ツツマキ	Paraprionospio coora	スベスベハネツツマキ	4	0.06	9	0.19	5	0.04	15	0.13	33	0.42	
15				Paraprionospio natiens	ツツマキ	1,056	8.48	5	0.04	1,184	9.07	1,344	8.32	3,589	25.91	
16				Prionospio pulchra	ツツマキ	4	0.00	2	0.00	128	0.05			134	0.05	
17				Scoletopsis sp.	Scoletopsis属			1	0.02					1	0.02	
18			ツツマキ	Notomastus sp.	Notomastus属	3	0.08					2	0.11	5	0.19	
19			ツツマキ	Euchone sp.	Euchone属							1	0.00	1	0.00	
20	節足動物	軟甲	口脚	Oratosquilla oratoria	ツツマキ							1	0.33	1	0.33	
21			十脚	Goneplacidae	Goneplacidae科			1	0.04					1	0.04	
種類数						13		12		9		11		21		
合計(個体数・湿重量)						1,110	10.37	55	1.59	1,348	9.95	1,434	9.44	3,947	31.35	

注:0.00は湿重量が0.01g未満を示す。

底生生物冬季調査結果(定量採集)

調査期日：令和8年2月4日  
 調査方法：スズマキタ付型採泥器(小型、3回採泥)  
 単 位：個体、g/0.15m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点				合計						
						A	B	C	D	個体数	湿重量					
1	刺胞動物	花虫	磯巾着	エドモトキクシマダラ	Edwardsiidae	エドモトキクシマダラ科					2	1.17	2	1.17		
2	虫形動物	-	-	-	Nemertinea	紐形動物門			1	0.01	1	0.02	2	0.03		
3	軟体動物	二枚貝	ツツマキ	ツツマキ	Theora fragilis	ツツマキ科		2	0.04	5	0.11			7	0.15	
4	環形動物	ゴカイ	ツツマキ	ツツマキ	Phyllodoce sp.	Phyllodoce属						2	0.01	2	0.01	
5				ツツマキ	Eumida sp.	Eumida属	1	0.00						1	0.00	
6				ツツマキ	Obiodromus angustifrons	ツツマキ科	3	0.02		4	0.04	1	0.01	8	0.07	
7				ツツマキ	Podarkeopsis brevipalpa	ツツマキ科			2	0.02	3	0.02	5	0.04		
8				ツツマキ	Sigambra hanaokai	ツツマキ科	6	0.02		5	0.02	16	0.04	27	0.08	
9				ツツマキ	Nectonanthus latipoda	ツツマキ科	5	1.58	2	0.28	4	2.05	4	0.86	15	4.77
10				ツツマキ	Glyceria alba	ツツマキ科	2	0.12	1	0.03	4	0.19	5	0.24	12	0.58
11				ツツマキ	Glyceria sp.	Glyceria属	1	0.00		3	0.02	1	0.00	5	0.02	
12				ツツマキ	Glycinda sp.	Glycinda属	2	0.01	1	0.01	5	0.13	11	0.14	19	0.29
13				ツツマキ	Nephtys oligobranchia	ツツマキ科	2	0.03				1	0.00	3	0.03	
14			ツツマキ	Scoletoma longifolia	ツツマキ科	11	0.11		2	0.01	6	0.06	19	0.18		
15			ツツマキ	Paraprionospio coora	スベスベハネツツマキ	13	0.81	2	0.22	5	0.36	5	0.29	25	1.68	
16				Paraprionospio natiens	ツツマキ	296	4.88			259	5.28	320	5.97	875	16.13	
17				Prionospio aucklandica	ツツマキ				1	0.00	5	0.01	6	0.01		
18				Prionospio pulchra	ツツマキ				39	0.03	1	0.00	40	0.03		
19				Prionospio membranacea	ツツマキ				5	0.00			5	0.00		
20				Notomastus sp.	Notomastus属							1	0.07	1	0.07	
21				Mediomastus sp.	Mediomastus属							1	0.01	1	0.01	
22			ツツマキ	Chone sp.	Chone属				1	0.01				1	0.01	
23			ツツマキ	Euchone sp.	Euchone属			3	0.02	1	0.01			4	0.03	
24	節足動物	軟甲	口脚	Iphinoe sagamiensis	ツツマキ				3	0.01	1	0.00	4	0.01		
25		端脚	ツツマキ	Ameliscia brevicornis	ツツマキ				1	0.01				1	0.01	
26				Melita sp.	ツツマキ							1	0.00	1	0.00	
27				Sinchelidium sp.	ツツマキ	2	0.00							2	0.00	
28			十脚	Upogebia maior	ツツマキ			1	0.11	1	0.10	1	0.16	3	0.37	
種類数						12		8		19		21		28		
合計(個体数・湿重量)						344	7.55	13	0.72	350	8.40	389	9.08	1,096	25.78	

注:0.00は湿重量が0.01g未満を示す。

## (2) 植物プランクトン調査結果

現地観測結果については、前項の表 4-1-1～表 4-1-4 に示した。

### ① 春季調査

植物プランクトンの春季調査結果を表 4-3-6 に示す。主な出現種の写真を、写-5、写-6 及び写-7 に示す。

春季調査において出現した植物プランクトンは、4 地点全体で 28 種類、45,284,000 細胞/L であった。

地点別にみると、種類数は 21～24 種類の範囲であり、地点 D で少なく、地点 B で多かった。細胞数は 8,661,600～13,970,400 細胞/L の範囲であり、地点 A で少なく、地点 D で多かった。

主な出現種は、珪藻綱に属する *Skeletonema costatum* 及び *Thalassiosira* spp.、並びに、ラフィド藻綱に属する Raphidophyceae であり、全地点で見られた。

その他、地点ごとで細胞数比率 5 %以上であった種としては、地点 A、地点 B 及び地点 C においてクリプト藻綱に属する Cryptomonadaceae、地点 C 及び地点 D において渦鞭毛藻綱に属する Gymnodiniales、地点 D においてユーグレナ藻綱に属する Euglenophyceae、地点 A において Microflagellata (微小鞭毛藻類) が挙げられる。

### ② 夏季調査

植物プランクトンの夏季調査結果を表 4-3-7 に示す。主な出現種の写真を、写-8、写-9 及び写-10 に示す。

夏季調査において出現した植物プランクトンは、4 地点全体で 32 種類、37,884,800 細胞/L であった。

地点別にみると、種類数は 26～27 種類の範囲であり、各地点でほぼ同等であった。細胞数は 7,900,800～11,377,600 細胞/L の範囲であり、地点 C で多かった。

主な出現種は、珪藻綱に属する *Thalassiosira* spp. 及び Thalassiosiraceae であり、全地点で見られた。

その他、地点ごとで細胞数比率 5 %以上であった種としては、珪藻綱に属する *Cylindrotheca closterium* であった。

### ③ 秋季調査

植物プランクトンの秋季調査結果を表 4-3-8 に示す。主な出現種の写真を、写-11、写-12 及び写-13 に示す。

秋季調査において出現した植物プランクトンは、4 地点全体で 33 種類、2,529,100 細胞/L であった。

地点別にみると、種類数は 21～23 種類の範囲であり、各地点でほぼ同等であった。細胞数は 409,100～1,095,400 細胞/L の範囲であり、地点 B で多かった。

主な出現種は、クリプト藻綱に属する Cryptomonadaceae、珪藻綱に属する *Skeletonema costatum* 及び *Thalassiosira* spp. であり、全地点で見られた。

その他、地点ごとで細胞数比率 5 %以上であった種としては、地点 B、地点 C 及び地点 D に

において珪藻綱に属する *Chaetoceros sociale*、地点 D において珪藻綱に属する *Chaetoceros* spp. が挙げられる。

#### ④ 冬季調査

植物プランクトンの冬季調査結果を表 4-3-9 に示す。主な出現種の写真を、写-14、写-15 及び写-16 に示す。

冬季調査において出現した植物プランクトンは、4 地点全体で 39 種類、9,505,200 細胞/L であった。

地点別にみると、種類数は 23~31 種類の範囲であり、地点 D で少なく、地点 C で多かった。細胞数は 1,684,800~2,954,400 細胞/L の範囲であり、地点 D で少なく、地点 B で多かった。

主な出現種は、渦鞭毛藻綱に属する Gymnodiniales 及び珪藻綱に属する *Skeletonema costatum* であり、全地点で見られた。

その他、地点ごとで細胞数比率 5 %以上であった種としては、地点 A、地点 B 及び地点 C においてクリプト藻綱に属する Cryptomonadaceae、地点 A 及び地点 D において渦鞭毛藻綱に属する *Heterocapsa triquetra*、地点 D において珪藻綱に属する *Leptocylindrus danicus*、地点 A において Microflagellata (微小鞭毛藻類) が挙げられる。

#### ⑤ 季別調査比較

出現した植物プランクトンの種類数は春季が 28 種類、夏季が 32 種類、秋季が 33 種類、冬季が 39 種類、4 地点の合計細胞数は春季が 45,284,000 細胞/L、夏季が 37,884,800 細胞/L、秋季が 2,529,100 細胞/L、冬季が 9,505,200 細胞/L であり、種類数は冬季、細胞数は春季が最も多かった。

分類群をみると、各調査を通じてクリプト藻綱及び珪藻綱が優占していた。

優占種をみると、春季は地点 A、B 及び C で *Thalassiosira* spp.、地点 D で *Skeletonema costatum*、夏季は全地点で *Thalassiosira* spp.、秋季は地点 A 及び地点 D で Cryptomonadaceae、地点 B 及び地点 C で *Skeletonema costatum*、冬季は全地点で Gymnodiniales が優占した。

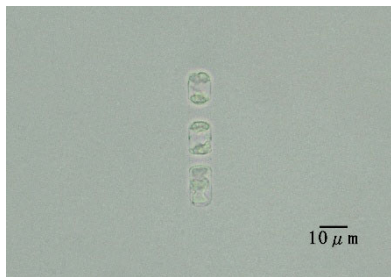
表 4-3-6 植物プランクトンの調査結果(春季)

調査期日：令和7年5月14日  
調査方法：バンドーン採水器  
単位：細胞/L

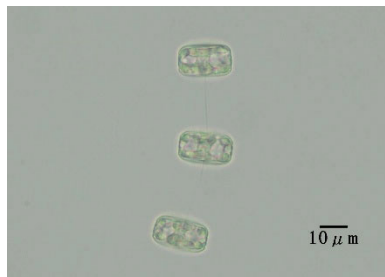
地点		A	B	C	D	合計
項目	種数	22	24	23	21	28
	細胞数 (細胞/L)	8,661,600	12,840,800	9,811,200	13,970,400	45,284,000
主な出現種	【珣藻】	Cryptomonadaceae (10.2)	Cryptomonadaceae (7.3)	Cryptomonadaceae (7.5)		Cryptomonadaceae (6.6)
	【渦鞭毛藻】			Gymnodinales (5.9)	Gymnodinales (6.9)	
	【珣藻】	<i>Skeletonema costatum</i> (24.3)	<i>Skeletonema costatum</i> (9.9)	<i>Skeletonema costatum</i> (12.3)	<i>Skeletonema costatum</i> (38.8)	<i>Skeletonema costatum</i> (22.1)
		<i>Thalassiosira</i> spp. (26.6)	<i>Thalassiosira</i> spp. (47.1)	<i>Thalassiosira</i> spp. (43.8)	<i>Thalassiosira</i> spp. (28.0)	<i>Thalassiosira</i> spp. (36.6)
	【珣藻】	Raphidophyceae (11.3)	Raphidophyceae (16.1)	Raphidophyceae (10.4)	Raphidophyceae (8.9)	Raphidophyceae (11.7)
	【コウジケ藻】				Euglenophyceae (5.8)	
	【不明鞭毛藻類】	Microflagellata(微小鞭毛藻類) (6.7)				

注：主な出現種は、細胞数比率の5%以上出現した種を選出し、( )内にはその組成を示す。

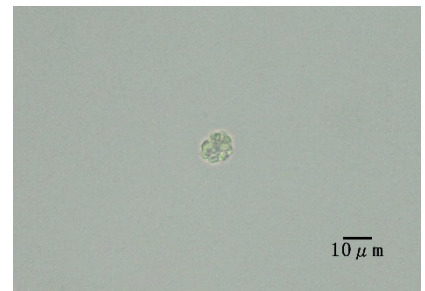
主な出現種



写-5 *Skeletonema costatum*



写-6 *Thalassiosira* spp.



写-7 Raphidophyceae

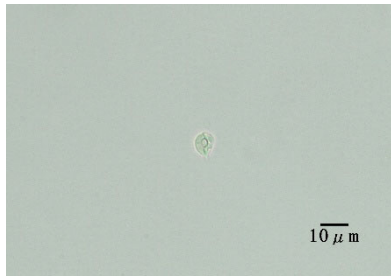
表 4-3-7 植物プランクトンの調査結果(夏季)

調査期日：令和7年8月6日  
調査方法：バンドーン採水器  
単位：細胞/L

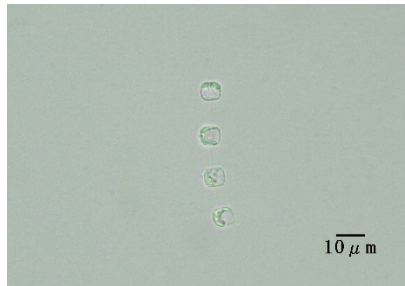
地点		A	B	C	D	合計
項目	種数	27	26	26	27	32
	細胞数 (細胞/L)	7,900,800	7,968,000	11,377,600	10,638,400	37,884,800
主な出現種	【珣藻】	Cryptomonadaceae (6.8)	Cryptomonadaceae (8.6)	Cryptomonadaceae (8.1)		Cryptomonadaceae (6.5)
	【珣藻】	<i>Thalassiosira</i> spp. (42.6)	<i>Thalassiosira</i> spp. (43.0)	<i>Thalassiosira</i> spp. (38.5)	<i>Thalassiosira</i> spp. (46.2)	<i>Thalassiosira</i> spp. (42.5)
		Thalassiosiraceae (21.9)	Thalassiosiraceae (24.6)	Thalassiosiraceae (27.8)	Thalassiosiraceae (26.7)	Thalassiosiraceae (25.6)
			<i>Cylindrotheca closterium</i> (5.5)	<i>Cylindrotheca closterium</i> (6.1)	<i>Cylindrotheca closterium</i> (5.2)	

注：主な出現種は、細胞数比率の5%以上出現した種を選出し、( )内にはその組成を示す。

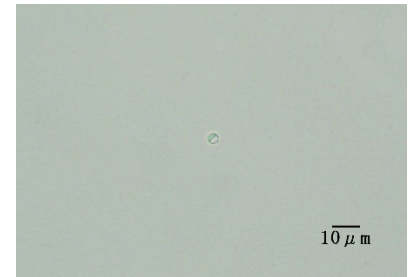
主な出現種



写-8 Cryptomonadaceae



写-9 *Thalassiosira* spp.



写-10 Thalassiosiraceae

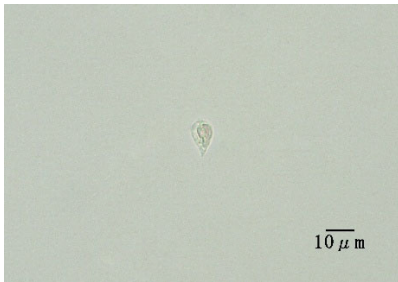
表 4-3-8 植物プランクトンの調査結果(秋季)

調査期日：令和7年11月5日  
調査方法：バンドーン採水器  
単位：細胞/L

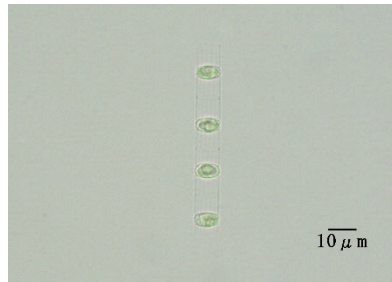
項目		地点				
種類数		A	B	C	D	合計
細胞数 (細胞/L)		409,100	1,095,400	560,000	464,600	2,529,100
主な出現種	【羽アト藻】	Cryptomonadaceae (55.7)	Cryptomonadaceae (29.2)	Cryptomonadaceae (33.4)	Cryptomonadaceae (41.1)	Cryptomonadaceae (36.6)
	【珪藻】	<i>Skeletonema costatum</i> (19.7)	<i>Skeletonema costatum</i> (47.9)	<i>Skeletonema costatum</i> (40.1)	<i>Skeletonema costatum</i> (31.0)	<i>Skeletonema costatum</i> (38.5)
		<i>Thalassiosira</i> spp. (11.1)	<i>Thalassiosira</i> spp. (11.6)	<i>Thalassiosira</i> spp. (8.8)	<i>Thalassiosira</i> spp. (8.5)	<i>Thalassiosira</i> spp. (10.3)
			<i>Chaetoceros sociale</i> (5.3)	<i>Chaetoceros sociale</i> (6.0)	<i>Chaetoceros sociale</i> (5.9)	
				<i>Chaetoceros</i> spp. (5.9)		

注：主な出現種は、細胞数比率の5%以上出現した種を選出し、( )内にはその組成を示す。

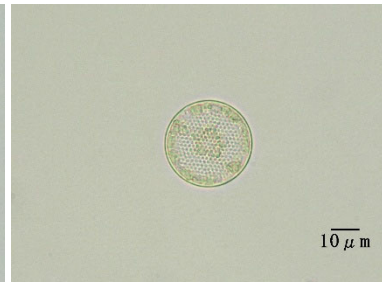
主な出現種



写-11 Cryptomonadaceae



写-12 *Skeletonema costatum*



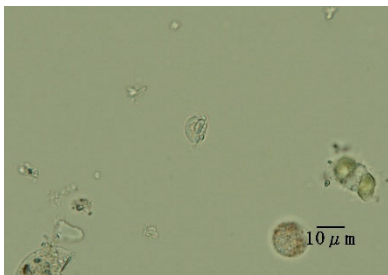
写-13 *Thalassiosira* spp.

表 4-3-9 植物プランクトンの調査結果(冬季)

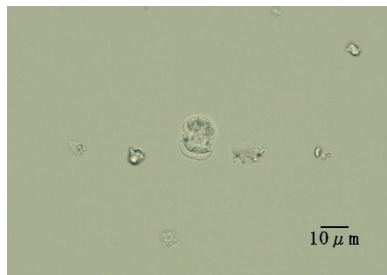
調査期日：令和8年2月4日  
調査方法：バンドーン採水器  
単位：細胞/L

項目		地点				
種類数		A	B	C	D	合計
細胞数 (細胞/L)		2,098,800	2,954,400	2,767,200	1,684,800	9,505,200
主な出現種	【羽アト藻】	Cryptomonadaceae (7.8)	Cryptomonadaceae (7.7)	Cryptomonadaceae (6.9)	Cryptomonadaceae (6.5)	Cryptomonadaceae (6.5)
	【渦鞭毛藻】	Gymnodiniales (35.7)	Gymnodiniales (56.1)	Gymnodiniales (45.8)	Gymnodiniales (43.6)	Gymnodiniales (46.4)
		<i>Heterocapsa triquetra</i> (5.5)			<i>Heterocapsa triquetra</i> (6.3)	
	【珪藻】	<i>Skeletonema costatum</i> (34.2)	<i>Skeletonema costatum</i> (20.6)	<i>Skeletonema costatum</i> (24.1)	<i>Skeletonema costatum</i> (24.6)	<i>Skeletonema costatum</i> (25.3)
	【不明鞭毛藻類】	Microflagellata(微小鞭毛藻類) (6.1)			<i>Leptocylindrus danicus</i> (8.0)	

注：主な出現種は、細胞数比率の5%以上出現した種を選出し、( )内にはその組成を示す。



写-14 Cryptomonadaceae



写-15 Gymnodiniales



写-16 *Skeletonema costatum*

【参考】【植物プランクトン調査結果】

植物プランクトン調査結果(春季)

調査期日：令和7年5月14日  
 調査方法：バンドーン採水器  
 単位：細胞/L

番号	門	綱	目	科	種名	地点				合計
						A	B	C	D	
1	クリプト植物	クリプト藻	クリプトキス	クリプトキス	Cryptomonadaceae	883,200	940,800	739,200	422,400	2,985,600
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	デ'イノフィス	デ'イノフィス	<i>Dinophysis acuminata</i>	800	800	3,200	800	5,600
3					<i>Oxyphrys oxitoxoides</i>	48,000	9,600	38,400	76,800	172,800
4					<i>Gyrodinium</i> spp.	48,000	28,800	9,600		86,400
5					Gymnodinales	278,400	384,000	576,000	960,000	2,198,400
6					<i>Heterocapsa triquetra</i>	19,200		9,600		28,800
7					<i>Protoperdinium</i> sp.			9,600	9,600	19,200
8					<i>Scrippsiella</i> sp.	28,800				28,800
9					Peridinales	105,600	230,400	316,800	124,800	777,600
10	不等毛植物	珪藻	円心	クラシオシーラ	<i>Cyclotella</i> sp.			19,200		19,200
11					<i>Detonula pumila</i>		38,400	115,200	19,200	172,800
12					<i>Skeletonema costatum</i>	2,102,400	1,276,800	1,209,600	5,414,400	10,003,200
13					<i>Skeletonema tropicum</i>		57,600			57,600
14					<i>Thalassiosira</i> spp.	2,304,000	6,048,000	4,300,800	3,916,800	16,569,600
15					Thalassiosiraceae	144,000	19,200	19,200	28,800	211,200
16					モソシーラ		19,200		48,000	67,200
17					<i>Leptocylindrus danicus</i>					
18					<i>Rhizolenia fragilissima</i>	182,400	153,600	230,400	124,800	691,200
19					<i>Cerataulina pelagica</i>	38,400	240,000			278,400
20					<i>Eucampia zodiacus</i>	19,200	67,200	19,200	19,200	124,800
21					<i>Chaetoceros lorenzianum</i>		3,200			3,200
22					<i>Chaetoceros</i> spp.	38,400	96,000	201,600	48,000	384,000
23					<i>Ditylum brightwellii</i>	1,600	11,200	6,400	1,600	20,800
24					羽状	38,400	19,200	28,800	19,200	105,600
25					ニツチア	297,600	230,400	182,400	115,200	825,600
26					Raphidophyceae	979,200	2,073,600	1,017,600	1,248,000	5,318,400
27	ユークレ植物	ユークレ藻	-	-	Euglenophyceae	307,200	192,000	201,600	806,400	1,507,200
28	緑色植物	ブラシ藻	-	-	Prasinophyceae	220,800	182,400	115,200	297,600	816,000
29	不明鞭毛藻類	-	-	-	Microflagellata(微小鞭毛藻類)	576,000	518,400	441,600	268,800	1,804,800
					種類数	22	24	23	21	28
					細胞数合計	8,661,600	12,840,800	9,811,200	13,970,400	45,284,000
					沈降量 (mL/m <sup>3</sup> )	900	1,100	650	850	-

植物プランクトン調査結果(夏季)

調査期日：令和7年8月6日  
 調査方法：バンドーン採水器  
 単位：細胞/L

番号	門	綱	目	科	種名	地点				合計
						A	B	C	D	
1	クリプト植物	クリプト藻	クリプトキス	クリプトキス	Cryptomonadaceae	537,600	681,600	921,600	307,200	2,448,000
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	プロコケトキス	プロコケトキス	<i>Prorocentrum triestinum</i>		9,600			9,600
3					<i>Gymnodinium</i> sp.1		9,600	19,200	28,800	57,600
4					ポリクリコス			800	800	1,600
5					Gymnodinales	115,200	124,800	144,000	96,000	480,000
6					<i>Ceratium furca</i>	9,600	19,200	67,200	124,800	220,800
7					<i>Gonvaulax verior</i>	9,600	19,200	28,800		57,600
8					<i>Scrippsiella spinifera</i>		9,600		9,600	19,200
9					<i>Scrippsiella</i> sp.	19,200	9,600	19,200		48,000
10					Peridinales	86,400	144,000	28,800	28,800	288,000
11	不等毛植物	珪藻	円心	クラシオシーラ	<i>Cyclotella</i> spp.	355,200	153,600	422,400	144,000	1,075,200
12					<i>Skeletonema costatum</i>	86,400	115,200	384,000	144,000	729,600
13					<i>Thalassiosira</i> spp.	3,369,600	3,427,200	4,377,600	4,915,200	16,089,600
14					Thalassiosiraceae	1,728,000	1,958,400	3,168,000	2,841,600	9,696,000
15					モソシーラ	28,800			38,400	67,200
16					<i>Leptocylindrus danicus</i>					
17					<i>Leptocylindrus minimus</i>	38,400	9,600	38,400	48,000	134,400
18					<i>Coscinodiscus</i> sp.			800	800	1,600
19					<i>Rhizolenia fragilissima</i>	28,800				28,800
20					<i>Cerataulina pelagica</i>	134,400	124,800	278,400	316,800	854,400
21					<i>Eucampia zodiacus</i>	9,600				9,600
22					<i>Minutocellus</i> sp.	297,600	153,600	268,800	336,000	1,056,000
23					<i>Chaetoceros curvisetum</i>	57,600			19,200	76,800
24					<i>Chaetoceros</i> spp.	48,000	86,400	76,800	57,600	268,800
25					羽状	38,400	76,800	57,600	86,400	259,200
26					<i>Neodelphineis pelagica</i>	48,000	19,200	19,200	19,200	105,600
27					<i>Thalassionema nitzschioides</i>	19,200	19,200	19,200	28,800	86,400
28					<i>Navicula</i> sp.	28,800	48,000	38,400	96,000	211,200
29					<i>Pleurosigma</i> sp.	345,600	336,000	624,000	652,800	1,958,400
30					ニツチア	38,400	19,200	38,400	28,800	124,800
31	ユークレ植物	ユークレ藻	-	-	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	153,600	115,200	115,200	115,200	499,200
32	緑色植物	ブラシ藻	-	-	Euglenophyceae	57,600	38,400	38,400	48,000	182,400
33	不明鞭毛藻類	-	-	-	Prasinophyceae	211,200	240,000	182,400	105,600	739,200
					種類数	27	26	26	27	32
					細胞数合計	7,900,800	7,968,000	11,377,600	10,638,400	37,884,800
					沈降量 (mL/m <sup>3</sup> )	350	400	350	550	-

備考：Gymnodinium sp.1 はGymnodinium mikimotoiの可能性が高い。

## 植物プランクトン調査結果(秋季)

調査期日：令和7年11月5日  
調査方法：バンドーン採水器  
単 位：細胞/L

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	クリプト植物	クリプト藻	クリプトモナス	クリプトモナス	Cryptomonadaceae		228,000	320,400	187,200	190,800	926,400
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	ギムノテリウム	ポリクリコス	<i>Polvkrikos</i> sp.					200	200
3					Gymnodinales		1,200	6,000	3,600	4,800	15,600
4			ベリテリウム	ケラタム	<i>Ceratium furca</i>		200	600	4,000	200	5,000
5					<i>Ceratium fusus</i>		400		1,200	200	1,800
6					<i>Ceratium trichoceros</i>		200	400	400	200	1,200
7					Peridinales		2,400	4,800	6,000	1,200	14,400
8	不等毛植物	珪藻	円心	ケラトセラ	<i>Skeletonema costatum</i>		80,400	524,400	224,400	144,000	973,200
9					<i>Skeletonemaropicum</i>				2,400		2,400
10					<i>Thalassiosira</i> spp.		45,600	127,200	49,200	39,600	261,600
11					Thalassiosiraceae				2,400		2,400
12				ノゾウ	<i>Leptocylindrus danicus</i>		7,200	8,400	4,800	3,600	24,000
13					<i>Leptocylindrus mediterraneus</i>			2,400			2,400
14				ハクオベ	<i>Actinoptvchus senarius</i>		1,200				1,200
15				リゾソレニア	<i>Rhizosolenia setigera</i>		600			600	1,200
16				ビトケル	<i>Cerataulina dentata</i>		2,400				2,400
17				キートコス	<i>Chaetoceros curvisetum</i>		4,800	3,000	3,600		11,400
18					<i>Chaetoceros danicum</i>			2,400		600	3,000
19					<i>Chaetoceros debile</i>		1,800		1,200		3,000
20					<i>Chaetoceros decipiens</i>			5,400			5,400
21					<i>Chaetoceros didymum</i>			1,200	2,400	600	4,200
22					<i>Chaetoceros lorenzianum</i>		4,800	3,300	1,200	600	9,900
23					<i>Chaetoceros radicans</i>			5,400	7,800		13,200
24					<i>Chaetoceros sociale</i>		4,800	57,600	33,600	27,600	123,600
25					<i>Chaetoceros</i> spp.		4,800	2,400	6,000	27,600	40,800
26				リトスミウム	<i>Lithodesmium variable</i>				1,200		1,200
27			羽状	ネオデルフィネス	<i>Neodelphinopsis pelagica</i>		3,600				3,600
28					<i>Thalassionema nitzschioides</i>		1,200	2,700	3,000	3,900	10,800
29				プレウロスィグマ	<i>Pleurosigma</i> sp.			1,200			1,200
30				ニョフ	<i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i> )		1,500	9,000	6,000	7,500	24,000
31		黄色色藻	アペディネラ	アペディネラ	<i>Apedinella spinifera</i>		1,200				1,200
32	緑色植物	プラシノ藻			Prasinophyceae		3,600	3,600	4,800	4,800	16,800
33	不明鞭毛藻類				Microflagellata(微小鞭毛藻類)		7,200	3,600	6,000	3,600	20,400
種類数							23	22	22	21	33
細胞数合計							409,100	1,095,400	560,000	464,600	2,529,100
沈殿量 (mL/m <sup>3</sup> )							75	100	140	100	-

## 植物プランクトン調査結果(冬季)

調査期日：令和8年2月4日  
調査方法：バンドーン採水器  
単 位：細胞/L

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	クリプト植物	クリプト藻	クリプトモナス	クリプトモナス	Cryptomonadaceae		163,200	228,000	189,600	36,000	616,800
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	プロセントリウム	プロセントリウム	<i>Prorocentrum minimum</i>		2,400	2,400	2,400	4,800	12,000
3					<i>Prorocentrum triestinum</i>		2,400		2,400	2,400	7,200
4					<i>Oxyphrys oxvtoxoides</i>		2,400		7,200		9,600
5					Gyrodinium sp.		1,200		1,200	1,200	3,600
6					Gymnodinales		748,800	1,658,400	1,267,200	734,400	4,408,800
7			ベリテリウム	ゴニオテックス	<i>Gonyaulax</i> sp.			2,400		2,400	4,800
8					<i>Heterocapsa triquetra</i>		115,200	105,600	93,600	105,600	420,000
9					<i>Protoperdinium</i> sp.		2,400	2,400			4,800
10					<i>Scrinpsiella</i> sp.		2,400				2,400
11					Peridinales		33,600	33,600	69,600	26,400	163,200
12	不等毛植物	珪藻	円心	ケラトセラ	<i>Detonula pumila</i>			4,800			4,800
13					<i>Skeletonema costatum</i>		717,600	607,200	667,200	415,200	2,407,200
14					<i>Skeletonemaropicum</i>				48,000		48,000
15					<i>Thalassiosira</i> spp.		24,000	28,800	76,800	64,800	194,400
16				ノゾウ	<i>Leptocylindrus danicus</i>		36,000	26,400	98,400	134,400	295,200
17				コスキラテリス	<i>Coscinodiscus</i> sp.		3,600	4,800	1,200	1,200	10,800
18				ハクオベ	<i>Actinoptvchus senarius</i>			4,800			4,800
19				ビトケル	<i>Cerataulina pelagica</i>		7,200	4,800	4,800		16,800
20					<i>Eucampia zodiacus</i>		2,400				2,400
21				キートコス	<i>Chaetoceros affine</i>				3,000		3,000
22					<i>Chaetoceros constrictum</i>		4,800		2,400	4,800	12,000
23					<i>Chaetoceros danicum</i>			1,200	2,400	2,400	6,000
24					<i>Chaetoceros debile</i>		20,400	8,400	13,200	14,400	56,400
25					<i>Chaetoceros didymum</i>			1,800			1,800
26					<i>Chaetoceros sociale</i>		4,800	33,600	48,000	19,200	105,600
27					<i>Chaetoceros subsecundum</i>			2,400	1,200	2,400	6,000
28			羽状	ネオデルフィネス	<i>Thalassionema nitzschioides</i>			9,600	9,600		19,200
29				プレウロスィグマ	<i>Pleurosigma</i> sp.		2,400				2,400
30				ニョフ	<i>Cylindrotheca closterium</i>		4,800	7,200	2,400	7,200	21,600
31					<i>Nitzschia</i> spp.			2,400	2,400		4,800
32		黄色色藻	アペディネラ	アペディネラ	<i>Apedinella spinifera</i>		4,800	2,400	2,400	4,800	14,400
33			ディョコ	ディョコ	<i>Dityoccha fibula</i>			2,400	2,400	4,800	9,600
34					<i>Ehria tripartita</i>				2,400		2,400
35	バクト植物	バクト藻			Haptophyceae		2,400				2,400
36	ユダゲ植物	ユダゲ藻			Euglenophyceae		4,800	2,400	2,400		9,600
37	緑色植物	プラシノ藻	ピラミダス	ピラミダス	<i>Pyrantimonas</i> sp.		4,800	4,800	12,000	7,200	28,800
38					Prasinophyceae		52,800	48,000	38,400	24,000	163,200
39	不明鞭毛藻類				Microflagellata(微小鞭毛藻類)		127,200	115,200	91,200	64,800	398,400
種類数							27	27	31	23	39
細胞数合計							2,098,800	2,954,400	2,767,200	1,684,800	9,505,200
沈殿量 (mL/m <sup>3</sup> )							350	225	500	200	-

### (3) 動物プランクトン調査結果

現地観測結果については、前項の表 4-1-1～表 4-1-4 に示した。

#### ① 春季調査

動物プランクトンの春季調査結果を表 4-3-10 に示す。また、優占種の写真を、写-17、写-18 及び写-19 に示す。

春季調査において出現した動物プランクトンは、4 検体全体で 40 種類、63,660 個体/m<sup>3</sup> であった。

地点別にみると、種類数は 25～32 種類の範囲にあり、地点 A で少なく、地点 B で多かった。個体数は 11,510～24,450 個体/m<sup>3</sup> の範囲であり、地点 D で少なく、地点 A で多かった。

主な出現種は、地点 A で出現個体数の 87 % を占めた刺胞動物門のプラヌラ幼生(planula larva)、地点 B、地点 C 及び地点 D で 15 % 以上を占めたカイアシ亜綱の *Acartia omorii* 及びノープリウス期幼生(nauplius larva)である。

この他では、カイアシ亜綱の *Oithona* 属及び *Euterpina* 属のコペポデイド期幼生(copepodite larva)が地点により 5 % 以上を示した。カイアシ亜綱以外では、二枚貝綱の殻頂期幼生(umbo larva)が各地点で、蔓脚目のノープリウス期幼生(nauplius larva)、腹足綱及び多毛綱の幼生が地点により 5 % 以上を示した。

#### ② 夏季調査

動物プランクトンの夏季調査結果を表 4-3-11 に示す。また、優占種の写真を、写-20、写-21 及び写-22 に示す。

夏季調査において出現した動物プランクトンは、4 検体全体で 47 種類、173,300 個体/m<sup>3</sup> であった。

地点別にみると、種類数は 28～35 種類の範囲にあり、地点間で大きな差は見られなかった。個体数は 23,090～62,120 個体/m<sup>3</sup> の範囲であり、地点 A で多く、地点 B で少なかった。

主な出現種は、顎脚綱カイアシ亜綱の *Oithona davisae*、*Oithona* 属のコペポデイド期幼生(copepodite larva)及び顎脚綱カイアシ亜綱のノープリウス期幼生(nauplius larva)であり、各地点ともこれらの種が上位 3 種を占めた。また、*Oithona* 属のコペポデイド期幼生の大部分は *Oithona davisae* の幼生であった。*Oithona davisae* は日本各地の内湾・沿岸に生息し、富栄養な海域でしばしば大量に発生することが知られている。

この他では各地点とも二枚貝綱の殻頂期幼生(umbo larva)、多毛綱の幼生(POLYCHAETA(larva))、鰓脚綱の *Penilia avirostris* が、個体数比率 5 % 以上を示した。また、地点 A では *Paracalanus* 属のコペポデイド期幼生(copepodite larva)も個体数比率 5 % 以上を示した。

#### ③ 秋季調査

動物プランクトンの秋季調査結果を表 4-3-12 に示す。また、優占種の写真を、写-23、写-24 及び写-25 に示す。

秋季調査において出現した動物プランクトンは、4 検体全体で 37 種類、81,780 個体/m<sup>3</sup>

であった。

地点別にみると、種類数は 20～27 種類の範囲にあり、地点間で大きな差は見られなかった。個体数は 10,560～27,810 個体/m<sup>3</sup> の範囲であり、地点 C で多く、地点 D で少なかった。

主な出現種は、顎脚綱カイアシ亜綱の *Paracalanus* 属のコペポディド期幼生(copepodite larva)、ノープリウス期幼生(nauplius larva)及び尾虫綱の *Oikopleura dioica* であった。

*Paracalanus* 属のコペポディド期幼生(copepodite larva)は、全地点で 28～38 %の組成比率を示した。本属は日本各地の内湾・沿岸域に生息し、東京湾においても主要種である。また、ノープリウス期幼生(nauplius larva)は全地点で 23～39 %の組成比率を示した。

この他では、顎脚綱カイアシ亜綱の *Paracalanus crassirostris* の成体が地点 C で、*Oithona* 属のコペポディド期幼生(copepodite larva)が地点 A 及び地点 D で、HARPACTICOIDA 目のコペポディド期幼生(copepodite larva)が地点 B で、並びに、尾虫綱の *Oikopleura* spp. が地点 A で、個体数比率 5 %以上を示した。

#### ④ 冬季調査

動物プランクトンの冬季調査結果を表 4-3-13 に示す。また、優占種の写真を、写-26、写-27 及び写-28 に示す。

冬季調査において出現した動物プランクトンは、4 検体全体で 28 種類、80,730 個体/m<sup>3</sup> であった。

地点別にみると、種類数は 17～23 種類の範囲にあり、地点間で大きな差は見られなかった。個体数は 14,270～29,970 個体/m<sup>3</sup> の範囲であり、地点間で大きな差は見られなかった。

主な出現種は、顎脚綱カイアシ亜綱の *Acartia omorii*、*Acartia* 属のコペポディド期幼生(copepodite larva)及びカイアシ亜綱のノープリウス期幼生(nauplius larva)であった。このうち *Acartia omorii* は地点 C で 48.0 %を、ノープリウス期幼生は地点 A で 40.9 %を占めていた。また、地点 A ではノープリウス期幼生に次いで *Oithona* 属のコペポディド期幼生(copepodite larva)が地点 B では *Paracalanus* 属のコペポディド期幼生(copepodite larva)が地点 D では *Acartia* 属のコペポディド期幼生(copepodite larva)が優占した。

この他には、地点 C では現生矢虫綱の *Sagitta* 属の幼体(juvenile)、地点 A 及び地点 D では尾虫綱の *Oikopleura dioica* が個体数比率 5 %以上を示した。

#### ⑤ 季別調査比較

出現した動物プランクトンの種類数は、春季、夏季、秋季及び冬季でそれぞれ 40 種類、47 種類、37 種類及び 28 種類であり、夏季に多く、冬季に少なかった。個体数はそれぞれ 63,660 個体/m<sup>3</sup>、173,300 個体/m<sup>3</sup>、81,780 個体/m<sup>3</sup>及び 80,730 個体/m<sup>3</sup>であり、夏季に多く、春季に少なかった。

分類群別にみると、年間を通して顎脚綱カイアシ亜綱が多く、この中でノープリウス期幼生 (nauplius larva) が年間を通じてほとんどの地点で 5 %以上を占めており、特に冬季では地点 A で 40.9 %を占めて優占した。

また、春季では、地点 A を除いて *Acartia omorii* が各地点で 26.5~36.0 %を占めた。また、春季の地点 A では刺胞動物門のプラヌラ幼生 (planula larva) が 86.9 %を占めた。夏季では、各地点で *Oithona davisae* が 16.2~39.2 %、*Oithona* 属のコペポデイド期幼生 (copepodite larva) が 9.5~20.3 %を占めた。秋季では、*Paracalanus* 属のコペポデイド期幼生が各地点で 27.6~38.4 %を占めた。冬季では、*Acartia* 属のコペポデイド期幼生が各地点で 9.4~25.3 %を占め、とりわけ地点 C では *Acartia omorii* が多かった。

その他の主要種は、春季で腹足綱、二枚貝綱及び多毛綱の幼生、カイアシ亜綱の *Oithona* 属及び *Euterpina* 属のコペポデイド期幼生、蔓脚目のノープリウス期幼生、夏季で二枚貝綱及び多毛綱の幼生、鰓脚綱の *Penilia avirostris*、カイアシ亜綱の *Paracalanus* 属のコペポデイド期幼生、秋季でカイアシ亜綱の *Paracalanus crassirostris*、*Oithona* 属及びハロパクチクス目のコペポデイド期幼生、尾虫綱の *Oikopleura dioica*、*Oikopleura* 属の数種、並びに、冬季で *Paracalanus* 属及び *Oithona* 属のコペポデイド期幼生、現生矢虫綱の *Sagitta* 属の幼体 (juvenile)、尾虫綱の *Oikopleura dioica* などであった。

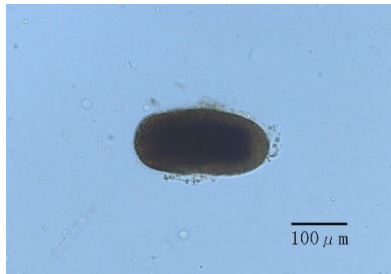
表 4-3-10 動物プランクトンの調査結果(春季)

調査年月日：令和7年5月14日  
調査方法：北原式定量ネット  
単位：個体/m<sup>3</sup>

地点		A	B	C	D	合計
項目	種類数	25	32	26	30	40
	個体数(個体/m <sup>3</sup> )	24,450	15,950	11,750	11,510	63,660
主な出現種	【刺胞動物門】	CNIDARIA (planula larva) (86.9)				CNIDARIA (planula larva) (33.5)
	【腹足綱】		GASTROPODA (larva) (9.4)			
	【二枚貝綱】		BIVALVIA (umbo larva) (6.7)	BIVALVIA (umbo larva) (7.8)	BIVALVIA (umbo larva) (10.2)	BIVALVIA (umbo larva) (6.2)
	【多毛綱】			POLYCHAETA (larva) (5.6)		
	【顎脚綱】 (3/7)亜綱		<i>Acartia omorii</i> (29.2)	<i>Acartia omorii</i> (36.0)	<i>Acartia omorii</i> (26.5)	<i>Acartia omorii</i> (20.1)
			<i>Euterpina</i> (copepodite larva) (16.1)	<i>Oithona</i> (copepodite larva) (6.4)	<i>Oithona</i> (copepodite larva) (6.8)	<i>Euterpina</i> (copepodite larva) (6.3)
			COPEPODA (nauplius larva) (15.6)	COPEPODA (nauplius larva) (14.7)	COPEPODA (nauplius larva) (19.1)	COPEPODA (nauplius larva) (10.2)
【顎脚綱】 (巻揚亜綱)			CIRRIPEDIA (nauplius larva) (6.1)	CIRRIPEDIA (nauplius larva) (8.8)		

注：個体数比率の5%以上出現した種を主な出現種とし、( )内はその組成比率(%)を示す。

主な出現種



写-17 CNIDARIA(planula larva)



写-18 *Acartia omorii*



写-19 COPEPODA (nauplius larva)

表 4-3-11 動物プランクトンの調査結果(夏季)

調査年月日：令和7年8月6日  
調査方法：北原式定量ネット  
単位：個体/m<sup>3</sup>

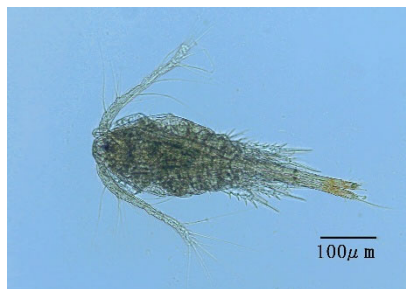
地点		A	B	C	D	合計
項目	種類数	35	33	32	28	47
	個体数(個体/m <sup>3</sup> )	62,120	23,090	37,590	50,500	173,300
主な出現種	【二枚貝綱】	BIVALVIA (umbo larva) (8.7)	BIVALVIA (umbo larva) (7.1)	BIVALVIA (umbo larva) (8.2)	BIVALVIA (umbo larva) (8.2)	BIVALVIA (umbo larva) (8.2)
	【多毛綱】	POLYCHAETA (larva) (9.0)	POLYCHAETA (larva) (13.2)	POLYCHAETA (larva) (10.2)	POLYCHAETA (larva) (6.7)	POLYCHAETA (larva) (9.2)
	【總脚綱】	<i>Penilia avirostris</i> (6.7)	<i>Penilia avirostris</i> (7.8)	<i>Penilia avirostris</i> (8.6)	<i>Penilia avirostris</i> (7.2)	<i>Penilia avirostris</i> (7.4)
	【顎脚綱】 (3/7)亜綱	<i>Oithona davisae</i> (21.0)	<i>Oithona davisae</i> (16.2)	<i>Oithona davisae</i> (29.4)	<i>Oithona davisae</i> (39.2)	<i>Oithona davisae</i> (27.5)
		<i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (6.1)				
		<i>Oithona</i> (copepodite larva) (20.3)	<i>Oithona</i> (copepodite larva) (14.9)	<i>Oithona</i> (copepodite larva) (11.2)	<i>Oithona</i> (copepodite larva) (9.5)	<i>Oithona</i> (copepodite larva) (14.5)
	COPEPODA (nauplius larva) (12.3)	COPEPODA (nauplius larva) (20.1)	COPEPODA (nauplius larva) (14.7)	COPEPODA (nauplius larva) (15.3)	COPEPODA (nauplius larva) (14.7)	

注：個体数比率の5%以上出現した種を主な出現種とし、( )内はその組成比率(%)を示す。

主な出現種



写-20 *Oithona davisae*



写-21 *Oithona* (copepodite larva)



写-22 COPEPODA (nauplius larva)

表 4-3-12 動物プランクトンの調査結果(秋季)

調査年月日：令和7年11月5日  
調査方法：北原式定量ネット  
単位：個体/m<sup>3</sup>

地点		A	B	C	D	合計
項目	種数	25	27	20	20	37
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	22,220	21,190	27,810	10,560	81,780
主な出現種	【顎脚綱】 (顎脚亜綱)	<i>Paracalanus</i> (copepodite larva)	<i>Paracalanus</i> (copepodite larva)	<i>Paracalanus crassirostris</i> (6.9) <i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (38.4)	<i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (35.6)	<i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (34.8)
		<i>Oithona</i> (copepodite larva) (5.3)	HARPACTICOIDA (copepodite larva) (5.3)		<i>Oithona</i> (copepodite larva) (7.2)	
		COPEPODA (nauplius larva) (25.9)	COPEPODA (nauplius larva) (25.1)	COPEPODA (nauplius larva) (22.8)	COPEPODA (nauplius larva) (38.5)	COPEPODA (nauplius larva) (26.2)
		<i>Oikopleura dioica</i> (5.3)	<i>Oikopleura dioica</i> (12.0)	<i>Oikopleura dioica</i> (11.9)		<i>Oikopleura dioica</i> (8.7)
	【尾虫綱】	<i>Oikopleura</i> spp. (7.0)				

注：個体数比率の5%以上出現した種を主な出現種とし、()内はその組成比率(%)を示す。

主な出現種



写-23 *Paracalanus* (copepodite larva)



写-24 COPEPODA (nauplius larva)



写-25 *Oikopleura dioica*

表 4-3-13 動物プランクトンの調査結果(冬季)

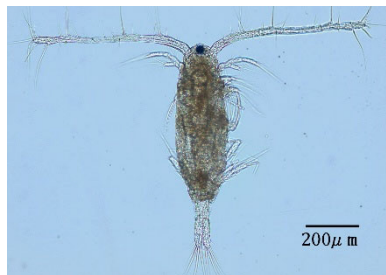
調査年月日：令和8年2月4日  
調査方法：北原式定量ネット  
単位：個体/m<sup>3</sup>

地点		A	B	C	D	合計
項目	種数	18	23	17	19	28
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	14,270	29,970	19,970	16,520	80,730
主な出現種	【顎脚綱】 (顎脚亜綱)	<i>Oithona davisae</i> (10.2)	<i>Acartia omorii</i> (10.9)	<i>Acartia omorii</i> (48.0)	<i>Acartia omorii</i> (7.3)	<i>Acartia omorii</i> (17.5)
		<i>Acartia</i> (copepodite larva) (9.4)	<i>Acartia</i> (copepodite larva) (17.8)	<i>Acartia</i> (copepodite larva) (25.3)	<i>Acartia</i> (copepodite larva) (22.6)	<i>Acartia</i> (copepodite larva) (19.2)
		<i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (10.0)	<i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (20.3)		<i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (13.1)	<i>Paracalanus</i> (copepodite larva) (13.1)
		<i>Oithona</i> (copepodite larva) (11.1)	<i>Oithona</i> (copepodite larva) (5.9)			<i>Oithona</i> (copepodite larva) (5.7)
		COPEPODA (nauplius larva) (40.9)	COPEPODA (nauplius larva) (21.8)		COPEPODA (nauplius larva) (24.2)	COPEPODA (nauplius larva) (21.2)
		【現生矢虫綱】			<i>Sagitta</i> spp. (juvenile) (5.2)	
	【尾虫綱】	<i>Oikopleura dioica</i> (6.4)			<i>Oikopleura dioica</i> (5.1)	

注：個体数比率の5%以上出現した種を主な出現種とし、()内はその組成比率(%)を示す。



写-26 *Acartia omorii*



写-27 *Acartia* (copepodite larva)



写-28 COPEPODA (nauplius larva)

【参考】【動物プランクトン調査結果】

動物プランクトン調査結果(春季)

調査年月日：令和7年5月14日  
 調査方法：北原式定量ネット  
 単 位：個体/m<sup>3</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	刺胞動物	ヒドロ虫	軟クワケ	クミサカスキキヤ	<i>Obelia</i> sp.					20	20
2					CNIDARIA (planula larva)		21,240	70			21,310
3	袋形動物	輪虫	プロイヤ	トロリス	<i>Synchaeta</i> sp.		20				20
4	軟体動物	腹足			GASTROPODA (larva)		60	1,500	550	340	2,450
5		二枚貝			BIVALVIA (D larva)		30	20	90	20	160
6					BIVALVIA (umbo larva)		180	1,070	920	1,170	3,340
7	環形動物	多毛			POLYCHAETA (larva)		280	650	660	530	2,120
8	節足動物	鯉脚	枝角	クミオメシノコ	<i>Eydne nordmanni</i>		20			20	40
9					<i>Podon polyphemoides</i>		20	70	60	50	200
10		顎脚(貝形虫亜綱)	ミオトコウバ	ハロキブリス	<i>Conchoecia</i> sp.			20			20
11		顎脚(カイアシ亜綱)	カラス	アカサチ	<i>Acartia omorii</i>		870	4,660	4,230	3,050	12,810
12					<i>Calanus sinicus</i>		20		30		50
13					<i>Centropages abdominalis</i>					20	20
14					<i>Paracalanus parvus</i>		30	70	30	50	180
15					<i>Pseudodiaptomus marinus</i>			40		20	60
16					<i>Oithona davisae</i>			130	30	50	210
17					<i>Oithona similis</i>		20		60	70	150
18					<i>Corvcaeus affinis</i>					20	20
19					<i>Oncaea scotticarloi</i>			20			20
20					(コヘダテイト期幼生)		180	180	550	250	1,160
21					<i>Acartia</i> (copepodite larva)			40			40
22					<i>Calanus</i> (copepodite larva)			50	130	60	260
23					<i>Paracalanus</i> (copepodite larva)		20	40	30	70	160
24					<i>Pseudodiaptomus</i> (copepodite larva)		50	20	30	90	190
25					<i>Hemicyclops</i> (copepodite larva)				60	20	80
26					<i>Corvcaeus</i> (copepodite larva)					20	20
27					<i>Oithona</i> (copepodite larva)		320	760	750	780	2,610
28					<i>Euterpina</i> (copepodite larva)		150	2,570	290	990	4,000
29					HARPACTICOIDA (copepodite larva)		20	30		110	160
30					(ノーブリス期幼生)		400	2,490	1,730	2,200	6,820
31		顎脚(鯉脚亜綱)	鯉脚		COPEPODA (nauplius larva)		190	560	720	1,010	2,480
32		軟甲	十脚		CIRRIPEDIA (nauplius larva)			40	60	20	120
33	毛顎動物	現生矢虫	無膜	矢虫	DECAPODA (zoea larva)		30	180	60		270
34	棘皮動物	ヒトデ			<i>Sagitta</i> spp. (juvenile)		20	20		20	60
35	原索動物	尾虫		イカホキ	ASTEROIDEA (bipinnaria larva)		20	200	60	110	390
36					OPHIUROIDEA (ophiopluteus larva)			70			70
37					<i>Oikopleura dioica</i>			20			20
38					<i>Oikopleura longicauda</i>			20	30		70
39					<i>Oikopleura</i> spp. (juvenile)		20	20			70
40	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ササチイワ	ASCIDIACEA (appendicularia larva)			40		20	60
					<i>Engraulis japonicus</i> (egg)			160	370	230	760
					Fishes egg		210	70	260	140	680
					種類数		25	32	26	30	40
					合計個体数		24,450	15,950	11,750	11,510	63,660
					沈澱量 (mL/m <sup>3</sup> )		5.8	3.9	2.6	3.7	-

# 動物プランクトン調査結果(夏季)

調査年月日：令和7年8月6日  
 調査方法：北原式定量ネット

番号	門	綱	目	科	種名	地点				合計
						A	B	C	D	
1	原生動物	多膜類繊毛虫	少毛類繊毛虫	ツバキアザミ	<i>Tintinnopsis aperta</i>		30			30
2					<i>Tintinnopsis radix</i>		30		50	80
3					<i>Favella ehrenbergii</i>	120	30	40	50	240
4		放射足虫	放射足虫	(不明)	<i>Sticholonche zanclea</i>	600	60			660
5	刺胞動物	ヒトロ虫	軟クサク	ウミヒトロ	<i>Obelia</i> sp.	40	30			70
6					HYDROIDA	520	210	400	160	1,290
7					SIPHONOPHORA	40	30	40		110
8	袋形動物	輪虫	アロイ	スズメバネ	<i>Trichocerca marina</i>				50	50
9					<i>Synchaeta</i> sp.		30			30
10	軟体動物	腹足	—	—	GASTROPODA (larva)	40		90	50	180
11		二枚貝	—	—	BIVALVIA (D larva)	120		40	110	270
12					BIVALVIA (umbo larva)	5,410	1,640	3,100	4,120	14,270
13	環形動物	多毛	—	—	POLYCHAETA (larva)	5,610	3,040	3,850	3,370	15,870
14	節足動物	鯚脚	枝角	シダ	<i>Penilia avirostris</i>	4,170	1,790	3,230	3,640	12,830
15					<i>Evadne tergestina</i>	680	330	350	960	2,320
16		顎脚(カイアシ類)	アラス	アラス	<i>Acartia omorii</i>	40	60	130		230
17					<i>Paracalanus parvus</i>	1,000	120	130		1,250
18					<i>Pseudodiaptomus marinus</i>		60	40		100
19			キコブス	オイト	<i>Oithona davisae</i>	13,030	3,730	11,060	19,790	47,610
20			ハルバチ	エチノ	<i>Microsetella norvegica</i>	40				40
21					<i>Euterpina acutifrons</i>			30		30
22			ホエキ	コリ	<i>Corvaceus affinis</i>	40	60			100
23					<i>Oncaea media</i>		30			30
24				(コバ)	<i>Acartia</i> (copepodite larva)	400	150	440	750	1,740
25					<i>Paracalanus</i> (copepodite larva)	3,810	720	1,020	480	6,030
26					<i>Pseudodiaptomus</i> (copepodite larva)		90	180	50	320
27					<i>Temora</i> (copepodite larva)	40			50	90
28					<i>Hemicyclops</i> (copepodite larva)	80	90	90		260
29					<i>Corvaceus</i> (copepodite larva)	80	150	90	110	430
30					<i>Oithona</i> (copepodite larva)	12,630	3,430	4,200	4,810	25,070
31					<i>Oncaea</i> (copepodite larva)			40	50	90
32					<i>Euterpina</i> (copepodite larva)	40				40
33				(ノ)	COPEPODA (nauplius larva)	7,620	4,630	5,530	7,750	25,530
34		顎脚(蔓脚亜綱)	蔓脚	—	CIRRIPEDIA (nauplius larva)	120	60	270	1,070	1,520
35		軟甲	十脚	—	DECAPODA (zoea larva)	40	30			70
36	触手動物	ホコ	ホコ	—	PHORONIDEA (actinotrocha larva)			90		90
37	毛顎動物	現生矢虫	無膜	矢虫	<i>Sagitta crassa</i>	120		270	50	440
38					<i>Sagitta</i> sp.	160	90			250
39					<i>Sagitta</i> spp. (juvenile)	1,440	360	400	590	2,790
40	棘皮動物	ヒト	—	—	ASTEROIDEA (bipinnaria larva)			40		40
41		クモ	—	—	OPHUROIDEA (ophiopluteus larva)	40		40	160	240
42	原索動物	尾虫	尾虫	オキ	<i>Oikopleura dioica</i>	1,600	600	1,060	530	3,790
43					<i>Oikopleura longicauda</i>	600		530	480	1,610
44					<i>Oikopleura</i> spp.	1,000	600	130	370	2,100
45		サ	—	—	ASCIDIACEA (appendicularia larva)	120		90		210
46	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	サ	<i>Engraulis japonicus</i> (egg)				50	50
47	—	—	—	—	unidentified larva	680	750	580	800	2,810
種類数						35	33	32	28	47
合計個体数						62,120	23,090	37,590	50,500	173,300
沈降量(mL/m <sup>3</sup> )						8.7	5.2	8.3	8.0	-

## 動物プランクトン調査結果(秋季)

調査年月日：令和7年11月5日  
調査方法：北原式定量ネット  
単位：個体/m<sup>3</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	原生動物	多膜類繊毛虫	少毛類繊毛虫	クダクダ目	<i>Amphorellopsis acuta</i>				70		70
2		放射足虫	放射足虫	—	RADIOLARIA		50	150			200
3	刺胞動物	ヒトロ虫	軟クダクダ	クダクダ目	<i>Obelia</i> sp.			70			70
4		ヒトロ虫	ヒトロ虫	—	HYDROIDA					90	90
5	袋形動物	輪虫	アロイマ	トコロシ目	<i>Synchaeta</i> sp.			150	70		220
6	軟体動物	腹足	—	—	GASTROPODA (larva)		50	70	70		190
7		二枚貝	—	—	BIVALVIA (umbo larva)		590	450	210	90	1,340
8	環形動物	多毛	—	—	POLYCHAETA (larva)		480	520	550	120	1,670
9	節足動物	鯉脚	枝角	クダクダ目	<i>Evdne tergestina</i>					30	30
10		顎脚(カイアシ綱)	カラス	ハラカラス	<i>Paracalanus crassirostris</i>		480	820	1,930	150	3,380
11					<i>Paracalanus parvus</i>		650	900	1,100	90	2,740
12			キコブス	オイトナ	<i>Oithona davisae</i>		50	150		30	230
13					<i>Oithona nana</i>					30	30
14			ホノキコ	コリカス	<i>Corcycaeus affinis</i>		50	150			200
15			オウゴン	オウゴン	<i>Oncaea media</i>				70		70
16			—	(コバノテイト期幼生)	<i>Acartia</i> (copepodite larva)		540	150	340	400	1,430
17					<i>Clausocalanus</i> (copepodite larva)		50				50
18					<i>Paracalanus</i> (copepodite larva)		8,230	5,840	10,670	3,760	28,500
19					<i>Hemicyclops</i> (copepodite larva)				210		210
20					<i>Corcycaeus</i> (copepodite larva)		160	450	340	60	1,010
21					<i>Oithona</i> (copepodite larva)		1,180	670	1,100	760	3,710
22					<i>Oncaea</i> (copepodite larva)		50	70	140	30	290
23					HARPACTICOIDA (copepodite larva)		220	1,120			1,340
24				(ノブノブ期幼生)	COPEPODA (nauplius larva)		5,750	5,310	6,330	4,070	21,460
25		顎脚(蔓脚亜綱)	蔓脚	—	CIRRIPEDIA (nauplius larva)			70		120	190
26		軟甲	等脚	—	ISOPODA (larva)		50	70			120
27			オウゴン	—	EUPHAUSIACEA (calyptopsis larva)			70			70
28			十脚	スベキガリ	Callianassidae (zoea)				140		140
29	毛顎動物	現生矢虫	無膜	矢虫	<i>Sagitta crassa</i>		50				50
30					<i>Sagitta</i> spp. (juvenile)		380	70	70	30	550
31	原索動物	尾虫	尾虫	オウゴン	<i>Oikopleura dioica</i>		1,180	2,540	3,300	120	7,140
32					<i>Oikopleura longicauda</i>		270	370	70	90	800
33					<i>Oikopleura</i> spp.		1,560	670	1,030	460	3,720
34					<i>Oikopleura</i> spp. (juvenile)		50	70			120
35	脊椎動物	硬骨魚	—	—	Pisces egg		50	150			200
36	—	—	—	—	unidentified larva (trochophora)			70			70
37	—	—	—	—	unidentified larva		50			30	80
					種類数		25	27	20	20	37
					合計個体数		22,220	21,190	27,810	10,560	81,780
					沈澱量(mL/m <sup>3</sup> )		11.4	29.9	17.2	10.3	—

## 動物プランクトン調査結果(冬季)

調査年月日：令和8年2月4日  
調査方法：北原式定量ネット  
単位：個体/m<sup>3</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	原生動物	多膜類繊毛虫	少毛類繊毛虫	クダクダ目	<i>Favella taraikaensis</i>		320	150		120	590
2	軟体動物	腹足	—	—	GASTROPODA (larva)			150	130		280
3		二枚貝	—	—	BIVALVIA (umbo larva)		40	300		120	460
4	環形動物	多毛	—	—	POLYCHAETA (larva)		280	590		240	1,110
5	節足動物	鯉脚	枝角	クダクダ目	<i>Evdne nordmanni</i>		80	220		720	1,020
6					<i>Podon polyphemoides</i>		40		260		300
7		顎脚(カイアシ綱)	カラス	アロイマ	<i>Acartia omorii</i>		80	3,260	9,590	1,210	14,140
8					<i>Calanus sinicus</i>				260		260
9					<i>Centropages abdominalis</i>		40	220		60	320
10					<i>Paracalanus parvus</i>		280	1,040	130	720	2,170
11					<i>Pseudodiaptomus marinus</i>			70			70
12			キコブス	オイトナ	<i>Oithona davisae</i>		1,460	1,190	130	360	3,140
13					<i>Oithona similis</i>		80	150			230
14			ホノキコ	コリカス	<i>Corcycaeus affinis</i>		80		130	240	450
15			オウゴン	オウゴン	<i>Oncaea media</i>					120	120
16			—	(コバノテイト期幼生)	<i>Acartia</i> (copepodite larva)		1,340	5,340	5,050	3,740	15,470
17					<i>Centropages</i> (copepodite larva)			300	260	60	620
18					<i>Paracalanus</i> (copepodite larva)		1,420	6,080	910	2,170	10,580
19					<i>Pseudodiaptomus</i> (copepodite larva)			70			70
20					<i>Hemicyclops</i> (copepodite larva)			300			300
21					<i>Corcycaeus</i> (copepodite larva)			1,040	130	600	1,770
22					<i>Oithona</i> (copepodite larva)		1,580	1,780	520	720	4,600
23					HARPACTICOIDA (copepodite larva)		200	150			350
24				(ノブノブ期幼生)	COPEPODA (nauplius larva)		5,840	6,530	780	3,990	17,140
25		顎脚(蔓脚亜綱)	蔓脚	—	CIRRIPEDIA (nauplius larva)		200		130		330
26	毛顎動物	現生矢虫	無膜	矢虫	<i>Sagitta</i> spp. (juvenile)			150	1,040	120	1,310
27	原索動物	尾虫	尾虫	オウゴン	<i>Oikopleura dioica</i>		910	740	260	850	2,760
28					<i>Oikopleura</i> spp. (juvenile)			150	260		410
					種類数		18	23	17	19	28
					合計個体数		14,270	29,970	19,970	16,520	80,730
					沈澱量(mL/m <sup>3</sup> )		9.2	13.4	18.1	15.7	—

#### (4) 魚卵・稚仔魚調査結果

現地観測結果については、前項の表 4-1-1～表 4-1-4 に示した。

##### ① 魚卵調査結果

###### ア 春季調査

魚卵についての春季調査結果を表 4-3-14 に示す。また、主な出現種の写真を、写-29、写-30 及び写-31 に示す。

春季調査において出現した魚卵は、4 地点合計で 4 種類、9,028 粒/1 曳網であった。このうち不明卵は、単脂球形卵の 1 種類が出現した。

地点別にみると、種類数は 3～4 種類の範囲にあり、地点 B で少なく、地点 A、地点 C 及び地点 D で多かった。

卵数は 1,491～2,991 粒/1 曳網の範囲にあり、地点 A で少なく、地点 C で多かった。

不明卵以外の主な出現種は、コノシロ及びカタクチイワシであった。

###### イ 夏季調査

魚卵についての夏季調査結果を表 4-3-15 に示す。また、主な出現種の写真を、写-32 に示す。

夏季調査において出現した魚卵は、4 地点合計で 7 種類、7,763 粒/1 曳網であった。このうち不明卵は、単脂球形卵 3 種類が出現した。

地点別にみると、種類数は 4～5 種類の範囲にあり、地点 A で少なく、地点 B、地点 C 及び地点 D で多かった。

卵数は 512～4,619 粒/1 曳網の範囲にあり、地点 D で少なく、地点 B で多かった。

不明卵以外の主な出現種は、カタクチイワシであり、全地点でみられた。

###### ウ 秋季調査

魚卵についての秋季調査結果を表 4-3-16 に示す。また、主な出現種の写真を、写-33、写-34 及び写-35 に示す。

秋季調査において出現した魚卵は、4 地点合計で 11 種類、1,929 粒であった。このうち不明卵は、単脂球形卵の 3 種類が出現した。

地点別にみると、種類数は 7～11 種類の範囲にあり、地点 A で少なく、地点 C で多かった。

卵数は 180～979 粒/1 曳網の範囲にあり、地点 A で少なく、地点 B で多かった。

主な出現種は、ウシノシタ亜目、ネズッコ科及び不明卵の単脂球形卵 2 であり、全地点でみられた。

#### エ 冬季調査

魚卵についての冬季調査結果を表 4-3-17 に示す。また、主な出現種の写真を、写-36 及び写-37 に示す。

冬季調査において魚卵は地点 B のみ出現し、2 種類、5 粒であった。このうち不明卵は、単脂球形卵の 1 種類が出現した。

不明卵以外の出現種はスズキ属であった。

#### オ 季別調査比較

四季を通じた調査で出現した魚卵は 20 種であり、このうち 9 種が不明卵であった。

調査季別の種類数は 2~11 種類の範囲にあり、冬季に少なく、秋季に多かった。卵数は 5~9, 028 粒/季の範囲にあり、冬季に少なく、春季に多かった。

主な出現種として、春季及び夏季はカタクチイワシ、秋季はウシノシタ亜目、冬季はスズキ属であった。

表 4-3-14 魚卵調査結果(春季)

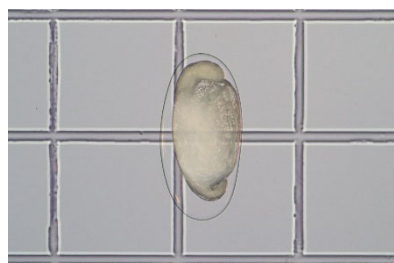
調査年月：令和7年5月14日

調査方法：丸稚ネット

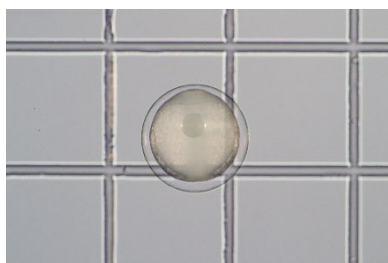
項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		4	3	4	4	4
卵数合計(粒/1曳網)		1,491	2,773	2,991	1,773	9,028
主な出現種	【硬骨魚綱】	単脂球形卵	カタクチイワシ	カタクチイワシ	カタクチイワシ	カタクチイワシ
		(49.7)	(94.2)	(88.4)	(87.6)	(80.0)
		カタクチイワシ		単脂球形卵	単脂球形卵	単脂球形卵
		(27.8)		(7.5)	(8.5)	(13.7)
		コノシロ			コノシロ	
		(19.7)				(5.5)

注：主な出現種は卵数比率の5%以上の種を選出し、( )内に卵数比率を示す。

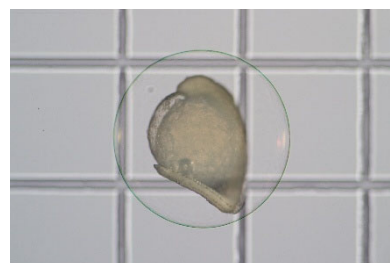
主な出現種



写-29 カタクチイワシ



写-30 単脂球形卵



写-31 コノシロ

表 4-3-15 魚卵調査結果(夏季)

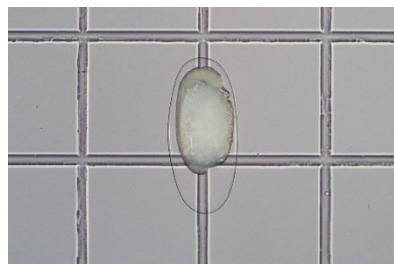
調査年月：令和7年8月6日

調査方法：丸稚ネット

項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		4	5	5	5	7
卵数合計(粒/1曳網)		846	4,619	1,786	512	7,763
主な出現種	【硬骨魚綱】	カタクチイワシ	カタクチイワシ	カタクチイワシ	カタクチイワシ	カタクチイワシ
		(90.5)	(93.7)	(87.8)	(78.3)	(91.0)
		単脂球形卵 1		単脂球形卵 2	単脂球形卵 2	単脂球形卵 3
		(6.0)		(6.1)	(10.4)	(5.7)
				単脂球形卵 1		
				(5.5)		

注：主な出現種は卵数比率の5%以上の種を選出し、( )内に卵数比率を示す。

主な出現種



写-32 カタクチイワシ

表 4-3-16 魚卵調査結果(秋季)

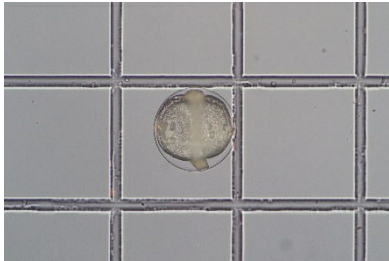
調査年月：令和7年11月5日

調査方法：丸稚ネット

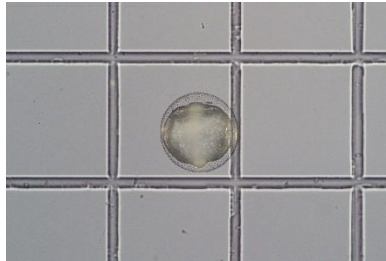
項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		7	9	11	8	11
卵数合計（粒/1曳網）		180	979	400	370	1,929
主な出現種	【硬骨魚綱】	ウシノシタ亜目 1 (43.3)	ウシノシタ亜目 1 (35.9)	ウシノシタ亜目 1 (51.5)	ウシノシタ亜目 1 (42.7)	ウシノシタ亜目 1 (41.1)
		ネズッコ科 (27.2)	ネズッコ科 (22.4)	ネズッコ科 (21.0)	ネズッコ科 (25.9)	ネズッコ科 (23.2)
		単脂球形卵 2 (21.7)	単脂球形卵 2 (19.0)	単脂球形卵 2 (9.8)	単脂球形卵 2 (17.3)	単脂球形卵 2 (17.0)
			メイカレイ属 (8.4)	ウシノシタ亜目 2 (5.3)	単脂球形卵 3 (6.8)	メイカレイ属 (5.9)
			ウシノシタ亜目 2 (5.9)	メイカレイ属 (5.0)		単脂球形卵 3 (5.3)
			単脂球形卵 3 (5.5)	単脂球形卵 3 (5.0)		

注：主な出現種は卵数比率の5%以上の種を選出し、（）内に卵数比率を示す。

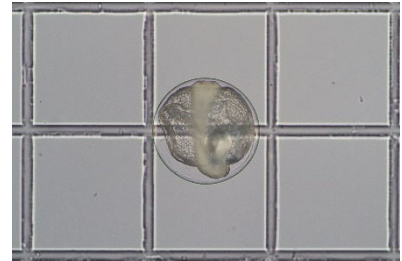
主な出現種



写-33 ウシノシタ亜目



写-34 ネズッコ科



写-35 単脂球形卵 2

表 4-3-17 魚卵調査結果(冬季)

調査年月：令和8年2月4日

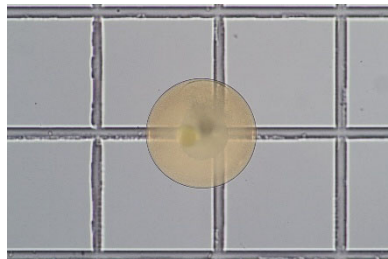
調査方法：丸稚ネット

項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		0	2	0	0	2
卵数合計（粒/1曳網）		0	5	0	0	5
主な出現種	【硬骨魚綱】		スズキ属 (60.0)			スズキ属 (60.0)
			単脂球形卵 (40.0)			単脂球形卵 (40.0)

注：主な出現種は卵数比率の5%以上の種を選出し、（）内に卵数比率を示す。



写-36 スズキ属



写-37 単脂球形卵

【参考】【魚卵調査結果】

魚卵調査結果(春季)

調査年月：令和7年5月14日

調査方法：丸稚ネット

単 位：粒/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	ニシ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	293	38	107	60	498	
2				カタチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>	カタチイワシ	414	2,611	2,644	1,554	7,223	
3			ススキ	ネスッポ	Callionymidae	ネスッポ科	43		16		9	68
4			-	-	Unidentified egg of s.o.	単脂球形卵	741	124	224	150	1,239	
種類数							4	3	4	4	4	
卵数合計							1,491	2,773	2,991	1,773	9,028	

調査年月：令和7年5月14日

調査方法：丸稚ネット

種名	卵径 (mm)	油球数	油球径 (mm)
コノシロ	1.24-1.56	1	0.11-0.18
カタチイワシ	0.52-0.64×1.14-1.40	-	-
ネスッポ科	0.60-0.68	-	-
単脂球形卵	0.82-0.94	1	0.18-0.20

魚卵調査結果(夏季)

調査年月：令和7年8月6日

調査方法：丸稚ネット

単 位：粒/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	カタチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>	カタチイワシ	766	4,328	1,568	401	7,063	
2				ススキ	ネスッポ	Callionymidae	ネスッポ科					1
3			カレイ	カレイ	Soleoidei	ウシノタ亜目				9		9
4			-	-	Unidentified egg of s.o. 1	単脂球形卵 1	1	51	200	69	28	348
5			-	-	Unidentified egg of s.o. 2	単脂球形卵 2	2	27	56	109	53	245
6			-	-	Unidentified egg of s.o. 3	単脂球形卵 3	3	2	32	31	29	94
7			-	-	Unidentified egg of n.o.	無脂球形卵	3		3			3
種類数							4	5	5	5	7	
卵数合計							846	4,619	1,786	512	7,763	

調査年月：令和7年8月6日

調査方法：丸稚ネット

種名	卵径 (mm)	油球数	油球径 (mm)
カタチイワシ	0.56-0.64×1.14-1.36	-	-
ネスッポ科	0.67	-	-
ウシノタ亜目	0.62-0.68	約10	0.03-0.07
単脂球形卵 1	0.54-0.60	1	0.12-0.13
単脂球形卵 2	0.62-0.68	1	0.14-0.15
単脂球形卵 3	0.70-0.80	1	0.17-0.18
無脂球形卵	1.12-1.16	-	-

## 魚卵調査結果(秋季)

調査年月：令和7年11月5日

調査方法：丸稚ネット

単 位：粒/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	-	Anguilliformes 1	ウナギ目 1			1		1
2					Anguilliformes 2	ウナギ目 2		1	1	1	3
3			ニシ	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>	カタクチイワシ	3	24	6	8	41
4			スズキ	ネスッポ	Callionymidae	ネスッポ科	49	219	84	96	448
5				タチウオ	Trichiuridae	タチウオ科			1		1
6			カレイ	カレイ	<i>Pleuronichthys</i> sp.	メタカレイ属	5	82	20	7	114
7				-	Soleoidei 1	ウシノタ垂目 1	78	351	206	158	793
8				-	Soleoidei 2	ウシノタ垂目 2	3	58	21	11	93
9				-	Unidentified egg of s.o. 1	単脂球形卵 1		4	1		5
10				-	Unidentified egg of s.o. 2	単脂球形卵 2	39	186	39	64	328
11				-	Unidentified egg of s.o. 3	単脂球形卵 3	3	54	20	25	102
種類数							7	9	11	8	11
卵数合計							180	979	400	370	1,929

調査年月：令和7年11月5日

調査方法：丸稚ネット

種名	卵径 (mm)	油球数	油球径 (mm)
ウナギ目 1	2.55	-	-
ウナギ目 2	4.30-4.48	-	-
カタクチイワシ	0.58-0.66×1.10-1.36	-	-
ネスッポ科	0.62-0.68	-	-
タチウオ科	1.71	1	0.42
メタカレイ属	1.10-1.18	1	0.12-0.17
ウシノタ垂目 1	0.64-0.72	約10	0.03-0.08
ウシノタ垂目 2	1.16-1.30	約20	0.05-0.11
単脂球形卵 1	0.74-0.78	1	0.15-0.16
単脂球形卵 2	0.84-0.94	1	0.20-0.22
単脂球形卵 3	1.20-1.30	1	0.29-0.31

## 魚卵調査結果(冬季)

調査年月：令和8年2月4日

調査方法：丸稚ネット

単 位：粒/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax</i> sp.	スズキ属		3			3
2			-	-	Unidentified egg of s.o.	単脂球形卵		2			2
種類数							0	2	0	0	2
卵数合計							0	5	0	0	5

調査年月：令和8年2月4日

調査方法：丸稚ネット

種名	卵径 (mm)	油球数	油球径 (mm)
スズキ属	1.27-1.31	1	0.32-0.35
単脂球形卵	0.90-0.92	1	0.16

## ② 稚仔魚調査結果

現地調査結果については、前項の表 4-1-1～4-1-4 に示した。

### ア 春季調査

稚仔魚についての春季調査結果を表 4-3-18 に示す。また、主な出現種の写真を、写-38、写-39 及び写-40 に示す。

春季調査において出現した稚仔魚は、4 地点合計で 7 種類、60 個体/1 曳網であった。

地点別にみると、種類数は 3～5 種類の範囲にあり、地点 B で少なく、地点 C 及び地点 D で多かった。

個体数は 7～24 個体/1 曳網の範囲にあり、地点 B で少なく、地点 D で多かった。

主な出現種は、イソギンポ、イソギンポ科及びコノシロであった。

### イ 夏季調査

稚仔魚についての夏季調査結果を表 4-3-19 に示す。また、主な出現種の写真を、写-41、写-42 及び写-43 に示す。

夏季調査において出現した稚仔魚は、4 地点合計で 15 種類、93 個体/1 曳網であった。

地点別にみると、種類数は 5～12 種類の範囲にあり、地点 A 及び地点 D で少なく、地点 B で多かった。

個体数は 7～65 個体/1 曳網の範囲にあり、地点 D で少なく、地点 B で多かった。

主な出現種は、カワハギ科、ナベカ属及びアミメハギであった。

### ウ 秋季調査

稚仔魚についての秋季調査結果を表 4-3-20 に示す。また、主な出現種の写真を、写-44、写-45 及び写-46 に示す。

秋季調査において出現した稚仔魚は、4 地点合計で 8 種類、48 個体/1 曳網であった。

地点別にみると、種類数は 1～6 種類の範囲にあり、地点 D で少なく、地点 B で多かった。

個体数は 4～25 個体/1 曳網の範囲にあり、地点 C で少なく、地点 A で多かった。

主な出現種は、カサゴ、イソギンポ及びネズツポ科であった。

### エ 冬季調査

稚仔魚についての冬季調査結果を表 4-3-21 に示す。また、主な出現種の写真を、写-47、写-48 及び写-49 に示す。

冬季調査において出現した稚仔魚は、4 地点合計で 4 種類、44 個体/1 曳網であった。

地点別にみると、種類数は 1～4 種類の範囲にあり、地点 A で少なく、地点 C で多かった。

個体数は 1～16 個体/1 曳網の範囲にあり、地点 A で少なく、地点 B 及び地点 C で多かった。

主な出現種は、スズキ属、カサゴ及びメバル属であった。

#### オ 季別調査の比較

四季を通じ調査で出現した稚仔は 26 種類であった。

調査季別の種類数は 4～15 種類の範囲にあり、冬季に少なく、夏季に多かった。

個体数は 44～93 個体/季の範囲にあり、冬季に少なく、夏季に多かった。

主な出現種として、イソギンポ及びハゼ科が春季、夏季及び秋季の 3 季を通じてみられた。

表 4-3-18 稚仔魚調査結果(春季)

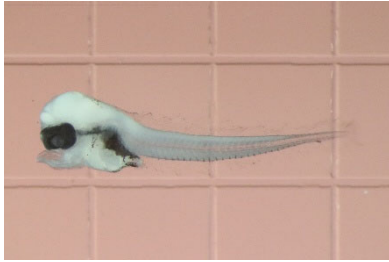
調査年月：令和7年5月14日

調査方法：丸稚ネット

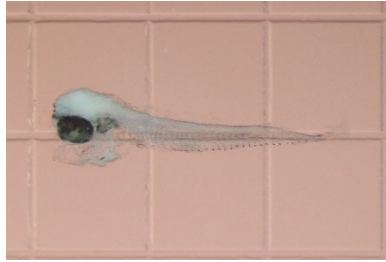
項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		4	3	5	5	7
個体数合計（個体/1曳網）		18	7	11	24	60
主な出現種	【硬骨魚綱】	イソギンポ (61.1)	イソギンポ (42.9)	カタクチイソ (45.5)	イソギンポ (58.3)	イソギンポ (50.0)
		イソギンポ科 (27.8)	イソギンポ科 (42.9)	イソギンポ (18.2)	コノシロ (25.0)	イソギンポ科 (18.3)
		カタクチイソ (5.6)	ハゼ科 (14.3)	イソギンポ科 (18.2)	ハゼ科 (8.3)	コノシロ (11.7)
		ハゼ科 (5.6)		コノシロ (9.1)		カタクチイソ (10.0)
				サヨリ科 (9.1)		ハゼ科 (6.7)

注：主な出現種は個体数比率の5%以上の種を選出し、（ ）内に個体数比率を示す。

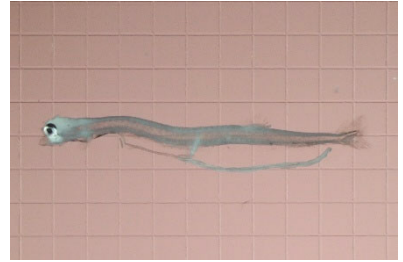
主な出現種



写-38 イソギンポ



写-39 イソギンポ科



写-40 コノシロ

表 4-3-19 稚仔魚調査結果(夏季)

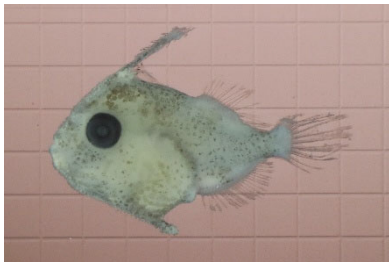
調査年月：令和7年8月6日

調査方法：丸稚ネット

項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		5	12	6	5	15
個体数合計（個体/1曳網）		10	65	11	7	93
主な出現種	【硬骨魚綱】					
	カワハギ科	カワハギ科 (60.0)	アミメハギ (18.5)	イソギンポ (36.4)	イソギンポ (42.9)	カワハギ科 (19.4)
	カタクチイワシ	カタクチイワシ (10.0)	ナベカ属 (16.9)	カタクチイワシ (18.2)	カタクチイワシ (14.3)	ナベカ属 (14.0)
	ナベカ属	ナベカ属 (10.0)	カワハギ科 (16.9)	イソギンポ科 (18.2)	ナベカ属 (14.3)	アミメハギ (14.0)
	イソギンポ科	イソギンポ科 (10.0)	サッパ (15.4)	アジ科 (9.1)	イソギンポ科 (14.3)	イソギンポ科 (11.8)
	アミメハギ	アミメハギ (10.0)	イソギンポ科 (10.8)	ハゼ科 (9.1)	ハゼ科 (14.3)	サッパ (10.8)
		シロキス (6.2)	カワハギ科 (9.1)		イソギンポ (7.5)	
					ハゼ科 (5.4)	

注：主な出現種は個体数比率の5%以上の種を選出し、（ ）内に個体数比率を示す。

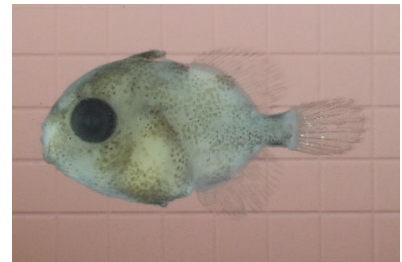
主な出現種



写-41 カワハギ科



写-42 ナベカ属



写-43 アミメハギ

表 4-3-20 稚仔魚調査結果(秋季)

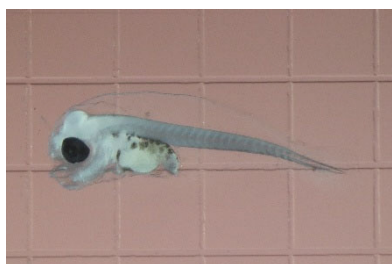
調査年月：令和7年11月5日

調査方法：丸稚ネット

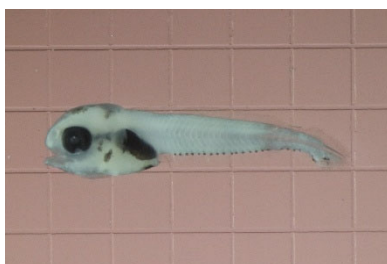
項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		5	6	2	1	8
個体数合計（個体/1曳網）		25	14	4	5	48
主な出現種	【硬骨魚綱】	カサゴ	カサゴ	カサゴ	カサゴ	カサゴ
		(80.0)	(28.6)	(75.0)	(100.0)	(66.7)
		イソギンポ	イソギンポ	イソギンポ	イソギンポ	イソギンポ
		(8.0)	(28.6)	(25.0)		(14.6)
		ネズッコ科	ネズッコ科			ネズッコ科
			(21.4)			(8.3)
	テンジクダイ科					
		(7.1)				
	キチヌ					
		(7.1)				
	ハゼ科					
		(7.1)				

注：主な出現種は個体数比率の5%以上の種を選出し、（ ）内に個体数比率を示す。

主な出現種



写-44 カサゴ



写-45 イソギンポ



写-46 ネズッコ科

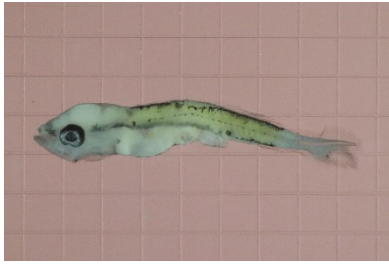
表 4-3-21 稚仔魚調査結果(冬季)

調査年月：令和8年2月4日

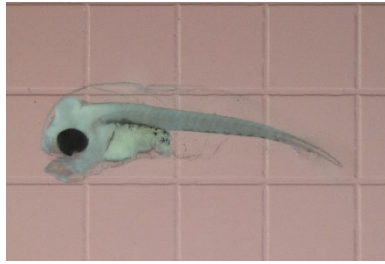
調査方法：丸稚ネット

項目	地点	A	B	C	D	合計
種類数		1	3	4	3	4
個体数合計（個体/1曳網）		1	16	16	11	44
主な出現種	【硬骨魚綱】	メハ <sup>ル</sup> 属	スズ <sup>キ</sup> 属	スズ <sup>キ</sup> 属	スズ <sup>キ</sup> 属	スズ <sup>キ</sup> 属
		(100.0)	(56.3)	(56.3)	(54.5)	(54.5)
			カサ <sup>ゴ</sup>	カサ <sup>ゴ</sup>	カサ <sup>ゴ</sup>	カサ <sup>ゴ</sup>
			(25.0)	(18.8)	(27.3)	(22.7)
		メハ <sup>ル</sup> 属	メハ <sup>ル</sup> 属	メハ <sup>ル</sup> 属	メハ <sup>ル</sup> 属	
		(18.8)	(18.8)	(18.2)	(20.5)	
			マコカ <sup>レイ</sup>			
				(6.3)		

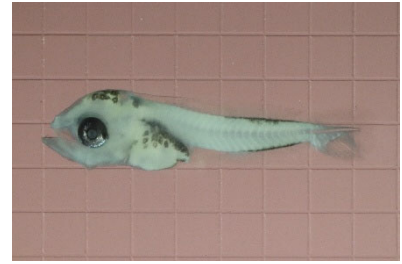
注：主な出現種は個体数比率の5%以上の種を選出し、（ ）内に個体数比率を示す。



写-47 スズキ属



写-48 カサゴ



写-49 メハ<sup>ル</sup>属

【参考】 【稚仔魚調査結果】

稚仔魚調査結果(春季)

調査年月：令和7年5月14日

調査方法：丸稚ネット

単 位：個体/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計		
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシソ	ニシソ	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ			1	6	7		
2				カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>	カタクチイワシ	1		5		6		
3			サヨリ	Hemiramphidae	サヨリ科					1		1	
4			ススギ	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegeli</i>	クロダイ						1	1
5				イソギンボ	<i>Parablennius yatabei</i>	イソギンボ	11	3	2	14	30		
6					Blenniidae	イソギンボ科	5	3	2	1	11		
7					Gobiidae	ハゼ科	1	1		2	4		
種類数							4	3	5	5	7		
個体数合計							18	7	11	24	60		

調査年月：令和7年5月14日

調査方法：丸稚ネット

種名	全長 (mm)
コノシロ	4.0-10.1
カタクチイワシ	3.9-29.7
サヨリ科	7.0
クロダイ	7.2
イソギンボ	2.1-2.9
イソギンボ科	2.2-2.7
ハゼ科	2.3-2.5

## 稚仔魚調査結果(夏季)

調査年月：令和7年8月6日

調査方法：丸稚ネット

単 位：個体/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシソ	ニシソ	<i>Sardinella zunasi</i>	サッパ		10			10
2				カタチイソ	<i>Engraulis japonica</i>	カタチイソ	1		2	1	4
3			スギ	テンジクタイ	Apogonidae	テンジクタイ科		1			1
4				アジ	Carangidae	アジ科			1		1
5				クロサキ	Gerreidae	クロサキ科		1			1
6				キス	<i>Sillago japonica</i>	シロキス		4			4
7				イソキンボ	<i>Parablennius yatabei</i>	イソキンボ			4	3	7
8					<i>Omobranchus</i> sp.	ナベカ属	1	11		1	13
9					Blenniidae	イソキンボ科	1	7	2	1	11
10				ハゼ	Gobiidae	ハゼ科		3	1	1	5
11			フグ	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>	ギマ		1			1
12				カワハキ	<i>Rudarius ercodes</i>	アミハキ	1	12			13
13					Monacanthidae	カワハキ科	6	11	1		18
14				フグ	Tetraodontidae	フグ科		2			2
15			-	-	Unidentified larvae	不明仔魚		2			2
種類数							5	12	6	5	15
個体数合計							10	65	11	7	93

調査年月：令和7年8月6日

調査方法：丸稚ネット

種名	全長 (mm)
サッパ	4.4-10.5
カタチイソ	2.5-5.4
テンジクタイ科	9.2
アジ科	22.7
クロサキ科	7.2
シロキス	2.6-9.3
イソキンボ	1.8-13.3
ナベカ属	4.3-9.4
イソキンボ科	1.8-8.7
ハゼ科	1.6-1.8
ギマ	5.1
アミハキ	5.0-7.5
カワハキ科	6.2-11.3
フグ科	8.2-9.0
不明仔魚	2.4-5.5

稚仔魚調査結果(秋季)

調査年月：令和7年11月5日

調査方法：丸稚ネット

単 位：個体/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計	
1	軟体動物	頭足	八腕形	-	Octopoda	八腕形目	1				1	
2	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	マハヅル	<i>Sebastiscus marmoratus</i>	カサコ	20	4	3	5	32	
3				テンジクダイ	Apogonidae	テンジクダイ科		1				1
4				タイ	<i>Acanthopagrus latus</i>	キチヌ		1				1
5				イソギンポ	<i>Parablennius yatabei</i>	イソギンポ	2	4	1			7
6				ネスッポ	Callionymidae	ネスッポ科	1	3				4
7				ハセ	Gobiidae	ハセ科		1				1
8				カレイ	イヌシタ	<i>Cynoglossus</i> sp.	イヌシタ属	1				
種類数							5	6	2	1	8	
個体数合計							25	14	4	5	48	

調査年月：令和7年11月5日

調査方法：丸稚ネット

種名	全長 (mm)
八腕形目	2.9
カサコ	2.5-4.0
テンジクダイ科	2.2
キチヌ	8.0
イソギンポ	2.7-5.1
ネスッポ科	1.7-1.9
ハセ科	2.6
イヌシタ属	2.8

注：八腕形目は外套膜長(mm)を計測した。

## 稚仔魚調査結果(冬季)

調査年月：令和8年2月4日

調査方法：丸稚ネット

単 位：個体/1曳網

番号	門	綱	目	科	種名	地点	A	B	C	D	合計
1	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	メバル	<i>Sebastiscus marmoratus</i>	カサコ		4	3	3	10
2					<i>Sebastes</i> sp.	メバル属	1	3	3	2	9
3				<i>Lateolabrax</i> sp.	スズキ属		9	9	6	24	
4			カレイ	カレイ	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ			1		1
種類数							1	3	4	3	4
個体数合計							1	16	16	11	44

調査年月：令和8年2月4日

調査方法：丸稚ネット

種名	全長 (mm)
カサコ	2.7-3.6
メバル属	4.5-8.5
スズキ属	3.7-10.8
マコガレイ	2.7

(5) 付着生物調査結果

付着生物(植物、動物)調査は、4季に、地点(I)の-1.0 m、-2.0 m、-3.0 m、-4.0 m底面、地点(II)の-1.0 m、-2.0 m、-2.5 m底面、地点(III)の-0.5 m、-1.0 m底面、-1.0 m、-2.0 m、-3.0 m、-4.0 m、-5.0 m、-6.0 m、根固めブロック、間詰め石、地点(IV)の-1.0 m、-2.0 m、-3.0 m、-4.0 m底面、地点(V)の-1.0 m、-2.0 m、-2.5 m底面及び地点(VI)の-0.5 m、-1.0 m底面、-1.0 m、-2.0 m、-3.0 m、-4.0 m、-5.0 m、-6.0 m、根固めブロック、間詰め石の計34か所を実施した。

- ① 現地観測結果(地点(I)、地点(II)、地点(III)、地点(IV)、地点(V)及び地点(VI))  
付着生物調査における現地観測結果を表4-3-22～表4-3-25に示す。

表 4-3-22(1) 春季調査結果(地点(I)、(II)及び(III))(調査日：令和7年5月7日)

測定項目		調査地点	地点(I)	地点(II)	地点(III)
採取時刻		—	09:20	09:17	09:14
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	19.8	19.8	19.8
	風向	—	北東	北東	北東
	風速	m/s	2.0	2.0	2.0
色相		—	緑褐色	緑褐色	緑褐色
透明度		m	2.0	2.5以上	1.2以上
水深		m	4.2	2.5	1.2
水温	表層	℃	17.6	17.6	17.7
	下層	℃	17.5	17.6	17.7

表 4-3-22(2) 春季調査結果(地点(IV)、(V)及び(VI))(調査日：令和7年5月13日)

測定項目		調査地点	地点(IV)	地点(V)	地点(VI)
採取時刻		—	09:20	09:15	09:25
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	20.9	20.9	20.9
	風向	—	北東	北東	北東
	風速	m/s	1.5	1.5	1.5
色相		—	緑褐色	緑褐色	緑褐色
透明度		m	1.8	1.8	1.1以上
水深		m	3.9	2.3	1.1
水温	表層	℃	18.6	18.6	18.6
	下層	℃	18.3	18.4	18.6

表 4-3-23(1) 夏季調査結果(地点(I)、(II)及び(III))(調査日：令和7年8月7日)

測定項目		調査地点	地点(I)	地点(II)	地点(III)
採取時刻		—	09:20	09:15	09:10
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	32.8	32.8	32.8
	風向	—	南西	南西	南西
	風速	m/s	8.0	8.0	8.0
色相	—	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	
透明度	m	3.7以上	2.0以上	0.6以上	
水深	m	3.7	2.0	0.6	
水温	表層	℃	27.5	27.5	27.5
	下層	℃	27.3	27.5	27.5

表 4-3-23(2) 夏季調査結果(地点(IV)、(V)及び(VI))(調査日：令和7年8月8日)

測定項目		調査地点	地点(IV)	地点(V)	地点(VI)
採取時刻		—	09:30	09:25	09:20
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	32.8	32.8	32.8
	風向	—	南	南	南
	風速	m/s	1.6	1.6	1.6
色相	—	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	
透明度	m	3.9以上	2.7以上	3.7	
水深	m	3.9	2.7	0.8	
水温	表層	℃	28.1	28.0	27.9
	下層	℃	27.9	27.9	27.9

表 4-3-24(1) 秋季調査結果(地点(I)、(II)及び(III))(調査日:令和7年11月6日)

測定項目		調査地点	地点(I)	地点(II)	地点(III)
採取時刻		—	10:00	09:55	09:51
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	15.7	15.7	15.7
	風向	—	北	北	北
	風速	m/s	6.0	6.0	6.0
色相		—	暗青色	暗青色	暗青色
透明度		m	4.3以上	2.6以上	1.4以上
水深		m	4.3	2.6	1.4
水温	表層	℃	18.1	18.0	18.0
	下層	℃	18.1	18.0	18.0

表 4-3-24(2) 秋季調査結果(地点(IV)、(V)及び(VI))(調査日:令和7年11月7日)

測定項目		調査地点	地点(IV)	地点(V)	地点(VI)
採取時刻		—	07:56	07:51	07:46
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	14.7	14.7	14.7
	風向	—	西	西	西
	風速	m/s	1.2	1.2	1.2
色相		—	暗青色	暗青色	暗青色
透明度		m	5.5以上	3.9以上	2.5以上
水深		m	5.5	3.9	2.5
水温	表層	℃	17.8	17.8	17.8
	下層	℃	17.8	17.8	17.8

表 4-3-25(1) 冬季調査結果(地点(I)、(II)及び(III))(調査日：令和8年2月5日)

測定項目		調査地点	地点(I)	地点(II)	地点(III)
採取時刻		—	09:20	09:18	09:16
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	9.7	9.7	9.7
	風向	—	北西	北西	北西
	風速	m/s	1.8	1.8	1.8
色相		—	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色	暗灰黄緑色
透明度		m	3.3	3.0以上	1.6以上
水深		m	4.5	3.0	1.6
水温	表層	℃	10.6	10.6	10.6
	下層	℃	10.6	10.6	10.6

表 4-3-25(2) 冬季調査結果(地点(IV)、(V)及び(VI))(調査日：令和8年2月6日)

測定項目		調査地点	地点(IV)	地点(V)	地点(VI)
採取時刻		—	09:45	09:43	09:31
気象	天候	—	晴	晴	晴
	気温	℃	12.3	12.3	12.3
	風向	—	北	北	北
	風速	m/s	1.3	1.3	1.3
色相		—	暗緑色	暗緑色	暗緑色
透明度		m	2.9	3.2以上	2.1以上
水深		m	4.9	3.2	2.1
水温	表層	℃	10.7	10.7	10.7
	下層	℃	10.7	10.7	10.7

② 目視観察結果(地点(I)、地点(II)、地点(III)、地点(IV)、地点(V)及び地点(VI))

ア 春季調査

各地点の付着厚・堆積厚を表 4-3-26 に示す。

地点(I)～地点(VI)における付着生物の目視観察結果を表 4-3-27～表 4-3-32 に示す。

表 4-3-26 各地点の付着厚・堆積厚

地点	地点(I)	地点(II)	地点(III)	地点(III)	地点(IV)	地点(V)	地点(VI)	地点(VI)
項目	じゃかご上	じゃかご上	じゃかご上	間詰め石上	じゃかご上	じゃかご上	じゃかご上	間詰め石上
付着厚(cm)	0～3	0～3	0～1	0～1	0～5	0～5	0～2	0～3
堆積厚(cm)	0～7	0～10	0～12	15～55	0～10	0～7	0～6	0～20

表 4-3-27 地点(I)における付着生物の目視観察結果(春季)

調査期日：令和7年5月7日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(I)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
基盤		垂直コンクリート護岸																じゃかご								
No.	【植物】																									
1	アオノリ属 %				+	+	+	+																		
2	アオサ属 %			+	50	10	+	+	+	+	+	+														
3	イギス目(微小紅藻類) %							+	+	+	+	+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	藍藻綱 %			40	40	40	10																			
5	珪藻綱 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
No.	【動物】																									
1	海綿動物門 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク %						20	+	+	+	+	+	+	+												
4	イソギンチャク目 %							+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10	+	10	+	+	+	
5	アラレタマキビガイ inds.				6																					
6	レイシガイ inds.																						1	1	1	
7	イボニシ inds.					4	6	6	4	4	2	4	2	2	2	2				2	2					
8	クロシタナシウミウシ inds.								1	1		1	1													
9	ミドリイガイ %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
10	マガキ %					10	+	+	10	+	10	+	10	10	10	+	+	+								
11	カンザシゴカイ科 %					30	30	20	20	20	20	10	20	20	20	20	20	20	30	10	20	20	20	20	20	
12	イワフジツボ %				+	20																				
13	Phoronis属 %									+	+	+	10	10	10	10	+	+	+							
14	裸喉綱 %							+	10	30	40	40	50	50	50	50	10	10	+	+	+	10	10	+	10	
15	イトマキヒトデ inds.															3	6	4	2	4	6	4	3	6	6	
16	シロボヤ %														+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
17	ホヤ綱(群党性) %								+	+	+	10	10	10	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-28 地点(II)における付着生物の目視観察結果(春季)

調査期日：令和7年5月7日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(II)																							
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
基盤		垂直コンクリート護岸																じゃかご							
No.	【植物】																								
1	アオノリ属 %				+	+																			
2	アオサ属 %				+	60	20	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	シオグサ属 %									+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イギス目(微小紅藻類) %								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10	10	10
5	藍藻綱 %			20	40	10																			
6	珪藻綱 %									+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
No.	【動物】																								
1	海綿動物門 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク %						20	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							
4	イソギンチャク目 %						10	+	+	+	+	+	+	+	10	10	+	10	+	10	+	10	+	+	+
5	アラレタマキビガイ inds.				4																				
6	レイシガイ inds.														1		1								
7	イボニシ inds.					4	6	4	5	4	3	2	6	2	2	4	2	1	2	4					
8	ムラサキイガイ %													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
9	ミドリイガイ %									+	+	+	+	+	10	10	+	10	10	+	10	10	+	+	+
10	マガキ %						+	40	10	+	20	20	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
11	ミズヒキゴカイ科 %														+	+					+	+			
12	カンザシゴカイ科 %								+	+	+	10	10	10	20	20	20	10	20	20	20	20	20	20	20
13	イワフジツボ %					30	+																		
14	サンカクフジツボ %																						+	+	+
15	Phoronis属 %																								
16	裸喉綱 %							+	10	50	60	50	30	40	30	30	40	30	40	30	40	30	40	30	30
17	イトマキヒトデ inds.												1	2	3	2	3	2	2	2	2	1	1	1	1
18	シロボヤ %														+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
19	ホヤ綱(群党性) %														+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-29(1) 地点(Ⅲ)における付着生物の目視観察結果(1~17) (春季)

調査期日：令和7年5月7,9日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(Ⅲ)																
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
基盤		垂直コンクリート護岸									じゃかご							
No.	【植物】																	
1	アオノリ属 %				+	20												
2	アオサ属 %				+	50	20	10	+	+	10	20	20	10	20	20	20	20
3	シオグサ属 %						+	10	+	+	10	10	10	+	+	+	+	+
4	ムカデノリ科 %											+	+	+				
5	イギス目(微小紅藻類) %										+	+	+	+	+	+	+	+
6	藍藻綱 %					20	+											
7	珪藻綱 %									10	10	10	10	10	10	10	10	10
No.	【動物】																	
1	海綿動物門 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク %					+	30	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イソギンチャク目 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	ケハダヒザラガイ属 inds.					2												
6	アラレタマキビガイ inds.					8												
7	レイシガイ inds.															1		1
8	イボニシ inds.							4	2	6	2	5	4	1	2	2		
9	クロシタナシウミウシ inds.								1		1							
10	ムラサキガイ %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
11	ミドリイガイ %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
12	ナミマガシワガイ %																	
13	マガキ %						+	+										
14	ミズヒキゴカイ科 %										+	+						
15	カンザシゴカイ科 %								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
16	イワフジツボ %					10	+											
17	サンカクフジツボ %																+	+
18	Phoronis属 %									10	+	+	+					
19	裸喉綱 %						+	40	50	60	60	80	70	70	70	70	80	80
20	イトマキヒトデ inds.										1		2	1	2	1	1	1
21	シロボヤ %											+		+		+	+	+
22	ホヤ綱(群党性) %									+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-29(2) 地点(Ⅲ)における付着生物の目視観察結果(18~42) (春季)

調査期日：令和7年5月7,9日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(Ⅲ)																									
枠番号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
基盤		遊水室外 垂直コンクリート護岸												海底間詰石								根固めブロック					
No.	【植物】																										
1	アオノリ属 %																										
2	アオサ属 %																										
3	シオグサ属 %																										
4	ムカデノリ科 %																										
5	イギス目(微小紅藻類) %	+											+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	
6	藍藻綱 %																										
7	珪藻綱 %	+	+	+																							
No.	【動物】																										
1	海綿動物門 %	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10	+	10	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱 %	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク %	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	イソギンチャク目 %	+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	ケハダヒザラガイ属 inds.																										
6	アラレタマキビガイ inds.																										
7	レイシガイ inds.					1																					
8	イボニシ inds.	3	2	1	1	1		1	1		1				1	1											
9	クロシタナシウミウシ inds.									1		1		1	1		1					1					
10	ムラサキガイ %																										
11	ミドリイガイ %	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
12	ナミマガシワガイ %															+	+					+	+				
13	マガキ %	+																+				+	+	+	+	+	
14	ミズヒキゴカイ科 %																										
15	カンザシゴカイ科 %	20	40	40	40	30	40	40	30	50	50	70	80	80	50	40	40	50	50	60	60	50	50	50	50	50	
16	イワフジツボ %																										
17	サンカクフジツボ %	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
18	Phoronis属 %	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
19	裸喉綱 %	10	10	30	30	30	20	20	30	30	30	30	10	10	30	20	30	30	20	20	20	20	20	20	20	20	
20	イトマキヒトデ inds.	4	8	5	3	14	5	4	12	3	3	12	9	6	8	5	5	11	6	7	4	7	5	7	6	7	
21	シロボヤ %															+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
22	ホヤ綱(群党性) %	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-30 地点(IV)における付着生物の目視観察結果(春季)

調査期日：令和7年5月13日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(IV)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
基盤		垂直コンクリート護岸															じゃかご									
No. 【植物】																										
1	アオノリ属	%				+	+																			
2	アオサ属	%				+	40	50	40	10	10	20	30	20	20	20	+	+	10	+	+	+	10	+	+	+
3	イギス目(微小紅藻類)	%							+	+	+															
4	藍藻綱	%			40	30	+																			
5	珪藻綱	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
No. 【動物】																										
1	海綿動物門	%						10	10	10	10	+	+	10	+	+	10	+	+	10	10	10	+	10	10	10
2	ヒドロ虫綱	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%				+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イソギンチャク目	%				+	+	10	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	ケハダヒザラガイ属	inds.				1	3																			
6	アラレタマキビガイ	inds.				12	10																			
7	レイシガイ	inds.																				1	1		1	
8	イボニシ	inds.				4	7	2	4		2	1		1		1	1		1	1		1	1		1	
9	ムラサキガイ	%					+	+		+		+	+		+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
10	ミドリイガイ	%									+		+				+	+		+	+	+	+	+	+	+
11	コウエンカワヒバリガイ	%					+					+					+	+		+	+	+	+	+	+	+
12	マガキ	%			+	20	+	+	+	+	+		+			+										
13	ミズヒキゴカイ科	%															+	+	+	+						
14	カンザシゴカイ科	%					+	10	10	20	20	30	30	40	50	60	60	50	50	60	50	50	60	60	50	60
15	イワフジツボ	%			40	40																				
16	タテジマフジツボ	%					+																			
17	サンカクフジツボ	%								+			+	+			+		+	+			+		+	+
18	ココボーマアカフジツボ	%					+																			
19	ナンオウフジツボ	%					+	+	+	+	+	+														
20	Phoronis属	%							+	+	+															
21	裸喉綱	%				+	20	10	20	20	10	10	20	20	20	30	40	50	50	60	60	60	50	60	60	70
22	シロボヤ	%								+		+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
23	ホヤ綱(群体性)	%							+	+	10	+	+	+	+	10	+	10	10	+	10	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-31 地点(V)における付着生物の目視観察結果(春季)

調査期日：令和7年5月13日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(V)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
基盤		垂直コンクリート護岸															じゃかご									
No. 【植物】																										
1	アオノリ属	%				+	+																			
2	アオサ属	%				+	50	40	10	10	10	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	イギス目(微小紅藻類)	%											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	藍藻綱	%			40	40	10	+																		
5	珪藻綱	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
No. 【動物】																										
1	海綿動物門	%						+	+	+	+	+	+	+	+	10	+	10	10	+	+	10	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%					+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イソギンチャク目	%					+	+	+	10	+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	ケハダヒザラガイ属	inds.				1	2																			
6	アラレタマキビガイ	inds.				10	2																			
7	レイシガイ	inds.																				1		1		
8	イボニシ	inds.				1	4	4	2		1	2		1	1		2	1		1		1		1		
9	ムラサキガイ	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
10	ミドリイガイ	%															+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
11	ナミマガシワガイ	%															+	+								
12	マガキ	%				10	10	+			+	+	+	10		+										
13	カンザシゴカイ科	%					+	20	40	20	30	20	30	40	40	30	30	20	30	20	30	20	30	30	30	30
14	イワフジツボ	%				10	10																			
15	サンカクフジツボ	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
16	ココボーマアカフジツボ	%						+	+																	
17	ナンオウフジツボ	%					+	10	+	+	+															
18	Phoronis属	%											+	+												
19	裸喉綱	%					+	10	30	30	30	40	50	70	80	80	60	60	70	80	80	60	70	80	80	
20	シロボヤ	%								+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
21	ホヤ綱(群体性)	%							+	+	+	10	+	+	+	10	+	10	10	+	10	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-32(1) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果 (1~17) (春季)

調査期日：令和7年5月12,13日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																	
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
基盤		垂直コンクリート護岸									じゃかご								
No.	【植物】																		
1	アオノリ属	%				+	+												
2	アオサ属	%				+	40	50	40	10	10	20	30	30	20	20	20	20	
3	イギス目(微小紅藻類)	%										+	+	+	+	+	+	+	
4	藍藻綱	%			40	30	20	+				+	+	+	+				
5	珪藻綱	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
No.	【動物】																		
1	海綿動物門	%					+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク	%				+	10	+	+	+	+		+	+		+			
4	イソギンチャク目	%				+	+	10	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	ケハダヒザラガイ属	inds.				1	1												
6	アラレタマキビガイ	inds.				18													
7	イボニシ	inds.				4	7	2	1	4		2		2	1		1	2	
8	ムラサキイガイ	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
9	ミドリイガイ	%										+	+		+	+			
10	コウロエンカワヒバリガイ	%					+	+											
11	マガキ	%				20	20	+	+	+	+		+		+	+			
12	ミズヒキゴカイ科	%										+	+						
13	カンザシゴカイ科	%				+	+	20	40	50	20	10	20	10	10	20	10	10	
14	イワフジツボ	%				40	40												
15	タテジマフジツボ	%						+											
16	サンカクフジツボ	%									+	+	+	+	+	+	+	+	
17	ココボーマアカフジツボ	%					+	+	+			+							
18	ナンオウフジツボ	%					+	+	+	+	+	+							
19	Phoronis属	%							+	+									
20	裸喉綱	%				+	20	30	40	40	50	60	70	70	80	70	70	80	
21	イトマキヒトデ	inds.																	
22	シロボヤ	%						+	+	+	+		+		+	+	+	+	
23	ホヤ綱(群體性)	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-32(2) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果(18~42) (春季)

調査期日：令和7年5月12,13日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																									
枠番号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
基盤		遊水室外						垂直コンクリート護岸						海底間詰石						根固めブロック							
No.	【植物】																										
1	アオノリ属	%																									
2	アオサ属	%	10																								
3	イギス目(微小紅藻類)	%																									
4	藍藻綱	%	+	+																							
5	珪藻綱	%	+	+	+																						
No.	【動物】																										
1	海綿動物門	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク	%	+	+			+																				
4	イソギンチャク目	%	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	ケハダヒザラガイ属	inds.																									
6	アラレタマキビガイ	inds.																									
7	イボニシ	inds.	4	2	2	1		2		2	1																
8	ムラサキイガイ	%																									
9	ミドリイガイ	%	+	+	+																						
10	コウロエンカワヒバリガイ	%																									
11	マガキ	%	+		+			+	+		+	+	+	+													
12	ミズヒキゴカイ科	%													+	+											
13	カンザシゴカイ科	%	+	10	30	50	60	50	50	60	50	70	80	30	40	30	40	40	20	50	40	10	10	20	30	20	10
14	イワフジツボ	%																									
15	タテジマフジツボ	%				+	+	+	+																		
16	サンカクフジツボ	%	+	+	+	+	+	+	+	+																	
17	ココボーマアカフジツボ	%																									
18	ナンオウフジツボ	%																									
19	Phoronis属	%							+		+	+															
20	裸喉綱	%	50	10	20	20	20	30	20	20	20	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
21	イトマキヒトデ	inds.	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2		1	1					1	1				1	1	
22	シロボヤ	%	+	10	10	20	10	20	20	10	20	10	+	+	+	10	+	+		+	+	+	+	+	+	+	
23	ホヤ綱(群體性)	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

イ 夏季調査

各地点の付着厚・堆積厚を表 4-3-33 に示す。

地点(I)～地点(VI)における付着生物の目視観察結果を表 4-3-34～表 4-3-39 に示す。

表 4-3-33 各地点の付着厚・堆積厚

地点	地点(I)	地点(II)	地点(III)	地点(III)	地点(IV)	地点(V)	地点(VI)	地点(VI)
項目	じゃかご上	じゃかご上	じゃかご上	間詰め石上	じゃかご上	じゃかご上	じゃかご上	間詰め石上
付着厚(cm)	1～4	1～5	1～5	1～5	1～8	1～6	1～8	1～4
堆積厚(cm)	1～38	0～19	0～7	0～19	0～11	1～19	0～11	5～49

表 4-3-34 地点(I)における付着生物の目視観察結果(夏季)

調査期日：令和7年8月7日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点	(I)																								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
枠番号	垂直コンクリート護岸												じゃかご												
基底																									
No. 【植物】																									
1 アオノリ属	%					+																			
2 アオサ属	%				+	+	+																		
3 藍藻綱	%		10	50	40	10																			
No. 【動物】																									
1 海綿動物門	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2 ヒドロ虫綱	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3 タテジマイソギンチャク	%					10	+	+	+	+	+	+	+	+	+										
4 イソギンチャク目	%					+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10	10	+	+	+	
5 アラレタマキビガイ	inds.		2	5	4																				
6 シマメノウフネガイ	inds.														2		3				1		4	6	
7 レイシガイ	inds.																				1	1	1		
8 イボニシ	inds.				1	44	28	16	12	18	8	16	22	12	4	6	8	3	4	4	4	6	6	2	2
9 アカニシ	inds.														1		1				1		2	2	
10 ミドリイガイ	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
11 マガキ	%					20	+	10	20	+	10	10	10	10	10	+	+	10	+	+	+	+	+	+	
12 カンザシゴカイ科	%					30	50	20	20	20	20	20	20	20	20	10	10	10	20	10	10	20	10	20	
13 イワフジツボ	%			+	60	50																			
14 Phoronis属	%												+	+	+	+									
15 裸喉綱	%						10	10	20	20	20	10	20	20	20	10	10	+	+	+	+	+	+	+	
16 イトマキヒトデ	inds.													1	3	8	6	8	12	4	10	4	4	8	
17 ユウレイボヤ属	%													+	+	+	+	10	+	+	10	+	+	+	
18 シロボヤ	%									+	10	10	20	20	+	40	20	10	10	+	+	+	+	+	
19 ボヤ綱(群体性)	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-35 地点(II)における付着生物の目視観察結果(夏季)

調査期日：令和7年8月7日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点	(II)																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
枠番号	垂直コンクリート護岸										じゃかご											
基底																						
No. 【植物】																						
1 アオノリ属	%					+																
2 アオサ属	%					+	40	+														
3 藍藻綱	%			+	20	40	+															
No. 【動物】																						
1 海綿動物門	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
2 ヒドロ虫綱	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
3 タテジマイソギンチャク	%						40	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
4 イソギンチャク目	%						+	+	+	+	+	+	+	+	10	+	10	+	+	+		
5 アラレタマキビガイ	inds.				6	4																
6 シマメノウフネガイ	inds.											4	10	2		8	6		6	2		
7 レイシガイ	inds.																	1	1			
8 イボニシ	inds.					6	18	12	8	12	4	6	8	2	4	6	6	2	2	2		
9 アカニシ	inds.										1	3	1		3	2		2		1		
10 ムラサキイガイ	%												+	+	+	+				+		
11 ミドリイガイ	%							+	+	+	+	+	+	+	10	10	+	+	+	+		
12 マガキ	%						+	40	10	+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+		
13 ミズヒキゴカイ科	%												+	+						+		
14 カンザシゴカイ科	%							+	+	10	10	10	20	10	10	20	20	10	10	20	20	
15 イワフジツボ	%					30	+															
16 サンカクフジツボ	%																	+	+	+		
17 Phoronis属	%											+	+									
18 裸喉綱	%							+	10	20	30	30	10	40	20	10	20	20	20	20	20	
19 イトマキヒトデ	inds.										1	2	2	1	3	2	3	4	4	8		
20 ユウレイボヤ属	%											+	+	10	10	+	10	10	+	+	+	+
21 シロボヤ	%												+	+	+	10	10	+	+	+	+	+
22 ボヤ綱(群体性)	%										+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。



表 4-3-37 地点(IV)における付着生物の目視観察結果(夏季)

調査期日：令和7年8月8日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(IV)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
基盤		垂直コンクリート護岸															じゃかご									
No. 【植物】																										
1	アオノリ属	%					+																			
2	アオサ属	%					+	20	+																	
3	藍藻綱	%			40	20	+																			
No. 【動物】																										
1	海綿動物門	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	+	10	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%				+	30	+													+	+				
4	イソギンチャク目	%				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	ケハダヒザラガイ属	inds.					2																			
6	アラレタマキビガイ	inds.				9	11																			
7	レイシガイ	inds.															2			1				1		
8	イボニシ	inds.				15	22	11	5	1	3	1				2	1		1		1	2	1	2	1	
9	クロシタナシウミウシ	inds.											1			1	1		2	1			1			
10	ムラサキイガイ	%					10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10	+	+
11	ミドリイガイ	%					10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
12	カンザシゴカイ科	%				+	10	10	20	20	20	30	30	40	40	50	40	30	30	20	20	20	20	30	40	+
13	イワフジツボ	%				30	50																			
14	サンカクフジツボ	%								+	+	+	+	+				+	+	+				+	+	+
15	ココボーマアカフジツボ	%								+																
16	ナンオウフジツボ	%						+	+	+	+	+														
17	Pho+onis属	%								+	+															
18	裸喉綱	%					10	10	20	20	40	20	10	20	30	30	30	40	40	60	60	50	50	40	50	+
19	ユウレイボヤ属	%													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
20	シロボヤ	%							+	20	80	60	50	60	50	40	10	+	+							
21	ホヤ綱 (群體性)	%						+	30	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-38 地点(V)における付着生物の目視観察結果(夏季)

調査期日：令和7年8月8日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(V)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
基盤		垂直コンクリート護岸												じゃかご												
No. 【植物】																										
1	アオサ属	%					10	+																		
2	藍藻綱	%			40	40	10	+																		
No. 【動物】																										
1	海綿動物門	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%				+	40	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イソギンチャク目	%					+	+	+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	ケハダヒザラガイ属	inds.					1	1																		
6	アラレタマキビガイ	inds.				7	9	2																		
7	シマメノウフネガイ	inds.															2				2					
8	イボニシ	inds.				1	23	14	6	2	2	4	1	2	1	3	4	1	1	2	3	4				
9	アカニシ	inds.												1			1									
10	クロシタナシウミウシ	inds.											2		1		2			1	2			1		
11	ムラサキイガイ	%						20	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10	+	+	+
12	ミドリイガイ	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
13	ナミマガシワガイ	%																								
14	マガキ	%					+	+	10	+	+	+	+	+			+	+			+	+				
15	カンザシゴカイ科	%					+	20	20	20	10	10	30	20	30	20	30	20	20	30	30	30	30	30	30	30
16	イワフジツボ	%					50	+																		
17	サンカクフジツボ	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
18	ココボーマアカフジツボ	%								+	+															
19	ナンオウフジツボ	%							+	+	+	+														
20	Pho+onis属	%										+	+	+												
21	裸喉綱	%						+	10	30	40	40	30	80	70	80	80	80	60	60	70	80	80	80	80	+
22	ユウレイボヤ属	%											+	+	+						+	+	+	+	+	+
23	シロボヤ	%							10	30	60	60	50	10	+	+	+	+	+	+	+	+	10	10	10	10
24	ホヤ綱 (群體性)	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-39(1) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果 (1~17) (夏季)

調査期日：令和7年8月8, 19日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																	
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
基盤		垂直コンクリート護岸									じゃかご								
No.	【植物】																		
1	アオノリ属	%						+	+										
2	アオサ属	%					10	20	+										
3	シオグサ属	%																	
4	藍藻綱	%		+	60	10	+	+											
No.	【動物】																		
1	海綿動物門	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク	%				+	30	20	10	+	+	+							
4	イソギンチャク目	%						+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	アラレタマキビガイ	inds.			12	9													
6	レイシガイ	inds.															1	3	
7	イボニシ	inds.					13	32	5	4	2		1		2	1		2	4
8	クロシタナシウミウシ	inds.											1		1				
9	ムラサキガイ	%						20	+	+	+	+	+	+	+	10	10	10	10
10	ミドリイガイ	%						10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
11	マガキ	%				+			+	10	+	+		+	+				
12	ミズヒキゴカイ科	%																	
13	カンザシゴカイ科	%							+	20	20	10	10	10	10	20	20	10	10
14	イワフジツボ	%				70	60	+											
15	サンカクフジツボ	%									+	+	+	+	+	+	+	+	+
16	ココボーマアカフジツボ	%					+	+				+		+					
17	ナンオウフジツボ	%					+	+	+			+							
18	Pho+onis属	%									+	+							
19	裸喉綱	%						+	10	40	50	80	80	70	80	80	70	70	60
20	イトマキヒトデ	inds.																	
21	サンショウウニ	inds.																	
22	マナマコ	inds.									1								
23	ユウレイボヤ属	%								+	+	+		+	+			+	+
24	シロボヤ	%					+	10	50	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
25	ホヤ綱 (単体性)	%																	
26	ホヤ綱 (群体性)	%									+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-39(2) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果(18~42) (夏季)

調査期日：令和7年8月8, 19日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																									
枠番号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
基盤		遊水室外 垂直コンクリート護岸												海底間詰石												根固めブロック	
No.	【植物】																										
1	アオノリ属	%																									
2	アオサ属	%	10																								
3	シオグサ属	%	+																								
4	藍藻綱	%																									
No.	【動物】																										
1	海綿動物門	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%	+	+																							
4	イソギンチャク目	%	10	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	アラレタマキビガイ	inds.																									
6	レイシガイ	inds.																									
7	イボニシ	inds.	12	6	1		2	2		4	1		1			1				1	1	1					
8	クロシタナシウミウシ	inds.																									
9	ムラサキガイ	%																									
10	ミドリイガイ	%	10	+	+	+		+	+							+	+					+	+				
11	マガキ	%	+		+			+	+	+		+	+		+	+			+			+	+	+			
12	ミズヒキゴカイ科	%														+	+	+									
13	カンザシゴカイ科	%	10	30	40	50	40	20	30	40	40	50	50	20	40	40	30	40	30	30	40	40	30	50	50	30	30
14	イワフジツボ	%																									
15	サンカクフジツボ	%	+	+	+	+	+	+	+	+						+	+										
16	ココボーマアカフジツボ	%	+	+																							
17	ナンオウフジツボ	%																									
18	Pho+onis属	%								+	+	+															
19	裸喉綱	%	40	40	40	30	20	40	20	20	30	10	10	10	+	10	20	20	30	10	+	+	+	10	10	30	30
20	イトマキヒトデ	inds.	1		2	1		3	3			1	2	1		1											
21	サンショウウニ	inds.		1		1				2			2	1	1	1	1						1	1			1
22	マナマコ	inds.																									
23	ユウレイボヤ属	%			+	+			+	+		+	+	+	+					+	+	+				+	+
24	シロボヤ	%	+	+	10	20	40	50	40	30	30	20	10	50	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
25	ホヤ綱 (単体性)	%			+	+	+	+	+	+		+	+	+					+								
26	ホヤ綱 (群体性)	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

ウ 秋季調査

各地点の付着厚・堆積厚を表 4-3-40 に示す。また、各地点の底面における付着生物の分布を図 4-3-1 に示す。

地点 (I)～地点 (VI) における付着生物の目視観察結果を表 4-3-41～表 4-3-46 に示す。

表 4-3-40 各地点の付着厚・堆積厚

地点	地点 (I)	地点 (II)	地点 (III)	地点 (III)	地点 (IV)	地点 (V)	地点 (VI)	地点 (VI)
項目	じゃかご上	じゃかご上	じゃかご上	間詰め石上	じゃかご上	じゃかご上	じゃかご上	間詰め石上
付着厚 (cm)	0～2	0～4	0～4	0～1	0～2	0～4	0～4	0～3
堆積厚 (cm)	0～12	0～6	0～4	0～48	0～10	0～7	0～3	0～29

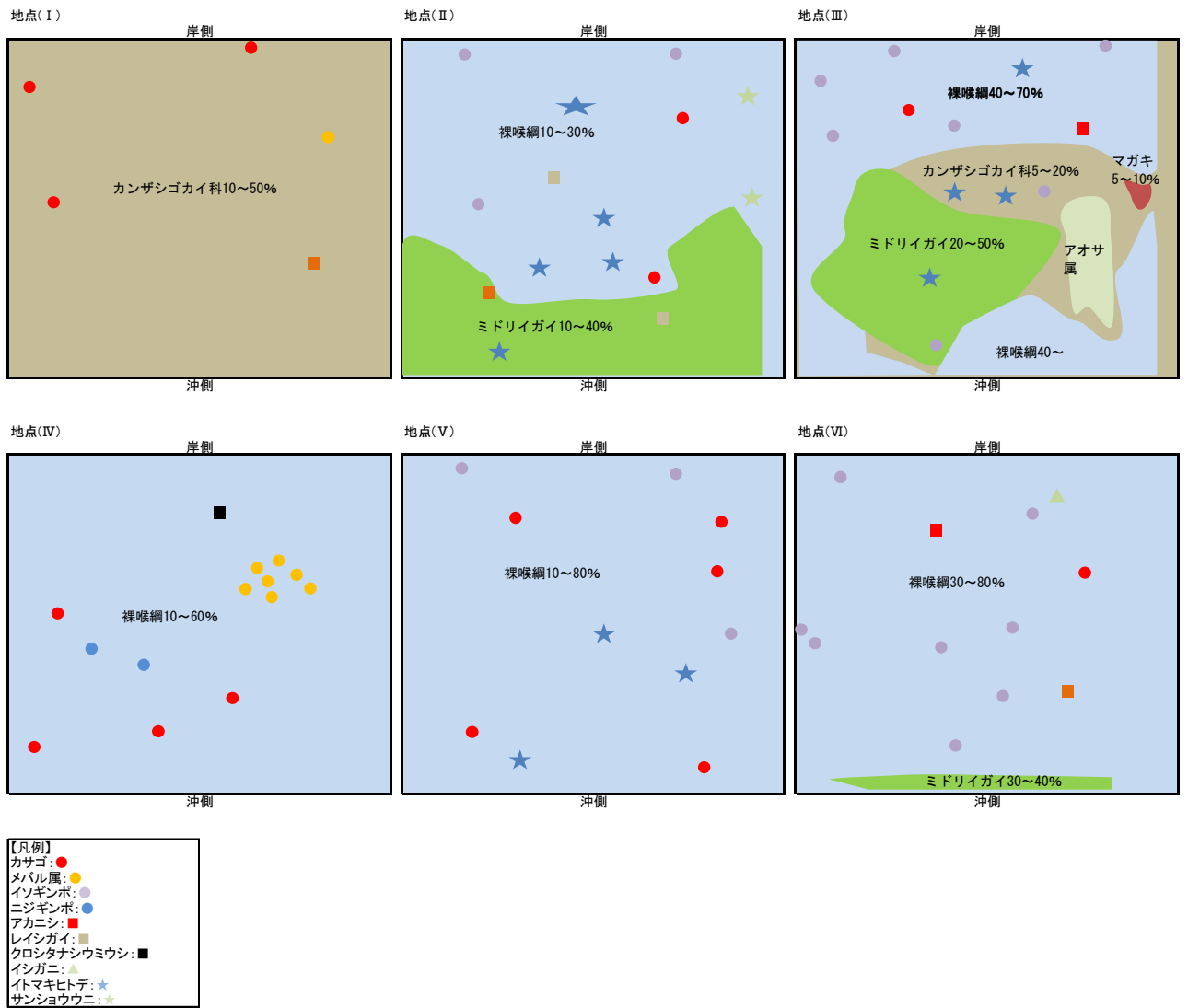


図 4-3-1 各地点の分布図

表 4-3-41 地点(I)における付着生物の目視観察結果(秋季)

調査期日：令和7年11月6日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(I)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
基盤		垂直コンクリート護岸															じゃかご									
No.	【植物】																									
1	アオノリ属 %					+	+																			
2	アオサ属 %					+	+	+																		
3	藍藻綱 %			+	60	80	60	10																		
No.	【動物】																									
1	海綿動物門 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱 %								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク %						10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	イソギンチャク目 %							+	10	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	アラレタマキビガイ inds.				4	8	6																			
6	シマメノウフネガイ inds.								1			1			2		1		2	3	1	2	3	4	2	6
7	レイシガイ inds.														1			1				1	1			
8	イボニシ inds.				1	28	14	6	12	6	4	2	6	3	2	1	1	2	2			4		2	4	
9	アカニシ inds.																					1	1			
10	ミドリイガイ %						+	+	+		+			+	+	+	+	+	+	+	10	+	+	+	20	
11	ナミマガシワガイ %													+				+								
12	マガキ %						10	+	10	20	+	+	+	+			+	+	+	+					+	+
13	カンザシゴカイ科 %						+	40	50	40	50	60	70	50	20	50	60	40	20	20	10	20	20	20	30	
14	イワフジツボ %				+	60	30																			
15	Phoronis属 %													+	20	+	+									
16	裸喉綱 %							10	10	10	20	20	20	20	20	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	
17	イトマキヒトデ inds.									3	6								1		1	1	3	4	9	
18	シロボヤ %												+					+			+		+	+	+	
19	ホヤ綱 (群體性) %									+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-42 地点(II)における付着生物の目視観察結果(秋季)

調査期日：令和7年11月6日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(II)																						
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
基盤		垂直コンクリート護岸												じゃかご										
No.	【植物】																							
1	アオノリ属 %					+	+																	
2	アオサ属 %					+	10	+	+						+	+	+		+	+	+	+	+	+
3	シオグサ属 %														+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イギス目(微小紅藻類) %															+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	藍藻綱 %				+	40	50	10																
No.	【動物】																							
1	海綿動物門 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱 %								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク %					30	40	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イソギンチャク目 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	アラレタマキビガイ inds.				2	6	5																	
6	シマメノウフネガイ inds.												2	6	4	2	5	4			6			3
7	レイシガイ inds.											1		1	2	4	4	2	4	3	3	3		
8	イボニシ inds.						10	8	14	10	4	4	4	6	8	2	4	5	6	4	6			
9	コシタカガンガラ inds.														1		1							
10	クロシタナシウミウシ inds.															1								
11	ミドリイガイ %						+	20				+	+	+	+	10	20	30	20	40	50			
12	ナミマガシワガイ %														+		+	+	+	+	+	+	+	+
13	マガキ %						+	30	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
14	ミズヒキゴカイ科 %													+	+									
15	カンザシゴカイ科 %							10	20	40	20	20	20	10	20	20	10	10	10	10	10	10	10	10
16	イワフジツボ %					+	+																	
17	サンカクフジツボ %															+	+	+		+	+	+		
18	Phoronis属 %												+	+										
19	裸喉綱 %							+	10	10	30	20	10	10	20	10	20	20	10	10	10	10	10	20
20	イトマキヒトデ inds.								1	2	1	1	1		1	2				2	2			10
21	サンショウウニ inds.																			1				
22	シロボヤ %													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
23	ホヤ綱 (群體性) %												+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-43(1) 地点(Ⅲ)における付着生物の目視観察結果(1~17) (秋季)

調査期日：令和7年11月6,10日

調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(Ⅲ)																	
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
基盤		垂直コンクリート護岸									じゃかご								
No.	【植物】																		
1	アオノリ属	%					+												
2	アオサ属	%				+	+	+	+			+	+	10	10	+	+	+	10
3	シオグサ属	%								+	+	+	+	10	10	10	20	10	10
4	イギス目(微小紅藻類)	%																	
5	藍藻綱	%			20	90	50	+											
No.	【動物】																		
1	海綿動物門	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%					+	30	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イソギンチャク目	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	ケハダヒザラガイ属	inds.							1										
6	アラレタマキビガイ	inds.			3	5													
7	シマメノウフネガイ	inds.												2		2	3		1
8	レイシガイ	inds.							1	2	3		1	2	1	1	4	1	
9	イボニシ	inds.						5	14	6	4	5	6	6	7	5	6	4	2
10	クロシタナシウミウシ	inds.									1								
11	ミドリイガイ	%							+		20	20	30	30	30	50	30	20	40
12	ナミマガシワガイ	%											+		+	+			
13	マガキ	%						+	10	+	+								
14	ミズヒキゴカイ科	%											+	+					
15	カンザシゴカイ科	%						30	30	20	20	+	10	10	20	10	+	30	30
16	イワフジツボ	%			+	+													
17	サンカクフジツボ	%																	
18	Phoronis属	%																	
19	裸喉綱	%						+	20	+	40	50	50	50	50	50	60	40	70
20	イトマキヒトデ	inds.											1		1	1	1		1
21	サンショウウニ	inds.																	
22	シロボヤ	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
23	ホヤ綱(群体性)	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。

注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-43(2) 地点(Ⅲ)における付着生物の目視観察結果(18~42) (秋季)

調査期日：令和7年11月6,10日

調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(Ⅲ)																									
枠番号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
基盤		遊水室外 垂直コンクリート護岸												海底間詰石						根固めブロック							
No.	【植物】																										
1	アオノリ属	%																									
2	アオサ属	%																									
3	シオグサ属	%	+																								
4	イギス目(微小紅藻類)	%																+	+			+		+		+	
5	藍藻綱	%																									
No.	【動物】																										
1	海綿動物門	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%	+	+		+																					
4	イソギンチャク目	%	+	+	10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	ケハダヒザラガイ属	inds.																									
6	アラレタマキビガイ	inds.																									
7	シマメノウフネガイ	inds.																1			1		1		2		
8	レイシガイ	inds.							1							1											
9	イボニシ	inds.	6	1		2		1	1				1	1	1												
10	クロシタナシウミウシ	inds.							1																		
11	ミドリイガイ	%	+	+	+	+							+		+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
12	ナミマガシワガイ	%	+										+	+			+	+			+		+				
13	マガキ	%	+													+	+	+			+						
14	ミズヒキゴカイ科	%																				+					
15	カンザシゴカイ科	%	30	40	40	40	60	50	70	70	80	70	50	40	90	70	40	60	50	60	30	30	30	40	30	30	
16	イワフジツボ	%																									
17	サンカクフジツボ	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
18	Phoronis属	%	+																								
19	裸喉綱	%	10	20	20	20	20	20	20	30	20	20	20	10	+	20	50	30	20	20	10	20	30	10	20	20	
20	イトマキヒトデ	inds.			5	1	2	2	4	3	4	10	9	14	5			2		3			2	1		1	
21	サンショウウニ	inds.												1										1	1		
22	シロボヤ	%				+	+			+	+	+					+	+	+		+		+		+		
23	ホヤ綱(群体性)	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。

注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-44 地点(Ⅳ)における付着生物の目視観察結果(秋季)

調査期日：令和7年11月7日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点	(Ⅳ)																								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
枠番号	垂直コンクリート護岸												じゃかご												
基盤																									
No. 【植物】																									
1 アオサ属	%				+																				
2 シオグサ属	%																+			+	+				
3 イギス目(微小紅藻類)	%																+	+		+	+				
4 藍藻綱	%			50	30	+																			
No. 【動物】																									
1 海綿動物門	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2 ヒドロ虫綱	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3 タテジマイソギンチャク	%				+	30	+																		
4 イソギンチャク目	%				+	+	30	20	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5 ケハダヒザラガイ属	inds.					2																			
6 アラレタマキビガイ	inds.				10	4																			
7 レインガイ	inds.																1	1			1	1			
8 イボニシ	inds.				12	5	5	4	1	4	2		4		2		4				2	2	2	2	1
9 クロシタナシウミウシ	inds.													1	1	1				1					
10 ムラサキイガイ	%					+		+	+			+	+			+	+	+	+	+	+	+	+	+	
11 ミドリイガイ	%					20	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10
12 カンザシゴカイ科	%				+	10	+	30	40	60	30	30	20	50	60	20	30	30	20	20	20	20	30	40	
13 イワフジツボ	%				40	40																			
14 サンカクフジツボ	%									+	+	+				+	+	+		+	+	+	+	+	
15 ナンオウフジツボ	%						+	+	+	+	+	+													
16 Phoronis属	%										+	+	+	+											
17 裸喉綱	%					10	20	20	40	40	40	20	30	20	30	10	30	40	60	60	40	40	50	50	
18 シロボヤ	%												+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
19 ホヤ綱(群体性)	%							10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-45 地点(Ⅴ)における付着生物の目視観察結果(秋季)

調査期日：令和7年11月7日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点	(Ⅴ)																							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
枠番号	垂直コンクリート護岸										じゃかご													
基盤																								
No. 【植物】																								
1 アオノリ属	%					+																		
2 アオサ属	%					+	+	+	+															
3 シオグサ属	%													+		+	+	+	+	+	+	+	+	
4 イギス目(微小紅藻類)	%															+	+	+	+	+	+		+	
5 藍藻綱	%			10	40	40	+																	
No. 【動物】																								
1 海綿動物門	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2 ヒドロ虫綱	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3 タテジマイソギンチャク	%				+	40	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4 イソギンチャク目	%					+	80	60	20	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5 ケハダヒザラガイ属	inds.					1																		
6 アラレタマキビガイ	inds.				8	6																		
7 シマメノウフネガイ	inds.												1		2	1		1						
8 レインガイ	inds.																							1
9 イボニシ	inds.				2	21	12	8	1	4	8	2	2	4	1	2		1			4	1		
10 クロシタナシウミウシ	inds.											1	2		1		1							
11 ムラサキイガイ	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
12 ミドリイガイ	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	30
13 ナミマガシワガイ	%													+		+	+	+						
14 マガキ	%				+	+	+	+	+	+	+	+												
15 カンザシゴカイ科	%					+	+	10	40	60	40	20	20	30	20	30	30	50	30	30	30			
16 イワフジツボ	%				70	+																		
17 サンカクフジツボ	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
18 コロボーマアカフジツボ	%						+	+																
19 ナンオウフジツボ	%						+	+	+	+														
20 Phoronis属	%									+	10	10	20	+										
21 裸喉綱	%						+	20	30	40	40	10	80	80	70	70	80	60	80	60	80	60	50	
22 シロボヤ	%															+	10	+	+	+	+	+	+	10
23 ホヤ綱(群体性)	%							+	10	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-46(1) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果 (1~17) (秋季)

調査期日：令和7年11月7, 11日  
 調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
基盤		垂直コンクリート護岸									じゃかご							
No.	【植物】																	
1	アオノリ属	%					+											
2	アオサ属	%					+						+		+		+	
3	シオグサ属	%										+	+	+	+	+	+	+
4	イギス目(微小紅藻類)	%												+	+	+	+	+
5	藍藻綱	%		10	60	20	+	+										
No.	【動物】																	
1	海綿動物門	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%				+	30	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4	イソギンチャク目	%				+	60	70	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	アラレタマキビガイ	inds.			11	9												
6	シマメノウフネガイ	inds.										1		2	2	1	2	
7	レイシガイ	inds.									1	2		1	4	1	3	
8	イボニシ	inds.			4	11	12	3	4	2	4	1	4	2	2	1	1	
9	アカニシ	inds.							1						1	1		
10	クロシタナシウミウシ	inds.							1			1	1	1				
11	ムラサキイガイ	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
12	ミドリイガイ	%					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	40
13	ナミマガシワガイ	%																
14	マガキ	%			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
15	カンザシゴカイ科	%						+	40	20	10	10	20	10	+	30	20	10
16	イワフジツボ	%			80	50	+											
17	サンカクフジツボ	%								+	+	+	+	+	+	+	+	+
18	ココボーマアカフジツボ	%				+	+					+						
19	ナンオウフジツボ	%				+	+	+		+								
20	Phoronis属	%							+	+								
21	裸喉綱	%					+	20	40	70	80	80	60	70	80	60	80	50
22	イトマキヒトデ	inds.																
23	サンショウウニ	inds.																
24	エボヤ	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
25	シロボヤ	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
26	ホヤ綱(群体性)	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
 注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-46(2) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果(18~42) (秋季)

調査期日：令和7年11月7, 11日  
 調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																													
枠番号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42					
基盤		遊水室外 垂直コンクリート護岸										海底間詰石										根固めブロック									
No.	【植物】																														
1	アオノリ属	%																													
2	アオサ属	%	+																												
3	シオグサ属	%	10																												
4	イギス目(微小紅藻類)	%																													
5	藍藻綱	%																													
No.	【動物】																														
1	海綿動物門	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						
2	ヒドロ虫綱	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						
3	タテジマイソギンチャク	%	+	+				+								+															
4	イソギンチャク目	%	20	10	+	+	+	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						
5	アラレタマキビガイ	inds.																													
6	シマメノウフネガイ	inds.	1			1		1			1	1			1	2							1	1							
7	レイシガイ	inds.								1							1														
8	イボニシ	inds.	6	4	2		5	2		4		1	2		1	1				2	1		1								
9	アカニシ	inds.											1		1																
10	クロシタナシウミウシ	inds.																													
11	ムラサキイガイ	%																													
12	ミドリイガイ	%	10	+	+	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						
13	ナミマガシワガイ	%														+		+				+	+	+	+						
14	マガキ	%	+		+		+	+	+					+		+		+		+		+	+	+	+						
15	カンザシゴカイ科	%	10	50	70	70	50	40	60	50	60	70	50	20	40	50	30	40	50	40	40	40	30	50	50	30	40				
16	イワフジツボ	%																													
17	サンカクフジツボ	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						
18	ココボーマアカフジツボ	%	+	+																											
19	ナンオウフジツボ	%																													
20	Phoronis属	%		+			+		+	+	+	+	+																		
21	裸喉綱	%	20	40	20	30	20	30	30	30	20	10	10	+	10	10	10	20	10	+	10	+	10	10	20	30					
22	イトマキヒトデ	inds.								1	1	3	2	2	4	4	8	3	8	6	7	3	8	7	6	9					
23	サンショウウニ	inds.				2								1		1						1	1		1						
24	エボヤ	%											+												+	+					
25	シロボヤ	%	+	+	+		+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					
26	ホヤ綱(群体性)	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
 注2：inds. は個体数による観察を示す。

エ 冬季調査

各地点の付着厚・堆積厚を表4-3-47に示す。また、各地点の底面における付着生物の分布を図4-3-2に示す。

地点(I)～地点(VI)における付着生物の目視観察結果を表4-3-48～表4-3-53に示す。

表 4-3-47 各地点の付着厚・堆積厚

項目	地点	地点(I) じゃかご上	地点(II) じゃかご上	地点(III) じゃかご上	地点(III) 間詰め石上	地点(IV) じゃかご上	地点(V) じゃかご上	地点(VI) じゃかご上	地点(VI) 間詰め石上
付着厚(cm)		0～3	0～3	0～2	0～1	0～4	0～4	0～3	0～3
堆積厚(cm)		0～10	0～4	0～1	5～40	0～9	0～3	0～1	0～25

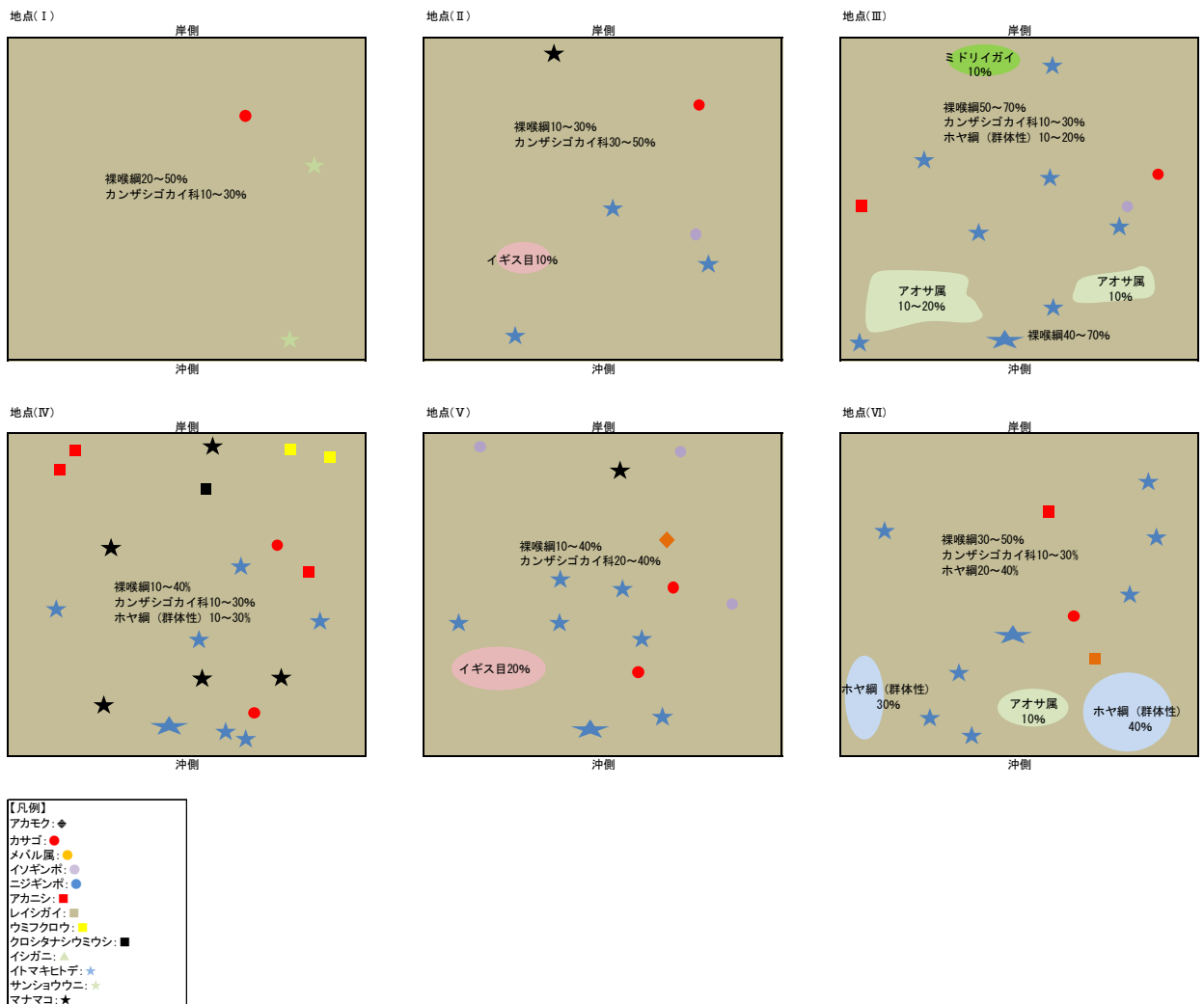


図 4-3-2 各地点の分布図

表 4-3-48 地点(I)における付着生物の目視観察結果(冬季)

調査期日：令和8年2月5日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(I)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
基盤		垂直コンクリート護岸												底面 (じゃかご)												
No.	【植物】																									
1	アオノリ属 %				+	+																				
2	アオサ属 %				+	20	+	+																		
3	アマノリ属 %					10	10																			
4	藍藻綱 %			+	60	50	20																			
No.	【動物】																									
1	海綿動物門 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク %					10	+																			
4	イソギンチャク目 %					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										
5	ケハダヒヅラガイ属 inds.				1																					
6	アラレタマキビガイ inds.		2	3																						
7	シマメノウフネガイ inds.																					1			1	
8	レイシガイ inds.																		1	1	1			1		
9	イボニシ inds.				2	8	5	1	4	2	2	6	4	2	2				1	1						
10	コシタカガンガラ inds.																			1	1					
11	ミドリイガイ %													+		+									+	
12	ナミマガシワガイ %																					+				
13	マガキ %						+	+		+								+	+	+	+					
14	ミズヒキゴカイ科 %																		+							
15	カンザシゴカイ科 %				+	+	30	30	30	30	40	50	40	50	40	60	40	20	10	20	20	20	10	10		
16	イワフジツボ %			+	30	+																				
17	サンカクフジツボ %									+		+														
18	ココボーマアコフジツボ %						+	+																		
19	ナンオウフジツボ %						+	+																		
20	裸喉綱 %					+	40	50	50	50	30	50	20	20	30	10	+	+	+	+	+	+	+	+		
21	イトマキヒトデ inds.									2	2	1	1	1	1					1		2	3	2	3	
22	ホヤ綱 (群体性) %						+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-49 地点(II)における付着生物の目視観察結果(冬季)

調査期日：令和8年2月5日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(II)																						
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
基盤		垂直コンクリート護岸										底面 (じゃかご)												
No.	【植物】																							
1	アオノリ属 %				+	+	+																	
2	アオサ属 %				10	80	20	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	シオグサ属 %								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	アマノリ属 %				+	+	+																	
5	ツノムカデ %																				+	+		
6	ムカデノリ科 %																		+	+	+	+		
7	イギス目(微小紅藻類) %													+	+	10	+	+	20	30	20	10	10	
8	藍藻綱 %			+	80	20	20																	
9	珪藻綱 %															+	+	+	+	+	+	+	+	
No.	【動物】																							
1	海綿動物門 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱 %										+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク %						10	+	+						+	+					+	+	+	
4	イソギンチャク目 %							+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	
5	アラレタマキビガイ inds.			2	4																			
6	シマメノウフネガイ inds.																	2						1
7	レイシガイ inds.											1	1	1	1	4	5	3	5	2	2	2	6	
8	イボニシ inds.					2	8	4	4	5	4	1					1							
9	アカニシ inds.															1								
10	コシタカガンガラ inds.																	1						
11	ミドリイガイ %							+	+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
12	ナミマガシワガイ %																				+			
13	マガキ %					10	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
14	ミズヒキゴカイ科 %															+								
15	カンザシゴカイ科 %							20	20	50	20	40	10	30	20	20	20	20	20	40	20	20	20	
16	イワフジツボ %					+	+																	
17	サンカクフジツボ %															+					+		+	
18	Phoronis属 %														+	+								
19	裸喉綱 %						30	20	20	20	20	20	10	+	10	10	+	+	+	+	10	30		
20	イトマキヒトデ inds.										1		1	2	2	3	2	2	2	2	3	2		
21	サンショウウニ inds.																				1			
22	ホヤ綱 (群体性) %						+	50	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-50(1) 地点(Ⅲ)における付着生物の目視観察結果(1~17) (冬季)

調査期日：令和8年2月5,9日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(Ⅲ)																
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
基盤		垂直コンクリート護岸									底面 (じゃかご)							
No. 【植物】																		
1	アオノリ属	%				+	+											
2	アオサ属	%				20	60	30	+	+	+	+	20	30	50	40	60	60
3	シオグサ属	%							+	+	+	+	+	10	10	20	20	10
4	アマノリ属	%				+	10											
5	ムカデノリ科	%											+	+		+	+	+
6	イギス目(微小紅藻類)	%								+	10	10	20	20	20	10	10	20
7	藍藻綱	%			20	80	30											
8	珪藻綱	%									+	+	+	+	+	+	+	+
No. 【動物】																		
1	海綿動物門	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%									+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%					10	20	+		+		+	+			+	+
4	イソギンチャク目	%						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	アラレタマキビガイ	inds.			2	4												
6	シマメノウフネガイ	inds.								1		1	2		3	3	2	3
7	レイシガイ	inds.							1	2	3	1	3	1	2	4	4	4
8	イボニシ	inds.					1	5	4	4	1			1		1		2
9	コシタカガンガラ	inds.								1		1	2	1		2		1
10	ミドリイガイ	%								10	10	10	+	+	+	+	+	10
11	ナミマガシワガイ	%						+	+	+		+	+		+	+	+	
12	マガキ	%					+	+										
13	ミズヒキゴカイ科	%									+	+						
14	カンザシゴカイ科	%					10	20	+	+	+	10	10	10	10	+	10	20
15	イワフジツボ	%			+	+	10											
16	サンカクフジツボ	%																+
17	Phoronis属	%								+	+							
18	裸喉綱	%					10	30	30	50	30	40	40	30	30	20	30	20
19	イトマキヒトデ	inds.								1	1	1	2	4	3	1	2	9
20	ホヤ綱(群体性)	%					10	20	30	20	20	+	10	20	+	+	+	+

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-50(2) 地点(Ⅲ)における付着生物の目視観察結果(18~42) (冬季)

調査期日：令和8年2月5,9日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(Ⅲ)																									
枠番号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
基盤		リフト	遊水室外	垂直コンクリート護岸										間詰石												根固めブロック	
No. 【植物】																											
1	アオノリ属	%																									
2	アオサ属	%	20	+																							
3	シオグサ属	%	20	+																							
4	アマノリ属	%																									
5	ムカデノリ科	%																									
6	イギス目(微小紅藻類)	%	10	+	+								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
7	藍藻綱	%																									
8	珪藻綱	%																									
No. 【動物】																											
1	海綿動物門	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク	%	+	+	+	+							+	+	+												
4	イソギンチャク目	%	+	+	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	アラレタマキビガイ	inds.																									
6	シマメノウフネガイ	inds.														1		1				1			2		
7	レイシガイ	inds.	2		1		1	1			1		1	2		1	2				2	3	1		1		
8	イボニシ	inds.	1	1	1		1					1	1														
9	コシタカガンガラ	inds.														1		1									
10	ミドリイガイ	%	+	+		+						10	+	+	+	+					+	+	+	+	+		
11	ナミマガシワガイ	%	+									+	+		+	+					+	+	+	+	+		
12	マガキ	%	+												+	+							+	+	+		
13	ミズヒキゴカイ科	%																									
14	カンザシゴカイ科	%	+	30	30	10	10	30	30	10	70	40	20	40	60	60	20	10	20	20	20	30	10	20	20	30	30
15	イワフジツボ	%																									
16	サンカクフジツボ	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
17	Phoronis属	%	+																								
18	裸喉綱	%	10	70	70	70	60	70	60	50	30	30	40	10	10	30	50	30	20	30	40	30	10	20	30	30	30
19	イトマキヒトデ	inds.			1		1		1				3				1	1	2			1	1	1	1	2	
20	ホヤ綱(群体性)	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-51 地点(IV)における付着生物の目視観察結果(冬季)

調査期日：令和8年2月6日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(IV)																								
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
基盤		垂直コンクリート護岸												底面 (じゃかご)												
No.	【植物】																									
1	アオノリ属 %					+	+																			
2	アオサ属 %				+	+	20	+	+																	
3	シオグサ属 %						+	+	+										+	+		+	+			
4	アマノリ属 %				+																					
5	イギス目(微小紅藻類) %							+	+	+								+	+	+	+	+	+	+	+	
6	藍藻綱 %		+	50	20	10	+											+	+	+	+	+	+	+	+	
7	珪藻綱 %																	+	+	+	+	+	+	+	+	
No.	【動物】																									
1	海綿動物門 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク %					30	10																			
4	イソギンチャク目 %					+	40	30	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	アラレタマキビガイ inds.			6	1																					
6	シマメノウフネガイ inds.																									
7	レイシガイ inds.												1		2		1		1	2	1				1	
8	イボニシ inds.				2	6	8	4	2	5	2		2		4	1	1		1		1	1	2	1		
9	カラマツガイ inds.				2																					
10	ミドリイガイ %					20	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
11	マガキ %																		+	+	+	+				
12	カンザシゴカイ科 %				+	+	10	10	10	10	10	20	20	40	50	+	10	20	30	20	20	20	30	20		
13	イワフジツボ %				40	10																				
14	サンカクフジツボ %											+	+		+	+	+		+	+		+	+	+		
15	ココボーマアカフジツボ %					+	+																			
16	ナンオウフジツボ %					+	+	+	+	+	+															
17	Phoronis属 %										+	+	+	+	+	+										
18	裸喉綱 %						10	20	10	40	40	50	50	50	30	20	20	30	40	50	40	40	40	60	60	
19	イトマキヒトデ inds.																				1	1				
20	マナマコ inds.																				1	1	1			
21	シロボヤ %													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
22	ホヤ綱(群体性) %						+	20	40	40	30	20	10	20	20	+	+	+	+	+	+	+	+	+		

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-52 地点(V)における付着生物の目視観察結果(冬季)

調査期日：令和8年2月6日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(V)																						
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
基盤		垂直コンクリート護岸										底面 (じゃかご)												
No.	【植物】																							
1	アオノリ属 %			+	+																			
2	アオサ属 %				+	+	10	+	+															
3	シオグサ属 %													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	イギス目(微小紅藻類) %													+	10	+	10	10	20	20	20	20	20	
5	藍藻綱 %		10	70	30	+																		
6	珪藻綱 %													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
No.	【動物】																							
1	海綿動物門 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	ヒドロ虫綱 %						+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
3	タテジマイソギンチャク %				+	40	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	イソギンチャク目 %					+	50	50	20	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
5	ケハダヒザラガイ属 inds.				1																			
6	アラレタマキビガイ inds.			4	5																			
7	シマメノウフネガイ inds.												1		1	2		3	2				1	
8	レイシガイ inds.											1	2	1	2		2	3	1	3	2	1		
9	イボニシ inds.				1	2	5	6	2	4	3	3	4	2		1		2		2	2			
10	アカニシ inds.															1		1						
11	コシタカガンガラ inds.															2	1							
12	クロシタナシウミウシ inds.													1	1		2	3	1				1	
13	裸鯉目 inds.															1								
14	ミドリイガイ %						+	+	+	+			+				+	+					+	
15	ナミマガシワガイ %											+				+	+	+				+		
16	マガキ %				+		+	+	+			+	+	+	+	+	+			+			+	
17	ミズヒキゴカイ科 %															+	+							
18	カンザシゴカイ科 %					+	10	10	20	10	10	30	10	20	20	30	30	10	10	20	20			
19	イワフジツボ %				+	50	+																	
20	サンカクフジツボ %												+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
21	ココボーマアカフジツボ %					+	+	+																
22	ナンオウフジツボ %					+	10	10	10	+	+													
23	Phoronis属 %									+	10	10	10	+		+	+	+						
24	裸喉綱 %						+	20	40	50	50	20	60	70	60	60	50	60	70	50	50			
25	イトマキヒトデ inds.																				1	1		
26	樹手目 %														+		+	+						
27	マナマコ inds.													1						1				
28	シロボヤ %												+		+	+								+
29	ホヤ綱(群体性) %						+	+	10	30	40	40	+	+	10	10	10	+	10	10	10	10	10	

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds.は個体数による観察を示す。

表 4-3-53(1) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果(1~17) (冬季)

調査期日：令和8年2月6,10日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																	
枠番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
基盤		垂直コンクリート護岸									底面 (じゃかご)								
No. 【植物】																			
1	アオノリ属	%				+	+	+											
2	アオサ属	%					+	10	+			+	+	+	+	+	+	+	
3	シオグサ属	%										+	+	+	+	+	+	+	
4	シオミドロ科	%																	
5	イギス目(微小紅藻類)	%										+	+	+	+	+	10	10	+
6	藍藻綱	%		+	40	20	+	+											
7	珪藻綱	%										+	+	+	+	+	+	+	+
No. 【動物】																			
1	海綿動物門	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2	ヒドロ虫綱	%							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
3	タテジマイソギンチャク	%				+	40	+	+	+	+	+	+						
4	イソギンチャク目	%				+	60	70	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5	アラレタマキビガイ	inds.			13	7													
6	シマメノウフネガイ	inds.										1				2			
7	レイシガイ	inds.									1	2	4	6	2	4	1	4	
8	イボニシ	inds.			1	2	8	5	3	2	1	2	1	3	2	3	1	2	
9	アカニシ	inds.													1				
10	クロシタナシウミウシ	inds.								1			1	1					
11	ミドリイガイ	%						+	+	+	+	+		+	+	+		+	10
12	ナミマガシワガイ	%											+	+	+	+	+	+	
13	マガキ	%			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
14	カンザシゴカイ科	%						+	10	30	20	10	10	10	10	+	10	10	10
15	イワフジツボ	%			+	50	20	+											
16	サンカクフジツボ	%									+		+		+	+		+	+
17	ココボーマアカフジツボ	%					+	+	+										
18	ナンオウフジツボ	%					+	10	+										
19	Phoronis属	%								10			+						
20	裸喉綱	%					+	10	10	40	60	60	60	60	50	50	20	50	
21	イトマキヒトデ	inds.																	
22	サンショウウニ	inds.																	
23	樹手目	%																	
24	マナマコ	inds.																	
25	シロボヤ	%										+					+		
26	ホヤ綱 (群体性)	%							+	20	30	20	30	10	20	40	20	60	30

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

表 4-3-53(2) 地点(VI)における付着生物の目視観察結果(18~42) (冬季)

調査期日：令和8年2月6,10日  
調査方法：ベルトトランセクト法 (50cm×50cm)

地点		(VI)																													
枠番号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42					
基盤		スリット	遊水室外	垂直コンクリート護岸										間詰石														根固めブロック			
No. 【植物】																															
1	アオノリ属	%	+																												
2	アオサ属	%	20	+	+																										
3	シオグサ属	%	20	+	+																										
4	シオミドロ科	%	+	+	+																										
5	イギス目(微小紅藻類)	%	+	+									+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				
6	藍藻綱	%																													
7	珪藻綱	%	+										+		+	+		+	+	+		+	+	+							
No. 【動物】																															
1	海綿動物門	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				
2	ヒドロ虫綱	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				
3	タテジマイソギンチャク	%	+	+			+	+							+	+															
4	イソギンチャク目	%	+	10	+	+	+	+	+	10	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				
5	アラレタマキビガイ	inds.																													
6	シマメノウフネガイ	inds.	1		1		1		1	1		2		1		2				1	1		1	1		1					
7	レイシガイ	inds.							1								1	1													
8	イボニシ	inds.	1	2		1	4	1	2		1		1	1			1														
9	アカニシ	inds.										1																			
10	クロシタナシウミウシ	inds.																													
11	ミドリイガイ	%	+	+	+		+		+					+	+																
12	ナミマガシワガイ	%												+	+	+		+	+				+	+	+	+	+				
13	マガキ	%	+	+	+		+		+					+	+	+		+	+			+	+	+	+	+	+				
14	カンザシゴカイ科	%	10	30	50	60	40	30	40	40	60	70	60	10	30	30	30	40	40	40	30	40	20	40	20	30	20	30			
15	イワフジツボ	%																													
16	サンカクフジツボ	%	+			+	+		+	+	+	+			+	+	+		+	+		+	+	+	+	+	+				
17	ココボーマアカフジツボ	%																													
18	ナンオウフジツボ	%																													
19	Phoronis属	%								+	+	+	+																		
20	裸喉綱	%	20	50	40	30	50	60	50	30	20	20	10	10	20	20	10	10	10	30	10	10	20	10	20	20	20				
21	イトマキヒトデ	inds.		1	2			3	1		2	2	5	1	2	2	2	3	4	4	3	8	2	5	3	5	4				
22	サンショウウニ	inds.									2	1	1		1																
23	樹手目	%			+	+		+	+																						
24	マナマコ	inds.												1																	
25	シロボヤ	%		+			+		+					1		+			+												
26	ホヤ綱 (群体性)	%	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				

注1：%は被覆率を示し、欄内の+は被覆率5%未満を示す。  
注2：inds. は個体数による観察を示す。

③ 付着植物調査結果(地点(I)、地点(II)、地点(III)、地点(IV)、地点(V)及び地点(VI))  
34か所の付着生物(植物)出現種を表4-3-54に示す。

表4-3-54 付着生物(植物)出現種

番号	門	綱	目	科	種名	調査季				重要種				
						春季	夏季	秋季	冬季	環境省	神奈川県			
1	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Enteromorpha</i> sp.	アオリ属	○			○				
2					<i>Ulva</i> sp.	アオサ属	○	○	○	○				
3					シオグサ	シオグサ	<i>Cladophora</i> sp.	シオグサ属	○	○	○	○		
4					ミヅ	ミヅ	<i>Codium fragile</i>	ミヅ	○					
5					ハネモ	ハネモ	<i>Bryopsis</i> sp.	ハネモ属	○			○		
6	紅色植物	紅藻	スキノリ	ムシクサ	<i>Grateloupia lanceolata</i>	フクナク				○				
7					<i>Prionitis cornea</i>	フクナク	○			○				
8					ベニシコ	ベニシコ	<i>Schizymenia dubyi</i>	ベニシコ	○					
9					イキス	イキス	<i>Aglaothamnion callophyllidicola</i>	イキス	○					
10							<i>Antithamnion</i> sp.	イキス				○		
11							<i>Polysiphonia</i> sp.	イキス	○		○	○		
種類数							9	2	3	8				
合計(種類数)							11							

注：○は出現を示す。

重要種のカテゴリーは以下の通りである。

1. 環境省レッドリスト2020：環境省(2020)

- ・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)：絶滅の危機に瀕している種
- ・絶滅危惧ⅠA類(CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- ・絶滅危惧ⅠB類(EN)：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・絶滅危惧Ⅱ類(VU)：絶滅の危険が増大している種
- ・準絶滅危惧(NT)：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ・情報不足(DD)：評価するだけの情報が不足している種
- ・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い種

2. 神奈川県レッドデータブック2022 植物編：神奈川県(2022)

- ・絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種
- ・絶滅危惧ⅠA類：ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- ・絶滅危惧ⅠB類：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危機が増大している種
- ・準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種
- ・注目種：環境省のカテゴリーには判定されないが、生息環境や生態的特徴等により注目に値する種
- ・情報不足：評価するだけの情報が不足している種
- ・絶滅のおそれのある地域個体群：県内の特定の地域において孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
- ・注目種：環境省のカテゴリーには判定されないが、生息環境や生態的特徴等により注目に値する種

#### ア 春季調査

付着植物の春季調査結果を表 4-3-55 に示す。また、主な出現種の写真を写-50 及び写-51 に示す。

春季調査において出現した付着植物は、6 地点 34 検体で 9 種類、38.55 g/0.25 m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 0~4 種類の範囲にあり、地点(Ⅲ)の-1.0 m 底面及び地点(VI)の-1.0 m 底面で多かった。

植物が出現した 10 検体の湿重量は 0.01 未満~21.20 g/0.25 m<sup>2</sup>の範囲であり、地点(VI)の-1.0 m 底面で多かった。

主な出現種は、緑藻綱のアオサ属及び紅藻綱のツノムカデであった。

#### イ 夏季調査

付着植物の夏季調査結果を表 4-3-56 に示す。また、主な出現種の写真を写-52 及び写-53 に示す。

夏季調査において出現した付着植物は、6 地点 34 検体で 2 種類、0.18 g/0.25 m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 0~2 種類であり、植物が出現した 6 検体の湿重量は 0.01 未満~0.11 g/0.25 m<sup>2</sup>の範囲であった。

主な出現種は、緑藻綱のアオサ属及びシオグサ属であった。

#### ウ 秋季調査

付着植物の秋季調査結果を表 4-3-57 に示す。また、主な出現種の写真を写-54 及び写-55 に示す。

秋季調査において出現した付着植物は、6 地点 34 検体で 3 種類、0.02 g/0.25 m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 0~3 種類の範囲にあり、地点(Ⅲ)の-1.0 m で多かった。

植物が出現した 5 検体の湿重量は 0.01 g/0.25 m<sup>2</sup>未満~0.01 g/0.25 m<sup>2</sup>の範囲であり、地点(Ⅲ)の-1.0 m 底面及び地点(VI)の-1.0 m 底面で多かった。

主な出現種は、緑藻綱のアオサ属及びシオグサ属であった。

#### エ 冬季調査

付着植物の冬季調査結果を表 4-3-58 に示す。また、主な出現種の写真を写-56、写真 57 及び写-58 に示す。

冬季調査において出現した付着植物は、6 地点 34 検体で 8 種類、4.48 g/0.25 m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 0~6 種類の範囲にあり、地点(Ⅱ)の-2.5 m 底面及び地点(Ⅲ)の-1.0 m 底面で多かった。

植物が出現した 9 検体の湿重量は 0.01 g 未満~2.33 g/0.25 m<sup>2</sup>の範囲であり、地点(Ⅲ)の-1.0 m 底面で多かった。

主な出現種は緑藻綱のアオサ属、紅藻綱のフダラク及びツノムカデであった。

#### オ 季別調査の比較

付着植物は4季を通して合計11種類が出現した。

季別にみると、種類数は2~9種類の範囲にあり、春季及び冬季に多かった。

季別の合計湿重量は0.02~38.55 g/0.25 m<sup>2</sup>の範囲にあり、春季で最も多かった。

主な出現種は、春季で緑藻綱のアオサ属と紅藻綱のツノムカデ、夏季及び秋季ではともに緑藻綱のアオサ属及びシオグサ属、冬季では緑藻綱のアオサ属、紅藻綱のフダラク及びツノムカデであった。

表 4-3-55 付着生物(植物)調査結果(春季)

調査年月日：令和7年5月7, 9, 12, 13日  
調査方法：採取(50cm×50cm<sup>1</sup>×1)

項目	地点(I)				地点(II)		
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数	1	0	0	0	2	0	0
湿重量(g/0.25㎡)	0.28	0	0	0	0.00	0	0
主な出現種	【緑藻綱】	7材属 (100.0)			1材属 (50.0)		
	【褐藻綱】						
	【紅藻綱】				1材属 (50.0)		
	【その他】						

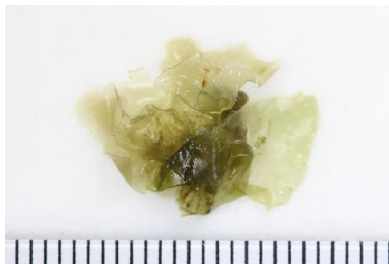
項目	地点(III)									
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	根固めブロック	間詰め石
種数	0	4	3	2	0	0	0	0	0	0
湿重量(g/0.25㎡)	0	5.73	7.38	0.06	0	0	0	0	0	0
主な出現種	【緑藻綱】		3材属 (39.3)	7材属 (100.0)	7材属 (66.7)					
	【褐藻綱】									
	【紅藻綱】		1材属 (41.4)		1材属 (33.3)					
	【その他】		7材属 (19.2)							

項目	地点(IV)				地点(V)		
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数	1	1	0	0	0	0	2
湿重量(g/0.25㎡)	0.08	0.00	0	0	0	0	0.22
主な出現種	【緑藻綱】	7材属 (100.0)	7材属 (100.0)				7材属 (90.9)
	【褐藻綱】						
	【紅藻綱】						
	【その他】						

項目	地点(VI)										合計
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	根固めブロック	間詰め石	
種数	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	9
湿重量(g/0.25㎡)	3.60	21.20	0	0	0	0	0	0	0	0	38.55
主な出現種	【緑藻綱】	7材属 (98.9)	7材属 (52.8)								7材属 (59.0)
	【褐藻綱】										
	【紅藻綱】		7材属 (47.0)								7材属 (28.7)
	【その他】										

注1：湿重量比率が10%以上の種を主な出現種とし、()内はその組成比率(%)を示す。  
注2：湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

主な出現種



写-50 アオサ属



写-51 ツノムカデ

表 4-3-56 付着生物(植物)調査結果(夏季)

調査年月日：令和7年8月7, 8, 18, 19日  
調査方法：採取(50cm×50cm×1'7-1)

項目	地点	地点(I)				地点(II)		
		-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数		1	0	0	0	1	0	1
湿重量(g/0.25㎡)		0.00	0	0	0	0.00	0	0.01
主な出現種	【緑藻綱】	シオグサ属 (100.0)				シオグサ属 (100.0)		シオグサ属 (100.0)
	【褐藻綱】							
	【紅藻綱】							
	【その他】							

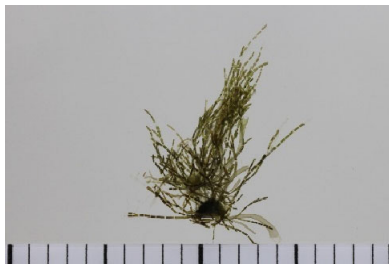
項目	地点	地点(III)									
		-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	根固めブロック	間詰め石
種数		1	2	2	0	0	0	0	0	0	0
湿重量(g/0.25㎡)		0.00	0.11	0.06	0	0	0	0	0	0	0
主な出現種	【緑藻綱】	シオグサ属 (100.0)	シオグサ属 (63.6) フサ属 (36.4)	シオグサ属 (100.0)							
	【褐藻綱】										
	【紅藻綱】										
	【その他】										

項目	地点	地点(IV)				地点(V)		
		-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数		0	0	0	0	0	0	0
湿重量(g/0.25㎡)		0	0	0	0	0	0	0
主な出現種	【緑藻綱】							
	【褐藻綱】							
	【紅藻綱】							
	【その他】							

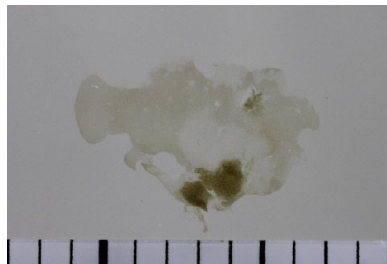
項目	地点	地点(VI)									合計	
		-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	根固めブロック		間詰め石
種数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
湿重量(g/0.25㎡)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.18
主な出現種	【緑藻綱】											シオグサ属 (77.8) フサ属 (22.2)
	【褐藻綱】											
	【紅藻綱】											
	【その他】											

注1：湿重量比率が10%以上の種を主な出現種とし、()内はその組成比率(%)を示す。  
注2：湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

主な出現種



写-52 シオグサ属



写-53 アオサ属

表 4-3-57 付着生物(植物)調査結果(秋季)

調査年月日：令和7年11月6,7,10,11日  
調査方法：採取(50cm×50cm×17cm)

項目	地点	地点(I)				地点(II)		
		-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数		0	0	0	0	1	0	0
総重量(g/0.25㎡)		0	0	0	0	0.00	0	0
主な出現種	【緑藻綱】					シオグサ属 (100.0)		
	【褐藻綱】							
	【紅藻綱】							
	【その他】							

項目	地点	地点(III)								根固めブロック	間詰め石
		-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m		
種数		0	1	3	0	1	0	0	0	0	0
総重量(g/0.25㎡)		0	0.01	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
主な出現種	【緑藻綱】		シオグサ属 (100.0)	7科属 (33.3) シオグサ属 (33.3)		シオグサ属 (100.0)					
	【褐藻綱】										
	【紅藻綱】			1科属 (33.3)							
	【その他】										

項目	地点	地点(IV)				地点(V)		
		-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数		0	0	0	0	0	0	0
総重量(g/0.25㎡)		0	0	0	0	0	0	0
主な出現種	【緑藻綱】							
	【褐藻綱】							
	【紅藻綱】							
	【その他】							

項目	地点	地点(VI)								根固めブロック	間詰め石	合計
		-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m			
種数		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
総重量(g/0.25㎡)		0	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0.02
主な出現種	【緑藻綱】		シオグサ属 (100.0)									7科属 (50.0) シオグサ属 (50.0)
	【褐藻綱】											
	【紅藻綱】											
	【その他】											

注1：湿重量比率が10%以上の種を主な出現種とし、()内はその組成比率(%)を示す。  
注2：湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

主な出現種



写-54 アオサ属



写-55 シオグサ属

表 4-3-58 付着生物(植物)調査結果(冬季)

調査年月日：令和8年2月5, 6, 9, 10日  
調査方法：採取(50cm×50cm×1'深)

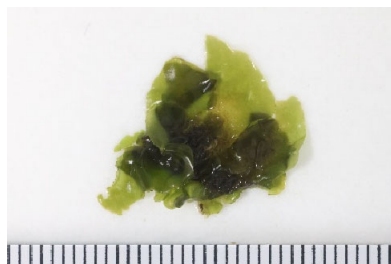
項目	地点(I)				地点(II)		
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数	0	0	0	0	0	0	6
湿重量(g/0.25㎡)	0	0	0	0	0	0	1.20
主な出現種	【緑藻綱】						
	【褐藻綱】						
	【紅藻綱】						ツノムカデ (96.7)
	【その他】						

項目	地点(III)								根固めブロック	間詰め石
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m		
種数	1	6	0	3	0	0	0	0	1	2
湿重量(g/0.25㎡)	0.32	2.33	0	0.36	0	0	0	0	0.00	0.00
主な出現種	【緑藻綱】	ハネノミ (100.0)	フナノミ (18.5)	フナノミ (50.0) ツノムカデ (11.1)						
	【褐藻綱】									
	【紅藻綱】		ツノムカデ (36.9) ツノムカデ (42.1)		ツノムカデ (38.9)				ツノムカデ (100.0)	ツノムカデ (50.0) ツノムカデ (50.0)
	【その他】									

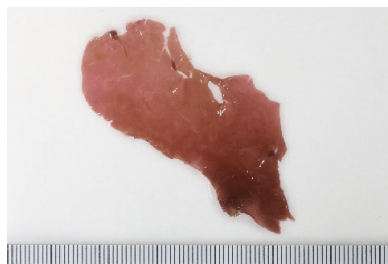
項目	地点(IV)				地点(V)		
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数	0	0	0	0	0	0	2
湿重量(g/0.25㎡)	0	0	0	0	0	0	0.01
主な出現種	【緑藻綱】						
	【褐藻綱】						
	【紅藻綱】						ツノムカデ (100.0)
	【その他】						

項目	地点(VI)								根固めブロック	間詰め石	合計
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m			
種数	0	5	4	0	0	0	0	0	0	0	8
湿重量(g/0.25㎡)	0	0.08	0.18	0	0	0	0	0	0	0	4.48
主な出現種	【緑藻綱】		フナノミ (12.5) ハネノミ (50.0)	フナノミ (22.2) ツノムカデ (55.6) ツノムカデ (22.2)							フナノミ (16.7)
	【褐藻綱】										
	【紅藻綱】		ツノムカデ (37.5)								ツノムカデ (19.2) ツノムカデ (47.8)
	【その他】										

注1：湿重量比率が10%以上の種を主な出現種とし、()内はその組成比率(%)を示す。  
注2：湿重量の0.00は0.01g未満を示す。



写-56 アオサ属



写-57 フダラク



写-58 ツノムカデ

【参考】【付着生物(植物)調査結果】

付着生物(植物)調査結果(春季)(地点(I)、地点(II)及び地点(III))

調査年月日：令和7年5月7,9,12,13日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>トート)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(I)				地点(II)			地点(III)											
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m	Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック		
1	緑色植物	緑藻	ワサ	ワサ	<i>Enteromorpha</i> sp.	ワサ属																			
2					<i>Ulva</i> sp.	ワサ属	0.28							0.01	7.38	0.04									
3			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属																			
4			シロ	シロ	<i>Codium fragile</i>	シロ								2.25											
5			ハネ	ハネ	<i>Bryopsis</i> sp.	ハネ属					0.00														
6	紅色植物	紅藻	ホト	ホト	<i>Prionitis cornea</i>	ワムホト																			
7			ヘニシコ	ヘニシコ	<i>Schizymenia dubyi</i>	ヘニシコ																			
8			ウメ	ウメ	<i>Aglaothamnion callophyllidicola</i>	ウメ属																			
9			フシマテ	フシマテ	<i>Polysiphonia</i> sp.	フシマテ属					0.00														
種類数							1	0	0	0	2	0	0	0	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
湿重量合計							0.28	0	0	0	0.00	0	0	0	5.73	7.38	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0

注：0.00は0.01g未満を示す。

付着生物(植物)調査結果(春季)(地点(IV)、地点(V)、地点(VI)及び合計)

調査年月日：令和7年5月7,9,12,13日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>トート)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(IV)				地点(V)			地点(VI)						合計							
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m		Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック			
1	緑色植物	緑藻	ワサ	ワサ	<i>Enteromorpha</i> sp.	ワサ属							0.04	0.00											0.04		
2					<i>Ulva</i> sp.	ワサ属	0.08	0.00				0.20	3.56	11.20												22.75	
3			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属							0.00	0.04												0.04	
4			シロ	シロ	<i>Codium fragile</i>	シロ																				2.25	
5			ハネ	ハネ	<i>Bryopsis</i> sp.	ハネ属																				0.00	
6	紅色植物	紅藻	ホト	ホト	<i>Prionitis cornea</i>	ワムホト								9.96												11.06	
7			ヘニシコ	ヘニシコ	<i>Schizymenia dubyi</i>	ヘニシコ																				2.37	
8			ウメ	ウメ	<i>Aglaothamnion callophyllidicola</i>	ウメ属					0.02															0.02	
9			フシマテ	フシマテ	<i>Polysiphonia</i> sp.	フシマテ属																				0.02	
種類数							1	1	0	0	0	0	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
湿重量合計							0.08	0.00	0	0	0	0	0.22	3.60	21.20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38.55

注：0.00は0.01g未満を示す。

付着生物(植物)調査結果(夏季)(地点(I)、地点(II)及び地点(III))

調査年月日：令和7年8月7,8,18,19日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>トート)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(I)				地点(II)			地点(III)												
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m	Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック			
1	緑色植物	緑藻	ワサ	ワサ	<i>Ulva</i> sp.	ワサ属								0.04	0.00											
2			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属	0.00				0.00		0.01	0.00	0.06											
種類数							1	0	0	0	1	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
湿重量合計							0.00	0	0	0	0.00	0	0.01	0.00	0.11	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注：0.00は0.01g未満を示す。

付着生物(植物)調査結果(夏季)(地点(IV)、地点(V)、地点(VI)及び合計)

調査年月日：令和7年8月7,8,18,19日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>トート)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(IV)				地点(V)			地点(VI)						合計							
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m		Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック			
1	緑色植物	緑藻	ワサ	ワサ	<i>Ulva</i> sp.	ワサ属																				0.04	
2			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属																				0.14	
種類数							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
湿重量合計							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.18

注：0.00は0.01g未満を示す。

付着生物(植物)調査結果(秋季)(地点(I)、地点(II)及び地点(III))

調査年月日：令和7年11月6, 7, 10, 11日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>ト<sup>ラ</sup>ト)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(I)				地点(II)			地点(III)												
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m	Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック			
1	緑色植物	緑藻	フナ	フナ	<i>Ulva</i> sp.	フナ属									0.01	0.00										
2			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属							0.00													
3	紅色植物	紅藻	イサ	フシマツ	<i>Polysiphonia</i> sp.	イサ属																				
種類数							0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
湿重量合計							0	0	0	0	0.00	0	0	0	0.01	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0

注：0.00は0.01g未満を示す。

付着生物(植物)調査結果(秋季)(地点(IV)、地点(V)、地点(VI)及び合計)

調査年月日：令和7年11月6, 7, 10, 11日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>ト<sup>ラ</sup>ト)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(IV)				地点(V)			地点(VI)						合計						
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m		Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック		
1	緑色植物	緑藻	フナ	フナ	<i>Ulva</i> sp.	フナ属																			0.01	
2			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属							0.01												0.01	
3	紅色植物	紅藻	イサ	フシマツ	<i>Polysiphonia</i> sp.	イサ属																			0.00	
種類数							0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
湿重量合計							0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.02

注：0.00は0.01g未満を示す。

付着生物(植物)調査結果(冬季)(地点(I)、地点(II)及び地点(III))

調査年月日：令和8年2月5, 6, 9, 10日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>ト<sup>ラ</sup>ト)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(I)				地点(II)			地点(III)												
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m	Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック			
1	緑色植物	緑藻	フナ	フナ	<i>Enteromorpha</i> sp.	フナ属																				
2					<i>Ulva</i> sp.	フナ属							0.03		0.43											
3			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属							0.00		0.02											
4			ハネ	ハネ	<i>Bryopsis</i> sp.	ハネ属							0.01	0.32	0.00											
5	紅色植物	紅藻	イサ	フシマツ	<i>Grateloupia lanceolata</i>	フナ属									0.86											
6					<i>Prionitis cornea</i>	フナ属							1.16		0.98											
7			イサ	イサ	<i>Antithamion</i> sp.	フナ属							0.00										0.00	0.00		
8			フシマツ	フシマツ	<i>Polysiphonia</i> sp.	イサ属							0.00		0.04										0.00	
種類数							0	0	0	0	0	0	6	1	6	0	3	0	0	0	0	0	1	2		
湿重量合計							0	0	0	0	0	0	1.20	0.32	2.33	0	0.36	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	

注：0.00は0.01g未満を示す。

付着生物(植物)調査結果(冬季)(地点(IV)、地点(V)、地点(VI)及び合計)

調査年月日：令和8年2月5, 6, 9, 10日  
 調査方法：採取(50cm×50cm<sup>2</sup>ト<sup>ラ</sup>ト)  
 単 位：g/0.25m<sup>2</sup>

番号	門	綱	目	科	種名	地点	地点(IV)				地点(V)			地点(VI)						合計							
							Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-2.5m 底面	Y.P.-0.5m	Y.P.-1.0m 底面	Y.P.-1.0m	Y.P.-2.0m	Y.P.-3.0m	Y.P.-4.0m		Y.P.-5.0m	Y.P.-6.0m	間詰め石	根固めブロック			
1	緑色植物	緑藻	フナ	フナ	<i>Enteromorpha</i> sp.	フナ属									0.00	0.04									0.04		
2					<i>Ulva</i> sp.	フナ属									0.01	0.10									0.75		
3			シオクシ	シオクシ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクシ属							0.00		0.00	0.04									0.10		
4			ハネ	ハネ	<i>Bryopsis</i> sp.	ハネ属									0.04	0.00									0.37		
5	紅色植物	紅藻	イサ	フシマツ	<i>Grateloupia lanceolata</i>	フナ属																			0.86		
6					<i>Prionitis cornea</i>	フナ属																			2.14		
7			イサ	イサ	<i>Antithamion</i> sp.	フナ属							0.01		0.03										0.04		
8			フシマツ	フシマツ	<i>Polysiphonia</i> sp.	イサ属																			0.18		
種類数							0	0	0	0	0	0	2	0	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
湿重量合計							0	0	0	0	0	0	0.01	0	0.08	0.18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.48

注：0.00は0.01g未満を示す。

④ 付着動物調査結果(地点(I)、地点(II)、地点(III)、地点(IV)、地点(V)及び地点(VI))

34か所の付着生物(動物)出現種を表4-3-59に示す。

表4-3-59 付着生物(動物)出現種

番号	門	綱	目	科	重要種	春	夏	秋	冬	重要種	
										環境省	神奈川県
1	海綿動物	-	-	-	PORIFERA	○	○				
2	刺胞動物	ヒトコ虫	有刺	カサガサ科	Campanulariidae				○		
3					HYDROZOA				○		
4		花虫	イサキシヤク		Actiniaria	○	○	○	○		
5	扁形動物	渦虫			Polycladida	○	○	○	○		
6	紐形動物	無針	異紐虫		Heteronemertini	○	○	○	○		
7					NEMERTINEA	○	○	○	○		
8	軟体動物	多板	新ヒキナガイ		Monalia retifera				○		
9					Acanthochiton sp.				○		
10		腕足	土腕足		Omphalopus rusticus	○	○	○	○		
11					Grenidula onyx	○	○	○	○		
12					Alexania inazawa	○	○	○	○		
13					Bedeleva birleffii	○	○	○	○		
14					Begyalata contractus	○	○	○	○		
15					Thais bronni	○	○	○	○		
16					Thais clavigera	○	○	○	○		
17					Rapana venosa	○	○	○	○		
18					Witrella bicincta	○	○	○	○		
19					Reticulasma festiva	○	○	○	○		
20					Pyramidellidae	○	○	○	○		
21		頭橋	カサキヤク		Aglaidae	○	○	○	○		
22					Baloo japonica	○	○	○	○		
23					Nudibranchia	○	○	○	○		
24		二枚貝	フナガイ		Arca boucardi	○	○	○	○		
25					Barbatia virescens	○	○	○	○		
26					Scapharca sp.	○	○	○	○		
27					Mytilus galloprovincialis	○	○	○	○		
28					Perna viridis	○	○	○	○		
29					Aenobrochus securis	○	○	○	○		
30					Modiolus nipponicus	○	○	○	○		
31					Musculus cupreus	○	○	○	○		
32					Musculus sp.	○	○	○	○		
33					Musculista senhousia	○	○	○	○		
34					Anomia chinensis	○	○	○	○		
35					Crassostrea gigas	○	○	○	○		
36					Petricola sp. cf. lithophaga	○	○	○	○		
37					Veneridae	○	○	○	○		
38					Ruditapes philippinarum	○	○	○	○		
39					Hiatella orientalis	○	○	○	○		
40	環口動物	スズメシジミ	フナシジミ		Golfingiidae	○	○	○	○		
41		ササギシジミ	ササギシジミ		Phascosoloma sp.	○	○	○	○		
42	環形動物	ゴカイ	ササギシジミ		Vereiphylla castanea	○	○	○	○		
43					Phyllodoce sp.	○	○	○	○		
44					Eumida sp.	○	○	○	○		
45					Eulalia sp.	○	○	○	○		
46					Harmothoe sp.	○	○	○	○		
47					Halosydna brevisetosa	○	○	○	○		
48					Hermilipidonotus helotyus	○	○	○	○		
49					Lepidonotus sp.	○	○	○	○		
50					Chrysopetalidae	○	○	○	○		
51					Hesionidae	○	○	○	○		
52					Autolytinae	○	○	○	○		
53					Syllinae	○	○	○	○		
54					Neanthes caudata	○	○	○	○		
55					Neanthes succinea	○	○	○	○		
56					Nectoneanthes latipoda	○	○	○	○		
57					Nereis heterocirrata	○	○	○	○		
58					Nereis multiannata	○	○	○	○		
59					Nereis neoneanthes	○	○	○	○		
60					Nereis nicholsi	○	○	○	○		
61					Nereis melagica	○	○	○	○		
62					Nereis cultrifera	○	○	○	○		
63					Platynereis bicanaliculata	○	○	○	○		
64					Pseudonereis variegata	○	○	○	○		
65					Glycera sp.	○	○	○	○		
66					Eunice indica	○	○	○	○		
67					Eunice sp.	○	○	○	○		
68					Lysidice ninetta	○	○	○	○		
69					Marphysa sp.	○	○	○	○		
70					Arabella tricolor	○	○	○	○		
71					Schistomeringos sp.	○	○	○	○		
72					Naineris sp.	○	○	○	○		
73					Dipolydora sp.	○	○	○	○		
74					Polydora sp.	○	○	○	○		
75					Prionospio sp.	○	○	○	○		
76					Cirratulus sp.	○	○	○	○		
77					Cirriformia tentaculata	○	○	○	○		
78					Dodecaeceria sp.	○	○	○	○		
79					Timarete sp.	○	○	○	○		
80					Armandia sp.	○	○	○	○		
81					Polyophthalmus pictus	○	○	○	○		
82					Ampharete sp.	○	○	○	○		
83					Nicolea sp.	○	○	○	○		
84					Terebella sp.	○	○	○	○		
85					Thelepus sp.	○	○	○	○		
86					Sabellidae	○	○	○	○		
87					Hydroides ezoensis	○	○	○	○		
88					Pomatoeolus kraussii	○	○	○	○		
89					Spicobranchus tetraceros	○	○	○	○		
90					Serpulidae	○	○	○	○		

注：○は出現を示す。  
 重要種のカテゴリーは以下の通りである。  
 1. 環境省レッドリスト2020：環境省(2020)  
 ・絶滅危惧I類(CR-EN)：絶滅の危機に瀕している種  
 ・絶滅危惧II類(CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの  
 ・絶滅危惧III類(BN)：絶滅の危機に瀕している種  
 ・絶滅危惧IV類(B1)：絶滅の危機に瀕している種  
 ・絶滅危惧V類(B2)：絶滅の危機に瀕している種  
 ・準絶滅危惧(NT)：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種  
 ・情報不足(DD)：評価するだけの情報が不足している種  
 ・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い種  
 2. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書：神奈川県立生命の星・地球博物館(2006)  
 ・絶滅危惧I類：絶滅の危機に瀕している種  
 ・絶滅危惧II類：絶滅の危機に瀕している種  
 ・準絶滅危惧：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種  
 ・減少種：かつては県内に広く分布していたと考えられる種のうち、生息地あるいは生息個体数が著しく減少している種  
 ・希少種：生息地が狭域であるなど生息環境が脆弱な種のうち、現在は個体数をとくに減少させていないが、生息地での環境悪化によっては絶滅が危惧される種  
 ・要注意種：前回、減少種あるいは希少種と判定され、かつては広く分布していたのに、生息地または生息個体数が明らかに減少傾向になる種  
 ・注目種：生息環境が特殊なもののうち、県内における衰退が目立たないが、環境悪化が生じた際には絶滅が危惧される種  
 ・情報不足：評価するだけの情報が不足している種  
 ・不明種：過去に不確実な記録だけが残されている種  
 ・絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い個体群

#### ア 春季調査

付着動物の春季調査結果を表 4-3-60 に示す。また、主な出現種の写真を写-59 及び写-60 に示す。

春季調査において出現した付着生物(動物)は、6 地点 34 検体で 108 種類、40,073 個体/0.25m<sup>2</sup>、9,865.50 g/0.25m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 11~49 種類の範囲にあり、地点(Ⅲ)の間詰め石で少なく、地点(Ⅵ)の-2.0 m で多かった。

個体数及び湿重量はそれぞれ 63~3,048 個体/0.25m<sup>2</sup>、2.06~1,669.88 g/0.25m<sup>2</sup>の範囲であった。個体数は地点(Ⅲ)の根固めブロックで少なく、地点(Ⅳ)の-2.0 m で多かった。湿重量は地点(Ⅵ)の根固めブロックで少なく、地点(Ⅵ)の-1.0 m で多かった。

主な出現種は、二枚貝綱のウスカラシオツガイ及びゴカイ綱のエゾカサネカンザシであった。

#### イ 夏季調査

付着動物の夏季調査結果を表 4-3-61 に示す。また、主な出現種の写真を写-61 及び写-62 に示す。

夏季調査において出現した付着生物(動物)は、6 地点 34 検体で 116 種類、161,544 個体/0.25m<sup>2</sup>、15,215.34 g/0.25m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 16~55 種類の範囲にあり、地点(Ⅳ)の-4.0 m 底面で少なく、地点(Ⅵ)の-4.0 m で多かった。

個体数と湿重量はそれぞれ 718~13,656 個体/0.25m<sup>2</sup>、38.88~2,269.32 g/0.25m<sup>2</sup>の範囲であった。個体数は地点(Ⅴ)の-2.5 m 底面で少なく、地点(Ⅳ)の-2.0 m で多かった。湿重量は地点(Ⅱ)の-1.0 m で少なく、地点(Ⅵ)の-3.0 m で多かった。

主な出現種は、二枚貝綱のウスカラシオツガイ及びゴカイ綱のエゾカサネカンザシであった。

#### ウ 秋季調査

付着動物の秋季調査結果を表 4-3-62 に示す。また、主な出現種の写真を写-63 及び写-64 に示す。

秋季調査において出現した付着生物(動物)は、6 地点 34 検体で 112 種類、80,392 個体/0.25m<sup>2</sup>、2,962.64 g/0.25m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 22~50 種類の範囲にあり、地点(Ⅰ)の-3.0 m で少なく、地点(Ⅲ)の-1.0 m 底面で多かった。

個体数と湿重量はそれぞれ 175~6,466 個体/0.25m<sup>2</sup>、8.18~197.90 g/0.25m<sup>2</sup>の範囲であった。個体数は地点(Ⅵ)の間詰め石で少なく、地点(Ⅵ)の-1.0 m で多かった。湿重量は地点(Ⅲ)の根固めブロックで少なく、地点(Ⅱ)の-2.5 m 底面で多かった。

主な出現種は、ゴカイ綱のエゾカサネカンザシ及び Dodecaceria 属であった。

## エ 冬季調査

付着動物の冬季調査結果を表 4-3-63 に示す。また、主な出現種の写真を写-65 及び写-66 に示す。

冬季調査において出現した付着生物(動物)は、6 地点 34 検体で 105 種類、38,322 個体/0.25m<sup>2</sup>、4,742.87 g/0.25m<sup>2</sup>であった。

地点別にみると、種類数は 11~40 種類の範囲にあり、地点(VI)の根固めブロックで少なく、地点(III)の-1.0 m 底面で多かった。

個体数と湿重量はそれぞれ 64~4,506 個体/0.25m<sup>2</sup>、9.29~351.56 g/0.25m<sup>2</sup>の範囲であった。個体数は、地点(VI)の根固めブロックで少なく、地点(II)の-1.0 m で多かった。湿重量は、地点(III)の間詰め石で少なく、地点(III)の-1.0 m で多かった。

主な出現種は、ゴカイ綱のエゾカサネカンザシ及び Dodecaceria 属であった。

## オ 季別調査の比較

付着生物(動物)は 4 季を通して合計 166 種類が出現した。

季別にみると、種類数は 105~116 種類の範囲にあり、夏季で最も多かった。

季別の合計個体数と合計湿重量は、それぞれ 38,322~161,544 個体/0.25m<sup>2</sup>、2,962.64~15,215.34 g/0.25m<sup>2</sup>の範囲にあり、合計個体数、合計湿重量ともに夏季で多かった。

主な出現種は、春季及び夏季で二枚貝綱のウスカラシオツガイ及びゴカイ綱のエゾカサネカンザシ、秋季及び冬季でゴカイ綱のエゾカサネカンザシ及び Dodecaceria 属であった。特に、エゾカサネカンザシは、全ての調査季において優占していた。

表 4-3-60 付着生物(動物) 調査結果(春季)

調査年月日：令和7年5月7, 9, 12, 13日  
調査方法：採取り(50cm×50cm)  
単位：個体数/0.25㎡

項目	地点	(I)				(II)		
		-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数		27	19	28	28	22	40	
個体数(個体/0.25㎡)		482	340	396	328	1,042	592	
湿重量(g/0.25㎡)		28.56	35.02	23.56	61.05	132.90	237.52	
主な出現種	【二枚貝類】			ヒメハシガイ (11.6)	ウツカサネカンザシ (40.9)		ヒメハシガイ (49.2)	
	【ゴカイ類】	Dodecaceria属 (48.1)	Dodecaceria属 (31.2)	Dodecaceria属 (24.2)		Dodecaceria属 (85.2)	Dodecaceria属 (35.4)	
	【環形動物門】	エゾカサネカンザシ (14.5)	エゾカサネカンザシ (25.3)	エゾカサネカンザシ (17.7)			エゾカサネカンザシ (15.3)	
	【寄虫動物門】		Phoronis属 (17.6)					

項目	地点	(III)									
		-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	間詰め石	根固めブロック
種数		22	32	28	24	19	27	29	35	11	15
個体数(個体/0.25㎡)		622	393	1,004	616	724	762	730	687	154	63
湿重量(g/0.25㎡)		457.90	179.94	406.48	121.32	119.39	116.02	112.74	54.05	45.74	23.97
主な出現種	【二枚貝類】			ヒメハシガイ (49.0)	ウツカサネカンザシ (13.6)	ヒメハシガイ (17.4)	ウツカサネカンザシ (14.2)	ヒメハシガイ (17.3)	ウツカサネカンザシ (24.5)	ヒメハシガイ (33.1)	ウツカサネカンザシ (27.0)
	【ゴカイ類】	Dodecaceria属 (69.5)	Dodecaceria属 (45.0)		エゾカサネカンザシ (10.4)	エゾカサネカンザシ (14.9)	エゾカサネカンザシ (13.9)		エゾカサネカンザシ (21.0)		ウツカサネカンザシ (25.4)
	【環形動物門】			ヒメハシガイ (11.6)	ウツカサネカンザシ (52.3)	ヒメハシガイ (26.8)	ウツカサネカンザシ (32.3)		ヒメハシガイ (29.3)	ウツカサネカンザシ (15.1)	ヒメハシガイ (27.3)
	【寄虫動物門】							Phoronis属 (12.1)			

項目	地点	(IV)				(V)		
		-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数		37	37	42	34	37	36	
個体数(個体/0.25㎡)		2,388	3,048	2,076	720	1,632	2,000	
湿重量(g/0.25㎡)		706.56	392.88	280.92	123.66	445.08	210.84	
主な出現種	【二枚貝類】	ヒメハシガイ (27.0)			ヒメハシガイ (25.0)	ウツカサネカンザシ (13.2)	ヒメハシガイ (53.6)	
	【ゴカイ類】	エゾカサネカンザシ (12.9)	エゾカサネカンザシ (20.6)	エゾカサネカンザシ (19.8)	エゾカサネカンザシ (16.7)	エゾカサネカンザシ (12.5)	エゾカサネカンザシ (11.0)	
	【環形動物門】					ヒメハシガイ (11.3)		
	【軟甲類】	イソコズビ (22.8)				イソコズビ (16.9)	イソコズビ (17.6)	
	【寄虫動物門】		Phoronis属 (15.7)	Phoronis属 (16.2)				

項目	地点	(VI)										合計
		-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	間詰め石	根固めブロック	
種数		44	39	36	49	44	47	43	45	19	19	108
個体数(個体/0.25㎡)		2,536	1,884	1,500	2,460	1,900	2,164	2,312	2,644	228	82	40,073
湿重量(g/0.25㎡)		832.20	395.32	1,669.88	773.04	533.64	385.04	336.20	574.12	21.00	2.06	9,865.50
主な出現種	【環形動物門】											異歯虫目 (19.5)
	【二枚貝類】	ヒメハシガイ (18.0)	ヒメハシガイ (54.6)	ヒメハシガイ (29.6)	ウツカサネカンザシ (15.6)	ウツカサネカンザシ (18.3)	ウツカサネカンザシ (21.1)	ウツカサネカンザシ (45.2)	ウツカサネカンザシ (37.5)	ウツカサネカンザシ (49.6)		ウツカサネカンザシ (14.4)
	【ゴカイ類】	エゾカサネカンザシ (14.4)	ヒメハシガイ (15.5)		エゾカサネカンザシ (26.0)	エゾカサネカンザシ (22.7)	エゾカサネカンザシ (18.5)	エゾカサネカンザシ (12.8)		ヒメハシガイ (19.5)		エゾカサネカンザシ (13.5)
	【軟甲類】	イソコズビ (15.1)										

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。

主な出現種



写-59 ウスカラシオツガイ



写-60 エゾカサネカンザシ

表 4-3-61 付着生物(動物) 調査結果(夏季)

調査年月日：令和7年8月7, 8, 18, 19日  
調査方法：採取(50cm×50cm)  
単位：個体数/0.25㎡

項目	(I)				(II)			
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面	
種数	26	33	27	38	26	30	30	
個体数(個体/0.25㎡)	3,240	3,342	1,934	1,526	3,794	2,534	834	
湿重量(湿/0.25㎡)	79.28	84.24	60.52	81.41	38.88	42.44	106.09	
主な出現種	【二枚貝類】	ウスカラシオツガイ (41.9)	ウスカラシオツガイ (43.2)	ウスカラシオツガイ (17.1)	ウスカラシオツガイ (54.9)	ウスカラシオツガイ (17.2)	ウスカラシオツガイ (25.1)	ウスカラシオツガイ (61.5)
	【コサザ類】	エゾカサネカンザシ (11.4)	エゾカサネカンザシ (14.6)	エゾカサネカンザシ (28.6)		Dodecaceria属 (63.9)	Dodecaceria属 (15.2)	エゾカサネカンザシ (18.9)
	【寄虫動物門】			Phoronis属 (10.9)				

項目	(III)								間詰め石	根固めブロック	
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m			
種数	28	45	34	31	44	41	41	41	25	32	
個体数(個体/0.25㎡)	9,716	1,266	2,358	2,242	2,341	2,492	6,295	4,999	1,370	7,259	
湿重量(湿/0.25㎡)	80.40	81.65	98.90	88.52	749.01	1,727.40	230.04	95.47	61.43	177.66	
主な出現種	【二枚貝類】	ウスカラシオツガイ (12.9)	ウスカラシオツガイ (58.9)	ウスカラシオツガイ (33.9)	ウスカラシオツガイ (38.8)	ウスカラシオツガイ (40.8)	ウスカラシオツガイ (37.8)	ウスカラシオツガイ (18.4)	ウスカラシオツガイ (19.9)	ウスカラシオツガイ (48.0)	ウスカラシオツガイ (45.0)
	【コサザ類】	Dodecaceria属 (75.4)		エゾカサネカンザシ (15.8)	エゾカサネカンザシ (12.3)	シノサザガイ (12.1)	シノサザガイ (12.4)			エゾカサネカンザシ (27.3)	シノサザガイ (33.5)
	【軟甲類】			エゾカサネカンザシ (14.3)	Polydora属 (13.9)		エゾカサネカンザシ (11.7)	エゾカサネカンザシ (30.2)	Dipolydora属 (12.2)	Polydora属 (15.0)	

項目	(IV)				(V)			
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面	
種数	45	38	26	16	22	33	27	
個体数(個体/0.25㎡)	10,196	13,656	4,500	746	7,124	3,884	718	
湿重量(湿/0.25㎡)	383.90	906.96	699.08	131.94	1,184.40	626.04	266.42	
主な出現種	【イソクマ目】	イソクマ目 (31.3)						
	【二枚貝類】	ウスカラシオツガイ (26.4)	ウスカラシオツガイ (17.0)	ウスカラシオツガイ (22.4)	ウスカラシオツガイ (45.0)	ウスカラシオツガイ (16.6)	ウスカラシオツガイ (16.0)	ウスカラシオツガイ (36.8)
	【コサザ類】	エゾカサネカンザシ (10.5)	エゾカサネカンザシ (53.5)	エゾカサネカンザシ (37.7)	エゾカサネカンザシ (32.4)	エゾカサネカンザシ (12.8)		ウスカラシオツガイ (34.8)
【軟甲類】			イソクマ目 (11.4)		イソクマ目 (35.9)	イソクマ目 (19.8)		

項目	(VI)								間詰め石	根固めブロック	合計
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m			
種数	29	29	42	41	48	55	47	44	37	29	116
個体数(個体/0.25㎡)	8,984	1,776	12,768	5,884	5,864	5,728	6,192	9,768	1,731	4,573	161,544
湿重量(湿/0.25㎡)	497.08	495.56	367.04	299.76	2,269.32	1,401.04	745.32	383.80	41.73	123.51	15,215.34
主な出現種	【イソクマ目】			イソクマ目 (23.3)							
	【二枚貝類】	ウスカラシオツガイ (15.7)	ウスカラシオツガイ (27.5)	ウスカラシオツガイ (42.9)	ウスカラシオツガイ (31.1)	ウスカラシオツガイ (11.5)	ウスカラシオツガイ (11.7)		ウスカラシオツガイ (52.2)	ウスカラシオツガイ (56.7)	ウスカラシオツガイ (25.3)
	【コサザ類】	Dodecaceria属 (48.1)		エゾカサネカンザシ (13.8)	エゾカサネカンザシ (24.1)		エゾカサネカンザシ (22.1)		エゾカサネカンザシ (38.7)		エゾカサネカンザシ (15.9)
【軟甲類】	イソクマ目 (10.0)	イソクマ目 (41.4)			イソクマ目 (15.3)	イソクマ目 (10.1)	イソクマ目 (13.4)				

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。

主な出現種



写-61 ウスカラシオツガイ



写-62 エゾカサネカンザシ

表 4-3-62 付着生物(動物)調査結果(秋季)

調査年月日：令和7年11月6,7,10,11日  
調査方法：採取り(50cm×50cm)  
単位：個体, g/0.25㎡

項目	(I)				(II)		
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数数	34	30	22	35	32	32	41
個体数(個体/0.25㎡)	4,181	2,612	1,524	788	4,982	3,312	1,587
湿重量(g/0.25㎡)	50.46	42.52	15.94	77.49	31.44	61.32	107.90
主な出現種	【二枚貝類】			ワカシヤガイ (23.4)			ワカシヤガイ (16.8)
	【エビ類】	Dodecaceria属 (73.1) エビ類 (12.8)	Polydora属 (18.4) エビ類 (17.8)	Dodecaceria属 (24.2)		Polydora属 (26.7) Dodecaceria属 (21.8) エビ類 (21.8)	エビ類 (42.0)
	【寄生物類】			Phoronis属 (36.3)			
	【ワカシヤガイ類】		Ophiactis属 (12.3)	Ophiactis属 (17.3)	Ophiactis属 (24.9)		Ophiactis属 (29.5) Ophiactis属 (51.2)

項目	(III)									
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	間詰め石	根固めブロック
種数数	37	50	29	34	38	47	42	38	26	27
個体数(個体/0.25㎡)	5,168	1,383	2,106	1,800	3,087	3,405	3,644	2,200	220	273
湿重量(g/0.25㎡)	97.72	140.04	79.90	108.16	100.32	115.36	142.25	27.16	12.33	8.18
主な出現種	【ワカシヤガイ目】		ワカシヤガイ目 (14.7)							
	【二枚貝類】				ワカシヤガイ (13.8)				ワカシヤガイ (29.5) ワカシヤガイ (27.3)	ワカシヤガイ (27.8) ワカシヤガイ (13.9)
	【エビ類】	Dodecaceria属 (79.9)		エビ類 (17.5)	エビ類 (14.2)	エビ類 (15.0)	エビ類 (37.4)	エビ類 (32.4)	エビ類 (26.5)	
	【節脚類】			ワカシヤガイ (18.6)	ワカシヤガイ (18.0)					ワカシヤガイ (12.1)
	【軟甲類】		ワカシヤガイ (13.4)			ワカシヤガイ (10.4)				ワカシヤガイ (23.4)
	【寄生物類】		Ophiactis属 (19.1)					Phoronis属 (11.9)	Phoronis属 (12.5)	Ophiactis属 (23.3)

項目	(IV)				(V)		
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数数	34	42	40	37	35	40	39
個体数(個体/0.25㎡)	3,440	2,746	2,512	144	1,828	4,102	551
湿重量(g/0.25㎡)	157.14	168.86	137.94	54.37	62.32	137.40	40.03
主な出現種	【ワカシヤガイ目】	ワカシヤガイ目 (14.8)		ワカシヤガイ目 (19.0)			
	【二枚貝類】			ワカシヤガイ (18.6) ワカシヤガイ (18.6)	ワカシヤガイ (10.4)		
	【エビ類】	エビ類 (11.9)	Dodecaceria属 (12.2) エビ類 (10.2)	エビ類 (27.0)	ワカシヤガイ (20.6) Dodecaceria属 (24.5)	エビ類 (34.0)	エビ類 (11.1)
	【ワカシヤガイ類】						ワカシヤガイ (11.4)
	【寄生物類】	Phoronis属 (43.7)	Phoronis属 (35.5)	Phoronis属 (10.9)		Phoronis属 (13.6)	Phoronis属 (24.6)

項目	(VI)										合計	
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	間詰め石	根固めブロック		
種数数	32	38	43	39	39	46	44	44	26	23	112	
個体数(個体/0.25㎡)	2,616	531	6,466	2,474	2,553	2,364	1,638	3,612	175	241	80,392	
湿重量(g/0.25㎡)	56.12	53.42	129.52	154.38	177.00	74.18	54.76	128.64	15.67	51.90	2,962.64	
主な出現種	【ワカシヤガイ目】	ワカシヤガイ目 (14.8)		ワカシヤガイ目 (19.0)								
	【二枚貝類】					ワカシヤガイ (16.7)				ワカシヤガイ (24.0) ワカシヤガイ (10.3)	ワカシヤガイ (35.7) ワカシヤガイ (14.9)	
	【エビ類】	エビ類 (30.7)	エビ類 (19.6)	Dodecaceria属 (27.0) エビ類 (17.4)	エビ類 (23.9) Thelepus属 (14.1) Dodecaceria属 (11.0)	エビ類 (32.1)	エビ類 (31.3)	エビ類 (33.3)	エビ類 (34.6) Dodecaceria属 (16.8)	エビ類 (19.4)		エビ類 (21.4) Dodecaceria属 (17.1)
	【節脚類】										ワカシヤガイ (18.3)	
	【軟甲類】	ワカシヤガイ (12.9)	ワカシヤガイ (15.3)				ワカシヤガイ (12.9)	ワカシヤガイ (13.3)	ワカシヤガイ (10.1)			
	【寄生物類】					Phoronis属 (10.9)						

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。

主な出現種



写-63 エウガサネカンザシ



写-64 Dodecaceria 属

表 4-3-63 附着生物(動物) 調査結果(冬季)

調査年月日：令和8年2月5, 6, 9, 10日  
 調査方法：採取(50cm×50cm)  
 単位：個体/g/0.25㎡

項目	(I)				(II)		
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面
種数	25	28	23	29	26	36	
個体数(個体/0.25㎡)	1,994	1,226	736	350	1,306	826	
湿重量(g/0.25㎡)	171.86	155.54	86.26	53.30	216.30	68.06	98.91
主な出現種	【二枚貝類】						カサガイ科イ (12.6)
	【ゴカイ類】	Dodecaceria属 (20.3) エゾカサネカンザシ (19.3)	エゾカサネカンザシ (15.2) Polydora属 (17.7)	エゾカサネカンザシ (29.3) Polydora属 (17.7)	エゾカサネカンザシ (32.0)	Dodecaceria属 (66.9) エゾカサネカンザシ (13.8)	Dodecaceria属 (29.1) エゾカサネカンザシ (14.8)
	【軟甲類】	ワカギ属 (22.5) ソノノカズビ属 (10.4)	ワカギ属 (52.2)	ワカギ属 (23.9) ソノノカズビ属 (13.4)	ワカギ属 (16.7) ソノノカズビ属 (13.4)		ソノノカズビ属 (23.8)

項目	(III)									
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	間詰め石	根固めブロック
種数	24	40	34	32	31	39	32	32	18	20
個体数(個体/0.25㎡)	1,964	205	1,126	748	1,184	1,990	1,320	1,314	95	95
湿重量(g/0.25㎡)	60.80	189.06	351.56	327.36	268.92	212.36	155.62	61.64	9.29	34.78
主な出現種	【二枚貝類】		カサガイ科イ (14.1)	カサガイ科イ (22.0)	カサガイ科イ (11.5)	カサガイ科イ (11.8)		カサガイ科イ (22.8)		カサガイ科イ (27.4)
	【ゴカイ類】	Dodecaceria属 (87.6)	Dodecaceria属 (15.6)	エゾカサネカンザシ (17.1)		エゾカサネカンザシ (43.2)	エゾカサネカンザシ (43.4)	エゾカサネカンザシ (41.4)	エゾカサネカンザシ (41.4)	エゾカサネカンザシ (10.5)
	【環脚類】			ワカギ科イ (27.8)						ワカギ科イ (24.2)
	【軟甲類】		ワカギ属 (12.2)	ワカギ属 (15.6) ソノノカズビ属 (14.9)	ワカギ属 (16.0) ソノノカズビ属 (15.5)	ソノノカズビ属 (12.8)		ワカギ属 (35.2)		ワカギ属 (55.8)

項目	(IV)				(V)			
	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-2.5m 底面	
種数	35	35	33	30	30	29	28	
個体数(個体/0.25㎡)	1,604	1,516	1,066	83	2,458	922	191	
湿重量(g/0.25㎡)	177.94	225.32	147.05	35.33	136.52	93.30	60.41	
主な出現種	【二枚貝類】		カサガイ科イ (15.4) カサガイ科イ (31.3) カサガイ科イ (12.0)					
	【ゴカイ類】	エゾカサネカンザシ (40.1)	エゾカサネカンザシ (52.8)	エゾカサネカンザシ (39.0)		エゾカサネカンザシ (17.2)	エゾカサネカンザシ (43.8) Dodecaceria属 (19.1)	エゾカサネカンザシ (37.7) Dodecaceria属 (23.0)
	【軟甲類】	ワカギ属 (12.0)	ワカギ科イ (10.2)					
	【節足動物門】					Phoronis属 (43.6)		

項目	(VI)										合計
	-0.5m	-1.0m 底面	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-5.0m	-6.0m	間詰め石	根固めブロック	
種数	27	32	31	37	35	39	30	35	15	11	105
個体数(個体/0.25㎡)	2,246	130	836	1,628	894	1,320	1,072	2,012	69	64	38,222
湿重量(g/0.25㎡)	141.52	28.37	334.22	301.00	86.26	127.22	93.58	190.18	28.58	23.42	4,742.87
主な出現種	【二枚貝類】									カサガイ科イ (40.6)	カサガイ科イ (40.6)
	【ゴカイ類】	エゾカサネカンザシ (41.3) Dodecaceria属 (38.5)	Syllinae亜科 (13.8)	エゾカサネカンザシ (40.0)	エゾカサネカンザシ (61.1)	エゾカサネカンザシ (60.6)	エゾカサネカンザシ (49.5)	エゾカサネカンザシ (34.9)	エゾカサネカンザシ (48.6)	エゾカサネカンザシ (27.5)	エゾカサネカンザシ (15.6) Dodecaceria属 (18.1)
	【軟甲類】	ソノノカズビ属 (25.4) ワカギ属 (12.3)		ワカギ属 (18.7)	ワカギ科イ (14.7)		ワカギ科イ (24.2)	ワカギ科イ (32.8)	ワカギ科イ (23.1)		

注：主な出現種は個体数比率の10%以上の種を選出し、( )内に個体数比率を示す。



写-65 エゾカサネカンザシ



写-66 Dodecaceria 属









付着生物(動物)調査結果(秋季)(地点(I)、地点(II)及び地点(III))

調査年月日: 令和7年11月6, 7, 10, 11日  
 調査方法: 枠取り(50cm×50cm)  
 単位: 個体数, g/0.25㎡

番号	門	綱	目	科	地点	地点(I)						地点(II)						地点(III)						間詰め石	根詰めブロック												
						Y.P.-1.0m		Y.P.-2.0m		Y.P.-3.0m		Y.P.-4.0m		Y.P.-1.0m		Y.P.-2.0m		Y.P.-2.5m		Y.P.-0.5m		Y.P.-1.0m				Y.P.-1.0m		Y.P.-2.0m		Y.P.-3.0m		Y.P.-4.0m		Y.P.-5.0m		Y.P.-6.0m	
						個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量			個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
2	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
3	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
4	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
5	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
6	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
7	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
8	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
9	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
10	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
11	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
12	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
13	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
14	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
15	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
16	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
17	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
18	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
19	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
20	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
21	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
22	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
23	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
24	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
25	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
26	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
27	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
28	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
29	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
30	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
31	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
32	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
33	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
34	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
35	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
36	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
37	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
38	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
39	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
40	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
41	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
42	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
43	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
44	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
45	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
46	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
47	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
48	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
49	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
50	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
51	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
52	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
53	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
54	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
55	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
56	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
57	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
58	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
59	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
60	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
61	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
62	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
63	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
64	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
65	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
66	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
67	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
68	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
69	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
70	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
71	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ																																
72	動物	節足動物	昆虫	Actinaria	イソノキ			</																													







【参考】【魚類目視観察結果】

魚類目視観察結果(春季)

調査期日：令和7年5月7, 9, 12, 13日

No.	門	綱	目	科	種名	地点	(I)		(II)		(III)		(IV)		(V)		(VI)	
							遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内
1	脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	フサカサゴ	Sebastiscus marmoratus	カサゴ							2				1	1
2			スズキ	タイ	Acanthopagrus schlegelii	クロダイ			1			3	1	3				
3				メジナ	Girella punctata	メジナ							1					
4				タウエガジ	Dictyosoma burgeri	ダイナンギンボ							1					
5				イソギンボ	Parablennius yatabei	イソギンボ	1		2		2		4	3	4		1	2
6				ハゼ	Tridentiger trigocephalus	アカオビシマハゼ			1									

注：欄内の数値は、確認された魚類の個体数を示す。

魚類目視観察結果(夏季)

調査期日：令和7年8月7, 8, 18, 19日

No.	門	綱	目	科	種名	地点	(I)		(II)		(III)		(IV)		(V)		(VI)	
							遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内
1	脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	フサカサゴ	Sebastiscus marmoratus	カサゴ	8	5	3	17	7	8	7	15				
2					Sebastes sp.	メバル属	3	1	1	6	5	2	1	4				
3			スズキ	スズキ	Lateolabrax japonicus	スズキ				1								
4				イサキ	Diagramma pictum	クロダイ				1								
5				タイ	Acanthopagrus schlegelii	クロダイ			1		2						1	
6				チョウチョウウオ	Chaetodon modestus	ゲンロクダイ											1	
7				シマイサキ	Rhycopelates oxyrhynchus	シマイサキ	1										2	
8				カゴカキダイ	Microcanthus strigatus	カゴカキダイ	1											
9				メジナ	Girella punctata	メジナ					5							10
10				ベラ	Halichoeres poecilopterus	キュウセン	6				8	1					2	
11				イソギンボ	Parablennius yatabei	イソギンボ	2	6	9	8	2	4	6	8				
12					Omobranchus elegans	ナベカ	2	1		2			4	3				
13				ハゼ	Tridentiger trigocephalus	アカオビシマハゼ					1							
14			フグ	カワハギ	Rudarius ercodes	アミメハギ												1

注：欄内の数値は、確認された魚類の個体数を示す。

魚類目視観察結果(秋季)

調査期日：令和7年11月6, 7, 10, 11日

No.	門	綱	目	科	種名	地点	(I)		(II)		(III)		(IV)		(V)		(VI)	
							遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内		
1	脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	フサカサゴ	Sebastiscus marmoratus	カサゴ		3	2	1	10	4	5	1	7			
2					Sebastes sp.	メバル属		1			4	7					3	
3			スズキ	タイ	Acanthopagrus schlegelii	クロダイ					3							6
4				チョウチョウウオ	Chaetodon modestus	ゲンロクダイ												1
5				スズメダイ	Chromis notatus notatus	スズメダイ												3
6				メジナ	Girella punctata	メジナ					3							2
7				ベラ	Halichoeres poecilopterus	キュウセン												1
8				イソギンボ	Parablennius yatabei	イソギンボ					7							8
9					Omobranchus elegans	ナベカ					1							
10				ハゼ	Istigobius campbelli	クツワハゼ					5							4
11			フグ	カワハギ	Rudarius ercodes	アミメハギ												1

注：欄内の数値は、確認された魚類の個体数を示す。

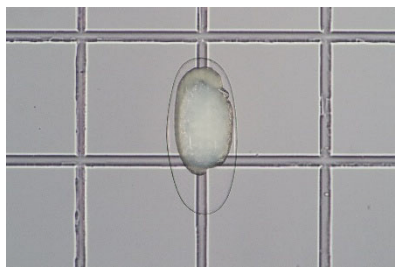
魚類目視観察結果(冬季)

調査期日：令和8年2月6, 7, 9, 10日

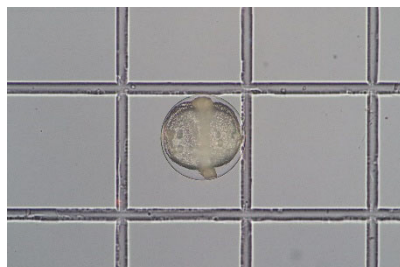
No.	門	綱	目	科	種名	地点	(I)		(II)		(III)		(IV)		(V)		(VI)	
							遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内	遊水室内		
1	脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	フサカサゴ	Sebastiscus marmoratus	カサゴ	1	1	1	3	1	2	2	4				
2			スズキ	イソギンボ	Parablennius yatabei	イソギンボ			1	1								

注：欄内の数値は、確認された魚類の個体数を示す。

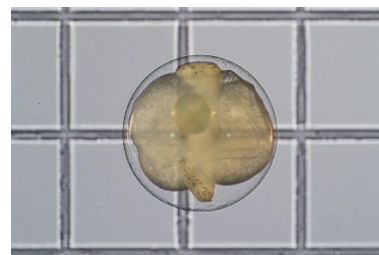
主な出現種



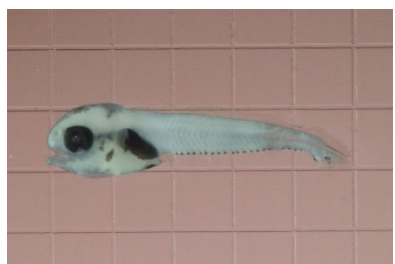
写-67 カタクチイワシ



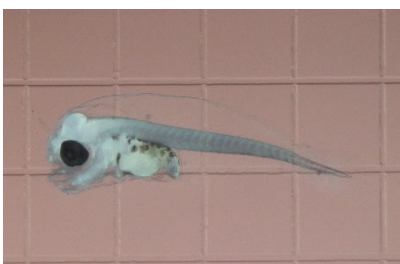
写-68 ウシノシタ亜目



写-69 スズキ属



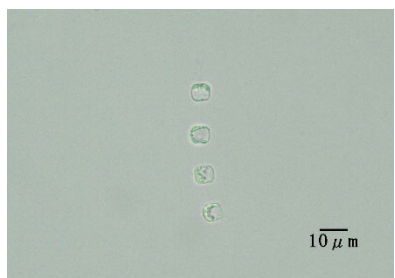
写-70 イソギンポ



写-71 カサゴ



写-72 Cryptomonadaceae



写-73 Thalassiosira sp



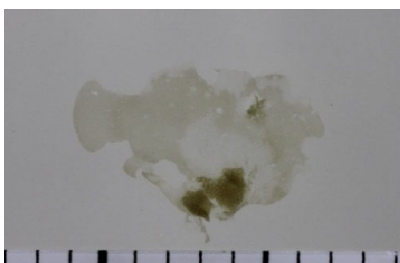
写-74 COPEPODA (nauplius larva)



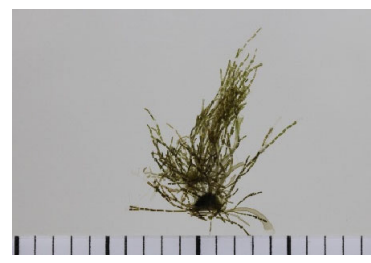
写-75 シノブハネエラスピオ



写-76 イトエラスピオ



写-77 アオサ属



写-78 シオグサ属



写-79 ウスカラシオツガイ



写-80 エゾカサネカンザシ

#### 2-4-4 水質調査結果（任意調査）

##### (1) 鉛直測定結果

現地観測結果について、地点 A, B, C, D は、前項の表 4-1-1～表 4-1-4 に示す。

地点 BG-1, BG-2 については、表 4-4-1～4-4-4 に示す。

表 4-4-1 鉛直測定時における現地観測結果(春季)

測定項目		調査地点		地点 BG-1	地点 BG-2
採取時刻		—		10 : 16	09 : 44
気象	天候	—		晴	晴
	気温	℃		21.1	21.0
	風向	—		南東	南東
	風速	m/s		1.1	1.0
色相		—		緑褐色	緑褐色
透明度		m		1.2	1.3
水深		m		12.7	33.4
水温	表層	℃		19.8	18.9
	下層	℃		16.9	15.5

表 4-4-2 鉛直測定時における現地観測結果(夏季)

測定項目		調査地点		地点 BG-1	地点 BG-2
採取時刻		—		11 : 00	10 : 40
気象	天候	—		晴	晴
	気温	℃		31.0	30.7
	風向	—		南東	南東
	風速	m/s		3.5	2.2
色相		—		緑褐色	緑褐色
透明度		m		1.8	3.0
水深		m		13.0	33.5
水温	表層	℃		26.6	27.0
	下層	℃		22.9	18.4

表 4-4-3 鉛直測定時における現地観測結果(秋季)

測定項目		調査地点		地点 BG-1	地点 BG-2
採取時刻		—		10 : 00	09 : 40
気象	天候	—		曇	曇
	気温	℃		13.4	13.4
	風向	—		北	北
	風速	m/s		2.0	3.5
色相		—		暗緑色	暗緑色
透明度		m		5.2	5.5
水深		m		13.4	33.9
水温	表層	℃		19.0	18.0
	下層	℃		18.5	16.6

表 4-4-4 鉛直測定時における現地観測結果(冬季)

測定項目		調査地点		
		地点 BG-1	地点 BG-2	
採取時刻		—	10 : 19	09 : 51
気象	天候	—	晴	晴
	気温	℃	5.9	6.0
	風向	—	北	北
	風速	m/s	0.6	0.9
色相		—	暗緑色	暗緑色
透明度		m	4.3	5.1
水深		m	13.5	34.3
水温	表層	℃	11.0	10.1
	下層	℃	10.8	11.8

① 水温

水温の調査結果を表 4-4-5 及び図 4-4-1 に示す。

ア 春季調査結果

水温は、15.5 °C～19.9 °Cの範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。  
鉛直方向にみると、表層から底層に向かって低くなる傾向を示した。

イ 夏季調査結果

水温は、18.4 °C～27.0 °Cの範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。  
鉛直方向にみると、表層から底層に向かって低くなる傾向を示し、底層では表層に比べて 4.0 °C～9.0 °C程度低かった。

ウ 秋季調査結果

水温は、16.4 °C～19.0 °Cの範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。  
鉛直方向にみると、表層から底層に向って、やや水温が低くなる傾向がみられた。

エ 冬季調査結果

水温は、10.1 °C～11.8 °Cの範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。  
鉛直方向にみると、変化は少なかった。

表 4-4-5(1) 春季調査結果(水温)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	19.0	18.8	19.0	18.4	19.8	18.9
1	18.9	18.9	18.9	18.5	19.8	18.7
2	18.7	18.7	18.6	18.1	19.9	18.6
3	18.5	18.6	18.6	18.1	19.5	18.4
4	18.3	18.6	18.2	18.1	19.4	18.3
5	17.9	18.5	18.0	18.1	18.7	18.3
6	17.8	18.1	17.9	18.1	18.4	19.2
7	17.7	17.9	17.9	18.0	18.4	18.4
8	17.4	17.8	17.7	17.6	17.9	17.4
9	16.9	17.5	17.6	17.1	17.7	17.1
10	16.7	17.1	17.3	17.0	17.3	17.1
11	16.6	16.5	16.5	16.7	17.2	16.9
12	16.2	16.4	16.3	16.6	16.9	16.5
13	15.9	16.4	15.8	16.1		16.4
14	15.9	15.9	15.8	16.0		16.2
15	15.8	15.9	15.8	15.9		16.1
16	15.7	15.8	15.8	15.9		16.0
17	15.7	15.5	15.6	15.8		15.7
18	15.7	15.5	15.5	15.8		15.6
19	15.6	15.5	15.5	15.6		15.6
20	15.5	15.5	15.5	15.6		15.6
21		15.5	15.5	15.6		15.5
22		15.5	15.5	15.5		15.5
23		15.5				15.5
24		15.5				15.5
25		15.5				15.5
26		15.5				15.5
27		15.5				15.5
28		15.5				15.5
29		15.5				15.5
30		15.5				15.5
31		15.5				15.5
32		15.5				15.5
33		15.5				15.5
34		15.5				
35						
36						

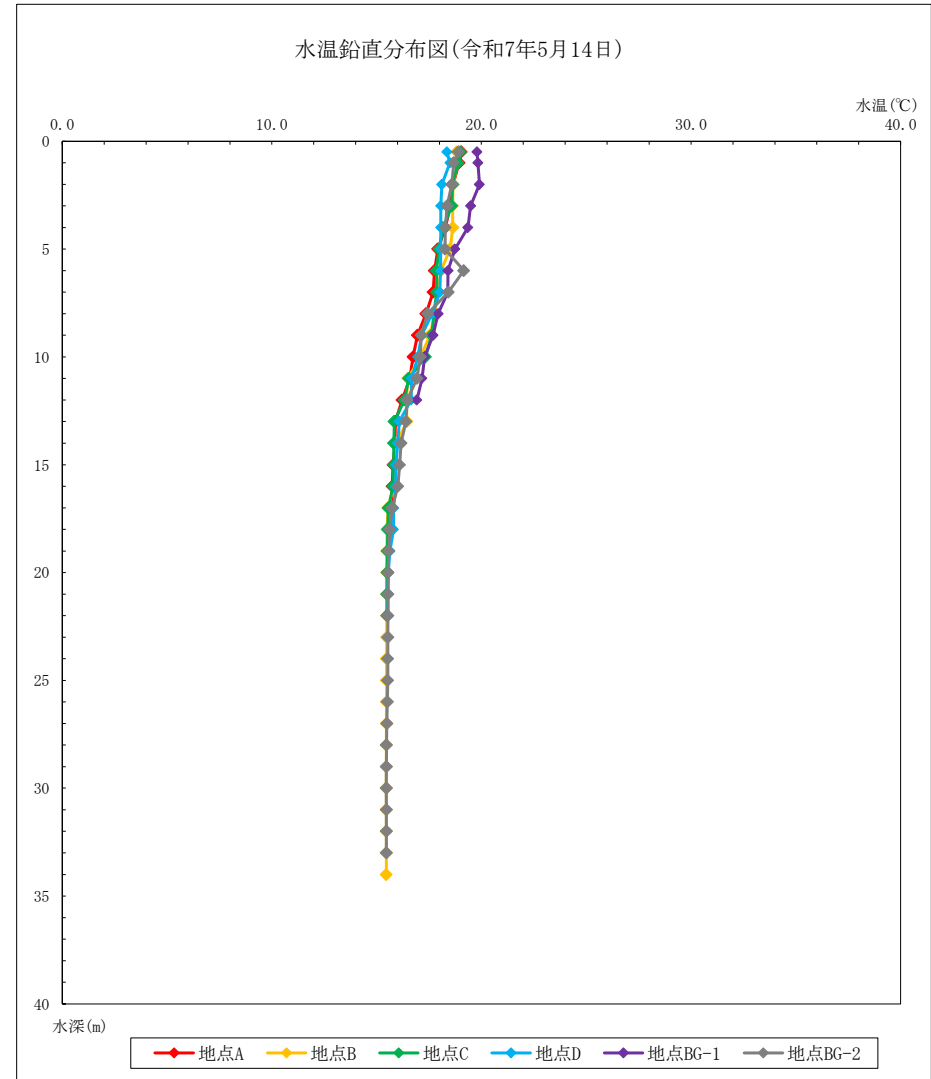


図 4-4-1(1) 春季調査結果(水温)

表 4-4-5(2) 夏季調査結果(水温)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	26.9	27.0	26.8	26.6	26.6	27.0
1	26.4	26.7	26.6	26.5	26.4	26.7
2	26.4	26.5	26.2	26.1	26.3	26.5
3	26.2	26.2	26.0	26.1	26.2	26.2
4	26.1	26.2	25.9	26.0	26.1	26.2
5	26.0	26.2	25.7	25.9	26.1	26.2
6	26.0	25.8	25.6	25.9	25.9	26.2
7	25.8	25.4	25.5	25.9	25.7	26.2
8	25.8	25.4	25.4	25.9	25.4	26.2
9	25.7	25.3	25.4	25.8	25.5	26.1
10	25.2	25.3	25.4	25.8	25.4	26.0
11	24.9	25.2	25.4	25.8	24.6	26.0
12	24.8	25.1	25.4	25.7	22.9	25.8
13	24.6	25.0	25.5	25.1		25.6
14	24.4	24.7	25.5	24.9		25.1
15	24.3	23.8	25.2	24.9		24.4
16	22.5	23.4	24.8	24.7		24.0
17	22.3	23.3	24.7	24.7		23.1
18	22.2	23.2	22.7	23.2		22.9
19	22.1	22.7	22.1	22.4		21.9
20		22.6	21.5			21.3
21		22.6	19.7			20.7
22		22.2	19.4			20.4
23		20.4	19.2			20.0
24		20.4				19.2
25		20.3				19.0
26		20.3				18.7
27		20.2				18.6
28		20.2				18.6
29		20.1				18.6
30		19.9				18.5
31		19.3				18.4
32		19.3				18.4
33		19.2				18.4
34		19.1				
35						
36						

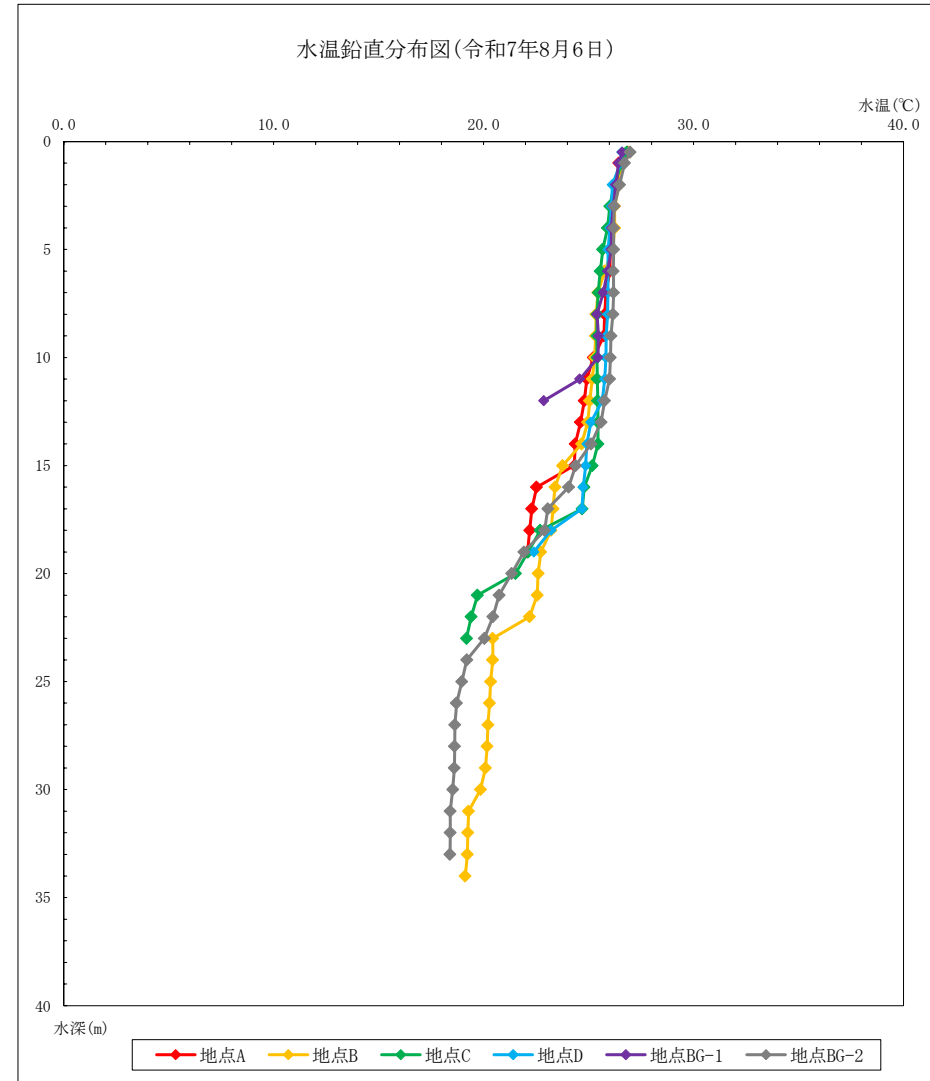


図 4-4-1(2) 夏季調査結果(水温)

表 4-4-5(3) 秋季調査結果(水温)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	18.7	18.0	18.1	18.2	19.0	18.0
1	18.6	18.0	18.1	18.2	19.0	18.0
2	18.6	18.0	18.2	18.2	19.0	18.0
3	18.5	18.0	18.2	18.2	19.0	18.1
4	18.5	18.0	18.2	18.2	19.0	18.1
5	18.4	18.0	18.2	18.2	18.9	18.1
6	18.4	18.0	18.2	18.2	18.8	18.1
7	18.4	18.0	18.2	18.2	18.6	18.1
8	18.4	18.0	18.2	18.2	18.4	18.1
9	18.3	18.0	18.2	18.2	18.4	18.1
10	18.3	18.1	18.2	18.2	18.5	18.1
11	18.2	18.1	18.2	18.2	18.5	18.1
12	18.1	18.1	18.2	18.2	18.5	18.1
13	18.2	18.1	18.2	18.2	18.5	18.2
14	18.3	18.1	18.2	18.2		18.2
15	18.3	18.1	18.2	18.2		18.2
16	18.3	18.1	18.2	18.2		18.3
17	18.4	18.1	18.2	18.2		18.4
18	18.3	18.1	18.0	18.2		18.4
19	18.3	18.1	17.8	18.2		18.4
20		18.2	17.7	17.9		18.5
21		17.9	17.5	17.6		18.4
22		17.8	17.0	17.4		18.3
23		17.7				18.1
24		17.6				17.9
25		17.4				17.6
26		16.9				17.4
27		16.7				17.1
28		16.6				17.0
29		16.5				16.9
30		16.4				16.7
31		16.4				16.7
32		16.4				16.6
33		16.4				16.6
34		16.4				
35						
36						

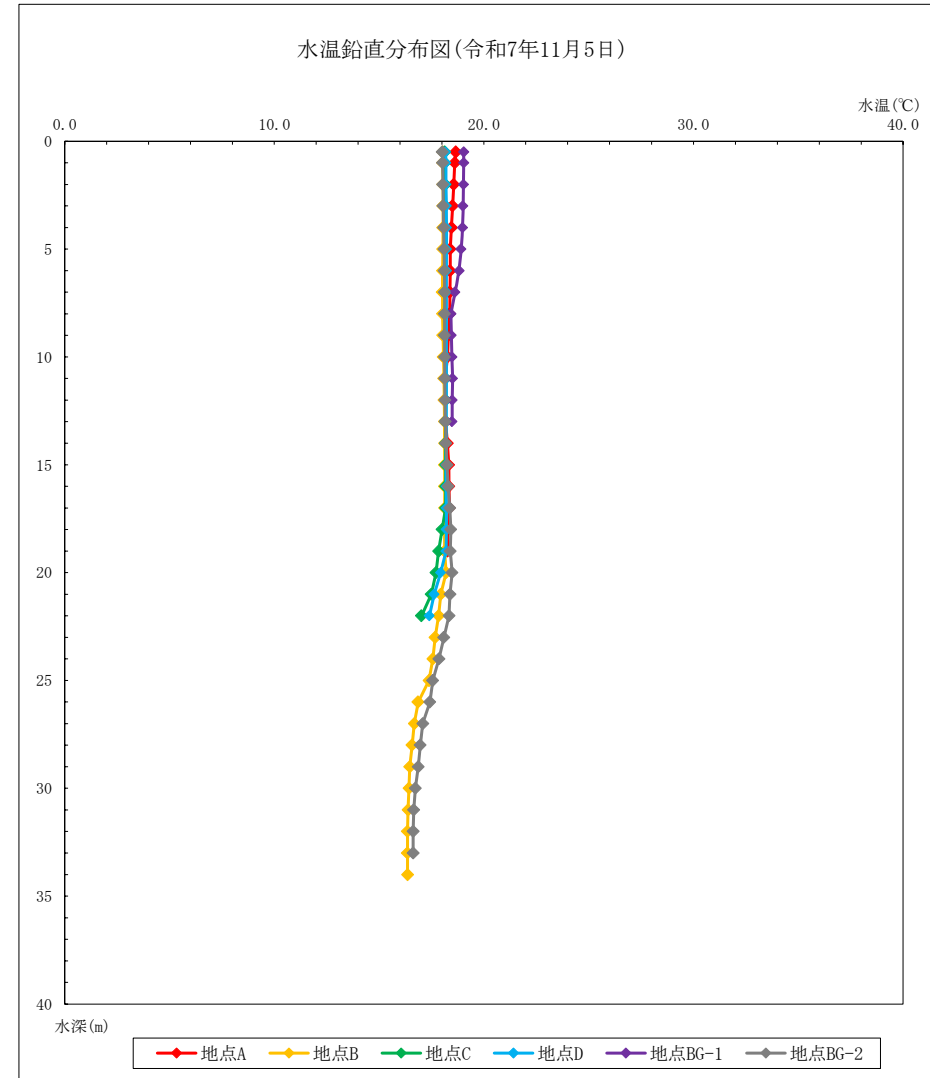


図 4-4-1(3) 秋季調査結果(水温)

表 4-4-5(4) 冬季調査結果(水温)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	11.0	10.5	10.5	10.6	11.0	10.1
1	10.8	10.5	10.5	10.6	11.0	10.1
2	10.8	10.5	10.4	10.6	11.0	10.1
3	10.8	10.5	10.5	10.6	11.0	10.1
4	10.7	10.5	10.5	10.6	11.0	10.1
5	10.7	10.5	10.5	10.6	10.9	10.1
6	10.7	10.5	10.5	10.6	10.9	10.1
7	10.6	10.6	10.5	10.6	10.8	10.1
8	10.6	10.6	10.5	10.6	10.7	10.1
9	10.6	10.6	10.5	10.6	10.7	10.2
10	10.6	10.6	10.5	10.6	10.7	10.2
11	10.6	10.8	10.5	10.6	10.7	10.2
12	10.6	11.0	10.5	10.6	10.7	10.2
13	10.7	11.1	10.5	10.6	10.8	10.2
14	10.7	11.1	10.5	10.6		10.2
15	10.9	11.1	10.5	10.6		10.2
16	11.0	11.1	10.5	10.6		10.2
17	11.0	11.2	10.5	10.6		10.2
18	11.0	11.2	10.5	10.6		10.4
19	11.1	11.2	10.5	10.7		10.6
20		11.3	10.6	10.8		10.8
21		11.5		10.8		11.0
22		11.6				11.1
23		11.7				11.1
24		11.7				11.2
25		11.7				11.2
26		11.7				11.2
27		11.7				11.2
28		11.7				11.3
29		11.7				11.4
30		11.8				11.5
31		11.8				11.6
32		11.8				11.8
33		11.8				11.8
34		11.8				11.8
35						
36						

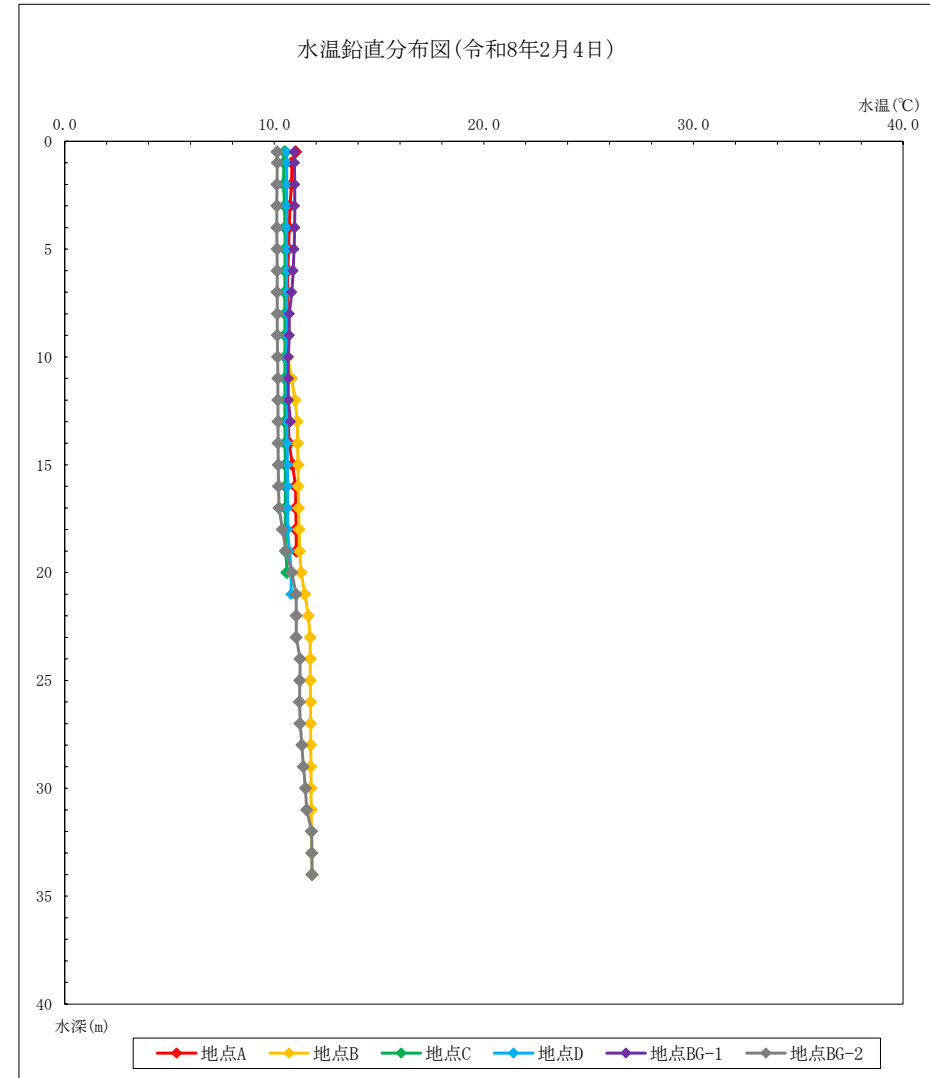


図 4-4-1(4) 冬季調査結果(水温)

② 塩分

塩分の調査結果を表 4-4-6 及び図 4-4-2 に示す。

ア 春季調査結果

塩分は、27.2～34.2 の範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。

鉛直方向にみると、水深 15 m までは水深とともに濃度が増加し、それ以深は変化が少ない傾向がみられた。

イ 夏季調査結果

塩分は、30.4～34.1 の範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。

鉛直方向にみると、水深とともに濃度が増加する傾向がみられた。

ウ 秋季調査結果

塩分は、31.1～34.1 の範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。

鉛直方向にみると、水深とともに濃度が増加する傾向がみられた。

エ 冬季調査結果

塩分は、31.3～33.4 の範囲にあり、地点間で大きな差はみられなかった。

鉛直方向にみると、水深とともに濃度が増加する傾向がみられた。

表 4-4-6(1) 春季調査結果(塩分)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	27.9	27.8	27.7	28.8	27.3	27.6
1	28.1	27.8	27.9	28.4	27.3	28.1
2	28.5	28.2	28.2	29.2	27.2	28.3
3	28.7	28.6	28.4	29.3	27.8	29.1
4	29.1	28.9	29.3	29.3	28.1	29.5
5	29.7	29.1	29.7	29.3	28.8	30.0
6	30.0	29.4	30.1	29.3	29.2	31.2
7	30.2	29.9	30.2	29.4	29.7	31.2
8	31.1	30.1	30.6	30.3	30.4	31.7
9	31.6	30.6	30.7	31.2	30.6	31.9
10	31.9	31.5	30.9	31.6	31.1	31.9
11	32.3	32.5	32.4	32.1	31.3	32.2
12	32.8	32.9	32.8	32.4	31.7	32.9
13	33.3	33.0	33.6	33.4		33.1
14	33.4	33.6	33.6	33.5		33.2
15	33.6	33.6	33.6	33.6		33.4
16	33.6	33.7	33.7	33.6		33.4
17	33.7	34.1	33.9	33.7		33.7
18	33.7	34.1	34.0	33.7		33.9
19	33.9	34.1	34.0	33.9		34.0
20	34.0	34.1	34.1	34.0		34.0
21		34.1	34.1	34.0		34.0
22		34.2	34.1	34.0		34.1
23		34.1				34.1
24		34.1				34.1
25		34.2				34.1
26		34.2				34.1
27		34.2				34.1
28		34.2				34.1
29		34.2				34.1
30		34.2				34.1
31		34.2				34.1
32		34.2				34.1
33		34.2				34.1
34		34.2				
35						
36						

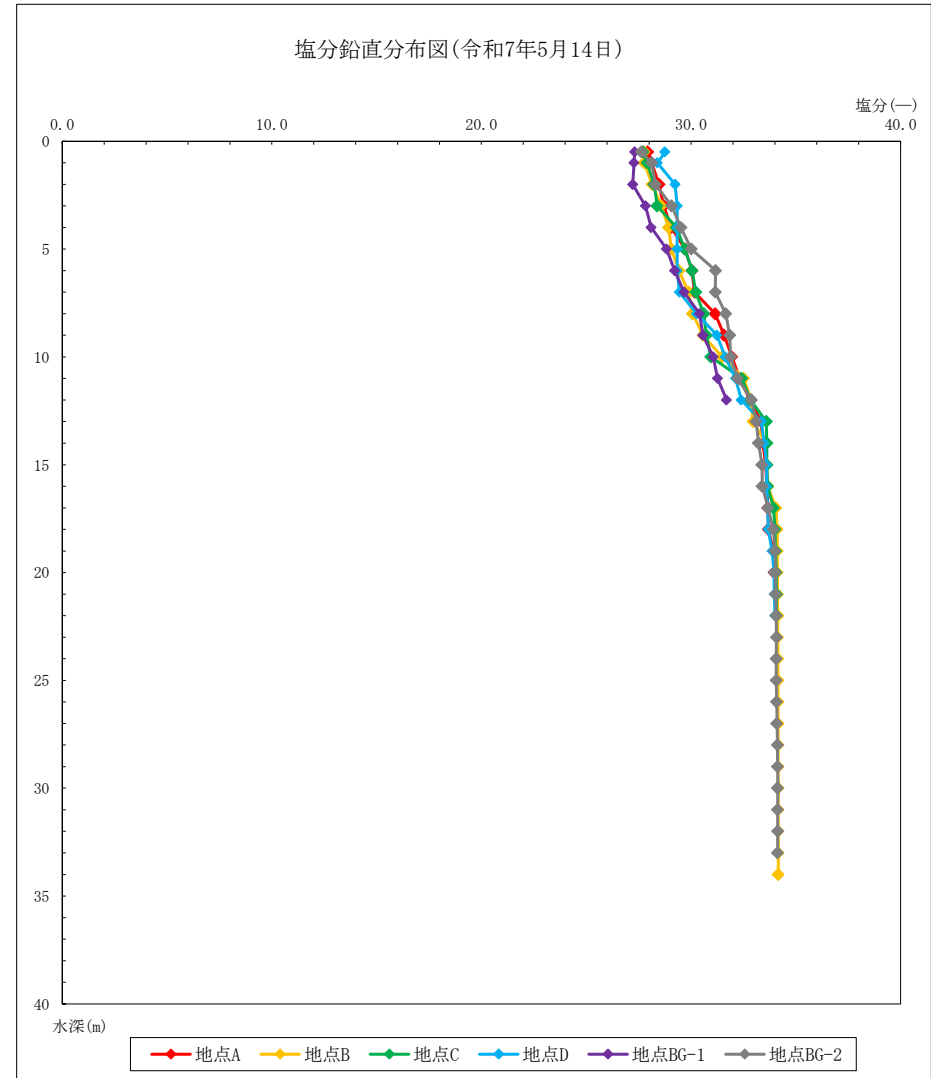


図 4-4-2(1) 春季調査結果(塩分)

表 4-4-6(2) 夏季調査結果(塩分)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	30.5	30.4	30.7	30.6	30.6	30.8
1	30.5	30.5	30.7	30.6	30.7	30.8
2	30.6	30.5	30.7	30.8	30.8	30.8
3	30.7	30.7	30.9	30.8	30.9	30.9
4	30.7	30.8	30.9	30.8	30.9	31.1
5	30.8	30.9	30.9	30.9	30.9	31.1
6	30.8	30.9	30.9	30.9	31.0	31.2
7	30.9	31.1	31.0	30.9	31.1	31.2
8	30.9	31.2	31.1	30.9	31.2	31.3
9	30.9	31.2	31.1	31.0	31.2	31.3
10	31.3	31.2	31.1	31.0	31.2	31.3
11	31.4	31.2	31.1	31.0	31.5	31.4
12	31.4	31.3	31.1	31.1	32.3	31.7
13	31.5	31.4	31.2	31.4		31.8
14	31.6	31.6	31.2	31.4		31.9
15	31.7	32.1	31.2	31.4		32.1
16	31.8	32.3	31.4	31.5		32.3
17	32.5	32.3	31.5	31.5		32.4
18	32.6	32.4	32.2	32.3		32.5
19	32.6	32.6	32.8	32.7		32.9
20		32.6	33.0			33.2
21		32.6	33.8			33.4
22		32.7	33.9			33.7
23		33.5	34.0			33.9
24		33.5				34.0
25		33.7				34.1
26		33.7				34.1
27		33.7				34.1
28		33.8				34.1
29		33.9				34.1
30		34.0				34.1
31		34.0				34.1
32		34.0				34.1
33		34.0				34.1
34		34.0				
35						
36						

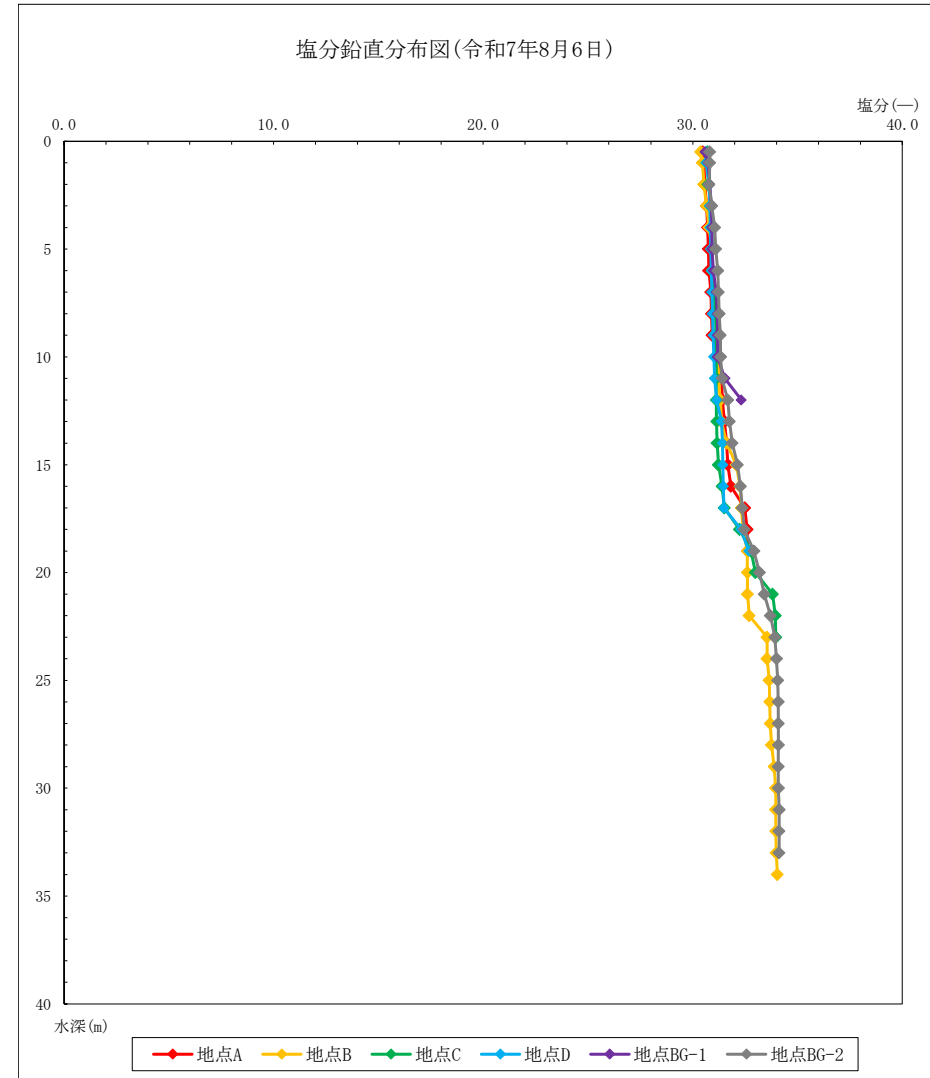


図 4-4-2(2) 夏季調査結果(塩分)

表 4-4-6 (3) 秋季調査結果(塩分)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	31.4	31.7	31.9	31.9	31.1	31.9
1	31.4	31.7	31.9	31.9	31.1	31.9
2	31.5	31.7	31.9	31.9	31.2	31.9
3	31.5	31.8	32.0	31.9	31.4	31.9
4	31.6	32.0	32.0	32.0	31.4	32.0
5	31.6	32.0	32.0	32.0	31.4	32.0
6	31.6	32.0	32.0	32.1	31.6	32.0
7	31.7	32.0	32.1	32.1	31.8	32.0
8	31.8	32.1	32.2	32.1	31.8	32.1
9	31.8	32.1	32.2	32.1	31.9	32.1
10	31.8	32.1	32.3	32.1	32.0	32.1
11	31.8	32.1	32.3	32.1	32.0	32.1
12	31.8	32.1	32.3	32.1	32.0	32.1
13	31.9	32.2	32.3	32.1	32.0	32.1
14	31.9	32.2	32.3	32.1		32.1
15	32.1	32.2	32.4	32.1		32.2
16	32.1	32.2	32.4	32.3		32.2
17	32.2	32.2	32.4	32.6		32.3
18	32.5	32.3	32.7	32.7		32.4
19	32.6	32.3	33.0	32.8		32.6
20		32.4	33.2	33.0		32.9
21		32.7	33.4	33.4		33.1
22		32.9	33.8	33.6		33.3
23		33.2				33.4
24		33.3				33.5
25		33.5				33.5
26		33.9				33.6
27		34.0				33.8
28		34.1				33.9
29		34.1				33.9
30		34.1				34.0
31		34.1				34.0
32		34.1				34.0
33		34.1				34.0
34		34.1				
35						
36						

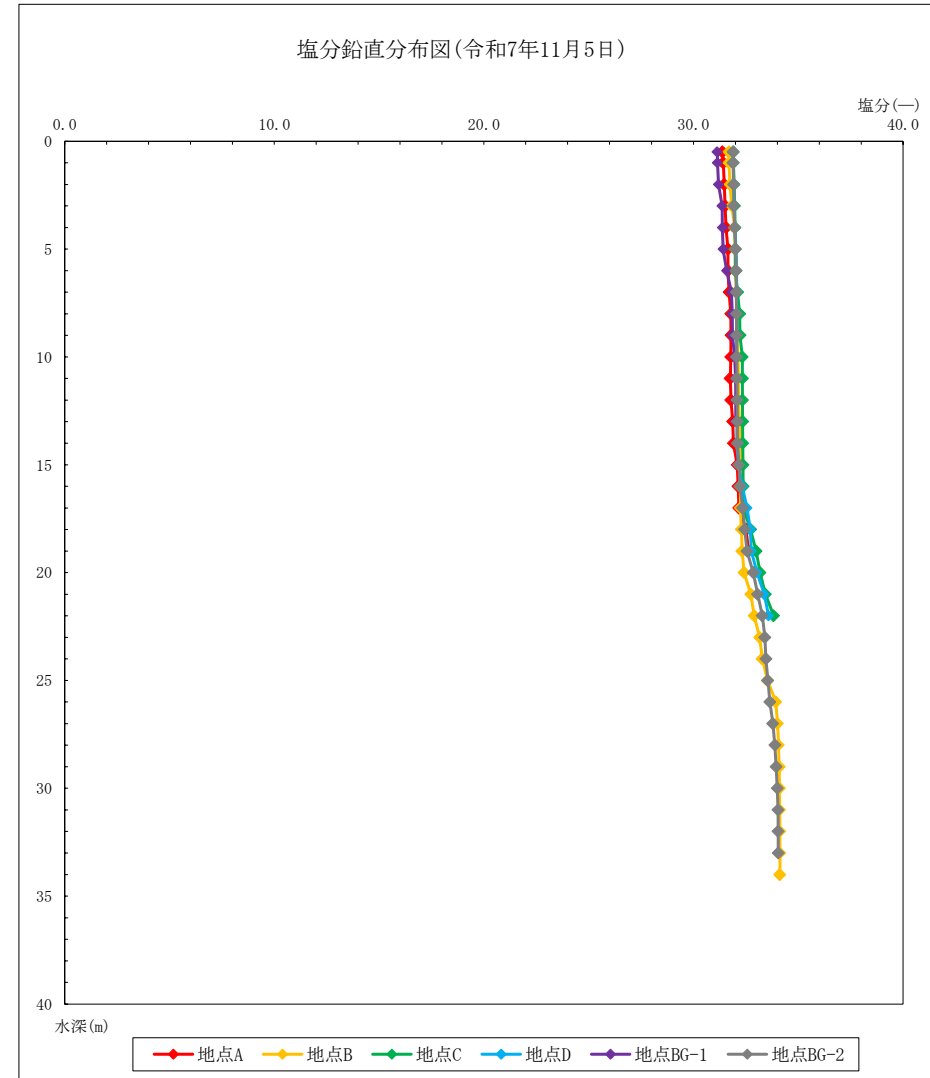


図 4-4-2 (6) 秋季調査結果(塩分)

表 4-4-6(4) 冬季調査結果(塩分)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	31.8	32.4	32.6	32.6	31.3	32.6
1	31.9	32.4	32.6	32.6	31.5	32.6
2	31.9	32.5	32.6	32.6	31.7	32.6
3	32.0	32.5	32.6	32.6	31.8	32.6
4	32.4	32.5	32.6	32.7	32.0	32.6
5	32.4	32.6	32.6	32.7	32.2	32.6
6	32.5	32.6	32.6	32.7	32.2	32.6
7	32.5	32.6	32.6	32.7	32.3	32.6
8	32.5	32.7	32.7	32.7	32.4	32.6
9	32.5	32.7	32.7	32.7	32.4	32.6
10	32.5	32.8	32.7	32.7	32.5	32.6
11	32.5	32.9	32.7	32.7	32.5	32.6
12	32.6	32.9	32.7	32.7	32.5	32.6
13	32.6	33.0	32.7	32.7	32.7	32.6
14	32.7	33.1	32.7	32.7		32.6
15	32.8	33.1	32.7	32.7		32.6
16	32.9	33.1	32.7	32.7		32.6
17	32.9	33.1	32.7	32.7		32.6
18	32.9	33.1	32.7	32.7		32.7
19	32.9	33.1	32.7	32.7		32.8
20		33.1	32.7	32.8		32.9
21		33.2		32.8		33.0
22		33.3				33.1
23		33.3				33.1
24		33.3				33.1
25		33.3				33.1
26		33.3				33.1
27		33.3				33.1
28		33.3				33.2
29		33.3				33.2
30		33.4				33.2
31		33.4				33.3
32		33.4				33.4
33		33.4				33.4
34		33.4				33.4
35						
36						

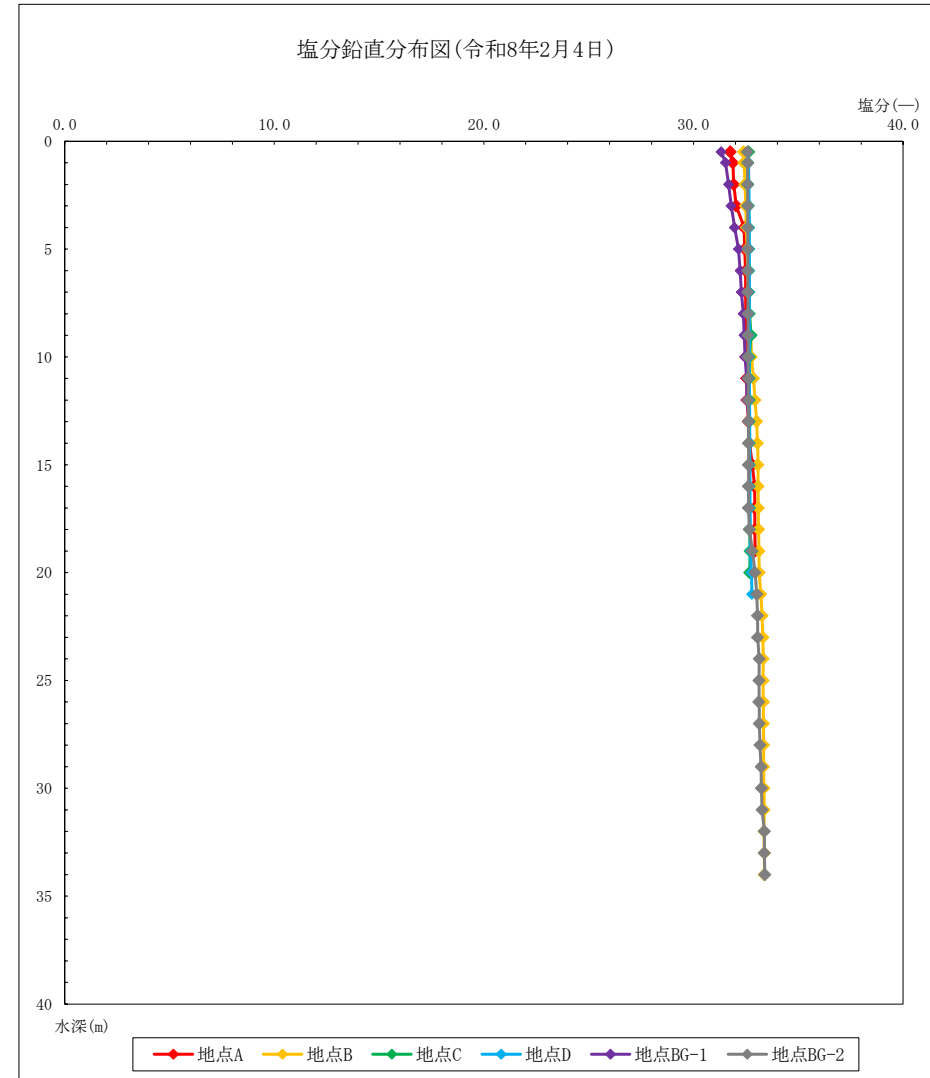


図 4-4-2(4) 冬季調査結果(塩分)

③ 溶存酸素量(DO)

水温の調査結果を表 4-4-7 及び図 4-4-3 に示す。

ア 春季調査結果

溶存酸素量(DO)は、4.4 mg/L～16.3 mg/L の範囲にあり、表層付近は 12.4 mg/L～16.1 mg/L で、地点間で若干のばらつきがみられた。

鉛直方向にみると、表層で高く、水深の増加に伴って低くなる傾向がみられた。

イ 夏季調査結果

溶存酸素量(DO)は、1.6 mg/L～9.4 mg/L の範囲にあり、表層は 7.8 mg/L～9.4 mg/L で、地点間で若干のばらつきがみられた。

鉛直方向にみると、表層で高く、水深の増加に伴って低くなる傾向がみられ、地点 BG-1 の底層付近、その他の地点の中間層以深では 4.0 mg/L 以下の貧酸素状態がみられた。

ウ 秋季調査結果

溶存酸素量(DO)は、5.2 mg/L～7.8 mg/L の範囲にあり、表層は 6.0 mg/L～7.8 mg/L で、地点間で若干のばらつきがみられた。

鉛直方向にみると、地点 BG-1 以外の地点では底層付近が低い傾向がみられたが、全地点で貧酸素状態が解消されていた。

エ 冬季調査結果

溶存酸素量(DO)は、8.5 mg/L～10.5 mg/L の範囲にあり、表層は 10.0 mg/L～10.5 mg/L で、地点間でばらつきは少なかった。

鉛直方向にみると、水深の増加に伴って低くなる傾向がみられた。

表 4-4-7(1) 春季調査結果(DO)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	13.4	14.2	16.1	12.4	15.4	15.9
1	13.5	14.2	15.9	12.2	15.5	15.3
2	12.2	14.0	15.1	11.3	16.3	14.5
3	11.4	13.2	14.0	10.5	14.7	13.3
4	10.7	13.1	12.8	10.2	12.2	12.3
5	9.9	12.8	10.5	10.1	10.7	12.1
6	8.9	12.2	9.7	10.1	9.5	12.1
7	8.5	10.5	9.6	10.0	8.6	13.0
8	8.3	9.8	9.6	9.5	7.5	11.1
9	7.0	9.1	9.0	8.1	6.8	8.7
10	6.2	8.4	8.6	7.3	6.4	7.6
11	5.7	6.9	6.8	6.7	5.8	7.4
12	5.6	6.2	5.9	6.5	5.3	6.8
13	4.7	6.3	5.5	6.2		6.6
14	4.7	6.1	5.2	5.8		6.4
15	4.8	5.7	5.1	5.7		6.0
16	4.7	5.5	5.1	5.6		5.9
17	4.6	5.2	4.9	5.5		5.3
18	4.5	5.2	4.8	5.3		5.2
19	4.4	5.2	4.8	5.3		5.3
20	4.4	5.2	4.8	5.0		5.4
21		5.2	4.9	4.8		5.4
22		5.2	4.8	4.8		5.4
23		5.2				5.3
24		5.2				5.3
25		5.1				5.3
26		5.1				5.3
27		5.0				5.2
28		5.0				5.1
29		5.0				5.0
30		5.0				4.9
31		5.0				4.9
32		5.0				4.9
33		5.0				4.9
34		5.0				
35						
36						

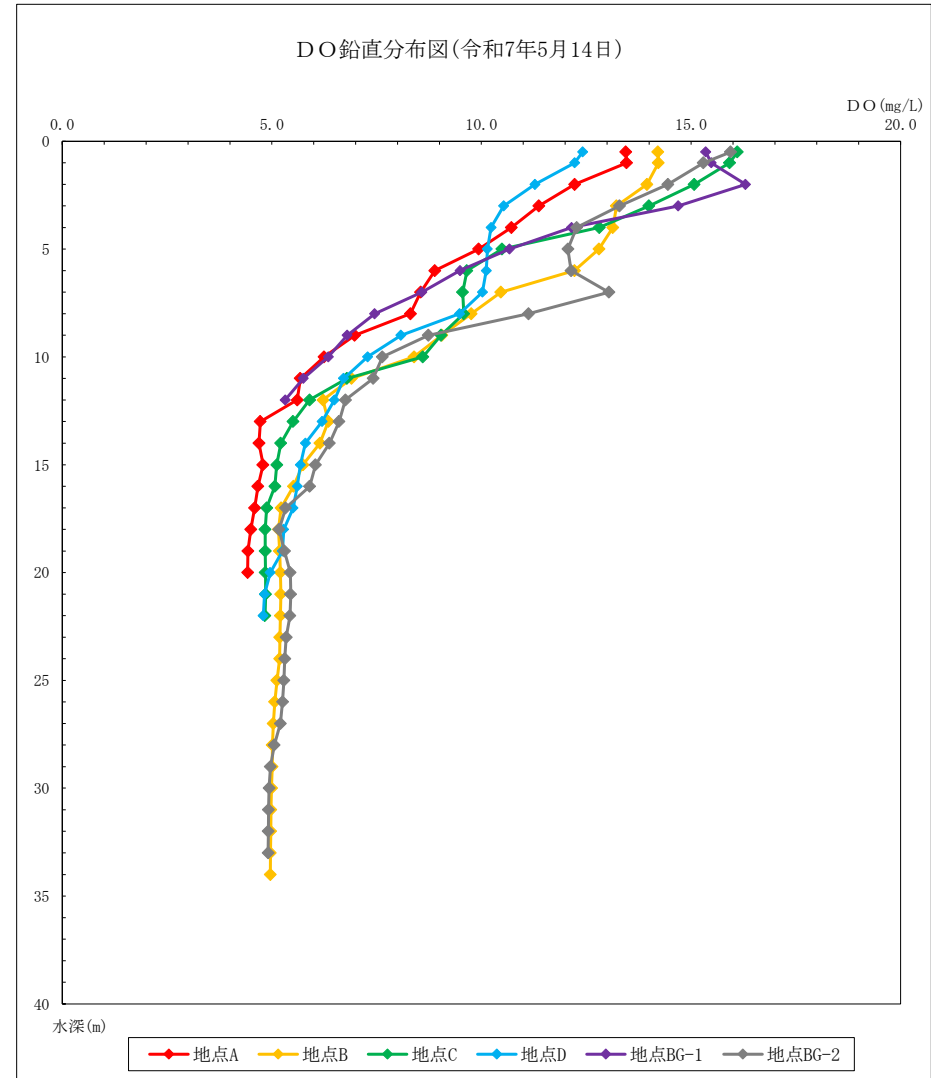


図 4-4-3(1) 春季調査結果(DO)

表 4-4-7(2) 夏季調査結果(DO)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	7.8	8.0	8.3	8.4	9.4	8.0
1	6.9	7.4	7.8	8.2	8.6	7.9
2	6.7	6.7	7.0	7.2	8.1	7.4
3	6.3	6.2	6.7	7.1	7.6	6.9
4	6.1	5.9	6.4	6.7	7.3	6.6
5	6.0	5.9	5.7	6.3	7.4	6.5
6	5.9	5.4	5.6	6.3	6.9	6.6
7	5.7	5.0	5.3	6.3	6.5	6.7
8	5.6	5.0	5.2	6.0	6.0	6.6
9	5.4	5.0	5.2	5.9	5.8	6.6
10	5.1	4.9	5.2	5.9	5.7	6.5
11	4.8	4.7	5.2	5.8	4.5	6.4
12	4.8	4.6	5.3	5.5	2.4	6.2
13	4.7	4.6	5.4	5.0		5.9
14	4.6	4.5	5.3	4.5		5.2
15	4.4	3.4	4.9	4.4		4.2
16	2.5	3.2	4.6	4.3		4.1
17	2.3	3.2	4.3	3.8		2.1
18	2.1	3.1	2.4	2.7		2.1
19	1.9	2.6	2.3	2.0		1.6
20		2.4	2.2			1.6
21		2.4	3.5			1.8
22		2.4	3.5			3.0
23		2.5	3.4			3.7
24		2.5				3.7
25		2.7				3.4
26		2.8				3.1
27		2.9				2.9
28		3.3				2.9
29		3.9				2.9
30		4.2				2.9
31		3.1				2.9
32		3.1				2.9
33		3.1				2.8
34		3.2				
35						
36						

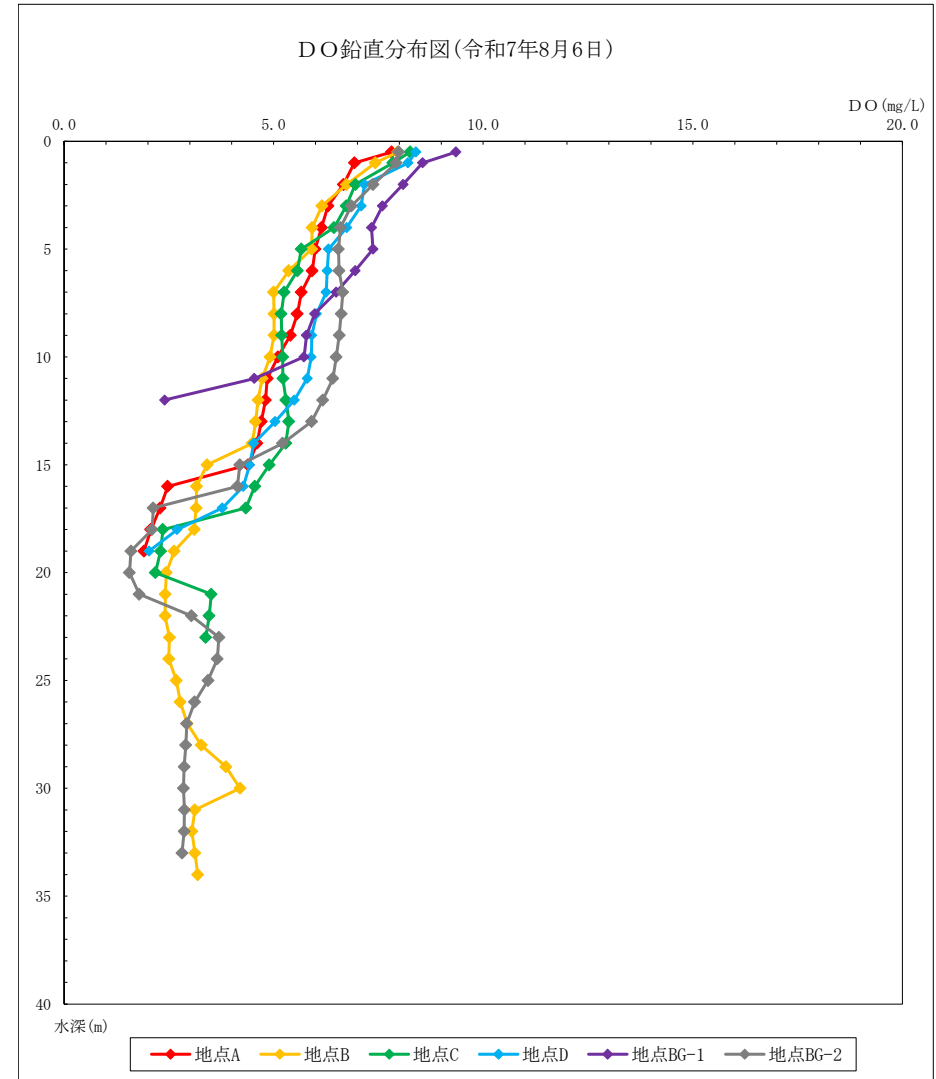


図 4-4-3(2) 夏季調査結果(DO)

表 4-4-7(3) 秋季調査結果(DO)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	6.5	7.3	7.1	7.1	6.0	7.8
1	6.6	7.3	7.1	7.2	6.0	7.8
2	6.6	7.4	7.1	7.1	6.0	7.8
3	6.7	7.5	7.1	7.1	6.1	7.8
4	6.7	7.5	7.1	7.1	6.1	7.7
5	6.7	7.6	7.1	7.0	6.1	7.7
6	6.7	7.6	7.1	7.0	6.1	7.7
7	6.7	7.6	7.1	7.0	6.5	7.7
8	6.8	7.6	6.9	7.0	6.8	7.7
9	6.9	7.6	6.9	7.0	6.8	7.6
10	7.0	7.6	6.6	7.0	6.6	7.6
11	7.2	7.6	6.7	7.0	6.5	7.6
12	7.2	7.6	6.7	7.0	6.5	7.6
13	7.1	7.6	6.7	7.0	6.5	7.6
14	7.0	7.5	6.7	7.0		7.5
15	6.9	7.5	6.6	6.9		7.4
16	6.8	7.4	6.6	6.6		7.2
17	6.8	7.4	6.5	6.3		7.0
18	6.4	7.3	6.3	6.1		6.9
19	6.2	7.0	6.1	6.0		6.8
20		6.7	5.8	5.8		6.4
21		6.4	5.6	5.5		6.2
22		6.2	5.4	5.4		5.7
23		6.0				5.8
24		5.8				5.9
25		5.6				5.8
26		5.3				5.7
27		5.2				5.6
28		5.2				5.5
29		5.2				5.4
30		5.2				5.4
31		5.2				5.3
32		5.2				5.3
33		5.2				5.3
34		5.2				
35						
36						

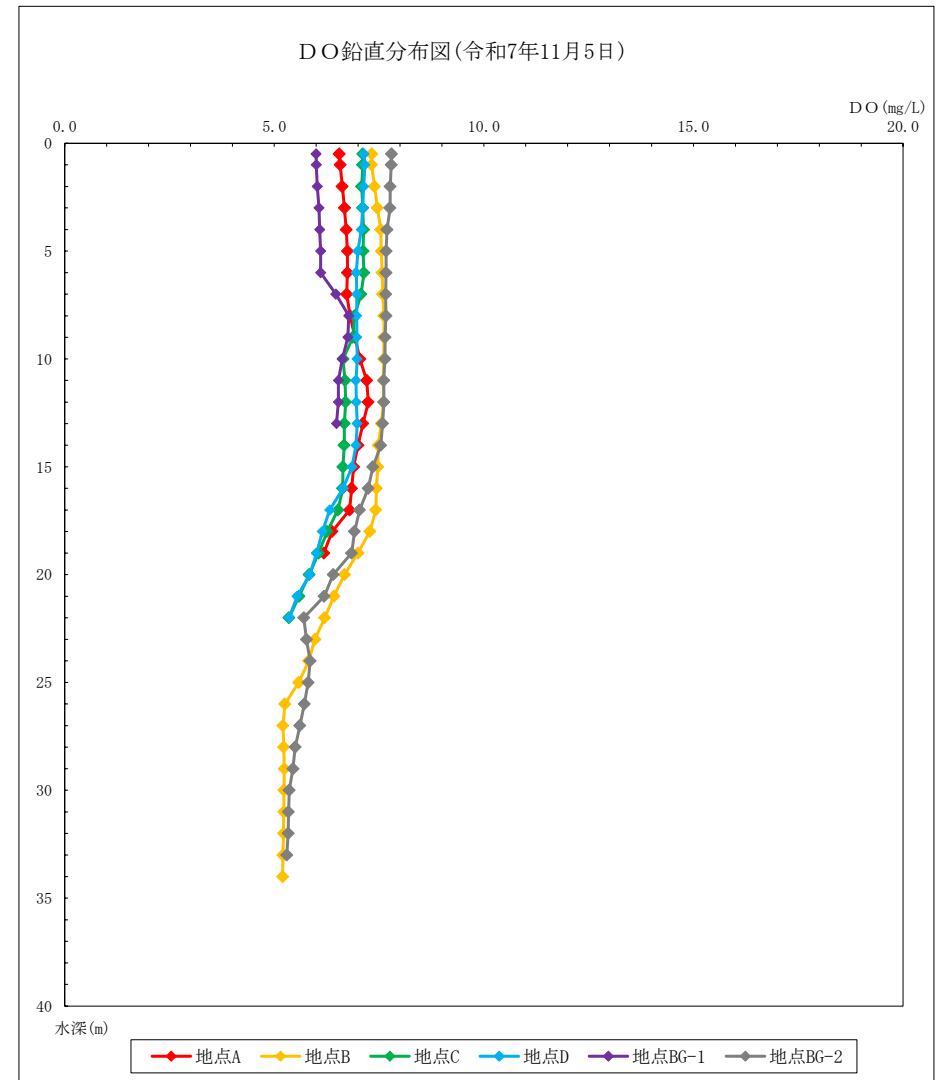


図 4-4-3(3) 秋季調査結果(DO)

表 4-4-7(4) 冬季調査結果(DO)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	10.3	10.3	10.1	10.0	10.3	10.5
1	10.3	10.3	10.2	10.0	10.2	10.4
2	10.3	10.3	10.2	10.0	10.1	10.4
3	10.2	10.2	10.1	9.9	10.1	10.4
4	9.9	10.1	10.1	9.9	10.0	10.4
5	9.9	10.1	10.1	9.9	9.9	10.4
6	10.0	10.1	10.1	9.9	9.8	10.4
7	10.0	10.0	10.1	9.9	9.8	10.4
8	10.0	9.9	10.0	9.9	9.9	10.4
9	10.0	9.8	10.1	9.9	9.9	10.3
10	10.0	9.8	10.1	9.9	9.9	10.3
11	10.0	9.6	10.0	9.9	9.9	10.3
12	10.0	9.4	10.0	9.9	9.9	10.3
13	9.8	9.3	10.0	9.9	9.7	10.3
14	9.7	9.3	10.0	9.9		10.3
15	9.5	9.3	10.0	9.9		10.3
16	9.3	9.3	10.0	9.9		10.2
17	9.2	9.3	10.0	9.9		10.2
18	9.2	9.2	10.0	9.9		10.1
19	9.2	9.2	9.9	9.7		9.9
20		9.1	9.9	9.6		9.6
21		9.0		9.5		9.3
22		8.8				9.3
23		8.8				9.3
24		8.7				9.1
25		8.7				9.1
26		8.7				9.1
27		8.7				9.1
28		8.6				9.0
29		8.6				8.9
30		8.6				8.9
31		8.6				8.7
32		8.6				8.5
33		8.5				8.5
34		8.5				8.6
35						
36						

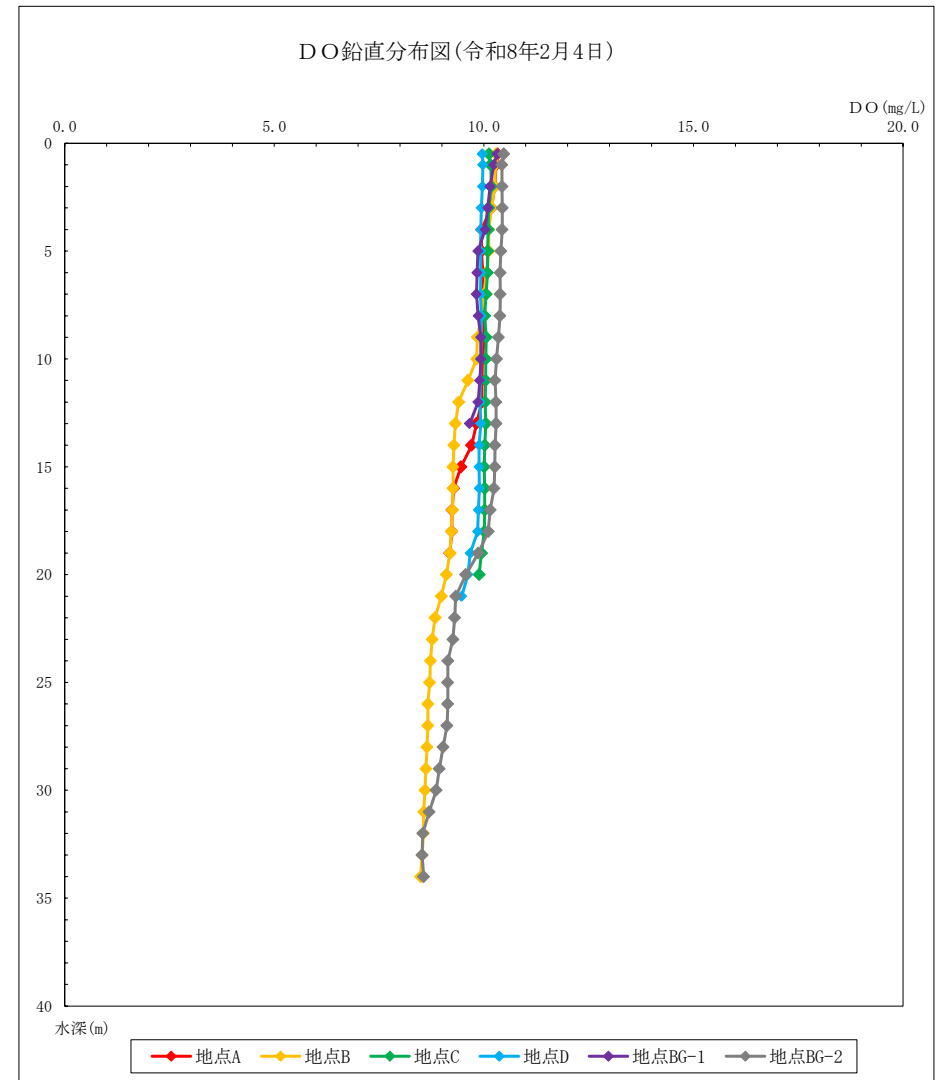


図 4-4-3(4) 冬季調査結果(DO)

④ 光量子

光量子の調査結果を表 4-4-8 及び図 4-4-4 に示す。

ア 春季調査結果

光量子は、 $0.1 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S}) \sim 246.6 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S})$  の範囲にあった。

鉛直方向にみると、全地点で水深の増加に伴って低くなる傾向にあり、5.0 m 付近より深い層では地点間で大きな差はみられなかった。

イ 夏季調査結果

光量子は、 $0.1 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S}) \sim 856.1 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S})$  の範囲にあった。

鉛直方向にみると、全地点で水深の増加に伴って低くなっており、8.0 m 付近より深い層では地点間で大きな差はみられなかった。

ウ 秋季調査結果

光量子は、 $0.1 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S}) \sim 432.4 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S})$  の範囲にあった。

鉛直方向にみると、全地点で水深の増加に伴って低くなる傾向にあり、10.0 m 付近より深い層では地点間で大きな差はみられなかった。

エ 冬季調査結果

光量子は、 $0.1 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S}) \sim 319.1 \mu\text{mol}/(\text{m}^2 \times \text{S})$  の範囲にあった。

鉛直方向にみると、全地点で水深の増加に伴って低くなる傾向にあり、9 m 付近より深い層では地点間で大きな差はみられなかった。

表 4-4-8(1) 春季調査結果(光量子)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	164.6	246.6	62.1	194.5	65.9	132.9
1	83.5	133.3	29.1	86.9	47.7	57.6
2	37.3	19.9	5.3	34.1	8.2	13.0
3	14.8	8.1	1.6	10.2	3.0	5.4
4	5.8	3.3	0.7	3.5	1.9	2.2
5	2.7	1.3	0.4	1.6	1.2	0.9
6	1.5	0.7	0.2	0.9	0.7	0.7
7	0.8	0.5	0.2	0.4	0.4	0.4
8	0.5	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3
9	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3
10	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2
11	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
12	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
13	0.2	0.3	0.2	0.2		0.2
14	0.2	0.2	0.1	0.2		0.2
15	0.2	0.2	0.2	0.2		0.2
16	0.2	0.2	0.2	0.2		0.2
17	0.2	0.2	0.2	0.2		0.1
18	0.2	0.2	0.2	0.2		0.1
19	0.2	0.2	0.2	0.2		0.2
20	0.2	0.2	0.2	0.2		0.2
21		0.2	0.2	0.2		0.2
22		0.2	0.1	0.2		0.2
23		0.2				0.2
24		0.2				0.1
25		0.2				0.2
26		0.2				0.1
27		0.2				0.1
28		0.2				0.1
29		0.2				0.2
30		0.2				0.1
31		0.2				0.2
32		0.2				0.1
33		0.2				0.1
34		0.2				
35						
36						

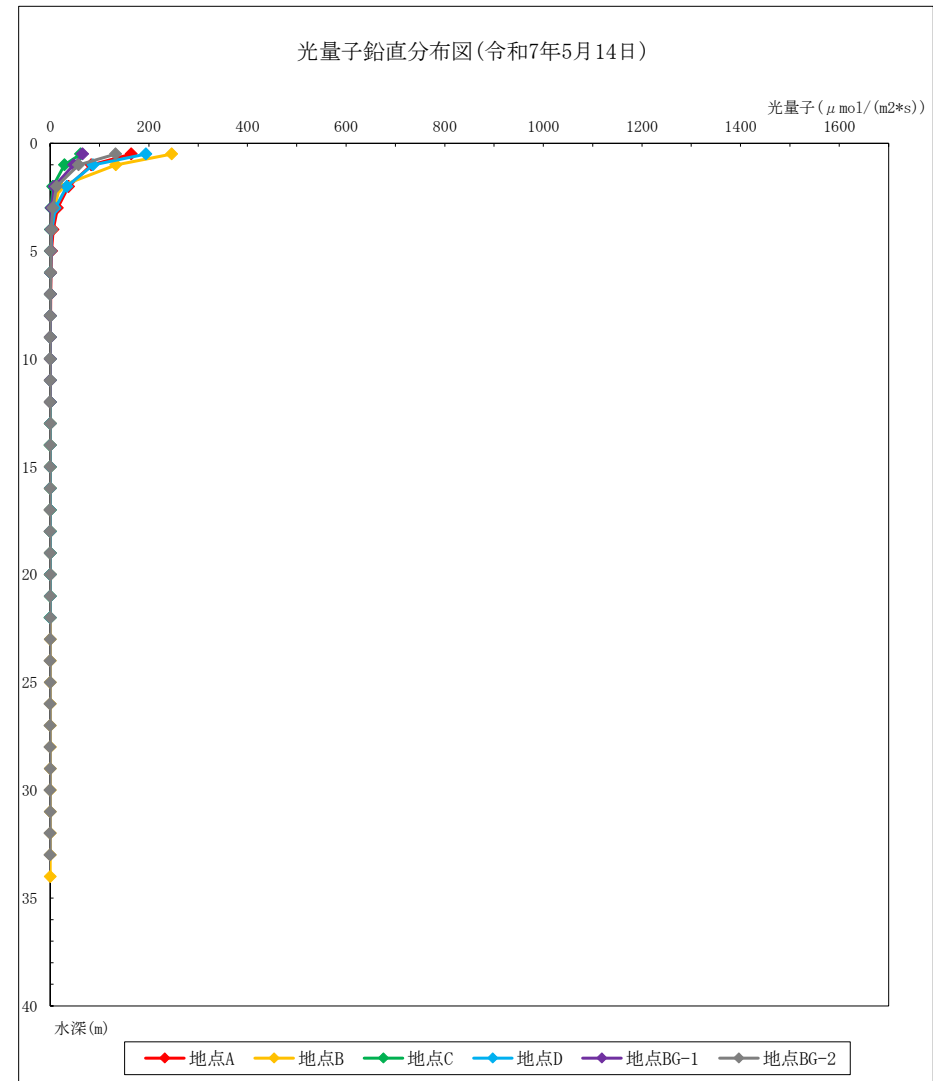


図 4-4-4(1) 春季調査結果(光量子)

表 4-4-8(2) 夏季調査結果(光量子)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	615.3	856.1	105.5	113.2	700.3	662.6
1	347.7	419.0	84.2	96.5	418.4	530.7
2	203.4	316.1	68.7	38.8	170.6	349.4
3	125.8	148.4	27.8	22.3	83.6	161.5
4	76.0	84.6	36.1	15.3	38.8	78.7
5	46.2	45.2	31.5	11.0	22.6	43.7
6	26.7	35.7	18.4	7.9	10.6	30.5
7	16.5	20.7	15.4	5.5	6.1	20.8
8	10.8	12.7	10.9	4.0	2.8	12.6
9	9.0	7.9	7.2	2.7	2.3	7.8
10	5.3	5.8	4.7	1.7	1.5	5.4
11	3.4	3.9	3.1	1.4	0.9	4.4
12	2.1	2.8	2.0	0.9	0.6	3.0
13	1.6	2.0	1.4	0.6		2.3
14	1.1	1.4	1.0	0.5		1.8
15	0.9	1.0	0.6	0.4		1.5
16	0.6	0.6	0.4	0.3		1.1
17	0.4	0.5	0.3	0.2		0.9
18	0.3	0.4	0.3	0.2		0.7
19	0.3	0.3	0.2	0.2		0.5
20		0.3	0.2			0.3
21		0.2	0.2			0.3
22		0.2	0.2			0.2
23		0.2	0.2			0.2
24		0.2				0.2
25		0.2				0.2
26		0.2				0.2
27		0.2				0.2
28		0.2				0.2
29		0.2				0.2
30		0.2				0.2
31		0.2				0.2
32		0.2				0.1
33		0.2				0.2
34		0.2				
35						
36						

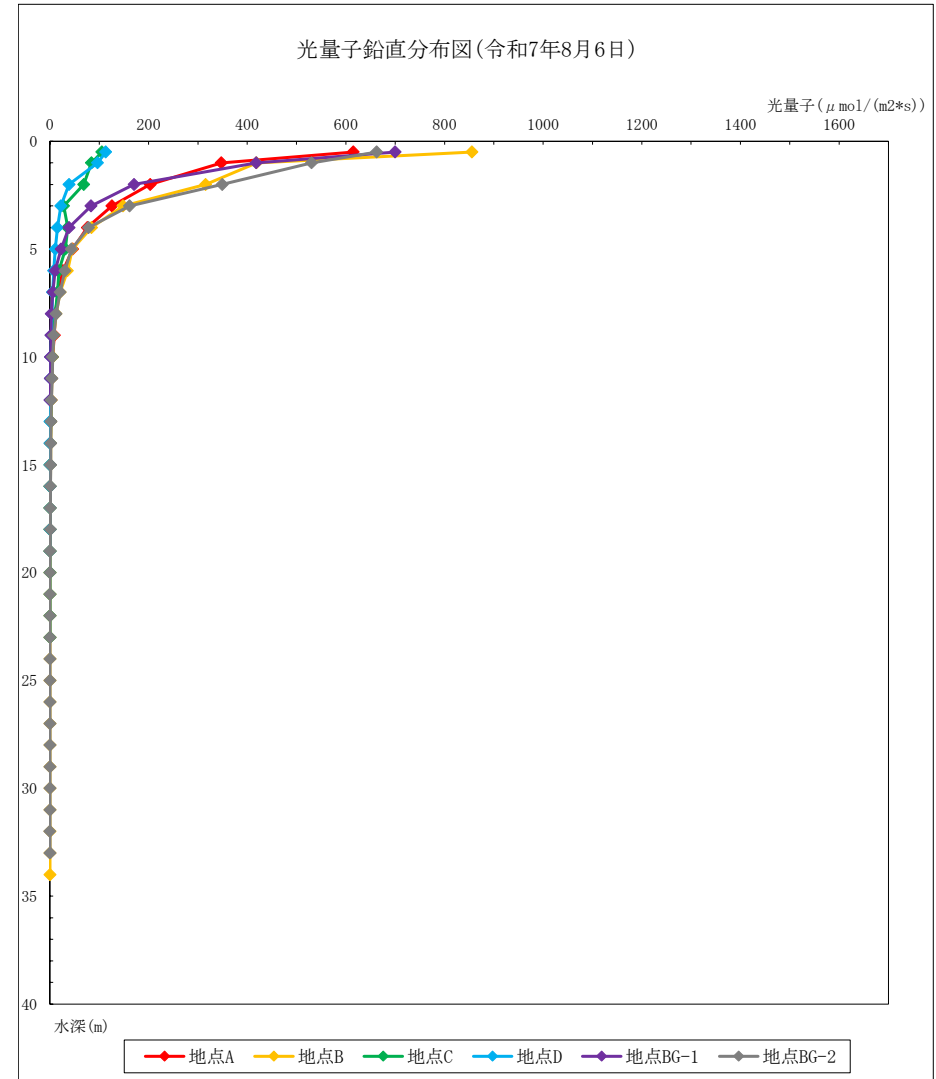


図 4-4-4(2) 夏季調査結果(光量子)

表 4-4-8(3) 秋季調査結果(光量子)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	366.8	111.8	88.0	65.9	432.4	213.4
1	169.9	131.9	98.4	90.9	338.0	143.3
2	142.6	88.3	80.6	92.8	235.2	85.2
3	98.1	63.8	64.4	47.9	88.2	67.8
4	58.6	51.0	52.1	45.6	63.1	62.6
5	40.6	42.1	39.7	40.2	52.4	54.3
6	30.6	34.1	26.4	26.0	44.6	48.9
7	19.4	27.5	20.8	19.1	34.8	41.7
8	12.3	21.0	14.7	13.9	25.2	32.4
9	9.0	16.6	10.8	10.6	16.9	26.3
10	6.6	13.8	8.3	8.1	14.3	22.5
11	5.2	10.9	6.7	6.6	9.8	18.1
12	4.0	8.3	4.7	4.6	6.3	13.9
13	3.1	6.6	3.5	3.5	4.3	10.7
14	2.6	5.6	2.7	2.9		8.6
15	1.8	4.3	1.8	1.9		6.9
16	1.5	3.3	1.3	1.6		5.7
17	1.2	2.7	1.0	1.1		4.2
18	0.9	2.0	0.7	0.8		3.3
19	0.6	1.7	0.5	0.7		2.6
20		1.3	0.4	0.4		2.1
21		0.9	0.3	0.3		1.6
22		0.8	0.2	0.3		1.4
23		0.6				1.1
24		0.5				0.9
25		0.3				0.7
26		0.2				0.7
27		0.2				0.5
28		0.2				0.4
29		0.1				0.3
30		0.1				0.3
31		0.1				0.3
32		0.1				0.3
33		0.2				0.2
34		0.1				
35						
36						

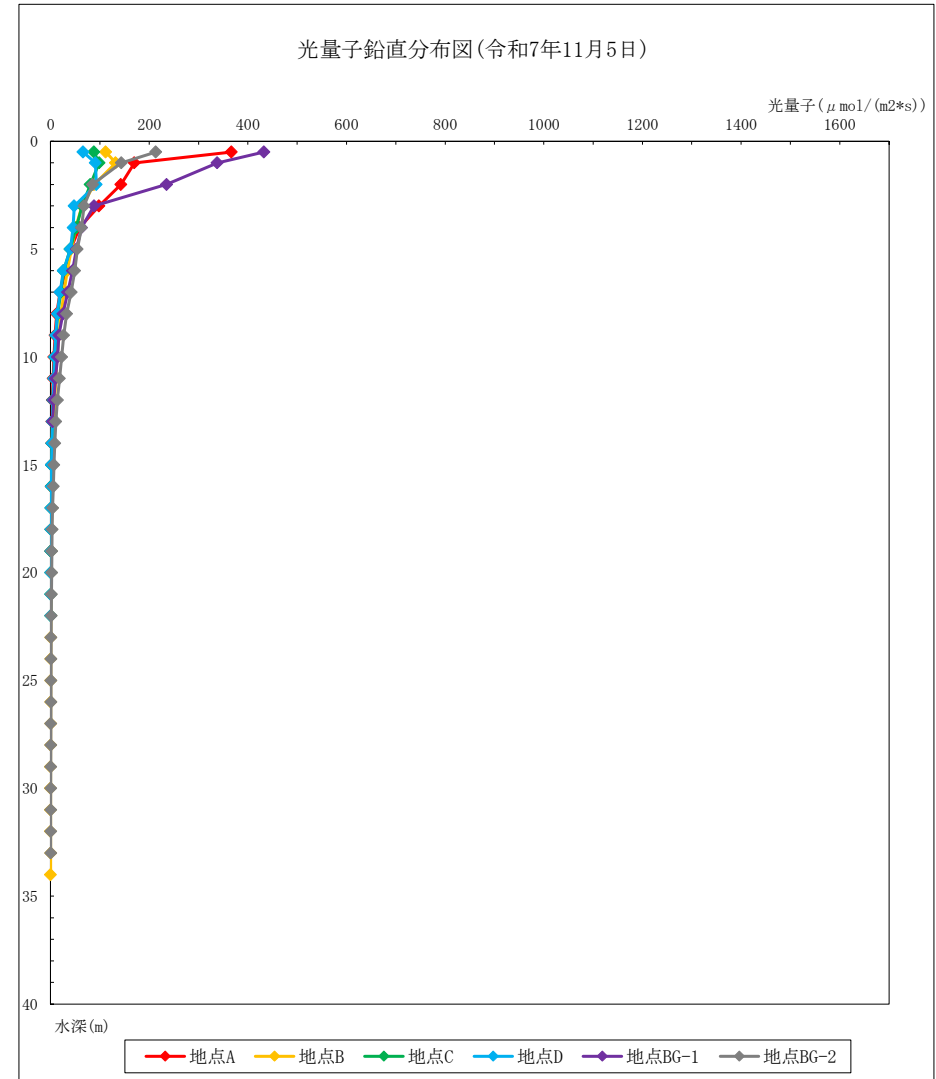


図 4-4-4(3) 秋季調査結果(光量子)

表 4-4-8(4) 冬季調査結果(光量子)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	205.1	22.6	23.2	59.4	34.2	319.1
1	158.8	21.1	19.3	24.9	27.8	286.1
2	297.0	23.8	20.5	28.9	33.3	228.9
3	140.1	25.4	19.5	22.1	36.0	135.3
4	86.8	24.0	21.0	28.8	25.4	96.2
5	54.0	18.2	17.8	19.0	18.5	71.1
6	24.5	10.5	10.6	13.1	16.2	47.2
7	13.2	6.2	7.2	9.5	16.3	33.8
8	10.0	6.0	6.6	5.8	12.2	20.2
9	7.2	4.8	4.5	3.3	6.7	9.1
10	4.9	3.5	3.3	2.6	4.2	7.8
11	2.8	2.6	1.9	1.9	2.9	6.8
12	1.9	2.2	1.6	1.2	2.0	4.5
13	1.3	1.6	1.1	0.9	1.5	3.4
14	0.8	1.1	0.8	0.6		2.3
15	0.6	0.8	0.6	0.4		1.6
16	0.4	0.6	0.4	0.3		1.2
17	0.3	0.4	0.3	0.3		0.8
18	0.3	0.3	0.2	0.2		0.6
19	0.2	0.2	0.2	0.2		0.5
20		0.2	0.2	0.1		0.4
21		0.2		0.2		0.3
22		0.1				0.3
23		0.2				0.2
24		0.1				0.2
25		0.1				0.2
26		0.1				0.1
27		0.1				0.2
28		0.1				0.1
29		0.1				0.1
30		0.1				0.1
31		0.1				0.1
32		0.1				0.1
33		0.1				0.1
34		0.1				0.1
35						
36						

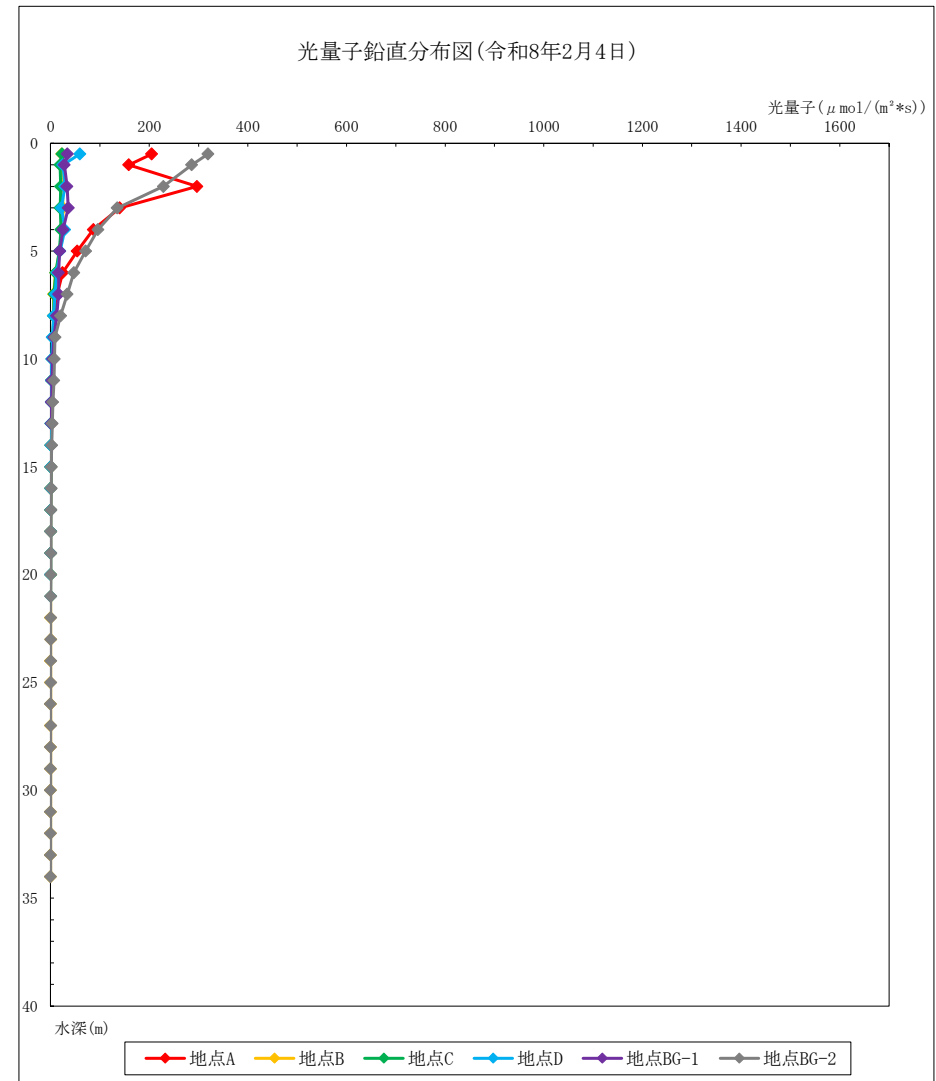


図 4-4-4(4) 冬季調査結果(光量子)

⑤ 水素イオン濃度

水素イオン濃度の調査結果を表 4-4-9 及び図 4-4-5 に示す。

地点 A、地点 B、地点 C、地点 D 及び地点 BG-2 は、環境基準の『B 類型』の海域にあり、地点 BG-1 は『C 類型』の海域にある。

B 類型の環境基準は、7.8 pH 以上 8.3 pH 以下であり、C 類型の環境基準は、7.0 pH 以上 8.3 pH 以下である。

ア 春季調査結果

水素イオン濃度は、7.8 pH～8.8 pH の範囲にあり、表層は 8.7 pH～8.8 pH で、全ての地点で環境基準を満足できなかった。

鉛直方向にみると、地点間で多少ばらつきがみられたが、表層で高く、水深の増加に伴って低くなる傾向がみられた。

イ 夏季調査結果

水素イオン濃度は、7.7 pH～8.4 pH の範囲にあり、表層は 8.3 pH～8.4 pH の範囲で、地点 A、地点 C 及び地点 D は環境基準を満足していたが、それ以外は基準値を満足できなかった。

鉛直方向にみると、地点間で多少ばらつきがみられたが、表層で高く、水深の増加に伴って低くなる傾向がみられた。

ウ 秋季調査結果

水素イオン濃度は、7.9 pH～8.0 pH の範囲にあり、表層も 7.9 pH～8.0 pH の範囲で、全ての地点で環境基準を満足していた。

鉛直方向にみると、全地点で変化は少なかった。

エ 冬季調査結果

水素イオン濃度は、8.1 pH～8.2 pH の範囲にあり、表層は全て 8.2 pH で、全ての地点で環境基準を満足していた。

鉛直方向にみると、全地点で変化は少なかった。

表 4-4-9(1) 春季調査結果(水素イオン濃度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	8.7	8.7	8.8	8.7	8.8	8.8
1	8.6	8.7	8.8	8.6	8.8	8.8
2	8.5	8.7	8.7	8.5	8.7	8.7
3	8.5	8.7	8.6	8.5	8.5	8.6
4	8.4	8.7	8.6	8.5	8.4	8.6
5	8.3	8.6	8.4	8.5	8.3	8.7
6	8.3	8.5	8.4	8.5	8.2	8.6
7	8.3	8.4	8.4	8.4	8.1	8.4
8	8.2	8.3	8.4	8.2	8.1	8.2
9	8.1	8.3	8.3	8.2	8.1	8.2
10	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	8.0
11	8.0	8.0	8.0	8.1	8.0	8.0
12	7.9	8.0	7.9	8.0	7.9	8.0
13	7.9	7.9	7.9	8.0		8.0
14	7.8	7.9	7.9	8.0		8.0
15	7.8	7.9	7.9	7.9		7.9
16	7.8	7.8	7.9	7.9		7.9
17	7.8	7.9	7.9	7.9		7.9
18	7.8	7.9	7.8	7.9		7.9
19	7.8	7.9	7.8	7.9		7.9
20	7.8	7.9	7.8	7.8		7.9
21		7.8	7.8	7.8		7.9
22		7.8	7.8	7.8		7.9
23		7.8				7.9
24		7.8				7.9
25		7.8				7.9
26		7.8				7.9
27		7.8				7.8
28		7.8				7.8
29		7.8				7.8
30		7.8				7.8
31		7.8				7.8
32		7.8				7.8
33		7.8				7.8
34		7.8				
35						
36						

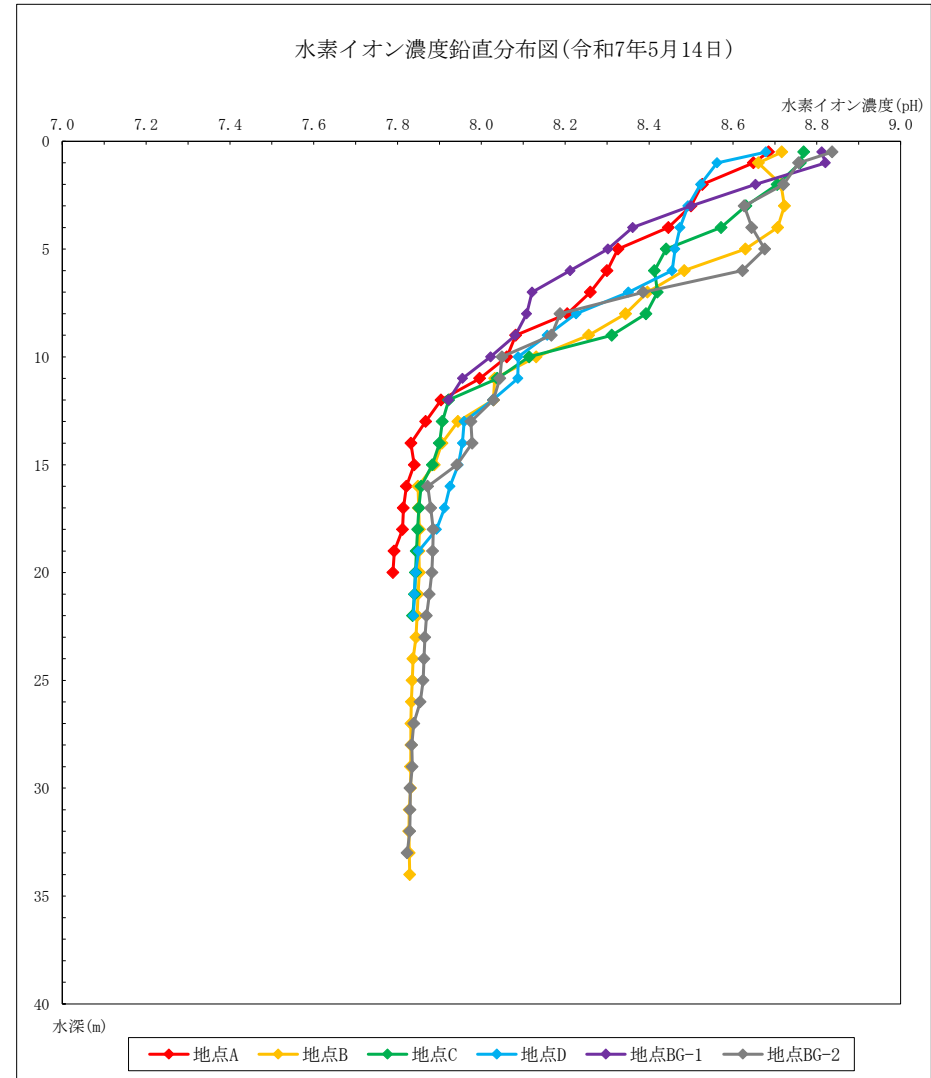


図 4-4-5(1) 春季調査結果(水素イオン濃度)

表 4-4-9(2) 夏季調査結果(水素イオン濃度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	8.3	8.4	8.3	8.3	8.4	8.4
1	8.3	8.3	8.3	8.3	8.4	8.3
2	8.3	8.3	8.2	8.3	8.3	8.3
3	8.2	8.3	8.2	8.3	8.3	8.3
4	8.2	8.2	8.2	8.2	8.3	8.3
5	8.2	8.2	8.2	8.2	8.3	8.3
6	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.3
7	8.2	8.1	8.1	8.2	8.2	8.3
8	8.2	8.1	8.1	8.2	8.2	8.3
9	8.2	8.1	8.1	8.2	8.1	8.3
10	8.1	8.1	8.1	8.2	8.1	8.3
11	8.1	8.1	8.1	8.2	8.0	8.2
12	8.1	8.1	8.1	8.1	7.8	8.2
13	8.0	8.1	8.1	8.1		8.2
14	8.0	8.0	8.1	8.0		8.2
15	8.0	7.9	8.1	8.0		8.0
16	7.8	7.9	8.0	8.0		8.0
17	7.8	7.9	8.0	8.0		7.8
18	7.8	7.9	7.8	7.8		7.8
19	7.8	7.8	7.8	7.8		7.7
20		7.8	7.7			7.7
21		7.8	7.8			7.7
22		7.8	7.8			7.8
23		7.8	7.8			7.9
24		7.8				7.8
25		7.8				7.8
26		7.8				7.8
27		7.8				7.8
28		7.8				7.8
29		7.9				7.8
30		7.9				7.8
31		7.8				7.8
32		7.8				7.7
33		7.8				7.7
34		7.8				
35						
36						

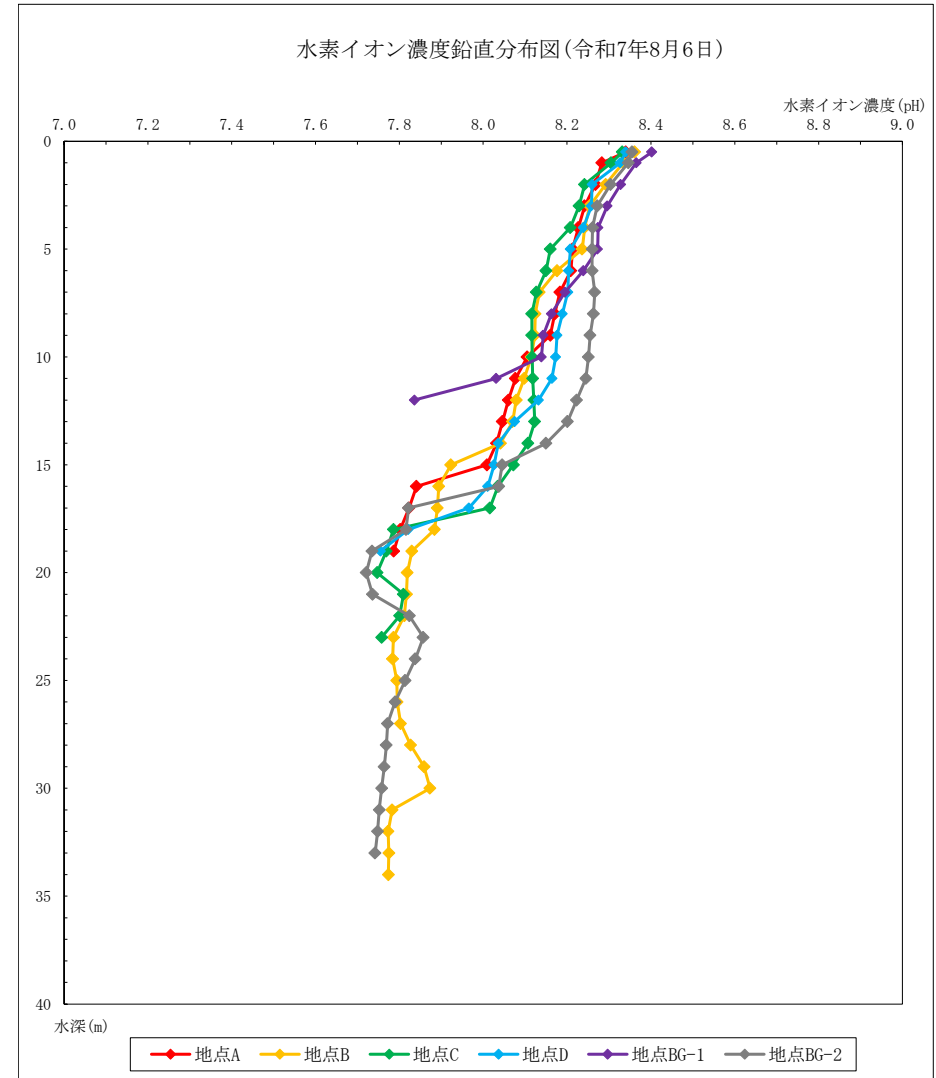


図 4-4-5(2) 夏季調査結果(水素イオン濃度)

表 4-4-9(3) 秋季調査結果(水素イオン濃度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
1	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
2	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
3	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
4	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
5	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
6	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
7	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	8.0
8	7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
9	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
10	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
11	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
12	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
13	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
14	8.0	8.0	8.0	8.0		8.0
15	8.0	8.0	8.0	8.0		8.0
16	8.0	8.0	8.0	8.0		8.0
17	8.0	8.0	8.0	8.0		8.0
18	8.0	8.0	8.0	8.0		8.0
19	8.0	8.0	8.0	8.0		8.0
20		8.0	8.0	8.0		8.0
21		8.0	8.0	8.0		8.0
22		8.0	8.0	8.0		8.0
23		8.0				8.0
24		8.0				8.0
25		8.0				8.0
26		8.0				8.0
27		8.0				8.0
28		8.0				8.0
29		8.0				8.0
30		8.0				8.0
31		8.0				8.0
32		8.0				8.0
33		8.0				8.0
34		8.0				
35						
36						

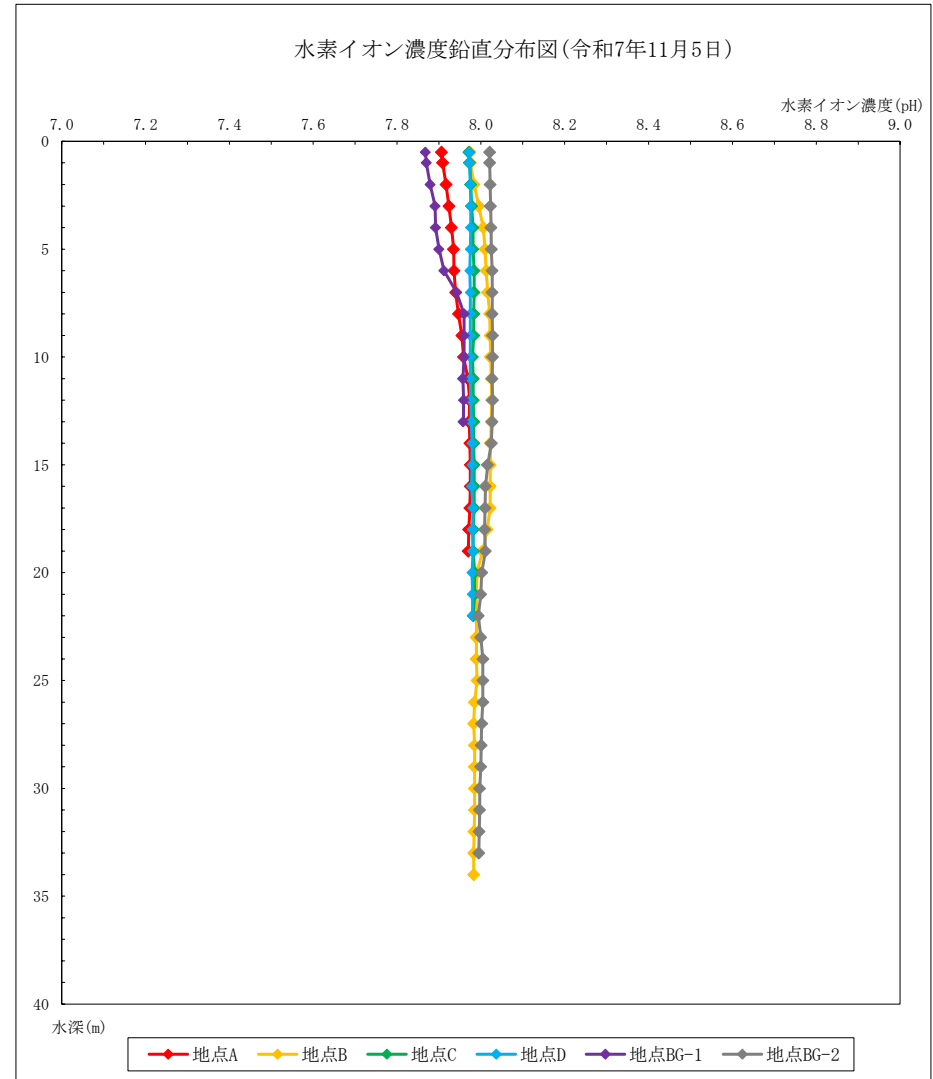


図 4-4-5(3) 秋季調査結果(水素イオン濃度)

表 4-4-9(4) 冬季調査結果(水素イオン濃度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
1	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
3	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
4	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
5	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
6	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
7	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
8	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
9	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
10	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
11	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
12	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
13	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
14	8.2	8.2	8.2	8.2		8.2
15	8.2	8.2	8.2	8.2		8.2
16	8.2	8.2	8.2	8.2		8.2
17	8.2	8.2	8.2	8.2		8.2
18	8.2	8.2	8.2	8.2		8.2
19	8.2	8.2	8.2	8.2		8.2
20		8.2	8.2	8.2		8.2
21		8.2		8.2		8.2
22		8.2				8.2
23		8.2				8.2
24		8.2				8.2
25		8.2				8.2
26		8.2				8.2
27		8.2				8.2
28		8.2				8.2
29		8.2				8.1
30		8.1				8.1
31		8.1				8.1
32		8.1				8.1
33		8.1				8.1
34		8.1				8.1
35						
36						

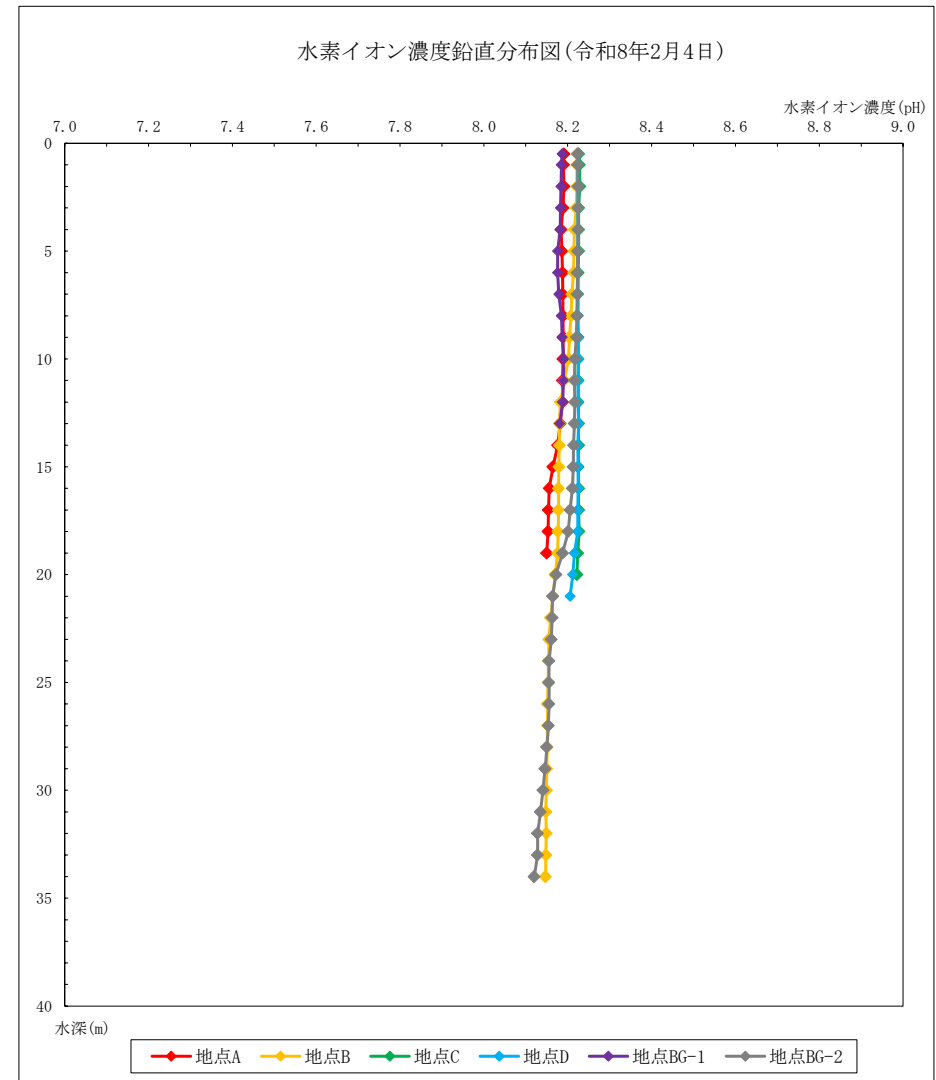


図 4-4-5(4) 冬季調査結果(水素イオン濃度)

⑤ 濁度 (FTU)

濁度の調査結果を表 4-4-10 及び図 4-4-6 に示す。

ア 春季調査結果

濁度は、0.6 FTU～2.9 FTU の範囲にあり、表層は 2.0 FTU～2.8 FTU であった。

鉛直方向にみると、地点間でばらつきはあるが、中間層で低くなる傾向であった。

イ 夏季調査結果

濁度は、0.3 FTU～2.2 FTU の範囲にあり、表層は 0.8 FTU～1.1 FTU であった。

鉛直方向にみると、地点間でばらつきはあるが、中間層で低くなり、底層付近が最も高い傾向であった。

ウ 秋季調査結果

濁度は、0.3 FTU～3.6 FTU の範囲にあり、表層は 0.4 FTU～1.0 FTU であった。

鉛直方向にみると、地点間でばらつきはあるが、底層付近が最も高い傾向であった。

エ 冬季調査結果

濁度は、0.5 FTU～2.9 FTU の範囲にあり、表層は 0.5 FTU～0.8 FTU であった。

鉛直方向にみると、底層付近が最も高い傾向であった。

表 4-4-10(1) 春季調査結果(濁度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	2.2	2.1	2.5	2.0	2.8	2.5
1	1.9	2.3	2.4	2.0	2.9	2.3
2	2.0	1.9	2.3	1.9	2.7	2.2
3	1.6	1.9	2.2	1.7	2.0	1.9
4	1.6	1.9	1.8	1.7	1.8	1.9
5	1.6	1.8	1.6	1.7	1.7	1.5
6	1.6	1.8	1.7	1.7	1.6	1.3
7	1.4	1.5	1.6	1.8	1.6	1.2
8	1.2	1.4	1.4	1.5	1.4	1.0
9	1.2	1.3	1.4	1.3	1.4	1.0
10	1.1	1.1	1.4	1.2	1.4	1.0
11	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1
12	0.9	1.0	1.0	1.3	1.2	0.8
13	0.9	0.9	1.0	0.9		0.8
14	0.9	0.8	1.0	0.9		0.8
15	1.0	1.0	1.3	0.9		0.7
16	1.1	0.9	1.0	0.9		0.8
17	1.2	1.1	1.1	1.1		0.8
18	1.2	0.8	1.2	1.0		0.7
19	2.2	1.0	1.5	1.0		0.6
20	2.5	0.9	1.6	1.4		0.6
21		0.9	1.9	1.3		0.7
22		0.8	2.5	1.7		0.7
23		0.9				0.7
24		1.1				0.7
25		1.2				0.7
26		1.4				0.7
27		1.5				0.8
28		1.4				1.3
29		1.6				1.4
30		1.6				1.5
31		1.9				1.6
32		1.8				1.9
33		2.4				2.0
34		2.1				
35						
36						

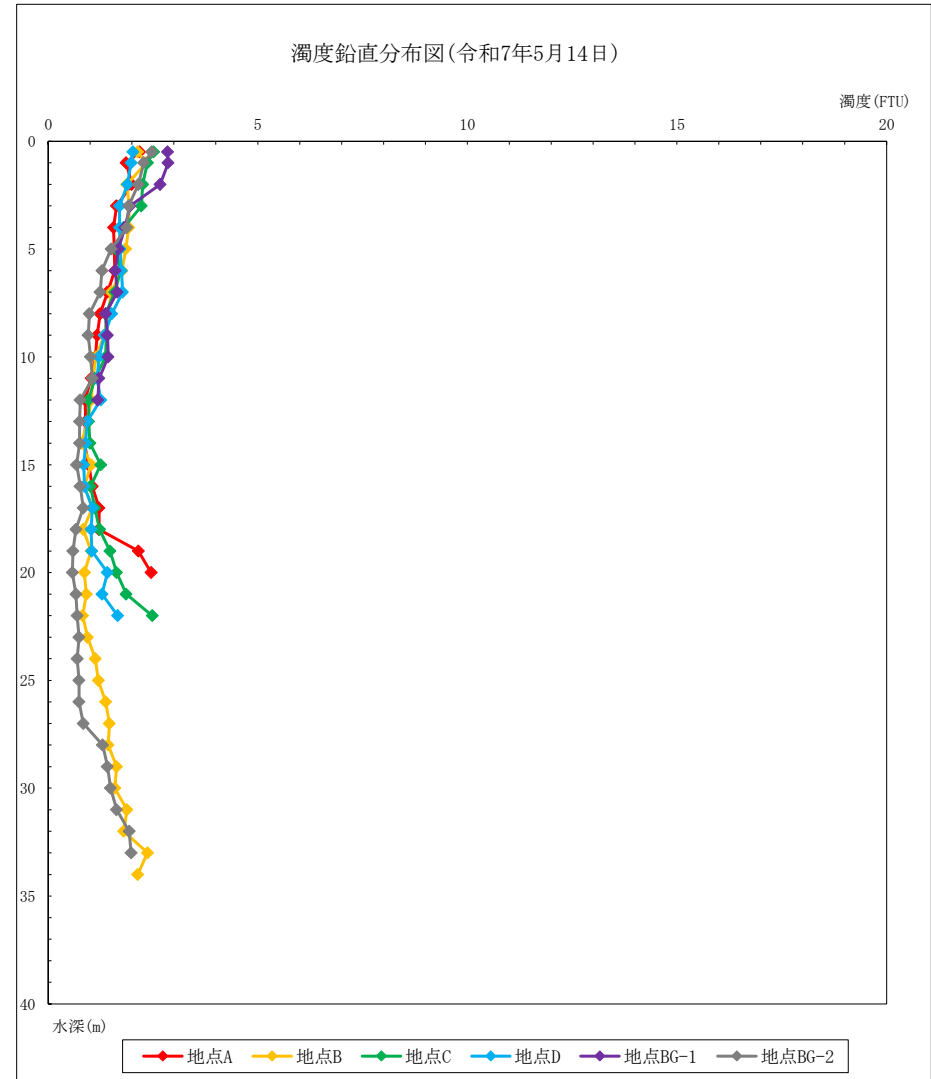


図 4-4-6(1) 春季調査結果(濁度)

表 4-4-10(2) 夏季調査結果(濁度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	0.9	0.8	0.9	0.9	1.1	0.9
1	0.8	0.8	0.8	0.9	1.1	0.9
2	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
3	0.7	0.7	0.7	0.8	0.9	0.7
4	0.8	0.6	0.7	0.7	1.0	0.7
5	0.8	0.7	0.8	0.8	0.9	0.6
6	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.6
7	0.8	0.7	0.9	0.8	0.8	0.7
8	0.7	0.7	0.7	0.9	0.8	0.6
9	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.6
10	0.9	0.7	0.7	0.7	0.8	0.5
11	0.9	0.9	0.9	0.7	1.1	0.7
12	0.8	1.1	0.8	0.7	2.0	0.4
13	0.7	0.7	0.7	1.1		0.5
14	1.7	0.8	0.9	1.2		0.6
15	0.7	0.7	0.8	1.1		0.7
16	1.2	0.7	0.9	1.1		0.7
17	1.4	0.7	0.8	1.1		0.8
18	1.5	0.9	1.1	1.0		0.8
19	2.1	0.6	1.0	1.1		0.8
20		0.9	1.1			0.8
21		1.1	0.8			0.8
22		0.8	1.2			0.4
23		0.7	2.2			0.4
24		0.8				0.4
25		0.7				0.4
26		0.7				0.5
27		0.7				0.8
28		0.5				0.7
29		0.8				1.1
30		0.3				0.8
31		0.7				0.7
32		0.9				0.8
33		0.8				1.4
34		2.1				
35						
36						

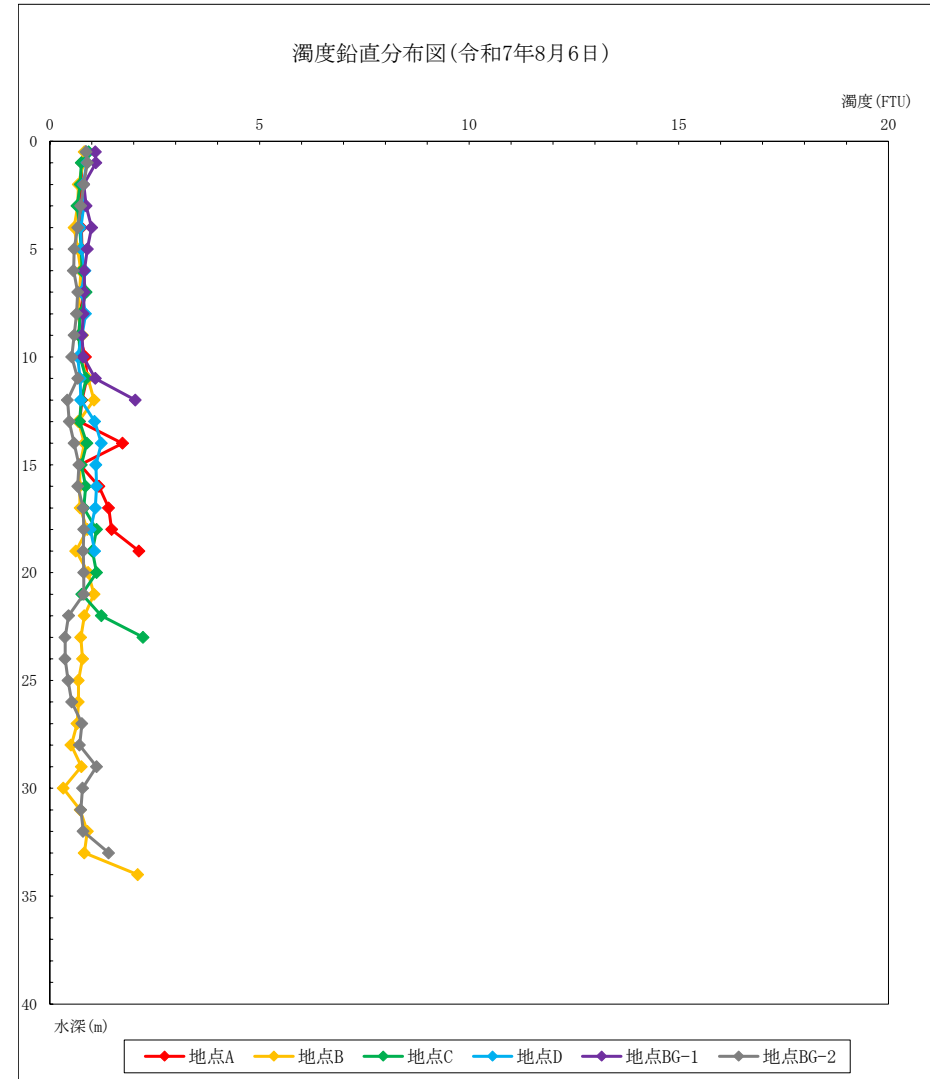


図 4-4-6(2) 夏季調査結果(濁度)

表 4-4-10(3) 秋季調査結果(濁度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	0.8	0.5	0.6	1.0	0.6	0.4
1	0.7	0.5	0.6	0.6	0.7	0.3
2	0.7	0.5	0.6	0.6	0.7	0.4
3	0.8	0.5	0.6	0.6	0.7	0.4
4	0.7	0.6	0.7	0.6	0.7	0.4
5	0.9	0.4	0.7	0.7	0.6	0.3
6	0.8	0.4	0.6	0.9	0.7	0.3
7	0.9	0.4	1.2	0.8	1.0	0.3
8	0.9	0.4	0.8	0.8	0.7	0.4
9	0.9	0.5	0.8	0.8	0.8	0.3
10	0.8	0.7	1.1	0.8	1.0	0.3
11	0.7	0.5	1.0	0.9	1.2	0.4
12	0.5	0.4	1.3	0.9	1.9	0.4
13	0.6	0.4	1.0	1.1	3.3	0.4
14	0.5	0.4	1.1	0.8		0.4
15	0.7	0.4	1.3	0.9		0.6
16	0.8	0.4	1.2	1.1		0.4
17	1.0	0.4	1.0	1.2		0.5
18	1.3	0.5	1.5	1.3		0.5
19	1.3	0.6	1.6	1.7		0.6
20		0.9	1.6	2.3		0.6
21		0.7	1.5	2.6		0.5
22		0.8	2.5	2.7		0.8
23		0.8				0.8
24		1.2				0.5
25		2.1				0.6
26		2.2				0.5
27		3.6				0.5
28		3.4				0.7
29		2.3				1.4
30		2.8				0.9
31		2.0				1.1
32		2.7				1.5
33		2.1				1.5
34		2.2				
35						
36						

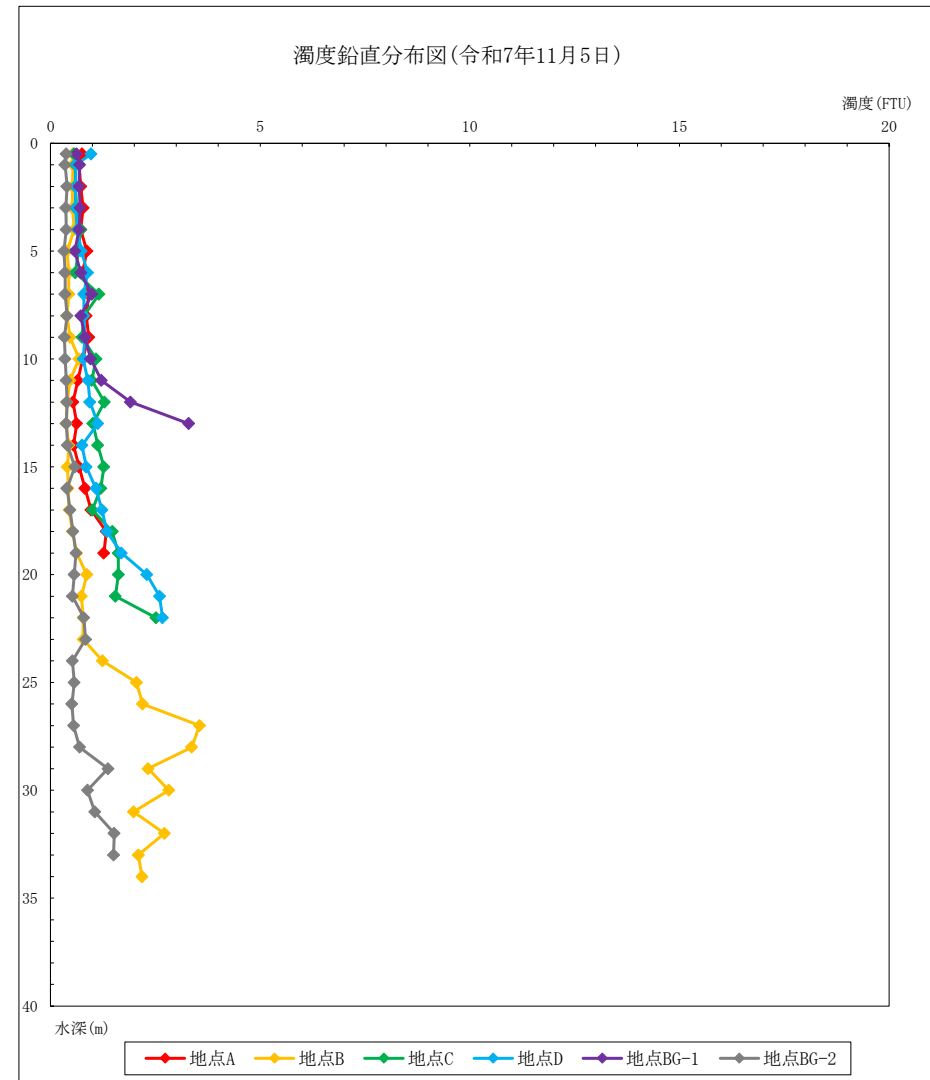


図 4-4-6(3) 秋季調査結果(濁度)

表 4-4-10(4) 冬季調査結果(濁度)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.5
1	0.8	0.7	0.7	1.0	0.7	0.6
2	0.9	1.0	1.0	0.7	0.8	0.6
3	1.2	0.9	0.7	0.8	0.8	0.5
4	2.0	0.7	0.7	1.0	1.0	0.5
5	1.3	0.7	0.7	0.7	0.9	0.5
6	1.5	0.7	0.6	0.9	0.9	0.6
7	1.2	0.8	0.8	0.8	1.2	0.5
8	1.2	0.7	0.7	0.9	1.1	0.7
9	1.0	0.8	0.8	0.8	1.0	0.5
10	1.3	0.7	0.7	0.8	1.3	0.6
11	1.1	0.9	0.7	0.7	1.0	0.6
12	0.9	1.1	0.7	0.7	1.2	0.6
13	1.2	1.3	0.7	0.8	1.3	0.6
14	0.9	1.0	0.6	0.7		0.5
15	0.8	1.1	0.7	0.8		0.7
16	1.6	1.1	0.7	0.7		0.5
17	1.4	1.0	0.8	0.8		0.5
18	1.4	0.9	0.7	0.7		0.6
19	1.7	0.9	0.9	0.9		0.6
20		0.9	0.7	0.8		0.7
21		1.1		1.2		0.7
22		1.2				0.6
23		0.9				0.6
24		1.1				0.6
25		1.1				0.6
26		1.2				0.6
27		1.4				0.9
28		1.5				1.0
29		1.4				1.2
30		1.7				1.1
31		1.9				1.1
32		2.4				2.9
33		2.0				2.1
34		2.1				2.1
35						
36						

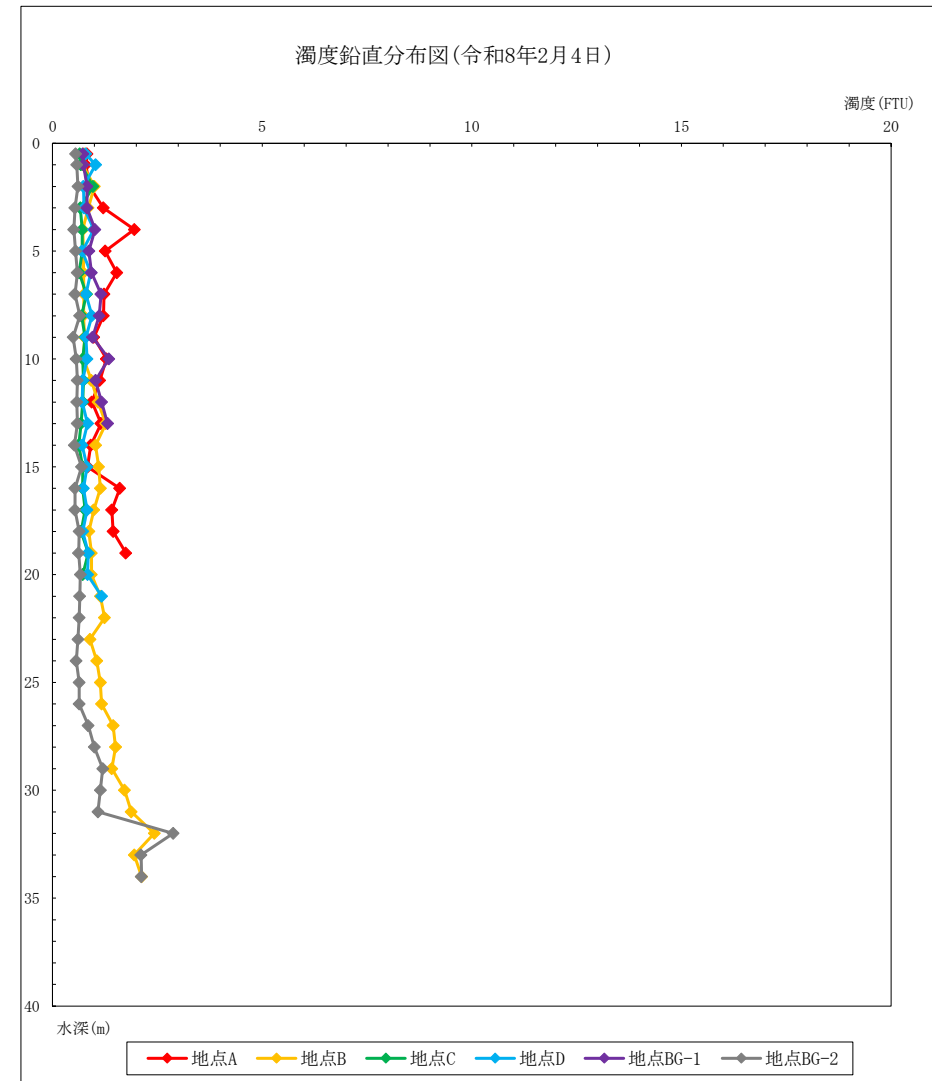


図 4-4-6(4) 冬季調査結果(濁度)

⑥ クロロフィル a

クロロフィル a の調査結果を表 4-4-11 及び図 4-4-7 に示す。

ア 春季調査結果

クロロフィル a は、 $1.0 \mu\text{g/L}$ ～ $291.4 \mu\text{g/L}$  の範囲にあり、表層は  $103.2 \mu\text{g/L}$ ～ $259.2 \mu\text{g/L}$  であった。

鉛直方向にみると、表層付近が高く、底層付近が低い傾向がみられた。

イ 夏季調査結果

クロロフィル a は、 $0.7 \mu\text{g/L}$ ～ $30.7 \mu\text{g/L}$  の範囲にあり、表層は  $16.5 \mu\text{g/L}$ ～ $30.7 \mu\text{g/L}$  であった。

鉛直方向にみると、表層付近に最大値があり、底層は低い傾向がみられた。

ウ 秋季調査結果

クロロフィル a は、 $0.5 \mu\text{g/L}$ ～ $4.4 \mu\text{g/L}$  の範囲にあり、表層は  $1.4 \mu\text{g/L}$ ～ $2.9 \mu\text{g/L}$  であった。

鉛直方向にみると、変化が少なかった。

エ 冬季調査結果

クロロフィル a は、 $0.1 \mu\text{g/L}$ ～ $23.6 \mu\text{g/L}$  の範囲にあり、表層は  $5.6 \mu\text{g/L}$ ～ $9.5 \mu\text{g/L}$  であった。

鉛直方向にみると、地点 BG-1 以外は中間層が高い傾向がみられた。

表 4-4-11(1) 春季調査結果(クロフィル a)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	126.0	154.6	103.2	130.3	259.2	107.9
1	117.5	128.4	103.8	104.5	291.4	107.7
2	88.8	150.9	90.1	99.3	163.5	99.4
3	82.0	132.6	58.5	88.3	117.9	77.5
4	71.4	139.2	56.6	89.5	98.0	81.9
5	65.9	125.6	52.9	88.4	86.6	75.9
6	56.8	102.7	47.1	78.9	69.0	55.5
7	50.7	94.2	44.5	61.8	65.3	49.6
8	46.6	79.9	46.7	48.7	58.9	38.7
9	34.4	78.4	34.4	41.0	46.3	35.8
10	32.7	50.2	20.5	29.7	47.3	21.6
11	26.8	26.2	16.8	27.5	34.8	16.5
12	14.7	26.0	9.6	22.3	13.5	13.2
13	7.6	11.3	8.0	11.7		8.4
14	6.2	8.9	6.9	10.4		10.0
15	6.7	8.3	6.5	10.1		9.0
16	4.7	1.9	5.4	9.2		5.4
17	4.5	1.9	4.6	8.1		2.8
18	5.3	1.5	4.4	7.0		2.4
19	2.3	1.4	4.2	4.2		2.0
20	3.0	1.4	4.1	3.1		2.2
21		1.5	4.3	3.3		2.0
22		1.5	4.4	2.8		1.8
23		1.6				1.7
24		1.1				1.9
25		1.0				1.6
26		1.1				2.0
27		1.8				1.3
28		1.1				1.4
29		1.2				1.2
30		1.0				1.2
31		1.2				1.2
32		1.4				1.3
33		1.2				1.6
34		1.3				
35						
36						

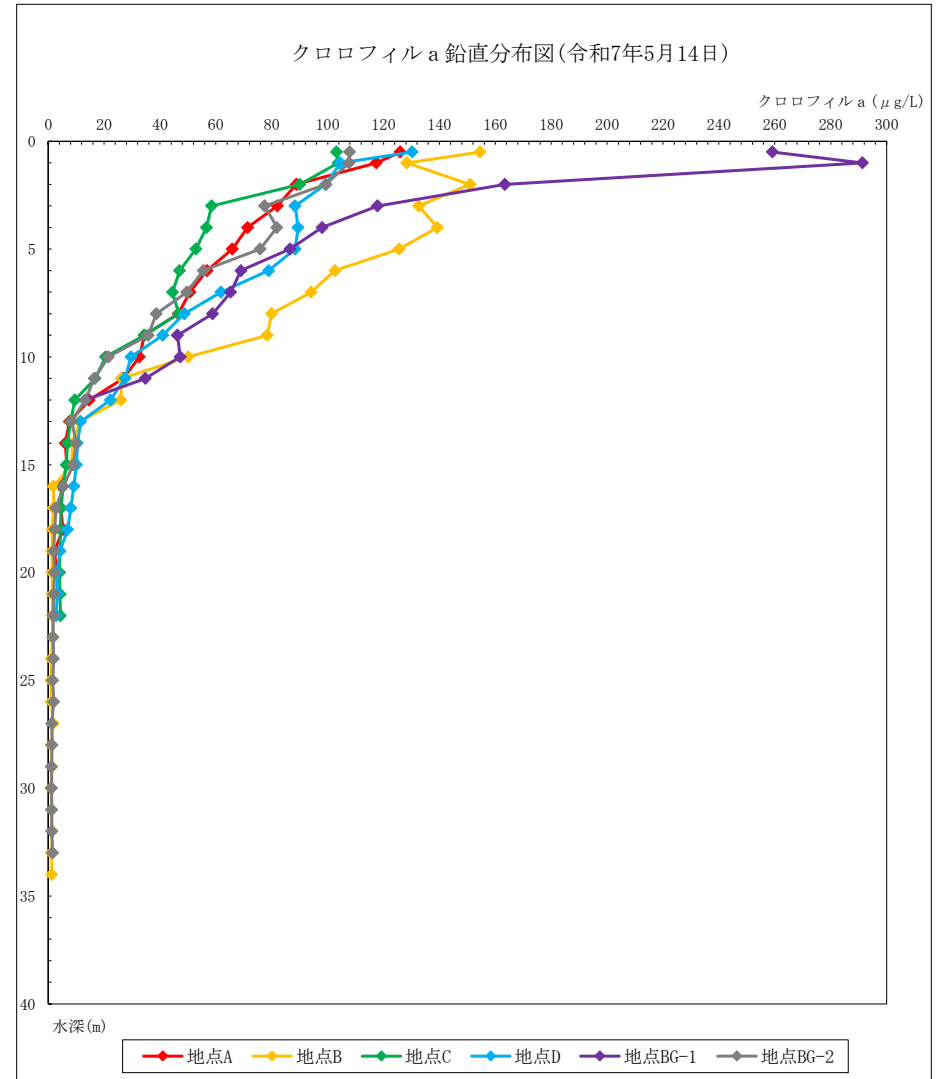


図 4-4-7(1) 春季調査結果(クロフィル a)

表 4-4-11(2) 夏季調査結果(クロロフィル a)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	27.1	22.6	25.0	27.5	30.7	16.5
1	30.2	24.9	25.2	23.9	29.5	17.1
2	28.3	21.9	24.4	23.8	29.1	22.1
3	25.4	21.6	24.6	23.6	28.5	20.5
4	24.1	17.0	23.2	22.9	29.1	21.1
5	24.5	15.0	21.0	23.7	29.3	16.3
6	23.6	18.0	18.7	26.6	28.8	15.2
7	20.6	16.0	18.8	22.0	26.8	15.7
8	19.9	18.4	16.5	21.9	26.4	15.6
9	19.8	18.3	15.8	21.7	26.4	16.5
10	20.4	15.7	16.1	18.3	25.8	14.7
11	20.2	14.3	18.1	18.7	24.9	14.3
12	17.1	15.5	16.9	17.8	23.0	8.9
13	18.9	14.1	18.3	15.1		9.0
14	18.2	12.8	22.2	13.5		7.4
15	18.5	8.3	17.9	12.5		4.7
16	10.3	7.2	13.6	11.3		6.6
17	8.3	6.5	13.9	11.0		4.0
18	7.5	7.0	7.3	6.0		3.3
19	6.6	4.0	6.5	4.3		2.3
20		4.9	5.1			1.5
21		4.7	4.2			1.3
22		4.3	4.4			1.0
23		1.6	5.0			0.9
24		1.7				0.7
25		1.3				1.0
26		1.2				0.8
27		1.7				1.0
28		0.8				0.9
29		1.3				1.3
30		0.7				1.0
31		1.0				0.9
32		1.2				0.9
33		1.1				1.2
34		1.3				
35						
36						

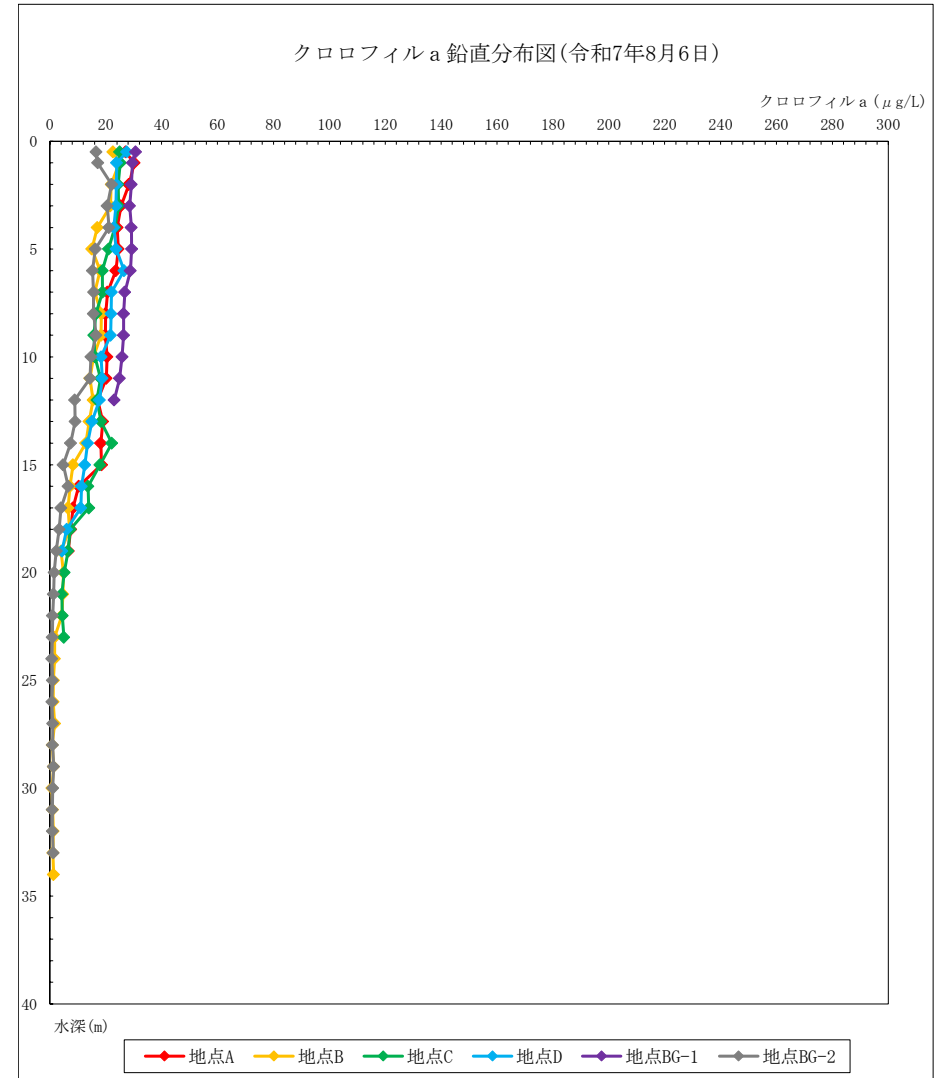


図 4-4-7(2) 夏季調査結果(クロロフィル a)

表 4-4-11(3) 秋季調査結果(クロロフィル a)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	1.6	2.2	1.9	1.9	1.4	2.9
1	1.2	2.3	1.9	1.9	1.8	2.4
2	1.3	3.1	1.9	2.0	2.4	2.9
3	1.3	2.9	1.9	1.9	1.9	2.9
4	1.2	3.1	2.0	1.9	2.8	2.9
5	0.9	3.5	1.9	1.8	2.6	3.5
6	1.2	3.0	1.9	2.0	1.6	2.3
7	1.0	2.8	2.1	2.4	4.4	2.6
8	1.3	2.7	2.0	2.0	3.0	2.9
9	0.5	2.2	1.9	2.1	3.5	2.5
10	0.9	2.9	1.9	2.1	2.4	4.1
11	0.6	3.6	1.8	2.1	3.3	3.0
12	0.5	2.8	1.9	1.9	2.1	3.6
13	1.1	3.1	2.0	2.2	1.6	2.4
14	1.1	2.7	1.8	1.9		2.2
15	1.3	2.3	1.9	1.9		2.5
16	1.2	2.6	2.9	1.7		2.5
17	1.4	2.8	1.8	1.7		2.0
18	1.7	2.7	1.7	1.9		1.9
19	1.7	2.4	1.6	1.7		2.3
20		1.9	1.6	1.6		1.9
21		1.7	1.6	1.5		1.3
22		1.7	1.5	1.4		1.2
23		1.2				2.0
24		1.3				1.0
25		1.0				1.2
26		0.8				0.9
27		0.8				0.9
28		0.7				0.7
29		0.6				0.9
30		0.6				0.7
31		0.6				0.8
32		0.7				0.7
33		0.6				0.7
34		0.7				
35						
36						

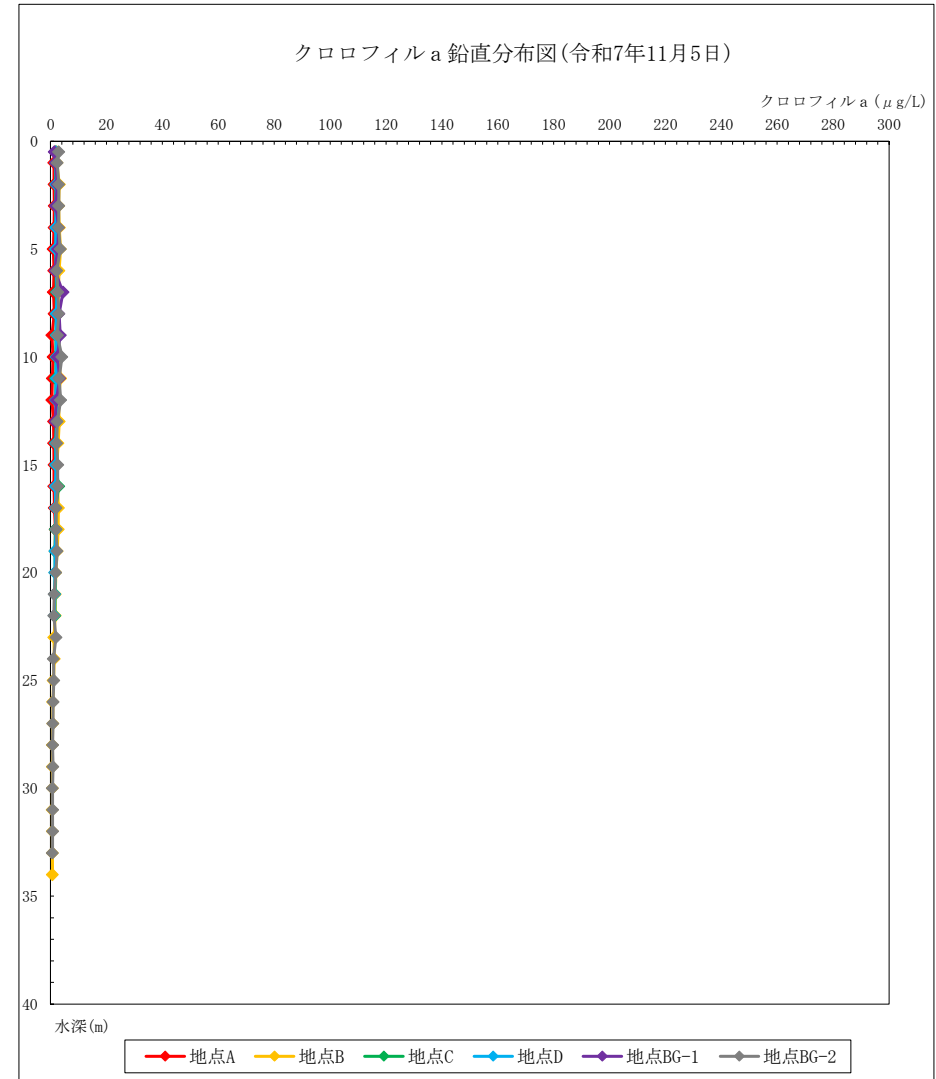


図 4-4-7(3) 秋季調査結果(クロロフィル a)

表 4-4-11(4) 冬季調査結果(クロロフィル a)

深度 [m]	地点A	地点B	地点C	地点D	地点BG-1	地点BG-2
0.5	6.5	9.1	6.7	9.5	5.6	7.4
1	14.5	11.4	2.0	10.5	3.8	8.7
2	14.8	16.9	1.6	10.6	2.6	9.4
3	16.3	18.1	4.8	10.2	0.1	12.8
4	10.9	18.3	16.1	10.2	0.4	14.3
5	10.7	16.2	18.3	10.3	3.5	12.0
6	12.0	23.6	18.4	10.0	3.3	11.3
7	10.4	18.0	14.4	10.2	4.0	10.2
8	10.7	14.6	12.1	11.1	3.7	10.7
9	10.1	12.8	14.8	11.0	3.7	10.7
10	10.2	13.9	18.0	10.2	4.5	11.1
11	9.2	12.1	13.3	10.3	5.0	12.0
12	9.3	8.4	13.6	10.5	4.6	12.4
13	8.2	7.9	13.5	10.7	6.6	12.0
14	7.0	7.4	17.4	9.9		10.6
15	6.2	9.6	12.3	10.4		11.7
16	5.2	7.1	10.6	10.2		10.8
17	5.1	6.3	12.4	10.4		10.3
18	4.5	7.4	9.5	10.5		9.5
19	4.7	5.8	12.4	9.8		8.9
20		6.4	9.8	10.1		7.7
21		5.1		9.7		6.3
22		5.8				5.9
23		3.3				6.0
24		3.1				4.9
25		3.0				5.4
26		3.2				5.8
27		3.1				5.9
28		2.8				5.8
29		2.7				5.4
30		4.0				4.3
31		3.0				4.8
32		5.8				4.2
33		4.3				3.9
34		3.1				4.2
35						
36						

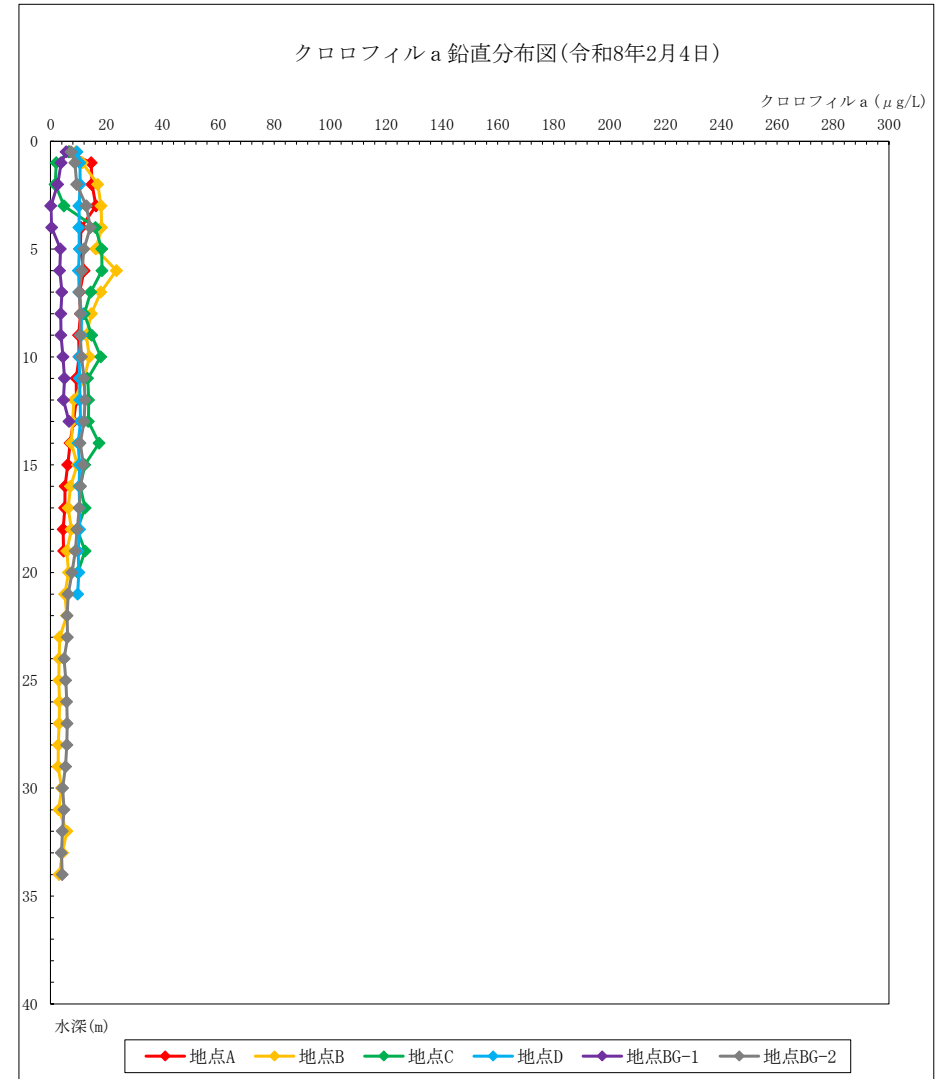


図 4-4-7(4) 冬季調査結果(クロロフィル a)